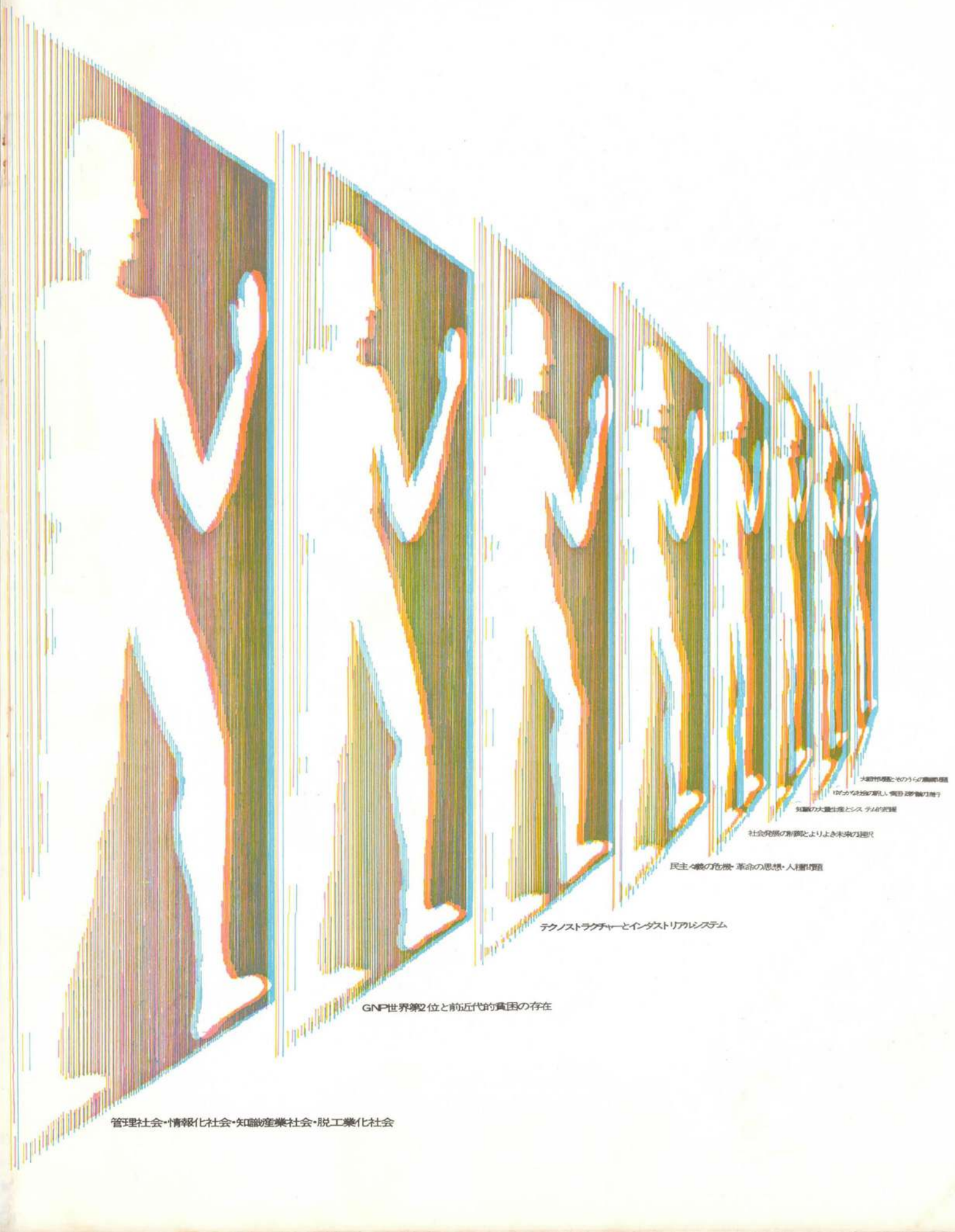
建築と社会

ARCHITECTURE AND SOCIETY ● VOL.51

社団法人　日本建築協会
昭和45年1月25日発行　第51輯第1号
毎月1回25日発行
昭和24年3月19日第3種郵便物認可

特集
現代社会とは何か？

1970
昭和45年



"鉄をつくり 未来をつくる"住友金属



同じ建て坪なら　倍ぐらいには使えます

事務所・工場・倉庫など、中型構造物の建築をご計画中なら、ぜひ、住友のプレハブ骨組《スミフレームV》をご利用ください。中柱が不要で、間口、屋内スペースが広くとれ、同じ建て坪なら、まず、倍ぐらいに活用でき、合理的です。強靱で耐久性に富み、建築も簡単。 360種以上の標準設計を用意しています。

住友のプレハブ骨組

スミフレームV

住友金属

住友金属工業株式会社

大阪 ── 大阪市東区北浜5の15(新住友ビル) 電(203)2201
東京 ── 東京都千代田区丸の内1の8(新住友ビル) 電(211)0111
営業所 ── 福岡・広島・岡山・高松・名古屋・富山・静岡・新潟・仙台・札幌

謹賀新年
1970

年頭のことば

日本建築協会会長 東畑謙三

70年の到来、日本万国博覧会施設の立役者ともいうべき建築界にとっては、終に来るべきものが来たという感じである。昨年初においては当時の工事の進行状態から見て一抹の不安を覚えたのであるが、開催迄あと二ケ月半に迫った新春では、嬉しいことには成功間違いなしと断言出来る状態である。各館の中には既に竣工したものもあるし、いずれも予定の工事を充分遂行出来る見通しもついた。しかもその規模、姿、量とも万博史上かってないほどの出来ばえだと確信する。

従来年始ごとに業界の組織の大型化、技術の量産化、労務の適性化を進めたいと申し上げたが、万国博工事の現状をみて見事その成果が現われたものと想い、今日の日本建築界の実力を示し、また業界の進歩と調和とを博く世界に覧せる絶好の場面だと信じる。また開場一足先にこれをみせ得たものと想う。

ただ建築界は万国博建設に眩惑されてはならぬ。万国博建築は建築界にとっては、一つの節（ふし）には違いないが、我国の産業界の発展は本年もまた、よどみなく進んで行くだろうが、これに遅れをとらないように注意しなければならない年でもある。節には必ず新芽を伴う。この新芽を育て、その新芽が如何なる枝となり幹となるかをよく見守って行動することが本年度の業界の課題であろう。



福山グランドホテル

施　工　株式会社　**青木建設**

設　計	株式会社　久米建築事務所
所在地	福山市西町2丁目7番地ノ1号
建築面積	2,847m²
延面積	8,541m²
構造規模	ＲＣ造一部Ｓ造
工　期	昭和43年12月～昭和44年９月



茨木市庁舎・市民会館

施　工　株式会社　浅沼組

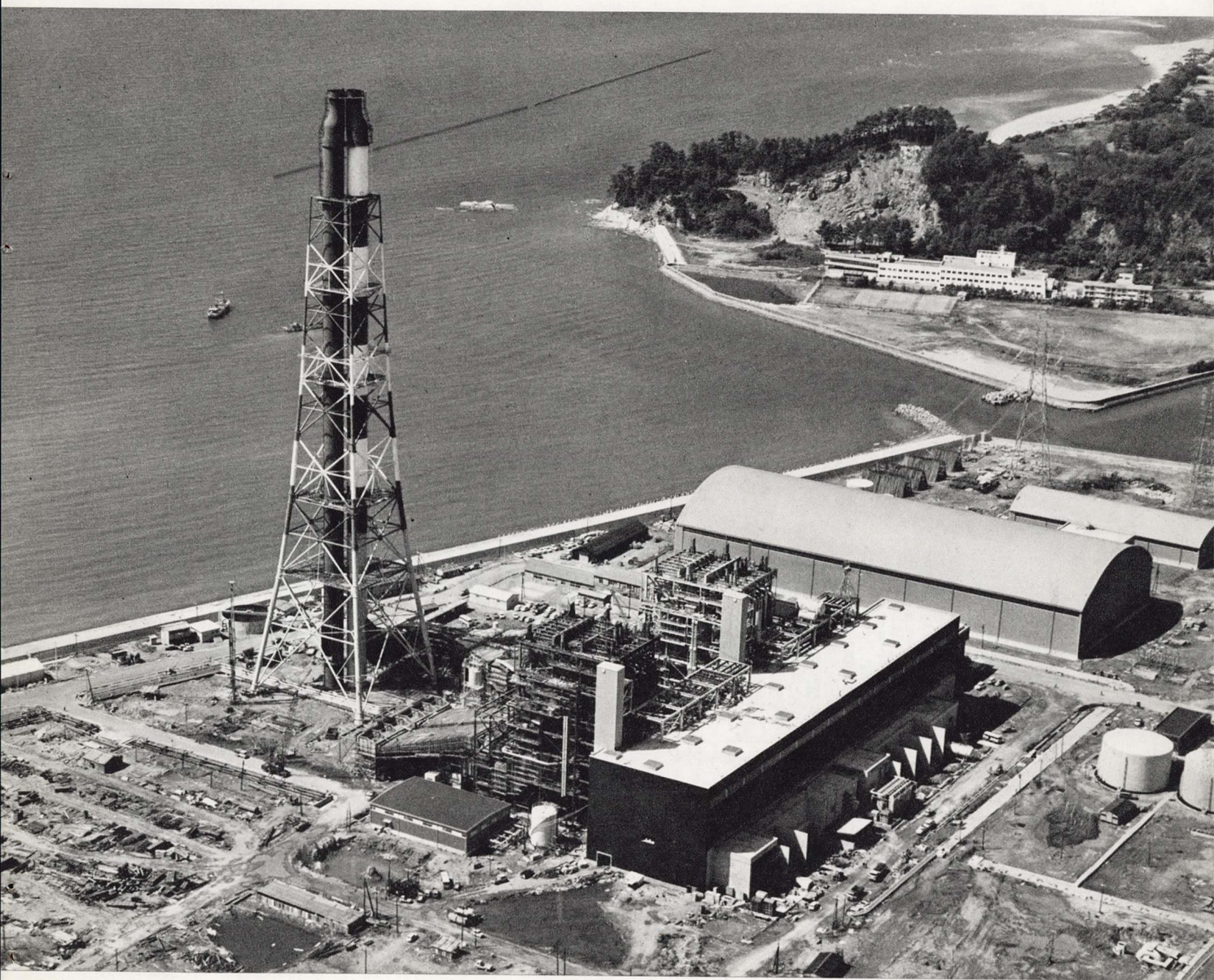
設　計	内藤建築事務所
所在地	茨木市駅前3丁目
延面積	市庁舎 8,047.73m² 市民会館 6,280.48m² ・人工台 3,438.74m²
構造規模	SRC B2,5F,P1　RC B1,6F,P1
工　期	昭和42年4月～昭和43年5月　昭和43年4月～昭和44年3月



京都グランドホテル

設計施工　株式会社　**大林組**

所在地　京都市下京区東堀川通塩小路下ル
建築面積　4,293m²
延面積　28,033.46m²
構造規模　SRC　B1，10F，P3
工期　昭和43年6月～昭和44年10月



関西電力海南発電所１号機・２号機

設　計	㈱新日本技術コンサルタント
所在地	和歌山県海南市船尾地先
建築面積	6,789m²
延面積	17,247m²
構造規模	S造一部RC造　5F
工　期	昭和42年9月～昭和45年5月

施　工　**鹿島建設株式会社**



㈱神戸製鋼所ホイールローダ工場

設計施工　清水建設株式会社

所在地	兵庫県明石市大久保町福田
建築面積	10,496.02m²
延面積	11,643.12m²
構造規模	ＲＣ造平家建一部２階建
工期	昭和43年８月～昭和44年３月



公立学校共済組合大阪宿泊所
なにわ会館

施　工　株式会社　**錢高組**

基本設計	大阪府建築部営繕課
実施設計・監理	㈱東畑建築事務所
所在地	大阪市天王寺区石ヶ辻町38-1
建築面積	2,339.36m²
延面積	11,071.66m²
構造規模	SRC　B1，9F，P2
工期	昭和42年12月～昭和44年7月



コクヨ本社ビル

設計施工　株式会社　竹中工務店

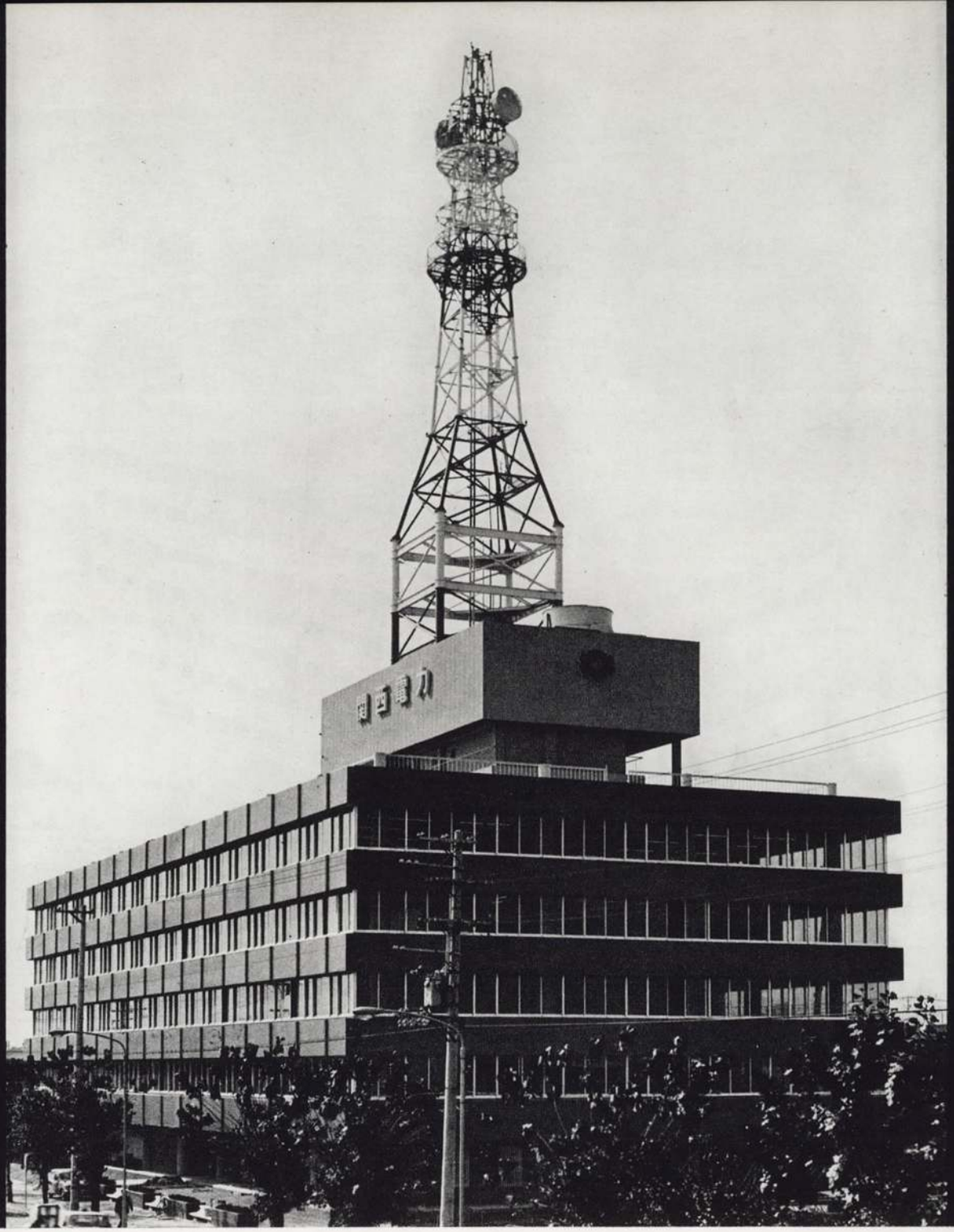
所在地	大阪市東成区大今里本町6－15－18
建築面積	1,043m²
延面積	8,766m²
構造規模	SRC　8F
工期	昭和43年6月～昭和44年9月



大阪港湾合同庁舎

施　工　戸田建設株式会社

設　計	建設省近畿地方建設局
所在地	大阪市港区築港4－10－3
建築面積	3,389m²
延面積	17,190m²
構造規模	SRC　B1，8F，P2
工　期	昭和42年10月～昭和44年10月



大阪南関電ビル

施　工　株式会社　**間　組**

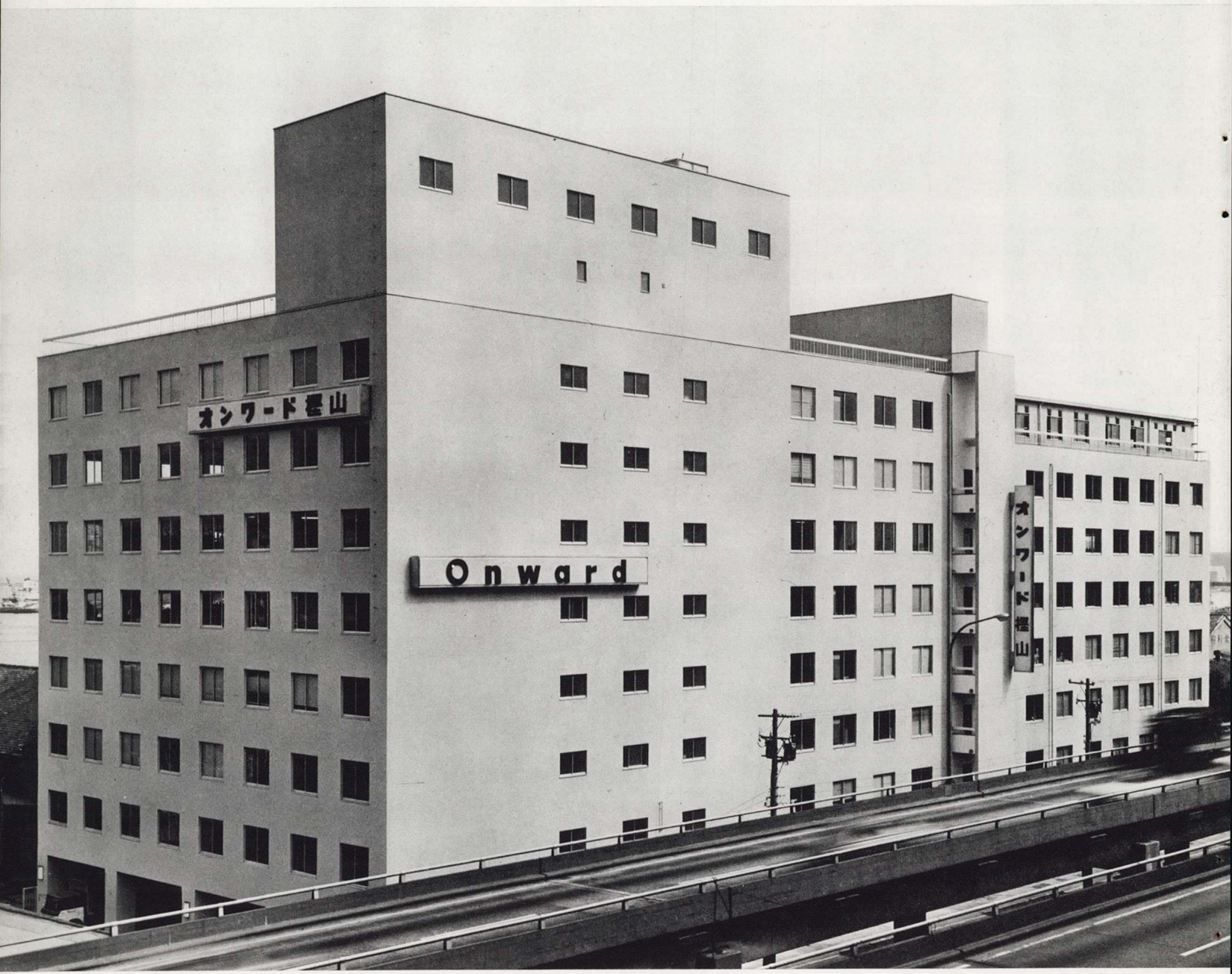
設　　計　㈱新日本技術コンサルタント
所 在 地　大阪市住吉区浜口町西３丁目24
延 面 積　11,919.2m²
構造規模　SRC　B２，５F，P２
工　　期　昭和43年８月～昭和44年10月



ＮＨＫ和歌山放送会館

施　工　株式会社　**松村組**

設　計	ＮＨＫ技術本部建築部 西村建築設計事務所
所在地	和歌山市小松原通３－13
建築面積	936.034m²
延面積	2,208.089m²
構造規模	RC造 B1,3F,鉄塔屋上40m
工　期	昭和43年２月～昭和44年１月



樫山㈱芝浦ビル第２・３期

設計施工　**不二建設株式会社**

所在地	東京都港区海岸通り3丁目9番地
建築面積	2期5221.36m² 3期2977.33m²
延面積	14579.56m²
構造規模	SRC 8F，P2
工期	昭和43年6月～昭和44年5月



京都府議会棟

設　計	日建設計工務株式会社
所在地	京都市上京区下立売通り新町西入
建築面積	2,113.5m²
延面積	7,668.5m²
構造規模	ＲＣ造一部Ｓ造Ｂ１，３Ｆ
工　期	昭和43年３月～昭和44年３月

施　工　三井建設株式会社



魚崎コーポ 公社市街地分譲住宅

施　工　株式会社　藤田組

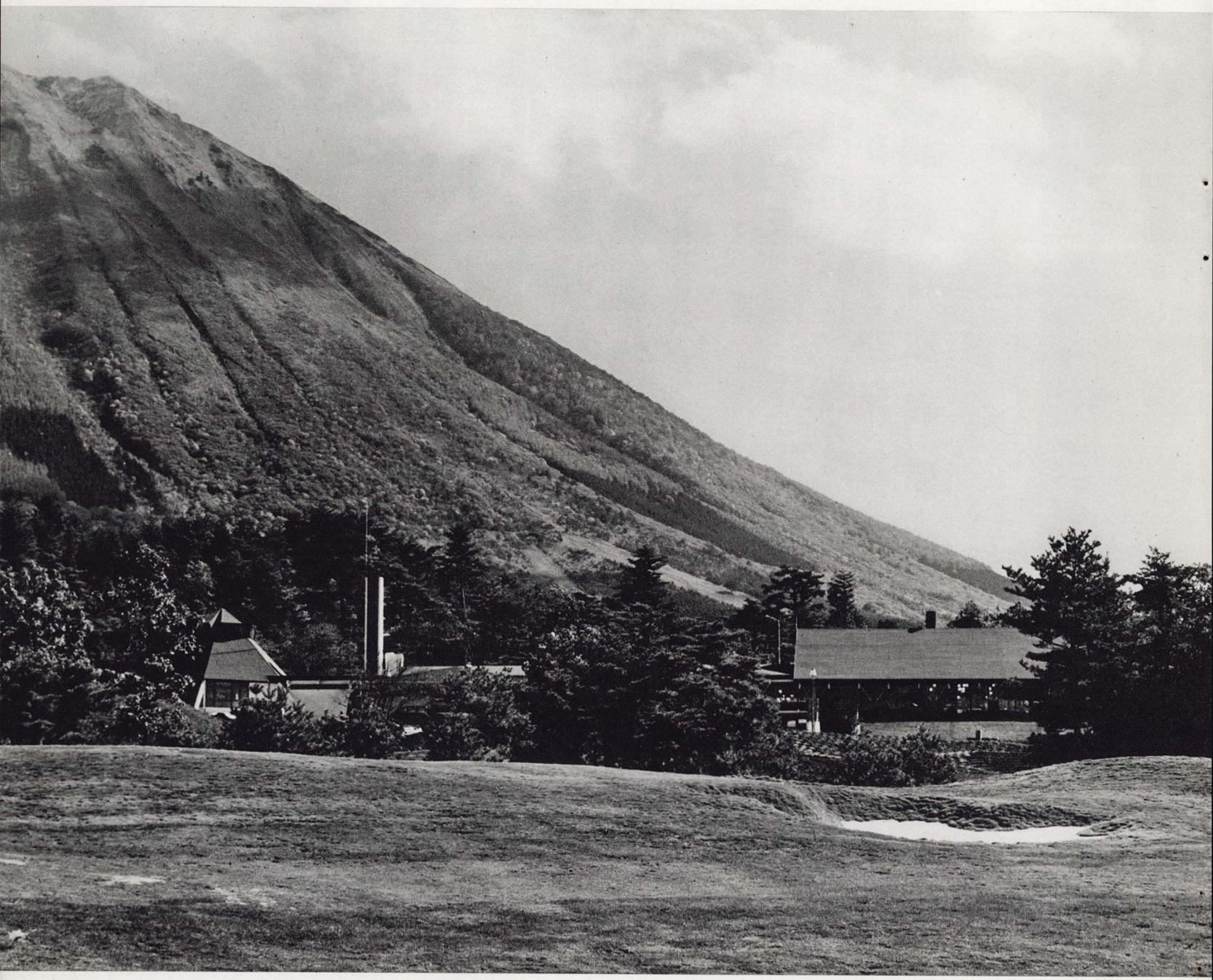
設　計	神戸市住宅供給公社 共同設計株式会社
所在地	神戸市東灘区魚崎町横屋字沢村
建築面積	1,390.656m²
延面積	15,219.316m²
構造規模	SRC 11F, P1
工　期	昭和43年10月～昭和44年11月



大阪市住宅供給公社
天保山施設併存分譲住宅

設　計　株式会社　**田中小西建築事務所**

施　工	㈱　鴻　池　組
所在地	大阪市港区築港
建築面積	640m²
延面積	6,583m²
構造規模	RC　10F
工　期	昭和43年1月～昭和44年2月



大山ゴルフクラブハウス

設　計　株式会社　**大阪建築事務所**

施　工	西松建設株式会社
所在地	鳥取県西伯郡岸本町
建築面積	1373.51m²
延面積	1742.21m²
構造規模	パイプ柱とH型鋼梁によるS造
工　期	昭和43年11月～昭和44年9月



高砂市文化会館

施　工	㈱竹中工務店
所在地	兵庫県高砂市高砂町朝日町1番地1
建築面積	2,448.75m²
延面積	4,687.37m²
構造規模	SRC　4F(1,500席ホール)
工　期	昭和43年5月～昭和44年5月

設　計　株式会社　**昭和設計事務所**



交野町立 郡津小学校

設　計　株式会社　竹内建築事務所

施　工	株式会社　前　田　組
所在地	大阪府北河内郡交野町大字郡津374番地
建築面積	2,259.63m²
延面積	3,728.82m²
構造規模	RC造，3F
工　期	昭和42年8月～昭和43年3月



梅田辰巳ビル

設　計　株式会社　**東畑建築事務所**

施　工	戸田建設㈱大阪支店
所在地	大阪市北区神山町61
建築面積	351、505m²
延面積	3,546.269m²
構造規模	SRC　B1、9F、P2
工　期	昭和43年5月～昭和44年7月



神戸商工貿易センタービル

設　計　**日建設計工務株式会社**

施　工	鹿島建設株式会社
所在地	神戸市葺合区浜辺通
建築面積	1,379.661m²
延面積	43,584.195m²
構造規模	SRC　B2，26F，P1
工　期	昭和42年11月～昭和44年11月

事業委員会の活動

事業委員会　岡本　弘

万博開催の年となりました。当協会の常設委員会の中で、会員に最も密接につながると思われる分野を分担し、その活動は、当協会の会勢にも大きい影響を及ぼすところと自負しています。若い会員の集い・懇親会・展示会・講演映画会・各種説明見学会等の小委員会に分れての活動は、上記の使命の重大さを念頭において、会員の希望等を反映させまた時勢に呼応したもので、マンネリズム的傾向に陥る等のことなく努力する覚悟であります。ただ本年は万博の開催があり、行事等は開催の時期や場所また特に見学等の場合には、交通機関の利用等に考慮すべきことも多く、殊にバス利用は不可能に近いのでないか等々、何かと制約も多く隘路も生じるであろうと憂慮しています。しかし当委員会は、これらの障害等を極力克服打開して、一層活潑有意義に活動いたしたいと念願していますので、皆様のご指導・ご鞭撻ならびにご協力をお願い致します。

出版委員会本年の抱負

出版委員長　石崎潑雄

出版企画は、常設の専門部会（意匠計画、構造、施工、設備原論）より提案された図書について委員会で審議の上決定される。それぞれの図書には、前記部会委員を含めて編集委員会が設けられる。編集委員会では、出版・編集要綱、執筆者、出版工程などを纏める作業から着手する。脱稿－原稿調整－編集－印刷－出版のプロセスに最も努力を費やすこととなり、また長期間を要することにもなる。その上に、販売方法から収支までもご心配願う結果ともなり、その衝に当たる方々には多大のご苦労をお掛けしている。ここに出版のプロセスを筆したのは本会の独特な出版事業が、多くの人々の辛抱強いご協力がなければ成就できないことをご紹介したかったからである。本年はいよいよ「建築基礎工法と実例」が出版されることになった。また改訂・増補の図書および「木造建築その1」も編集に着手する。新しい構想による図書も企画して、一層出版事業を活潑化していきたいと思う。

建材委員会本年の抱負

建材委員長　堀内三郎

今年はいよいよ大阪で万博の開かれる年である。万博は建築界にとって、まさに千載一遇のチャンスであって、デザインに、構造に、そして建材についても文字通り百花繚乱という有様である。これらの多種多様の建材とその使われ方の中心には従来の常識をこえた新しいものもあろうし、優れた性能のものもあろうが、その反面一部には欠陥の認められるものもあるかも知れない。当委員会は、あらゆる職能を網羅しているという本協会の特色を生かして、全会員に対する建材関係の情報交流を活潑に行なうという使命を担っているので、できる限り会員のお役に立つ正しい情報をお伝えしたいと念願しているわけである。それにつけても、われわれ委員の力には限度があるので、広く会員の方々から積極的なご意見や情報をお寄せ下さるよう衷心から希望とお願いを申し上げる次第である。

住宅時代

住宅委員長　岡橋作太郎

ドラマ「住宅時代」の幕が知らない間に開いていた。舞台には「住宅産業」という人物が一人登場して、上手から下手へ、また上手へと歩きまわっている、如何にも落ちつきがない。批評家はいぶかる。こんな役はずっと後の場面に登場して来るのが常道だのに、と。実のところ、それどころではないのだ、未だ「脚本」が出来ていないのだ。

作者にはこの劇がはらん万丈のものになることはわかっているのだが、最後の華々しい幕切れの様子が未だありありとは眼ぶたに浮かんで来てはいないのだ。

「建築家」はいずれ主役として声がかかるだろうと思っているのか悠然としている、少ないであろうギャラのためにソッポを向いているのではないらしい。

観客はただ入場料の廉いことだけを望んでいる。

法規委員会の今年の課題

法規委員長　福田朝生

佐野名委員長から否応なしにバトンタッチされて以来暗中模索の状態ですが、幸い委員の方々は斯界のベテラン揃い、表立った成果はともかく充実した議論が交わされて居ります。昨年は「建築基準法施行令の改正」にはじまり「新都市計画法」、「容積地区の指定」「消防法施行令、同規則の改正」、「都市再開発法の制定」等建築界にとってはまったくめまぐるしいほどの動きがありました。今年も前国会で廃案になった「建築基準法の一部改正」案が再上程されるのを手はじめに、依然くすぶり続けている「建築士法」の改正、「設計監理業務法」の制定等、委員会の議題にはこと欠かない年になりそうです。「建築業務基準委員会」の議論も沸とうすることでしょう。推進すべきものは大いに推進する気構えでこの一年を有意義な年としたいものです。

今年の教育委員会

教育委員長　橋本忠保

昨年も会員諸氏や委員の方々の積極的なご支援をいただき、例年以上の実績をおさめることができ、ここに新春を迎えることのできましたことを、心から篤く御礼申しあげます。

さて、本年は「人類の進歩と調和」をテーマにした日本万国博覧会が、千里丘陵ではなばなしく開催されます。会場に見られる諸種の構築物の構成とその偉容は、日本の建築技術そのものとして、国際的に高く評価されるものと信じます。しかしその反面、日本の建築家等が、ポスト万博にたいしてどのように取り組むのか、その方向をどのように見出そうとするのか、本年の大きな課題といえましょう。

当教育委員会は、このような現実に立って、また万博の年であることを考慮し、例年と異なった感覚のもとに、積極的に取り組まねばならないと思っています。

会員諸氏のご指導とご鞭撻を、本年もいただきたくお願いします。

本年の建築データシート委員会

建築データシート編集委員長　中原　茂

建築データシートを発刊して早くも足かけ3年目を迎えた。刊行シートはすでに 456枚を数える。しかし一応の目標である 600シートまではまだかなり開きがある。当初予定ではすでに目標に達していなければならないのであるが、シート掲載会社の確保が困難の度を加えてきたために、委員会としては昨年はまったく苦難の一年であったといえる。そしてその打開のための対策として、シートの利用者側やシート掲載会社側との二回の座談会を開いてシート内容のＰＲを行ない、さらに協会の持つ全力を発揮するために理事会のメンバーを特別委員に委嘱して掲載会社の斡旋をして頂くことにした。そこで本年はいよいよ協会50周年事業としての建築データシートを立派に完結し、その後のシートの効用を維持するための恒久策を立てねばならないと思うので、会員各位より本委員会の業務に一層のご理解とご支援を賜るようお願いいたします。

70年を迎えて

編集委員長　足立　孝

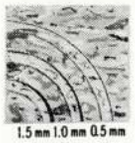
70年は、万博・安保と考えただけでも、にぎやかな年、マスコミにとっては種切れの心配のない年になることが予想される。

60年代から引き継いだ国際間の諸問題をはじめとして、身近かな生活の諸問題までの課題の累積がどのようにさばかれてゆくのだろうか。そのような外部状況にとどまらず、私達内部の世代間の断層が埋められるのか、はたまた、じりじりとその隙間を広げて地滑りを起こすのだろうか。

「建築と社会」は世間の動きを敏感に先取りして問題提起をしてゆくことが望ましい。

私達の任期は一応三月で終る。雑誌というものの性格上、約半年分の企画は前任者の責任になるが、その処理は新しい委員の方々のご厄介にならねばならない。ご迷惑にならないように留意して、それまでの前座をつとめる。

いつまでも変わらない美しいロイヤルパターン



すばらしい立体感をもつ絵模様、ロイヤルパターン。
その、美しい気品ある絵柄は、0.5mm……1.0mm……
1.5mm……、どこまでいっても消えません。
しかも、マチコロイヤルは
摩耗に強く、きびしい床の使用条件に
耐えるタフさは抜群です。



ロイヤルの
美しさは
いつまでも
おとろえません

豪華な雰囲気をただよわせる最高級の床タイル

マチコロイヤルは、良い材料をすぐれた技術で加工、いっそう品質を高めた最高傑作です。色は、インテリアデザイナーが最も使いやすいようにまとめあげた6色。明度・彩度ともひかえ目。高級タイルにふさわしいエレガントな味をだしています。ロイヤルを敷きつめたフロアは、まさに"ロイヤルルーム"の風格です。

人通りのはげしい場所にはとくにおすすめします。

マチコロイヤルは、ビルのエレベーターホールや階段、廊下などに最適です。もちろん、オフィスにも使えます。ホテル、レストラン、喫茶店、銀行、デパート、病院など、人の集まる場所にはドシドシご採用ください。

ARCHITECTURAL FLOOR TILE
BY TOYO LINOLEUM

新発売

MATICO Royal

床材の総合メーカー

東洋リノリユーム株式会社

本　社／大阪市南区順慶町通り4－25(順慶町三和ビル)〒542　☎(06)252－2921代
東　京／東京都港区芝琴平町33(琴平町東洋ビル)〒105　☎(03)503－3021代
名古屋／名古屋市中区錦2－2－13(名古屋センタービル)〒460　☎(052)211－5458代
福　岡／福岡市大手門1－4－12　〒812　☎(092)75－0425

着色亜鉛鉄板の諸問題

見事に解決

tsukiboshi colour

polyform

月星ポリフォーム鋼板

建築の近代化にともない着色亜鉛鉄板の需要が増大！
建材としての断熱性や防露性などに問題の解決が強くのぞまれています　日新製鋼ではこれらの諸問題を見事に解決　まったく新しい建築素材《月星ポリフォーム鋼板》の開発に成功いたしました
このポリフォーム鋼板は月星カラー及び亜鉛鉄板の裏面に発泡ポリエチレンを熱融着させたもので　すぐれた断熱性と防露性　さらに経済性・防音性・加工性をもかねそなえた画期的な新製品　屋根材として最適です

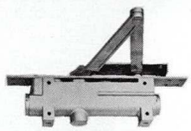
- 夏は涼しく　冬は暖かいすぐれた断熱効果！
- 防露性（結露防止）にすぐれ錆びの心配から解放！
- 別に断熱材を用いることなく　労力や工期の節減にきわめて経済的！
- 赤茶・青・緑・薄緑・グレーなどカラーフルな色彩
- 雨音を完全にシャッターアウト　すぐれた防音性！
- 1tRの密着曲げにもびくともしない抜群の加工性！

日新製鋼株式會社

本　　社　東京都千代田区丸の内3丁目4番地　新国際ビル　TEL 東京(216)大代表5511
大阪支社　大阪市東区大川町1番地(勧銀ビル)　TEL 大阪(202)大代表1331
名古屋支店　名古屋市中村区笹島町1丁目221番地2(豊田ビル)　TEL 名古屋(582)代表6061
営業所　札幌(24)7524・広島(47)9456・八幡(67)4235・福岡(28)5304

NEW★STAR

NEW★STAR



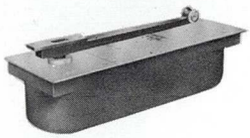
ドアチェック 60シリーズ



ドアチェック 70シリーズ



ドアチェック 80シリーズ



フロアヒンジ

その他
ラバトリヒンジ
ピポットヒンジ
ドアハンドル

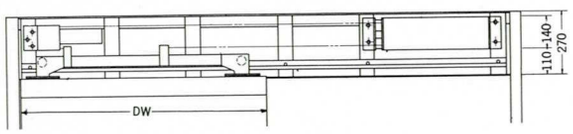


✳ 品質・性能ともに定評ある

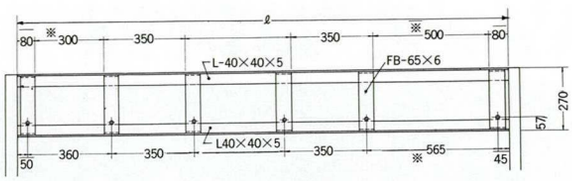
●スイング式・スライド式

ニュースタードアオペレータ

片引き戸内観図



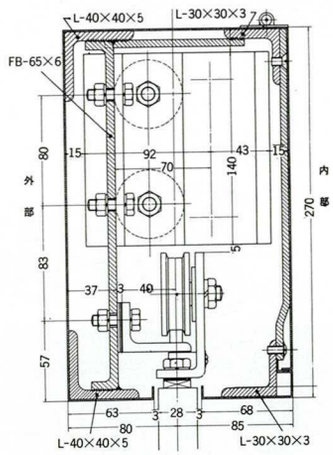
エンジン及ドア関係要領



レール取付板例図

※印寸法は守って下さい。
※印寸法NSL-4の場合は$\frac{535}{600}$に変更されます。

上枠断面懸吊要領



※斜線部は客先工事分

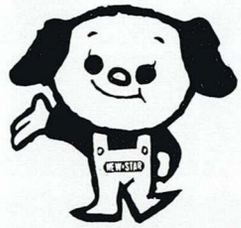
■ニュースタースライド式ドアオペレーターの特徴

●油圧の長所と電気式の利点とを組合せた新製品です。●油圧装置がついているために閉る速度が「ゆるく」「なめらか」です。●バルブの調整で閉る速度が自由に変えられます。●閉る手前で一旦止って、その后ゆるく閉ります。●停電の場合、すぐに手で軽く開閉が出来ます。●価格が安く、別途工事がほとんどない。●取付工事、保守が非常に簡単です。

NEW★STAR 50 創業 周年

日本ドアーチエック製造株式會社

本社工場 大阪市生野区巽矢柄町222 電話(06)(758)1251(代)
東京支店 東京都千代田区神田小川町2—12(信愛ビル) 電話(03)(293)4831～5
札幌出張所 札幌市月寒中央通り月寒314—1 電話(0122)(86)8255～6
仙台出張所 仙台市北6番丁187 電話(0222)(34)6049
名古屋出張所 名古屋市北区浪打町2—80—2 電話(052)(981)7531～3
広島出張所 広島県安佐郡佐東町緑井205 電話(08287)(7)1611
福岡出張所 福岡市天神4丁目4番24 電話(092)(74)2372・3312



着色耐摩耗性床材

カラ・クリート

フェロ・コン

美装塗床仕上材

チッピー

照明器具各種

機械台座用材

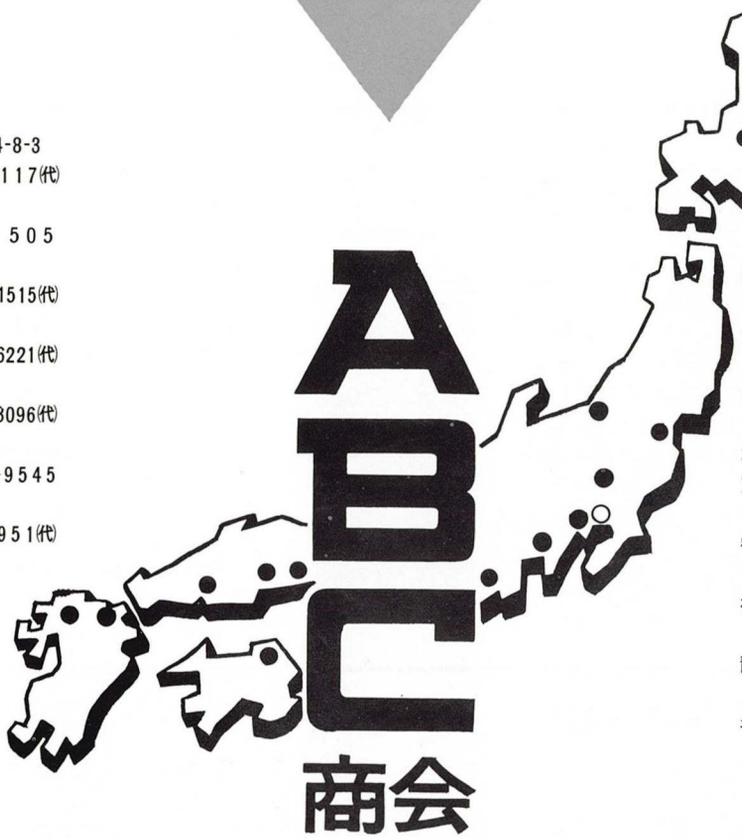
ノンシュリンク

不燃性吸音材

ミクライト

コンクリート用接着補修材

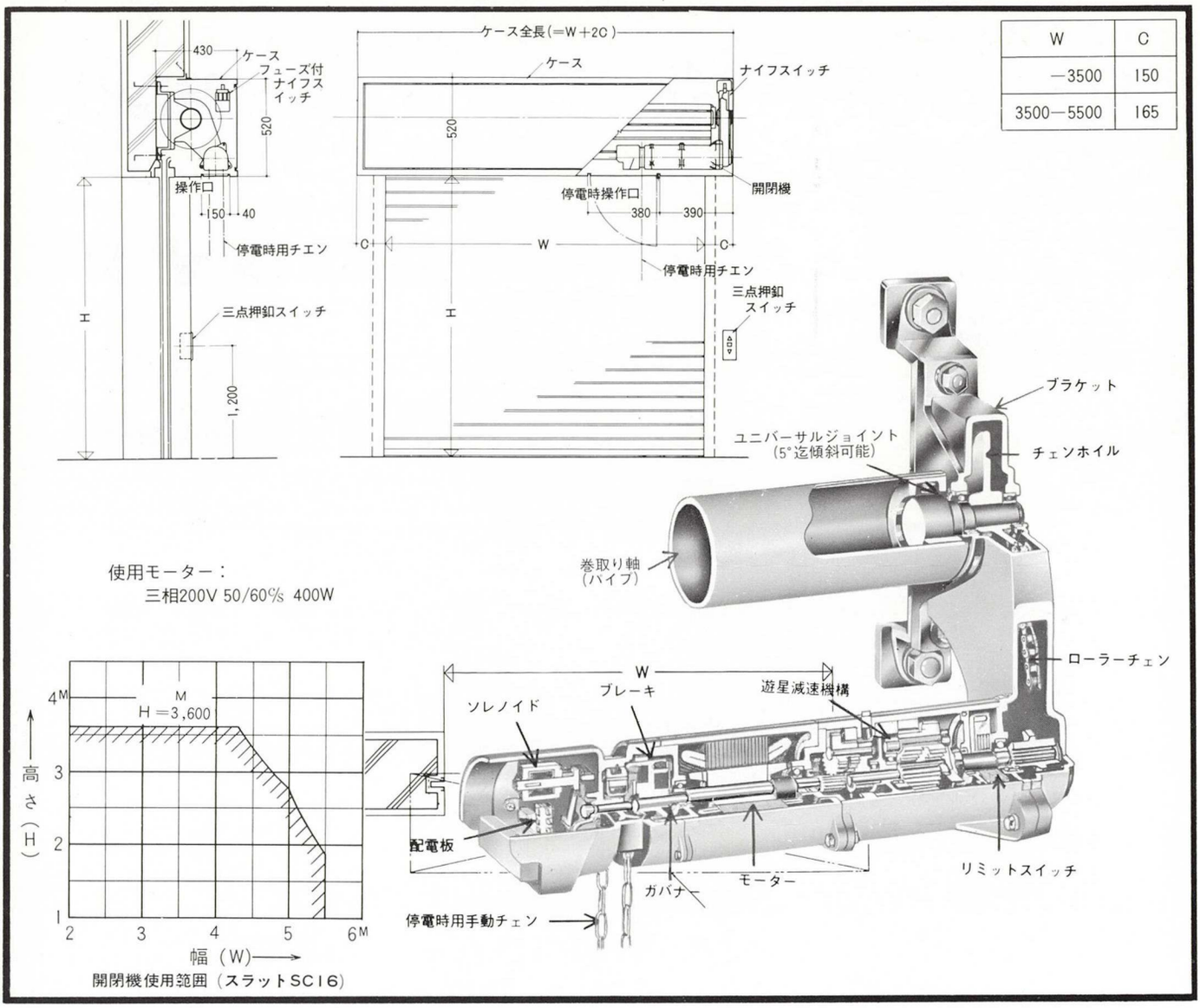
クリートボンド



大阪支社
大阪市東淀川区中島町4-8-3
TEL 大阪06－303－1117(代)
姫路ＡＢＣ商会
TEL 姫路079－25－1505
水島営業所
TEL 倉敷0864－46－1515(代)
四国営業所
TEL 高松0878－22－6221(代)
中国ＡＢＣ商会
TEL 広島0822－21－3096(代)
九州営業所
TEL 北九州093－52－9545
九州ＡＢＣ商会
TEL 福岡092－28－3951(代)

札幌出張所
TEL 札幌0122－23－7904(代)
仙台出張所
TEL 仙台0222－21－5536(代)
北陸出張所
TEL 新潟0252－28－8867(代)
本社
東京都千代田区永田町2-12-14
TEL 東京03-580-1411(大代)
宇都宮営業所
TEL 宇都宮0286－4－2854
横浜営業所
TEL 横浜045－261－3665
静岡営業所
TEL 静岡0542－55－9103
名古屋出張所
TEL 名古屋052-331-9611(代)

日本のシャッター界をリードする画期的新製品!!



W	C
—3500	150
3500—5500	165

使用モーター：
三相200V 50/60% 400W

開閉機使用範囲（スラットSC16）

L型 電動開閉機

出願中　特許　リミットスイッチ　実用新案　巻取り軸との連結機構
ガバナー機構　およびL型機構
手動機構　チエン収納箱

L型電動開閉機は、日本シャッター技術研究所において、長年にわたり、国立大学精密機械工学部諸教授の指導をあおぎつつ、当社技術陣が総力をあげて研究開発し、遂に従来の開閉機の概念を破って完成した画期的な新製品です。

この開閉機には独創に満ちた新機構が数多く取り入れられており(特許3件、実用新案2件を出願中)、減速機、モーター、ブレーキ機構、停電時用手動装置はもとより、リミットスイッチ、配電板に至るまで、すべてを一つの円筒内にコンパクトに納めてあります。

従って、建築設計上の納りが非常に簡単で、しかも、取付やその後の保守点検等も楽にできるよう考案されております。

これらの点から見て、従来の製品に比べ総ゆる点に秀れており、シャッター開閉機の決定版といえるでしょう。

●特長●

1. 開閉機を設ける場所の心配がいりません。
2. 凸部のない真直なシャッターケース。
3. 袖壁は不用です。
4. 減速機構はすべて完全密閉式です。
5. 小型で耐久力に富む減速機構。
6. 給油の必要がありません。
7. エンドレス強力ローラーチエンの内造。
8. リミット・スイッチを完全に内造。
9. 手動操作をひとつにしました。
10. ヒューズ装置の取付けが可能。
11. 一斉・両面・遠隔操作いづれも可能です。

株式会社 日本シャッター製作所

東京工場　川崎市新丸子東3丁目1159番地　電話(代)中原(41)6325
大阪工場　大阪市東淀川区田川通6丁目38番地　電話(代)(301)3656
九州工場　福岡県粕屋郡粕屋町仲原釜屋2727番地　電話(代)(65) 6131
名古屋工場　名古屋市中川区北江町2丁目12番地　電話(代)(361)7441

営業所　仙台　静岡　高松　北九州
東部　北陸　広島　鹿児島
城西　神戸　大分
横浜　岡山　宮崎

◀神戸製鋼所建設機械工場の見学会

日　時　2月7日（土）13.50（集合）→16.00（解散）

集合場所　国鉄山陽本線・大久保駅出口付近・目標会旗

見学場所　兵庫県明石市大久保町福田123（電話明石（078）-936-1331）
株式会社神戸製鋼所大久保工場内建設機械工場

見学種目　P＆H……パワーショベル・トラッククレーン・油圧式ショベル・油圧式クレーン・パイルハンマー
ALLIS-CHALMERS……ホイールローダその他万能掘削機
以上の製作・組立・運転・検査などの見学後工場にて解散

〔参考〕自由行動（運賃は各自負担）
往　12.45　大阪発下り姫路行→13.43 大久保着（運賃240円）
復　16.33　大久保発上り草津行→17.39 大阪着（　〃　〃　）

定　員　30名

申　込　往復はがきに限ります。はがきは1枚に1名限りとし，氏名・勤務先名および所在地・役職・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入の上1月27日までに事業課へ。ただし定員を超過したときは抽せんにて決定し，ご通知いたします。
この見学会は神戸製鋼所大久保工場のご厚意とご歓待をうけて催すことになりました。ついては神戸製鋼所と同業の方は申込をうけても参加をご遠慮願うことがありますから，ご了承おき下さい。

◀清酒白雪の新旧醸造工場の見学会

日　時　2月21日（土）13.20（集合）→16.30（解散）

集合場所　阪急電車伊丹線終点，伊丹駅2階改札出口付近・目標会旗

見学場所　伊丹市中之町342番地　白雪の萬歳蔵
〃　伊丹291番地　〃　富士山蔵

見学順序　阪急電車伊丹駅発　萬歳蔵　富士山蔵　富士山3号
富士山2号屋上ホールへ（後ここで解散）
このホールでは小西酒造株式会社のご挨拶を承り，しぼりたての清酒のご馳走になりながら，竹中工務店の作業所長，小原弘充氏の「酒の由来について」興味あるお話を伺うことにしております。また帰りには酒の粕を土産にいただく筈です。

〔参考〕自由行動（運賃は各自負担）
往　12.52　阪急梅田発神戸線普通，塚口乗換→13.17伊丹着
復　17.05　阪急伊丹発塚口乗換→17.30神戸線普通，梅田着
（運賃片道　60円）

定　員　50名

申　込　往復はがきに限ります。はがきは1枚に1名限りとし，氏名・勤務先名および所在地・役職・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入の上2月10日までに事業課へ。ただし定員を超過したときは抽せんにて決定しご通知いたします。この見学会については毎度のように竹中工務店のご斡旋により，小西酒造株式会社のご厚意と歓待をうけて催すことになりました。ついては酒造業の方は申込をうけても参加をご遠慮願うことがありますからあらかじめご了承おき下さい。

謹賀新年　昭和45年元旦　（50音順）

浅井貞治
株式会社　双星社竹腰建築事務所　代表取締役
大阪市北区堂島中2丁目37　電話（341）6671
自宅・豊中市蛍池東町3丁目109　電話（52）5861

青田豊吉
青田設計事務所所長
姫路市坂田町54　姫路建設会館　電話0792(24)9012
自宅・姫路市船津町仁色3939　電話香寺079332-235

青柳不折
株式会社　岡本組　取締役社長
大阪市西成区玉出本通4の1　電話（651）7775
自宅・大阪市西成区玉出本通5—87　電話（661）3370

青島憲輔
青島設計室　所長
名古屋市中村区米屋町2埼玉銀行ビル　電話052(582)7171代
自宅・名古屋市西区枇杷島町2丁目35　電話052(531)1915
追補

青盛繁男
青盛建材株式会社　取締役社長
広島市鉄砲町5番16号　電話（21）2281
追補

赤崎尚信
赤崎建築事務所所長
大阪市北区南森町2の9の1　電話(361)0982・8388
自宅・西宮市田代町9の4－503　電話0798（67）7129
追補

指宿真智雄
株式会社　建築デザイン1級建築士事務所　代表取締役
大阪市東区南本町4丁目47（イトウビル）
電話（252）4905
自宅・京都市左京区八瀬野瀬町54　電話075（781）6573

尾崎申一
株式会社　間組大阪支店　取締役支店長
大阪市東区横堀2丁目70　電話（203）2821代

阪口重一
阪口建設株式会社　取締役社長
大阪市東区京橋3の68　北浜ビル2号館
電話（941）8441

謹賀新年　昭和45年元旦　(50音順)

淺沼猪之吉
株式会社 淺沼組 取締役社長
大阪市天王寺区東高津町8番地の1　電話 (762) 0251
自宅・奈良市学園南1丁目7番15号　電話0742(45)0681

網野栄
株式会社 研文社 代表取締役
大阪市北区堂山町66　電話(312)9265代

伊東正也
株式会社伊東建築設計事務所代表取締役
大阪市浪速区幸町通2丁目6　清光ビル
電話(562)4343代・4344
自宅・西宮市松生田町129番地の2　電話0798(22)3598

浅野真澄
株式会社 浅野建築設計事務所 代表取締役
大阪市天王寺区城南寺町9の27　電話 (761) 8218
(762) 1346
(768) 3236
自宅・大阪市住吉区南住吉町2丁目103　電話(691)2449

荒木芳邦
株式会社 荒木造園設計事務所 代表取締役
大阪府池田市鉢塚2丁目8番21号
電話0727(61)8874代

伊藤喜三郎
株式会社 伊藤喜三郎建築研究所 取締役社長
東京都中央区銀座7の9－17　電話 (571) 6166～9
自宅・東京都品川区東五反田3の16－55　電話(441)5437

淺海正雄
淺海電気株式会社 取締役社長
大阪市北区老松町1丁目22　電話 (362) 8701－8

井関章
株式会社 藤田組 取締役広島支店長
広島市国泰寺町2の3－23　電話(41)4131代

伊藤權治郎
株式会社 伊藤組 取締役社長
彦根市安清東町95　電話07492(2)3141代
自宅・彦根市本町39　電話07492(2)0025

芦原義重
関西電力株式会社 取締役社長
大阪市北区中之島3丁目5　電話 (441) 8821代

井田與三治
日本陶管株式会社 取締役社長
愛知県刈谷市若松町2丁目8　電話0566(21)2581～4
自宅・愛知県刈谷市寿町2の2　電話0566(21)0360

伊藤三郎
大栄電気株式会社大阪支店 常務取締役支店長
大阪市西区京町堀2丁目35　電話(443)0631代
自宅・豊中市北桜塚3丁目8番7号　電話068(52)6247

東輝夫
株式会社 三国タイル店 代表取締役
大阪市東淀川区十八条町3丁目7　電話(393)1951代
自宅・吹田市藤白台2丁目28－13号　電話068(72)3256

井手正雄
社団法人 日本建築協会京都支部支部長
京都市中京区押小路通柳馬場東入橘町645
京都建設会館内　電話(211)2857
自宅・京都市中京区麩屋町通二条南　電話(231)1492

伊藤康夫
有限会社 伊藤工務店 取締役社長
大阪市東淀川区十三南之町3の7　電話 (301) 3091
(302) 1460
自宅・大阪市東淀川区十三南之町3の35　電話 (302) 2824

東秀保
株式会社 東建築設計事務所 代表取締役
大阪市北区天神橋筋3丁目68
三海ビル　電話 (358) 5598

伊黒克治
株式会社 雄電社大阪支店 常務取締役支店長
大阪市北区神山町26　電話 (312) 1171代
自宅・吹田市青山台3丁目21－4　電話068 (72) 3162

飯田精次郎
共同設計株式会社 代表取締役
大阪市北区富田町9　電話(364) 5836
自宅・豊中市本町2丁目56　電話 068(52)5775

姉川正男
東光電気工事株式会社大阪支社 取締役支社長
大阪市東区高麗橋5丁目28　電話 (202) 0325～9

伊丹久吉
株式会社 藤木工務店 取締役副社長
大阪市東区両替町1の13　電話(942)1461代

生田重政
日本建設株式会社 取締役社長
大阪市東区安土町4丁目5　電話(261)7591～6
自宅・芦屋市朝日ケ丘町258番地の2　電話0797(23)0657

謹賀新年　昭和45年元旦　（50音順）

池田宮彦
株式会社 池田宮彦設計事務所 代表取締役
大阪市南区瓦屋町3番丁オートセンタービル　電話（761）0360
自宅・堺市上野芝向ケ丘町4丁1405　電話0722(78)0034

一宮能和
日泉化学工業株式会社　常務取締役
大阪市西区土佐堀通1丁目27−2（タケウチビル）
電話(443)2261
自宅・神戸市灘区篠原南町2の3−24　電話078(87)3479

今井正隆
有限会社 三和建築事務所 代表取締役
大阪市旭区北清水町13　電話（951）1791

石井　郡
東洋基礎工業株式会社大阪営業所 取締役営業所長
大阪市西区京町堀1丁目156(中谷ビル)　電話（441）1013
自宅・豊中市新千里北町3の1
新千里北町第3団地 C40−204　電話 068(72)3050

稲葉重郎
建財設計工務株式会社　取締役社長
大阪市北区芝田町97　電話(372)5097(代)
自宅・八尾市山本町南5−13　電話0729(22)3587

今西茂雄
株式会社今西建築デザインルーム 代表取締役
大阪市西区北堀江通2の47　電話（541）3051〜2
自宅　同　上

石川寛三
石川建築事務所　所長
大阪市天王寺区茶臼山町111　電話(779) 9491
自宅・宝塚市切畑長尾山2の317　電話0727(59)2963

井上定雄
井上定株式会社　取締役社長
東大阪市金物町1番12号　電話06(723)2631
自宅・豊中市本町5丁目114　電話068(52)4365

今西壽雄
株式会社 今西組 取締役社長
大阪市天王寺区上本町7丁目2番地の1 上六ビル内
電話（772）1251代
自宅・大阪府高石市羽衣2丁目4の1　電話0722(61)1179

石田綽男
株式会社　石田建築研究所　所長
東京都港区高輪4の2−6　電話 03 (443) 9321

井上淨夫
株式会社　井上浄夫商店　代表取締役社長
大阪市西区江戸堀1の101　電話（441）8531代
自宅・西宮市甲子園三番町9の5　電話0798(41)4661

取締役会長 今村　騰
取締役社長 立石行男
中央電気工業株式会社
大阪市北区梅ケ枝町56　電話（312）8881
自宅・今村騰・大阪市阿倍野区万代1丁目2−16　電話（621）8805
自宅・立石行男・神戸市灘区浜田町1丁目2番24号　電話078(82)4156

石田秀宏
松田平田坂本設計事務所大阪出張所所長
大阪市北区堂島上3の10　電話(344) 7821
自宅・東京都世田谷区桜ケ丘2の8−6−202
電話 03(429)5074

井上達明
井上達明建築事務所　所長
大阪市西淀川区竹島町3の24　電話 (473) 1069 (471) 4871
自宅・大阪市西淀川区竹島町3の31　電話（471）4871

今元康彦
近畿電気工事株式会社　取締役副社長
大阪市北区南扇町11　電話（312）1281

磯道秀夫
太平建設株式会社建築士事務所 代表取締役
松山市味酒町2丁目13−17　電話（21）2023
自宅・松山市味酒町2丁目13−16　電話 同　上

井上福藏
株式会社　井上組　代表取締役
大阪市都島区網島町6番25号　電話(351)0530 (352)4031〜4
自宅・東大阪市東石切町6丁目4番4号　電話0729(81)2526

入江謙二
株式会社　竹中工務店広島支店　取締役支店長
広島市中町8番12号　電話0822(48)3321代

市川繁雄
日本管工業株式会社　取締役社長
京都市南区西九条豊田町20　電話(681)5101〜5
自宅・京都市左京区下鴨芝本町37　電話(781) 0289

井上正一
名古屋建築設計事務所　所長
名古屋市中村区椿町4の28(国鉄会館内)　電話(571)1271大代 (551)2025直
自宅・名古屋市千種区下方町4の30　電話（711）9400

岩佐直則
有限会社 岩佐建築設計事務所 代表取締役
尼崎市西本町7の268　電話06 (411) 3094
東京事務所・東京都新宿区四谷4の23　電話03 (351) 3256
自宅・西宮市上甲子園2の11−23　電話0798(47)5753

謹賀新年　昭和45年元旦　(50音順)

岩崎甚太郎
社団法人 日本建築協会 参与
大阪市東区北浜3の37 電話(231)9648
自宅・兵庫県川西市花屋敷1の32−11 電話0727(59)9317

内田成之
須賀工業株式会社

越智隆晴
株式会社 高橋建築事務所 会長
神戸市生田区中山手通2の107（大信ビル7階）
電話078(33)7955
自宅・神戸市東灘区本山町田中294 電話078(41)0314

岩崎徹
株式会社 岩崎建築設計事務所 代表取締役
奈良市法蓮立花町1046 電話0742(22)2283代
自宅・奈良市学園町北1丁目5-11 電話0742(45)1513

江川好巳
株式会社 山下寿郎設計事務所大阪支社 支社長
大阪市東区北浜5の11 電話(231)4217・7321
自宅・芦屋市山手町16 電話0797(22)9269

置塩光
株式会社 置塩建築事務所 取締役社長
神戸市生田区京町70 松岡ビル 電話 078(39)3515
大阪市北区堂島上1丁目2 新山本ビル 電話 (341) 6724
自宅・神戸市東灘区御影町上ノ山1661-6電話 078(85)4681

岩崎久雄
高千穂電機株式会社 取締役社長
大阪市都島区都島中通3丁目7−6 電話 (922) 3151
自宅・大阪市旭区大宮西7丁目123電話 (952) 5270

小川卯一郎
日本電設工業株式会社大阪営業部 取締役部長
大阪市大淀区豊崎西通1の20−9 電話 (372) 3531
自宅・西宮市桜町2の23 電話0798(34)3027

大井弘治郎
株式会社 大井建築設計事務所 代表取締役
大阪市北区宗是町44第一ビル 電話 (444) 4521〜2
自宅・箕面市百楽荘4丁目4−11 電話0727(21)4113

岩崎弘
株式会社 教育施設研究所大阪事務所 所長
大阪市西区立売堀北通2の27（大信ビル） 電話 (531) 0913
(541) 7301
自宅・奈良市法蓮立花町1046 電話0742(22)2283

小河吉之助
株式会社 小河建築設計事務所 取締役社長
大阪市南区瓦屋町4の8 電話 (761) 6957代
自宅・寝屋川市東香里園町18の14 電話0720(31)2609

大澤幸平
大幸建設株式会社 取締役社長
大阪市東区今橋5の2 電話 (203) 0065代
自宅・豊中市玉井町1の8−18 電話 068 (52) 3237

上田良治
U.A. 建築事務所 代表取締役
大阪市東区谷町5丁目30（新野村ビル内）
電話 (768) 2392・2941・2942
自宅・寝屋川市本町17の18 電話0720 (21) 0320

小川正
株式会社 竹中工務店 常務取締役
大阪市東区本町4丁目27 電話 (252) 1201

大下順三郎
平和建設株式会社 取締役社長
大阪市城東区関目町1の40 電話(939)4741〜5
自宅・大阪市旭区新森小路中3の94 電話 (952) 1240

上村一
株式会社 一級建築士事務所京都建築事務所 代表取締役
京都市中京区三条柳馬場東入中之町10
電話 075 (211) 0562
(231) 5681
自宅・西宮市五月ケ丘3番5号 電話0798 (34) 4333

小川実
大阪建築設計監理事業協同組合 理事長
大阪市西区土佐堀通5丁目58（ヤマタマビル） 電話 (448) 4110
自宅・大阪市港区市岡1丁目1番26号 電話 (573) 5831代

大林芳郎
株式会社 大林組 取締役社長
大阪市東区京橋3丁目75 電話 (941) 0861
自宅・神戸市東灘区御影町御影字上の山1682の1
電話078 (85) 2501

牛田正郎
日本熱学工業株式会社 取締役社長
大阪市北区万才町50 電話 (312) 8671

尾亀清四郎
株式会社 三晃商会会長
大阪市北区富田町16 電話 (363) 1371
自宅・枚方市岡山手町15の4 電話 0720 (41) 3427

大原正次
明和管工業株式会社 代表取締役社長
京都市南区吉祥院池ノ内町1番地 電話075(671)7301代
(681)7171代
自宅・京都市左京区修学院茶屋ノ前町28 電話075(781)5227

謹賀新年　昭和45年元旦　(50音順)

大森久司
近畿電気工事株式会社　取締役社長
大阪市北区南扇町11　電話(312) 1281

奥野晴弘
株式会社 和光建築設計事務所 代表取締役
大阪市浪速区新川3丁目630　電話(633) 0141～2

亀井晃治
一級建築士事務所
株式会社 A.R.I建築事務所　代表取締役社長
大阪市南区谷町8丁目8－2　久寿野木ビル　電話(762) 1405 1456
自宅・奈良市六条町1537　電話0742(45)2995

岡澤勇
岡澤建築設計事務所　所長
大阪事務所・大阪市北区梅ケ枝町146（梅ケ枝ビル2階）　電話(362) 6083
自宅・大阪府茨木市大字清水433　電話0726(43)5230

奥村浩
株式会社　ノーリツ　代表取締役社長
神戸市生田区明石町32　電話 078(39)3361
自宅・西宮市津門西口町5の21　電話0798(22)3659

辛木貞夫
東海興業株式会社(大阪駐在)常任顧問
大阪市北区梅田町27(サンケイビル)　電話(313)0451
自宅・芦屋市宮川町1の20　電話0797(22)0328

岡田正昭
河内石材工業株式会社　代表取締役
大阪府大東市灰塚6丁目3－22　電話(788) 7761代

嘉納伝三
三宝電機株式会社　取締役社長
大阪市北区絹笠町50　電話　(364)1471
自宅・芦屋市岩園町184の2　電話0797(22)2191

唐木道治
株式会社　唐木建築事務所　所長
東京都文京区本郷1の12－9　電話03(812)2384・2385
自宅・東京都小金井市貫井南町1の13－12　電話0423 (81) 2041

岡橋作太郎
日建設計工務株式会社　取締役副社長
大阪市東区横堀2丁目38　電話(203)2361
自宅・芦屋市打出春日町156の1　電話 (22) 4500

梶本秀尾
八千代電設工業株式会社　取締役社長
大阪市東区森之宮東之町392　電話 (941)6531代
自宅・堺市大美野107－4　電話0723(7)2548

川口喜代枝
株式会社 協同設備事務所 取締役社長
名古屋市東区富士塚町3丁目2　電話052(971)2275
自宅・名古屋市千種区稲舟通2丁目7　電話052(751)2613

岡本茂樹
岡本茂樹建築事務所
神戸市灘区楠丘町6の2－9 電話(85)2020
自宅・同　上

鼎秀夫
株式会社　カナエ商会　代表取締役
大阪市北区空心町1丁目40　電話 (352) 3412代
自宅・枚方市香里園山之手町9の2　電話 0720 (31)3019

川崎敬三
株式会社　近畿建設　代表取締役
大阪市西区靱本町4の103　電話(532)0081
自宅・大阪市浪速区新川2の666　電話(632)7369

岡本行善
株式会社 昭和設計事務所　取締役社長
大阪市西区西長堀北通1の8（四つ橋ビル）　電話(532) 0415代
自宅・芦屋市朝日ケ丘町103　電話0797(23)1493

金光五郎
万年スレート株式会社　代表取締役

川田祐三
川田株式会社　代表取締役
大阪市港区波除3丁目7番7号　電話(583)1017～9
自宅・大阪市港区波除3丁目12番20号　電話(583) 2492

岡本美男
株式会社　巴商会　常務取締役大阪支店長
大阪市北区堂島上2の38　電話(344) 1441代
自宅・宝塚市南口1の4－18　電話 (86) 2909

上沼広司
高島株式会社大阪支店　常務取締役支店長
大阪市東区本町3の16　電話(262) 1881

川谷勇
川谷建築設計事務所　所長
京都市左京区一乗寺清水町15　電話075(781)1148代
自宅・同　上　電話 同　上

謹賀新年　昭和45年元旦　(50音順)

川中正道

三協アルミニウム工業株式会社大阪支店 取締役支店長
大阪市西区京町堀1丁目125(東洋ビル202号室)
電話 (443) 9601～4
自宅・豊中市上野7丁目64番5号 電話068(53)5915

木村謹次

株式会社 木村工務所 取締役社長
大阪市南区南炭屋町38 電話(271)5678
自宅・大阪市東住吉区平野元町7の14 電話(791)0834

栗山徳三郎

栗山板硝子店 店主
大阪市南区上汐町2の41 電話(761)0635・0636

河井覺弘

河井建築設計事務所 所長
大阪市東区京橋2丁目15(松村ビル4階)
電話 (941) 0987代
自宅・奈良市登美ヶ丘4丁目 電話0742(45)4378

北野正雄

有限会社 中西建築事務所 代表取締役
大阪市北区中之島3丁目3(朝日ビル) 電話 (231) 9531
自宅・神戸市葺合区野崎通4丁目1－5 電話078 (23) 8225

桑田正造

桑田硝子株式会社 取締役社長
本 社・神戸市生田区中町通3丁目5 電話078(34)4741
須磨センター・神戸市須磨区外浜町3丁目1番25号 電話078(72)6811
大阪店・大阪市東淀川区塚本町4丁目5－1 電話(302)8121

河内義就

有限会社河内義就設計事務所 代表取締役
広島市上幟町2の37 電話 (28) 2271代

木下國男

株式会社 内外写真 代表取締役社長
大阪市北区堂島北町16 電話(361)9055大代
自宅・豊中市北桜塚3丁目9番15号 電話068(53)0892

小泉昇

株式会社 大建エンジニアーズ 代表取締役
大阪市西区江戸堀1丁目52(堀田ビル4階)
電話 (441) 1366代

河津喜之助

河津装飾株式会社 代表取締役
大阪市北区堂島上1 電話 (341) 1351～3
自宅・豊中市服部本町1の10 電話 068 (62) 6865

清田文永

株式会社 梓建築事務所 代表取締役社長
東京都千代田区永田町2丁目14番2号 電話(580)4411代
(山王グランドビル5階)

小泉善重

株式会社 栄和設計事務所 取締役社長
大阪市福島区堂島浜通り4丁目14 電話 (452) 1651
自宅・羽曳野市高鷲7の3－11 電話0729(55)4416

神崎吾明

株式会社 神崎組 取締役社長
姫路市北条口86の3 電話0792(23)2021大代
自宅・姫路市北条口62 電話0792 (23) 0210

所長 **工藤雅三**
次長 **工藤建夫**
工藤雅三建築事務所
大阪市此花区四貫島大通2丁目12 電話(461)0043・4198・4393
自宅・大阪市此花区四貫島大通2丁目12 電話 (461) 9293

小杉茂治

シャープ株式会社 電化事業部 住宅関連機器部長
八尾市北亀井町3の1－72 電話0729(791)7301大代
自宅・羽曳野市野々上212 電話0729(54)4484

菅野栄

株式会社大阪城口研究所 常務取締役
大阪市北区高垣町1 電話 (372)7151代
自宅・京都市左京区西梅ノ木町50

熊澤六朗

矢島建設株式会社大阪支店 取締役営業部長
大阪市南区北炭屋町8番地 電話 (271) 5837
自宅・大阪府吹田市内本町3丁目23番8号 電話06(381)0451

小西岬

株式会社 田中小西建築事務所 取締役社長
大阪市西区阿波座南通2の60 電話(532)4051代
自宅・大阪市東住吉区平野西脇町373の4 電話 (701) 0297

木村悦造

木村工機株式会社 代表取締役
大阪市東区上町13 電話 (761) 6921
自宅・八尾市山本町南6丁目67 電話0729(23)3960

栗林一馬

栗林建築士事務所
和歌山市和歌浦鶴立嶋527 電話 (44) 3623

小林清

株式会社 新住宅社 代表取締役
大阪市北区常安町17 電話(444)4677
自宅・大阪市阿倍野区北畠3丁目1番7号 電話(651)1594

謹賀新年　昭和45年元旦　(50音順)

小林三甫朗
小林住宅産業株式会社　取締役社長
大阪市東区御堂筋難波神社前　電話(251)8371

佐治誠次
株式会社 吉田建築事務所 取締役社長
大阪市西区北堀江上通3の22　電話(538)2991代
自宅・枚方市香里丘9公団住宅D－30－205　電話0720(54)3283

酒井辰三
三光金属工業株式会社　取締役社長
大阪市南区鰻谷中之町80　電話(271)6234代
自宅・豊中市本町10－98　電話068(52)3888

小林得志
株式会社 小林得志建築事務所 代表取締役
大阪市北区堂島北町20　電話(362)5658～9
自宅・西宮市丸橋町6の16　電話0798(66)2934

佐藤音松
株式会社 今西組 取締役会長
大阪市天王寺区上本町7丁目2番地の1上六ビル内　電話(772)1251
自宅・芦屋市六麓荘町97　電話0797(2)2226

酒谷秀志
EEU株式会社設備計画聯合　代表取締役
大阪市西区南堀江立花通3の86（良友ビル）
電話(541)7044
自宅・大阪府南河内郡狭山町くみの木　電話0723(65)0264

小松英二
東海興業株式会社大阪支店　専務取締役　大阪支店長
大阪市北区梅田町27（サンケイビル）　電話(313)0451代

佐野正一
株式会社 安井建築設計事務所 代表取締役社長
大阪市東区淡路町2の34　電話(202)3836代
自宅・西宮市雲井町4の9　電話0798(22)1569

所長 坂内幾三郎
専務取締役 坂内幾男
株式会社 坂内建築設計事務所
大阪市西淀川区野里東3丁目13
電話(472)0631代～3

兒泉新
高岡建設株式会社　取締役社長
大阪市西区新町通1丁目77　電話(532)4951代
自宅・神戸市東灘区本山町森西之町6

斉藤健一
島藤建設工業株式会社大阪支店　常務取締役支店長
大阪市北区茶屋町31番地の2　電話(372)6001～4

坂本承明
阪神建鉄株式会社　取締役社長
東大阪市中野214　電話(781)0054
0729(62)5581～5

高武主計
コータケ建築設計事務所　所長
大阪市西区江戸堀5丁目155　新山越ビル二階
電話(448)0178・2408
自宅・大阪市西区北堀江御池通り4の20　電話(531)2812

齋藤博
株式会社 三晃商会 取締役社長
大阪市北区富田町16　電話(363)1371
自宅・箕面市百楽荘3丁目4番3号　電話0727(21)2341

四方靖郎
四方設計工務株式会社 1級建築士事務所
京都市伏見区深草関屋敷町32　電話(641)6324
自宅・京都市伏見区深草芳永町666の28　電話(641)3080

鴻池藤一
株式会社 鴻池組 取締役社長
大阪市東区北久宝寺町4－27　電話(252)3100大代
自宅・京都市北区平野鳥居前町86　電話075(461)1526

雑賀孝夫
株式会社 雑賀建築設計事務所 代表取締役
和歌山市西汀丁1番地　電話0734(31)1371
自宅・和歌山市小松原通5丁目1　電話0734(23)5888

志賀信男
志賀設計株式会社　代表取締役
福岡市塩屋町1丁目21　電話(82)5631～3
自宅・福岡市田島友泉亭942の21　電話(87)6110

佐久間逸治
株式会社 佐久間逸治建築設計事務所　代表取締役
大阪市阿倍野区松崎町3丁目14番18号　電話(623)6091代
自宅・大阪市阿倍野区共立通2の1－3　電話(651)4754

雑古徳男
昭和鋼機株式会社　大阪支店　常務取締役支店長
大阪市西淀川区佃町3丁目155　電話(471)6051～4
自宅・西宮市桜谷町4の34　電話0798(33)5548

設楽貞三
株式会社　洋建築事務所　代表取締役
大阪市北区松ケ枝町88（河田ビル）　電話(358)6372・3
自宅・神戸市須磨区桜木町3丁目3－18　電話078(71)0324

謹賀新年　昭和45年元旦　(50音順)

塩路寅雄
株式会社 塩路建築事務所 代表取締役
大阪市南区塩町通り3の14（芦池ビル） 電話 (251) 3231
自宅・堺市中百舌鳥町7の1183宮路池団地3－102 電話0722(86)9229

白石登喜男
株式会社 藤木工務店 常任顧問
大阪市東区両替町1丁目13 電話(942)1461
自宅・大阪市住吉区墨江中1の68 電話(671)3792

副島栄八
株式会社 高村電機製作所 取締役社長
大阪市北区河内町2の28 電話 (358) 6351代
自宅・八尾市長池町5の4 電話0729(22)5112

繁田実
繁田建築事務所 所長
大阪市西区靱1丁目144（イデビル） 電話 (441) 8537 (443) 1798
自宅・大阪市東住吉区田辺本町1の42 電話 (741) 4155

城口庸平
株式会社大阪城口研究所 取締役社長
大阪市北区高垣町1 電話(372)7151 代
自宅・西宮市相生町6－40

田中幸三郎
田中建設株式会社 取締役社長
大阪市天王寺区北河堀町54 電話(771)2391
自宅・大阪市阿倍野区阪南町5の9－24 電話(622)0494

品川二三男
株式会社 品川建築事務所 代表取締役所長
福井・福井市順化1丁目1番19号 電話0776(22)6683
富山・富山市神通本通1丁目9 電話0764(31)4063

須賀豊治郎
須賀工業株式会社 取締役社長

田中清真
太洋組株式会社 代表取締役
大阪市北区梅田町47（新阪神ビル） 電話 (361) 2791
自宅・芦屋市西山町50 電話0797(22)0249

篠原太郎
株式会社 なにわ建築事務所 代表取締役
大阪市西区南堀江通2の48 電話 (531) 4428
自宅・箕面市箕面5丁目7－6 電話0727(21)3561

菅谷知巳
大阪電気暖房株式会社 取締役社長
大阪市西区江戸堀1丁目60 電話(441)8231 大代
自宅・名古屋市千種区山門町1丁目59 電話 052 (751) 0559

田中政二
大島應用化學工業株式会社 取締役社長
東大阪市新庄114 電話06(782) 4171～3 6734～8
自宅・大阪市城東区野江東之町4－99 電話(931)3506

渋谷幸雄
渋谷金属産業株式会社 取締役社長
大阪市南区鍛冶屋町52 電話 (211) 7333
自宅・八尾市二俣2 5 2の7 電話0729(22)8644

取締役社長 杉村正三郎
専務取締役 柏岡十三介
阪急電気工事株式会社
大阪市東淀川区十三西之町3丁目34 電話 (302) 0231～5

田渕誠也
株式会社 田渕建築設計事務所 代表取締役
和歌山市下町19 電話 (31) 0261
自宅・同 上 電話 (31) 0262

霜出邑二
株式会社 鴻池組九州支店 取締役支店長
福岡市大名1丁目14番45号 電話 092(75)7237
自宅・福岡市鳥飼3の9－14 電話 092(75)6521

隅田正美
第一工業株式会社大阪支店 取締役支店長
大阪市北区富田町30 電話 (364) 0977

田本栄一
高砂熱学工業株式会社 大阪支店 取締役支店長
大阪市北区梅田8（新阪急ビル） 電話 (312) 4521

庄野勝
不動建設株式会社 取締役社長
大阪市南区鰻谷仲之町57 電話 (271) 4771

錢高輝之
株式会社 錢高組 取締役社長
大阪市西区阿波座上通3丁目2 電話(531)6431大代

田谷清三郎
清光商事株式会社 代表取締役
大阪市西区南堀江上通1丁目18 電話 (541) 1661代

謹賀新年　昭和45年元旦　(50音順)

高須洪一郎

株式会社　朝日工業社　取締役社長
大阪市東淀川区加島町357　電話(302)2271
自宅・西宮市甲子園町3の8　電話0798(41)0494

辰村直治

株式会社　辰村組大阪支店　取締役支店長
大阪市東区徳井町2丁目36(東船場ビル)　電話(942)1701
自宅・東京都杉並区上高井戸2の2−47　電話03(303)3455

塚本猛次

日建設計工務株式会社　取締役社長
大阪市東区横堀2丁目38　電話(203)2361
自宅・宝塚市米谷字西野々18　電話0797(87)1940

高杉善久

株式会社　大成鉄工所　代表取締役
枚方市大字出口383　電話0720(31)7001代

橘泰治

共栄パーライト販売株式会社　代表取締役
大阪市東区森之宮西の町594　電話(941)9243代
自宅・八尾市南本町4丁目1−22　電話0729(22)0870

辻本豊

辻本豊設計事務所　所長
和歌山市東長町中の丁12の3　電話0734(24)6346
自宅・同上　電話0734(24)6347

高田伊三郎

昭和アルミニウム株式会社　取締役社長
堺市海山町6丁224　電話(722)(3)1181

丹司定治

アサヒ衛陶株式会社　取締役社長
大阪市住吉区上住吉町1　電話(637)6001
自宅・大阪市住吉区上住吉町404　電話(671)2531

恒成一訓

合名会社　つねなりすたじお　代表者
大阪市東区北浜3の40　電話(231)0141・7781

高橋勝郎

共立建設株式会社大阪支店　常務取締役支店長
大阪市東区谷町5丁目30(新野村ビル内)　電話(761)0112代

知見義夫

株式会社　斎藤省三商店大阪店　取締役支店長
大阪市西区土佐堀通1丁目1(大同ビル6階)
電話(443)3361代

土居一雄

社団法人　大阪建築設計協会　常務理事
大阪市西区土佐堀通5丁目58　電話(448)4110
ヤマタマビル
自宅・大阪市西区千代崎町2丁目24の2　電話(582)2570代

高橋俊吉

株式会社　荏原製作所大阪支社　取締役支社長
大阪市北区中之島2の22(新朝日ビル)　電話(203)5441
自宅・豊中市岡町南3丁目2番11号
豊中朝日マンションズ　電話068(53)0651

地頭政人

小俣シヤッター工業株式会社大阪支店　取締役支店長
大阪市北区若松町30　電話(364)4825・9004・9016

東畑謙三

株式会社　東畑建築事務所　代表取締役
大阪市東区伏見町5丁目19　電話(202)0391
自宅・神戸市東灘区住吉町縄手下1680　電話078(85)5043

高橋慶夫

株式会社大阪建築事務所　取締役社長
大阪市西区京町堀2丁目75　電話(441)9351代
自宅・大阪市東淀川区相川中通2の2−4　電話(328)0935

千原大五郎

株式会社　大阪建築事務所　常務取締役
大阪市西区京町堀2丁目75　電話(441)9351代
自宅・藤沢市鵠沼松ヶ岡1の15−25　電話0466(23)3124

時山龍太郎

時山設計事務所　所長
大阪市北区曽根崎上2丁目21(美都ビル)　電話(361)6248
自宅・大阪市東淀川区三国本町2の127　電話(393)9557

竹腰健造

株式会社双星社竹腰建築事務所代表取締役
大阪市北区堂島中2丁目37　電話(341)6671
自宅・西宮市松園町7番22号　電話0798(34)2650

津村芳仁

オリエンタルメタル製造株式会社　代表取締役
本社・兵庫県尼崎市長洲稲川新田44　電話(481)8085〜9
東京支社・埼玉県蕨市塚越5の6−32　電話0484(42)3115〜8
自宅・埼玉県大宮市高鼻町3の58　電話0486(41)0204

内藤一真

株式会社　竹内建築事務所　代表取締役
大阪市浪速区元町1の742(藤本ビル)　電話(649)1166代
自宅・大阪市阿倍野区王子町4丁目1番8−303号
電話(623)7385

謹賀新年　昭和45年元旦　(50音順)

内藤正克
株式会社 内藤建築設計事務所　代表取締役所長
兵庫県小野市上本町240の4(小野ビル) 電話07946(2)4757代
自宅・兵庫県小野市久保木町1063 電話07946 (2) 4668

中西正儀
佐藤工業株式会社名古屋支店　取締役支店長
名古屋市中之錦1丁目13番24号 電話052(231)7281代
自宅・名古屋市千種区猪高町高針字梅森坂48—27
電話052(701) 6634

永田鼎三
大阪電気暖房株式会社　相談役
大阪市西区江戸堀1の60 電話(441) 8231
自宅・豊中市上野6の27 電話068(55)3710

中井惣一郎
株式会社 中井總組 取締役社長
尼崎市常光寺元町1の3 電話(481)5461～5
自宅・尼崎市東園田町9の17 電話(491) 1386

中野順次郎
株式会社 中野建築事務所 代表取締役
大阪市北区堂島上2丁目39 電話 (341) 3561
自宅・豊中市曽根西町3丁目9番11号 電話068 (52) 4145

長屋齊
株式会社 朝日建築事務所　代表取締役所長
大阪市東区横堀3丁目30(京音ビル内) 電話(202)6408
自宅・吹田市青山台3丁目19の1

中川匠
中川匠建築設計事務所
大阪市北区浪花町38(新興ビル) 電話(371)3651
自宅・宝塚市米谷字石田18 電話0797(86)2391

中原茂
安宅エンヂニヤリング株式会社 取締役建築部長
大阪市東区京橋2丁目15—1 電話(942)2312

浪花利雄
東洋キヤリア工業株式会社大阪支店　支店長
大阪市北区堂島浜通1丁目25—1(新大ビル4階)
電話(344) 1512代
自宅・大阪市住吉区墨江東5丁目15 電話(693)0636

中川鉄雄
三井建設株式会社福岡支店 常務取締役支店長
福岡市大手門1丁目9番200号 電話092 (76) 2266

中村金三
中村金三商店　店主
京都市下京区楊梅通烏丸西入北側
電話075(351)1002・1184・8380
自宅・同　上

成田實尾
株式会社 成田商店
成田金属工業株式会社　代表取締役
商店・名古屋中村区米屋町2—3 電話052 (561) 3191
工場・愛知県海部郡蟹江町本町ウノ割 電話05679(5)3151

中川真佐吉
アポロ印刷株式会社　代表取締役
大阪市東区北新町2丁目7 電話 (942) 2951～5
自宅・東大阪市森河内本通3丁目17 電話 (781) 7995

理事長 **中村文夫**
所長 **坂静雄**
財団法人　日本建築総合試験所
本　所・大阪府吹田市藤白台5—125 電話068(72)0391
大淀分室・大阪市大淀区長柄西通2—35 電話06(351)7217

成田辰美
日刊建設通信関西支社 常務取締役支社長
大阪市西区京町堀1—68 電話(444)4451

中澤誠一郎
中澤建築事務所　所長
大阪市北区富田町38(新日清ビル) 電話(363)3881
自宅・守口市滝井元町3の27 電話(991)1848

中村豊
中村建築設計事務所
大阪市北区梅ヶ枝町114(関西ビル) 電話(362)1767
自宅・京都市下京区七条通東堀川西入八百屋町12
電話075(371)2755

西嶋徳太郎
株式会社 大阪建築事務所　専務取締役
大阪市西区京町堀2の75 電話 (441) 9351

中田亮吉
株式会社　日本総合建築事務所　取締役社長
東京都渋谷区神南1丁目12—16 電話03(463)5020代
自宅・東京都大田区山王1丁目29—3 電話03(771)2408

永井賢城
株式会社 久米建築事務所　取締役社長
東京都中央区銀座7丁目11番10号 電話03 (572) 1401代
自宅・藤沢市鵠沼海岸2丁目8番26 電話0466(36)7706

根津耕一郎
株式会社 根津建築事務所 代表取締役
大阪市東区平野町2の10(平和ビル) 電話 (231) 1632～3
自宅・宝塚市川面6丁目19番10号 電話 (86) 7862

謹賀新年　昭和45年元旦　(50音順)

野崎謙三

株式会社山下寿郎設計事務所　取締役社長
東京都中央区西八丁堀2丁目4　電話03(552)8311代
自宅・東京都文京区本駒込1の10−10　電話　03(941)8747

林唯夫

株式会社　昭和設計事務所　専務
大阪市西区西長堀北通1−8(四つ橋ビル)　電話(532)0415代
自宅・吹田市青山台3丁目41−11　電話068(72)3608

日名命雄

建築コンサルタント事務所関西　所長
大阪市東区安土町2の12(トヤマビル内)電話(271)4103
自宅・豊中市旭ケ丘9番64の1電話068(56)0200

能勢善樹

株式会社 能勢建築構造研究所 代表取締役
大阪市西区靱本町2丁目15(仲本ビル)電話(441)0378

原精一

甲南建設工業株式会社　代表取締役
大阪市東淀川区十三西之町4丁目3番地5
電話(302)1551代
自宅・西宮市名次町12番9号　電話0798(22)1504

樋口二三男

新日本空調株式会社大阪支店　取締役支店長
大阪市北区堂島浜通り1の25　電話(344)6031

萩正勝

株式会社　萩建築設計事務所　代表取締役
東京都目黒区青葉台2の20−14　電話03(719)1734
自宅・東京都目黒区平町1の16−6　電話　03(723)1074

原田重信

原田セメント化工株式会社
大統商事株式会社　代表取締役社長
泉州生コンクリート工業株式会社
大阪市此花区朝日橋通2の13　電話(462)1212代
(462)1471代
(462)1421代
自宅・尼崎市塚口町3丁目41−8　電話(421)4518

平田伊三郎

株式会社　平田タイル　取締役社長
大阪市西区阿波座中通1丁目　電話(532)1231大代
自宅・神戸市灘区上野通り8丁目10　電話078(86)4472

橋本正二

鹿島建設株式会社大阪支店　取締役支店長
大阪市東区瓦町5の71　電話(203)3381大代

原田守蔵

原田今商事株式会社　代表取締役
大阪市西区西長堀南通3の8　電話(541)7455代
(第2鶴崎ビル)
自宅・大阪市天王寺区生玉寺町6番地の2
夕陽丘パンション　電話(771)9792

平田作太郎

株式会社　平田タイル　副社長
大阪市西区阿波座中通1の5　電話(532)1234
自宅・京都市下京区綾小路通大宮東　電話(801)1806

畑典治

福井ビニール工業株式会社大阪営業所
取締役大阪営業所所長
大阪市南区長堀橋筋1の1 森久長堀ビル　電話(271)8531

伴一郎

株式会社　西原衛生工業所大阪店　取締役社長
大阪市大淀区中津南通4丁目11　電話(458)3531代

廣谷嘉秋

中建築設計事務所　代表社員
名古屋市中区西瓦町19(広瀬ビル)　電話(262)4411
自宅・名古屋市千種区日ケ丘2丁目2−21　電話(711)8010

畠中繁

株式会社翼建築設計事務所 代表取締役
大阪市西区靱2−23(新靱ビル)電話(441)2284
2288
9595
自宅・京都市右京区花園木辻南町12　電話(462)2495

伴秀雄

株式会社　西原衛生工業所大阪店　取締役会長
大阪市大淀区中津南4丁目11　電話(458)3531代

廣野悦二

日亜金属興業株式会社　取締役社長
大阪市北区木幡町8 2　電話(364)2771代
自宅・芦屋市岩園町299の11　電話(22)9101

浜口幹三郎

株式会社　淺沼組　専務取締役
大阪市天王寺区東高津町8の1　電話(762)0251
自宅・奈良市南登美ケ丘二名町3336の7　電話0742(44)3237

伴野貞三

ともいき会　代表
守口市豊秀町2の67　電話(992)5496

福中定三郎

社団法人　日本建築協会　常務理事
大阪市東区北浜3の37　電話(231)9648
自宅・枚方市香里園町26の68　電話0720(31)0549

謹賀新年　昭和45年元旦　(50音順)

福永　薫

株式会社 福永建築設計事務所 代表取締役
大阪市南区順慶町通4の61　電話 (251) 3102・5189
自宅・同　上

藤沢英雄

株式会社 藤沢建築設計事務所 代表取締役
大阪市南区大宝寺町中ノ丁29
電話(271)0040・6661・8964
自宅・豊中市上野坂1丁目7－13　電話068(52)2086

堀　元也

神戸材料株式会社　社長
兵庫県コンクリートブロック協会　会長
神戸市葺合区熊内町2丁目88　電話078(23)1421代
自宅・神戸市長田区花山町1丁目79 電話078(69)8350

福田朝生

株式会社双星社竹腰建築事務所代表取締役
大阪市北区堂島中2丁目37　電話 (341) 6671
自宅・西宮市甲子園砂田町17番地の29　電話0798 (48) 0989

藤田邦昭

株式会社 都市問題・経営研究所 所長
大阪市北区大融寺町98の5　阪急東ビル705
電話 (312) 3918・5089

本庄清一（弘樹）

株式会社　三晃商会　常務取締役
大阪市北区富田町16　電話(363) 1371
自宅・箕面市桜ケ丘3丁目6－11　電話0727(21)2655

福田好雄

ダイケンサッシ株式会社　取締役社長
堺市松屋町1の6　電話0722 (38) 1141

藤村清一

株式会社 日新建築設計事務所 代表取締役
大阪市北区壺屋町1丁目66　電話 (352) 6161
自宅・奈良市中山町937番地の37　電話0742(44)0201

本田史郎

本田工業株式会社 取締役社長
大阪市北区芝田町65(梅田商工中金ビル)　電話(372)0831～6
自宅・京都市東山区山科御陵平林町2番地　電話075(581)2217

福頼圭藏

株式会社 新興建材工業所 取締役社長
大阪市西区南堀江通6丁目39　電話(541)5757代
自宅・大阪市住吉区住吉町242の22　電話(673) 5120

藤本庄之助

株式会社　工盛社 代表取締役
大阪市城東区西鴫野6丁目43　電話 (961) 4460
(962) 1288
自宅・同　上　電話 同上

萬喜清三郎

バンポー工業株式会社　代表取締役
大阪市住吉区墨江中6丁目37　電話 (691) 1081代

藤井　明

新晃工業株式会社　代表取締役
大阪市東区大川町1淀屋橋勘銀ビル4階　電話(202)4761大代
自宅・西宮市松園町8番24号　電話0798 (22) 1091

布袋國雄

東西建築サービス株式会社　取締役社長
大阪市東区横堀2の48　電話 (202) 3626代
自宅・和歌山市新堀南ノ丁2丁目6－1　電話0734 (22) 9382

前川敬藏

株式会社 東畑建築事務所 取締役業務部長
大阪市東区伏見町5丁目19　電話 (202) 0391
自宅・京都市下京区西木屋町松原上ル　電話075 (351) 2083

藤井　榮

株式会社　藤井工業所　取締役社長
大津市本宮2の2－9　電話0775 (23) 0119代
自宅・京都市左京区松ケ崎泉川町23　電話 075 (781) 5333

星　廣文

平和建設株式会社常務取締役
大阪市城東区関目町1の40　電話 (939) 4741～5
自宅・門真市城垣町12の16　電話 0720 (81) 0667

松井秀一

亀井株式会社　取締役社長
大阪市東区南久宝寺町4丁目47　電話 (251) 1353

藤木鐵三

株式会社　藤木工務店　取締役社長
大阪市東区両替町1の13　電話 (942) 1461代

星野健児

日生不動産株式会社　代表取締役社長
大阪市東区高麗橋1丁目4　電話 (202) 3893

松岡晃一郎

アイエム換気工業株式会社　代表取締役
大阪市浪速区芦原町1183　電話 (561) 3901～3
自宅・堺市車之町東1の35

謹賀新年　昭和45年元旦　(50音順)

松田昌平
松田順吉
株式会社松田設計事務所
福岡市綱場町2番1号　明治屋ビル内　電話(27)7441代
出張所・東京都渋谷区神宮前5丁目2−18　電話(400)3854

三宅康介
八幡エコンスチール株式会社大阪支店　取締役支店長
大阪市東区平野町5の40　長谷川第11ビル
電話(203)5371

村田鞆二
明研化学工業株式会社　代表取締役
明石市中谷町888　電話078(913)3456
自宅・神戸市垂水区塩屋町西の田164　電話078(76)4186

松村雄吉
株式会社　松村組　取締役社長
大阪市北区空心町1の70　電話(352)1131

三輪泰司
株式会社　地域計画・建築研究所　代表取締役
京都市左京区吉田本町12番地15　電話075(761)2167代
自宅・京都市伏見区桃山与五郎町1番地4　電話075(601)3962

村本豊嗣
村本建設株式会社　代表取締役
大阪市天王寺区上本町9の49　電話(779)1571〜8
自宅・奈良県北葛城郡広陵町大字安部547
電話07455(2)6240

松本儀八
株式会社　三木組　相談役
大阪市東淀川区十三元今里北通2の54
電話(362)1451代
自宅・豊中市蛍池中町4の65　電話068(52)3448

南長吉
斎久工業株式会社大阪支店　代表取締役支店長
大阪市北区常安町11　電話(443)5041代
自宅・尼崎市塚口町6の20−7　電話(421)5136

室谷山水
室谷商事株式会社　取締役社長
神戸市生田区北長狭通4丁目1(英和ビル)
電話078(33)0881

松本大平
田島応用化工株式会社大阪営業所　所長
大阪市西区京町堀1の74　電話(441)5951
自宅・大阪市東淀川区下新庄町2　公団住宅22−4
電話(328)0029

株式会社バンデックス・ジャパン
大阪営業所一同
所長　南澤甚八
大阪市北区小松原町27　富国生命ビル
信越化学工業大阪支社内　電話(312)5765代

望月光夫
永和工業株式会社　代表取締役
大阪市生野区巽矢柄町128　電話(751)1271

松本六郎
松本金物株式会社　取締役社長
大阪市天王寺区上綿屋町6　電話(779)1581大代

宮飼克二
社団法人　日本建築協会　兵庫支部長
神戸市生田区下山手通5丁目23　兵庫建設会館内
電話078(35)2800
自宅・明石市人丸町2の47　電話078(911)2298

元吉勇太郎
株式会社　大末組　専務
大末プレハブ株式会社　社長
大阪市南区大和町1　電話(213)0555
自宅・大阪市旭区橋寺町417　電話(953)5121

丸山信
株式会社　丸山建築事務所　代表取締役
東京都港区北青山3丁目5番25号　電話03(401)2287代
自宅・東京都港区北青山3丁目11番1号

宮後健
株式会社　宮後建築事務所　代表取締役
大阪市天王寺区上汐町6の35　電話(772)8118
自宅・大阪市東住吉区山坂町1の5　電話(622)5130

盛道雄
株式会社　盛工務店　代表取締役
大阪市旭区赤川町2の8　電話(921)3471
自宅・宝塚市切畑字長尾山12の53

三宅普
株式会社　入江三宅設計事務所　代表取締役
東京都港区芝西久保桜川町28第10森ビル内
電話03(501)0286〜8
自宅・東京都世田谷区祖師谷1の32
電話03(300)6830

村上秀二
株式会社　村上工務店　取締役社長
大阪市大淀区豊崎東通3丁目16番地の16　電話(372)2924代
自宅・西宮市仁川町2丁目8−3　電話0798(51)0230

八十島健二
株式会社　竹中工務店大阪本店　取締役本店長
大阪市東区本町4丁目27　電話(252)1201
自宅・西宮市甲子園2番町5−30　電話0798(41)0598

謹賀新年　昭和45年元旦　(50音順)

安田誠一
安田レール株式会社　会長
大阪市南区末吉橋通1丁目17　電話(251) 7091

山田豊
大日本土木株式会社大阪支店　常務取締役
大阪駐在

吉田卯之松
株式会社 青木建設大阪支店 取締役支店長
大阪市大淀区大淀町南1丁目5 電話(458)5851大代

柳町政之助
柳町研究所株式会社　代表取締役社長
東京都品川区荏原7の4－2　電話(781) 0758

山出敬二
山出興産株式会社　代表取締役
大阪市南区大宝寺西之町21番地　電話(252)8591代
自宅・豊中市新千里北町2の7－10　電話068(72) 3633

吉田広助
株式会社　ナニワ商会　代表取締役
大阪市天王寺区烏ケ辻町61　電話(771)9123代
自宅・大阪市天王寺区烏ケ辻町60　電話(771) 9128

藪本芳一
藪本建築士事務所
和歌山市東長町10丁目13　電話0734(22)9930
自宅・同　上　電話 同 上

山本徳三
株式会社　山本工務店　代表取締役
大阪市南区鰻谷中之町14　電話(271)6106・4680
8666・8788
自宅・大阪市東住吉区山坂町1の10　電話(622)1871

吉竹信利
神鋼建材工業株式会社　専務取締役サッシ事業部長
尼崎市西向島町77　電話(441) 1301代

山口吾郎
不二建設株式会社　取締役社長
大阪市西区阿波座上通4丁目8　電話(541)5534代
自宅・宝塚市切畑字長尾山2番地の788　電話0727(59)2018

山本博三
朝陽電気株式会社　代表取締役
大阪市北区中之島3の3　朝日ビルディング
電話(448) 1361代
自宅・吹田市藤白台4の23－8　電話068(72) 9087

和田真一
株式会社　東和組　代表取締役
大阪市北区梅ケ枝町175　電話(363) 4051代
自宅・芦屋市公光町25　電話0797(22)3282

山崎敏明
辰巳興業株式会社　取締役社長
神戸市生田区栄町2の21　電話 078(32)0655
自宅・西宮市五月ケ丘5－7　電話0798(26)2763

山本義樹
西日本建設業保証株式会社
大阪市東区上町5　電話(762) 5701

若林繁吉
二葉屋装備工業株式会社　社長
大阪市大淀区本庄川崎町2丁目6　電話(371)3321～3
3630
自宅・京都市東山区清水2丁目232 電話075(561)6283

山下密男
合同特許建材工業株式会社 代表取締役
大阪市東住吉区駒川町3丁目54　電話(702)7814～6

湯浅武夫
湯浅建築設計事務所　代表者
大阪市西区阿波座上通り4の1　電話(532) 4948
自宅・堺市浅香山町3丁10　電話(2) 8714

鷲尾健三
大阪大学工学部建築工学教室
吹田市字山田上　電話06(878) 5111

山田新治郎
株式会社 山田建築事務所 代表取締役
大阪市北区万才町43(浪速ビル)　電話(312) 0937代
自宅・大阪府摂津市千里丘5丁目9－21　電話06(388) 0119

宵治平
株式会社　久富工務店　代表取締役
大阪市西区川口町(郵船ビル)　電話(582) 3671

渡邊勇
株式会社 間組 名古屋支店 建築部長
名古屋市中区錦2の4－16　電話 052(201) 7511
自宅・名古屋市千種区神丘町2の48－3
電話 052(701) 4203

いかなる苛酷な条件にも耐えて
このすばらしい特性が
建築を守ります

特許

強力ギルソイド・アスタイト防水

※新アスタイトの開発に成功—4種類から2種類へ—
※建築構造の多様化に即応した特殊防水仕様の採用
※建築物の大型化に備えた歩行用及び室内、地下防水仕様の強化
※強力ギルソイドー主材料として特に重点的に改良
※ベースルーフィングの採用—欧米に比べて湿気の多い我が国独自な配慮
※ギルボード採用によるインシュレーション仕様の確立



折曲げ試験に耐えきれず
に破断した一般防水層



折曲げ試験ですばらしい
柔軟性を示すギル・アス防水層

責任施工組合員名簿（西アス会員）

S．44.5 現在

近畿地方	日本瀝青工業㈱大阪支店	㈱名建商会	㈱小島工務店	正和商事株式会社
㈱久保商店	石井建材株式会社	高橋建材店	**中国・四国地区**	**九州地区**
㈱木下謹三商店	㈱中出商会	日東物産株式会社	青盛建材株式会社	青盛建材㈱福岡営業所
㈱井上浄夫商店	千代田建材株式会社	太田建材株式会社	青盛建材㈱岡山営業所	高稲工業株式会社
㈱大和商会	㈱タテバヤシ商会	**北陸地区**	㈲小野甚商店	高稲工業㈱北九州営業所
高山工業㈱大阪営業所	田島応用化工㈱大阪営業所	北川瀝青工業株式会社	㈱浜原豊商店	石素産業株式会社
内外工業株式会社	**東海地区**	北川瀝青工業㈱富山出張所	㈱浜原豊商店防府営業所	高稲工業㈱大分出張所
旭化建工業株式会社	岡田建材株式会社	北川瀝青工業㈱福井出張所	古市断熱工業株式会社	高稲工業㈱熊本出張所

東日本アスファルト事業協同組合
西日本アスファルト事業協同組合

東　京・千代田区岩本町3の11の13田島応用内　TEL代表（866）6101
大　阪・大阪市西区京町堀1の7　4　TEL代表（441）5951
札　幌・TEL（22）6038　福　岡・TEL（28）2807
仙　台・TEL（22）6413　広　島・TEL（21）2281
名古屋・TEL（571）6361　岡　山・TEL（24）2692



新時代の建築をリードする!!

ダイケンサッシのDR-60

レディーメード・アルミサッシ

■耐風圧強度　風圧200㎏/m²の大型台風にもビクともしません。

■気密性　すぐれた気密性を持ち、遮音暖冷房負荷にも好結果をもたらします。

■割安の低価格　枠見込70㎜にまさるとも劣らない高性能を持ち、しかもお値段がグーンと低いお買い得サッシです。

JIS表示許可工場／KJA認定工場

ダイケンサッシ株式会社

■本社・工場　堺市松屋町1-6　TEL.0722(38)1141大代表

法令コーナー

29

日本建築協会法規委員会

質疑などの投稿をお待ちしております

ごあいさつ　法規委員長　福田　朝生

法令コーナーも今回で29回目を迎えました。執筆者各位のお力添えによってますますその内容が充実しつつあることはご同慶にたえません。この一年はわれわれ建築にたずさわる者にとってはまことにめまぐるしい年でありましたが，今年もまた「建築基準法の一部改正」を皮切りに懸案事項が山積みしております。法令コーナーが賑わうことは，実はあまりうれしいことではありませんが，関係のみなさんのご協力を得てそのときどきのいろいろな問題の解説や質疑にお応えするべく努力致したいと考えております。執筆の方も今まで大阪市の関係各位にお願いしておりましたが，2月号より大阪府のみなさんにご担当願うことになっております。市の方々に対し篤く御礼申上げるとともに，府の各位にどうかよろしくお力添えいただきますようお願いしましてごあいさつといたします。

◇法　令　解　説

騒音規制法の施行と建設工事騒音の規制について

1．ま　え　が　き

公害対策基本法の実施法として昭和43年12月1日に騒音規制法が施行され，工場騒音および建設作業騒音が法律の規制を受けることになりましたので，建設作業騒音について若干説明します。

2．法制定にいたる経緯

従来地方公共団体の公害防止条例では，建設工事に伴う騒音は一時的なものであるために工場騒音のような画一的な規制をすることは不適当であるとの理由から規制が見送られていましたが，近年の産業経済の急速な発展とともに建設工事も大型化し，施工に際しても重建設機械を駆使するようになり，さらに人口の都市集中により都市部における騒音の被害が増大し大きな社会問題となってきました。このような背景から，厚生省としても建設工事騒音を含めた騒音規制について，国が統一ある施策を施す必要があると判断し，法律による建設工事騒音の規制にふみきったわけです。

3．法律の主な内容

イ，目　　的

この法律は，工場および事業場における事業活動並びに建設工事に伴って発生する相当範囲にわたる騒音について必要な規制を行なうことにより，産業の健全な発展との調和を図りつつ生活環境を保全し，国民の健康の保護に資するとともに，騒音に関する紛争について和解の仲介の制度を設けることにより，その解決に資することを目的としています。（法第1条）

ロ，特定建設作業の実施の届出

指定地域（表1）において，特定建設作業（表2）を伴う建設工事を施工しょうとする者は，当該特定建設作業の開始の日の7日前までに，次の事項を市町村長に届け出なければなりません。ただし非常事態の発生により特定建設作業を緊急に行なう必要がある場合は7日前でなくてもよいことになっています。（法第14条）

a　住所氏名
b　建設工事の目的に係る施設または工作物の種類
c　特定建設作業実施の場所および期間
d　騒音の防止方法

表1　騒音を規制する地域の指定

a　建築基準法の規定により指定された住居地域，商業地域および準工業地域
b　aに規定する地域以外の地域のうち学校教育法に規定する学校，児童福祉法に規定する保育所，医療法に規定する病院，図書館法に規定する図書館，老人福祉法に規定する特別養護老人ホームの施設の敷地の周囲おおむね80mの地域　（大阪府告示第242号）

表2　特定建設作業

a　くい打機（もんけんを除く）くい抜機またはくい打くい抜機（圧入式くい打くい抜機を除く）を使用する作業（くい打機をアースオーガーと併用する作業を除く）
b　びょう打機を使用する作業
c　さく岩機を使用する作業（作業地点が連続的に移動する作業にあっては，1日における当該作業に係る2地点間の最大距離が50mをこえない作業に限る）
d　空気圧縮機（電動機以外の原動機を用いるものであって，その原動機の定格出力が15kw以上のものに限る）を使用する作業（さく岩機の動力として使用する作業を除く）
e　コンクリートプラント（混練機の混練容量が0.45m³以上のものに限る）またはアスファルトプラント（混練機の混練重量が20.0kg以上のものに限る）を設けて行なう作業（モルタルを製造するためにコンクリートプラントを設けて行なう作業を除く）

ただし当該作業がその作業を開始した日に終わるものを除く

（施行令第2条）

ハ，改善勧告および改善命令

特定建設作業に伴って発生する騒音が主務大臣の定める基準（表3）に適合しないことにより，その特定建設作業の場所の周辺の生活環境が著しくそこなわれると認められた場合には，騒音防止方法の改善または作業時間の変更を勧告されることがあります。また勧告を受けた施工者が勧告に従わないで特定建設作業を行なっているときは騒音防止法の改善又は作業時間の変更を命令されることがあります。（法第15条）

表3　勧告にかかる基準

a　音量規準
　特定建設作業の騒音が，特定建設作業の場所の敷地の境界線から30mの地点において表2に示す特定建設作業のうちaにあっては85ホン，bにあっては80ホン，c．d．eにあっては75ホン以下にすること。

b　作業時間規準
　表2に示す特定建設作業のうちa．bにあっては午後7時から午前7時，c．d．eにあっては午後9時から午前6時までの間に作業をしないこと。
　1日における延作業時間は10時間以内にすること。
　同一作業場所における作業日数は，表2に示す特定建設作業のうちa．bにあっては連続6日以内，c．d．eにあっては1カ月以内とすること。
　日曜，祝日には作業を行なわないこと。

ただし非常事態の発生により当該特定建設作業を緊急に行なう必要がある場合，人の生命または身体に対する危険を防止するために当該特定建設作業を行なう必要がある場合，鉄道または軌道の正常な運行を確保するために当該特定建設作業を行なう必要がある場合，道路法または道路交通法の規定による道路占用許可条件に夜間指定のある場合を除く。

（建設省告示第1号）

ニ，和解の仲介

特定建設作業に伴って発生する騒音による被害について，損害賠償に関する紛争その他の民事上の紛争が生じたときは，当事者は次の事項を都道府県知事に提出し，和解の仲介の申立てをすることができます。（法第16条）

a　申立人の住所氏名
b　紛争の相手方の住所氏名
c　紛争に係る特定建設作業の場所の所在地
d　紛争の経過および申立ての趣旨

4．地方公共団体の条例との関係

大阪府下において建設工事を施工しょうとするものは，法律による規制を受ける他に，大阪府事業場公害防止条例の適用も同時に受けることになります。建設工事関係では法の指定地域および特定建設作業に関係なく，くい打機および矢板打機を使用する場合は条例による届出が必要になります。ただしこの場合は音量規制および作業時間規制はありません。

（大阪市総合計画局公害対策部技術課　鞍谷　信保）



日進式ボード下地天井
日進式遮音パーティション

軽量・強度・耐火・耐震・遮音・合理的施工法

天井・間仕切・アルミニウムのことなら 何でも ご相談下さい

株式会社 奥村重兵衛商店

大阪市北区木幡町60　電話大　阪（364）4131
福岡市住吉松月町293　電話福　岡（29）0459
東京都太田区南馬込4－1－18　電話東　京（772）7856
名古屋市中村区志摩町4の7　電話名古屋（551）3013

読者の頁

投稿をおまちしております。掲載の分には規定の稿料を差上げます。

□ 明治建築土木史年表・関西篇（その34）（明治11年10月20日）□

明治
11年10月20日　御巡幸記事詳報中に，近江武佐村の行在所広渕寺は，昔武佐寺といって南北朝代に後光厳天皇の行在所だった所だとあり。別の記事では伊勢桑名駅附近にコレラがはやっているので，様子を見に駐輦したいと天皇から仰せられたとある。

〃　〃　〃　肥後熊本は西南戦争の戦火で八，九分焼けたが，すでに七分通り復興した。工兵六方面出仕福田直之（原文のママ）の測量により，衛所も1層手広に新築され，新増加の一聯隊の屯所になるといわれ，各道路も道幅を拡げ，畳石をしきつめ，並木も植えた。清正公（加藤清正神社）はまだ仮殿だが，遠からず修築にかかり，昔の「熊本よりは一際繁盛にすると，一同気込で居るよし。」とある。なおこの清正公前は，後明治の中期から昭和初期にかけてスラム化し，癩患者の巣窟として，全国でも有名な場所の一つになった。

（東京都北区神谷2ノ22ノ13　須藤欣二）

□ 工事のPR

工事現場においては，保安と安全のために仮囲を設置することが法規上定められている。しかし，その仮囲の設置方法が余りにも事務的であり閉鎖的であるため，一般市民にはその囲いの中でどのような工事がどのように進行しているかほとんど知ることができない。

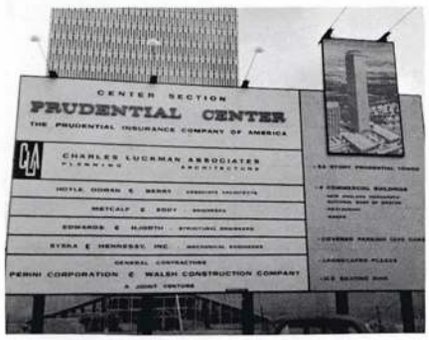
日本のように人口密度が大きく，通行人・通行車の頻繁なところでは，第三者への安全面から考えてこのように閉鎖的手段をとるのも，ある程度止むをえない面もあるが，その設置方法などにもっと工夫をこらす余地があるのではないか。

人間の心理として，何か大きな建設工事が行なわれている場合には，その中で何がどのように行なわれているか知りたい欲望が働くものである。また，工事中に近隣にいろいろと不便をかけることも多いことを考えると，建設工事の内容を一般にPRして一般の理解と関心を求めることによって，各種の効果があることを考えてみる必要がある。

最近の公共土木工事においては，現場の仮囲附近に竣工パースあるいは工法の説明図等を図示して，一般の関心と理解を計っていることが多くなっているように見うけられるが，民間工事の多い建築工事においても，このようなPRの手段をとり入れることを考えてみるべきでないだろうか。

アメリカにおいては，宣伝も兼ねて仮囲，看板などにこのような配慮をして，一般市民に理解と親しみをもたせるような努力をしているものが多いように思うが，その中でいくつかの例を示して参考に供したいと思う。

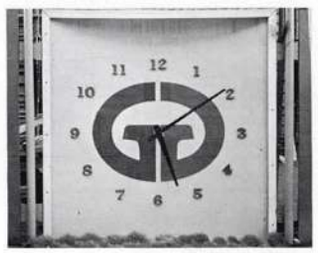
KK大林組　窪田　祐



竣工パースをつけた夜間照明つきの大看板（10m×4m位）



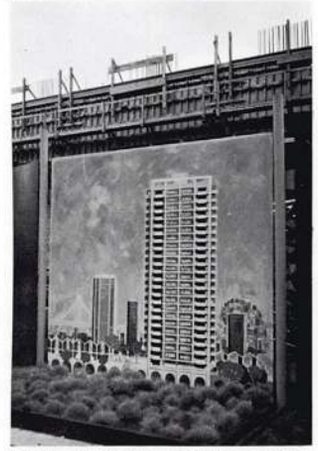
仮囲の各パネルに関係サブコンの名前と担当工事を図化して示したもので，仮囲を変化のある美しいものにしている



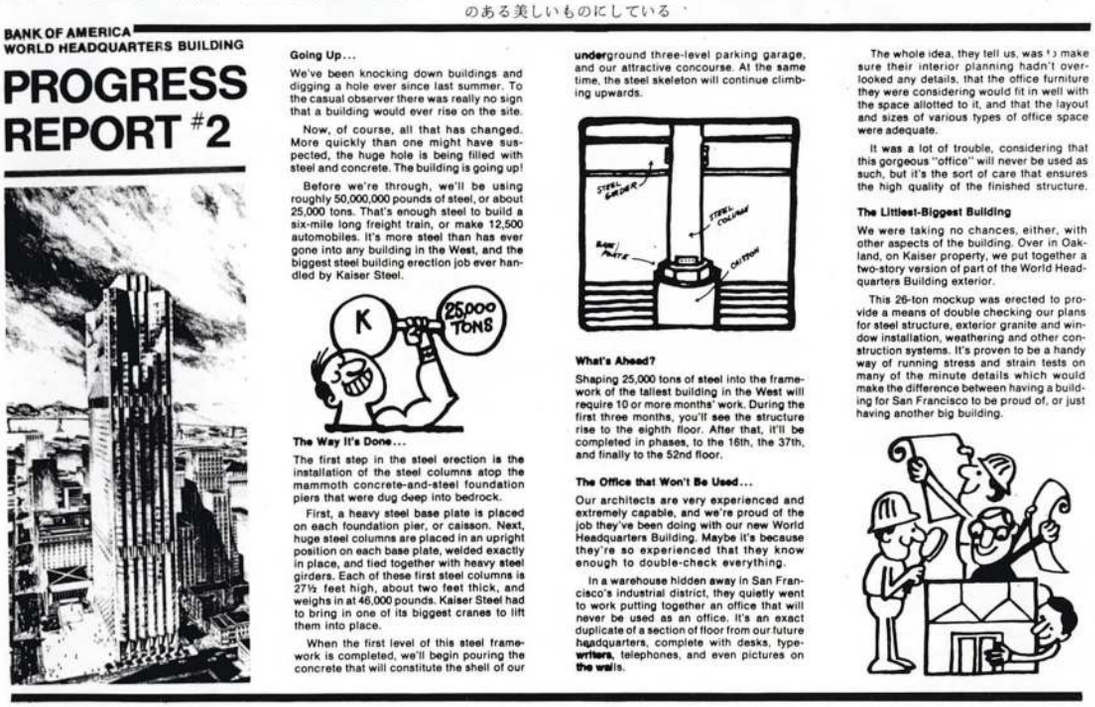
仮囲のパネルに時計を組みこみ，一般の便に供したもの



仮囲のコーナに竣工パースを大きく表示したもの



仮囲の一部に竣工パースを画き，その前に草花を植えて飾りつけたもの



仮囲の1部にボックスを設け，その中に建築過程の説明をしたこのパンフレットを入れており，自由にもってかえれるようにしたもので，工事を一般に理解してもらうのに役立っている

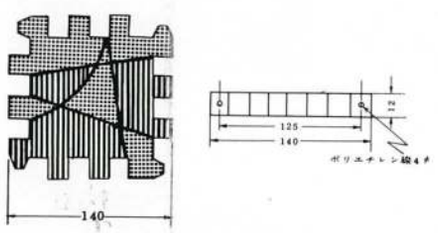


各種玄関マット設計製作　ミヅシマ

ウルトラインマット

（ウルトラセン）

〈詳細図〉



〈規格色〉赤・白・緑・鼠・青

玄関に
ハイセンスを！

マットは
トップメーカーの
ミヅシマ製品を
お選び下さい

ウルトラインマット試験表

- **耐摩耗試験**－摩耗減量 0.0035グラム
  試験条件　テーバー摩耗試験機 荷重 500グラム
  回転速度 57r.p.m. 1000回転
- **熱収縮試験（膨張）**
  40℃±1℃3時間変化なし－5℃3時間 縦（－0.10%）横（－0.17%）
- **耐薬品試験**　浸漬条件30℃×31日間重量変化率
  3% H_2SO_4（≦0.1%）10% NA_0H（≦0.1%）
  植物油（白絞油）（5.2%）（30℃×5日間）
- **耐水試験**　浸漬条件23℃×24時間0.07%

ミヅシマ

おそうじ百貨

ミヅシマ工業株式会社

営業本部／大阪市西区北堀江上通一丁目20　TEL（531）7571～4
本社工場／京都市南区久世築山町 380の2　TEL（921）6361～3

〈営業所〉
東　京／TEL（667）8844（代）
名古屋／TEL（911）4306～7
京都第1／TEL（221）5363・0214
京都第2／TEL（312）6051
大　阪／TEL（531）7571～4
福　岡／TEL（27）2331（代）
北九州／TEL（57）3579

□ ONS工法の紹介

KK大林組　毛利　誠

ONS工法とはOHBAYASHI—NITTO SCREEN工法の略である。これは浅層地下山留工法として，日東工業㈱の協力をえて㈱大林組（特許出願中）が開発した柱列連続山留工法である。

本工法は地下2階程度までの山留に適する工法で，無音無振動工法である。特色としては，施工能率，施工精度とも良好で，しかも地下水位下の遮水性にも富んでいるものである。

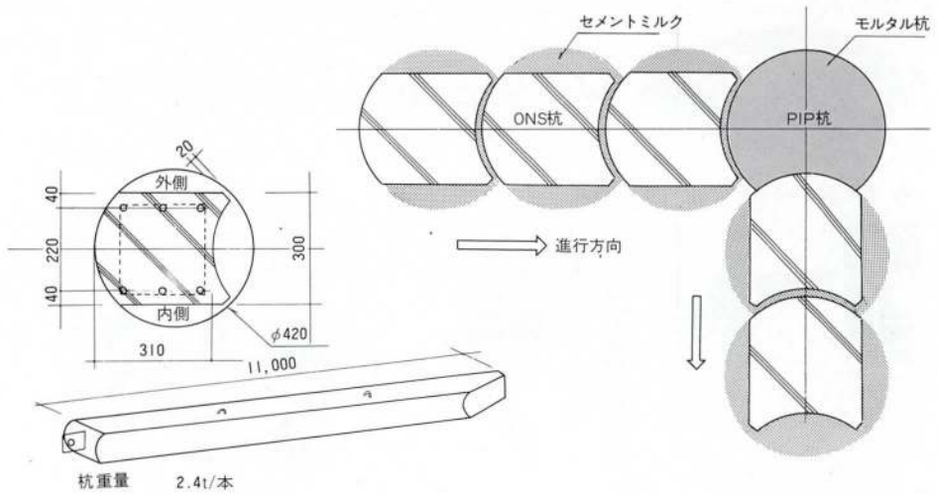
施工概要および施工法は次のとおりである。

三和銀行天満橋研修所新築工事のONS工法

1. 施工概要
   - 山留深さ　GL-11m（掘さく深さ7.8m）
   - 山留延長　139.7m
   - 山留面積　1,537㎡
   - ONSパイル　411本（特殊な形状断面を有するパイル）
   - PIP　10本（コーナー部施工）
   - 施工期間　S44.7.27〜44.9.2　38日間（実働28日間）
2. 施工法
   ⑴ ONSパイルの型状



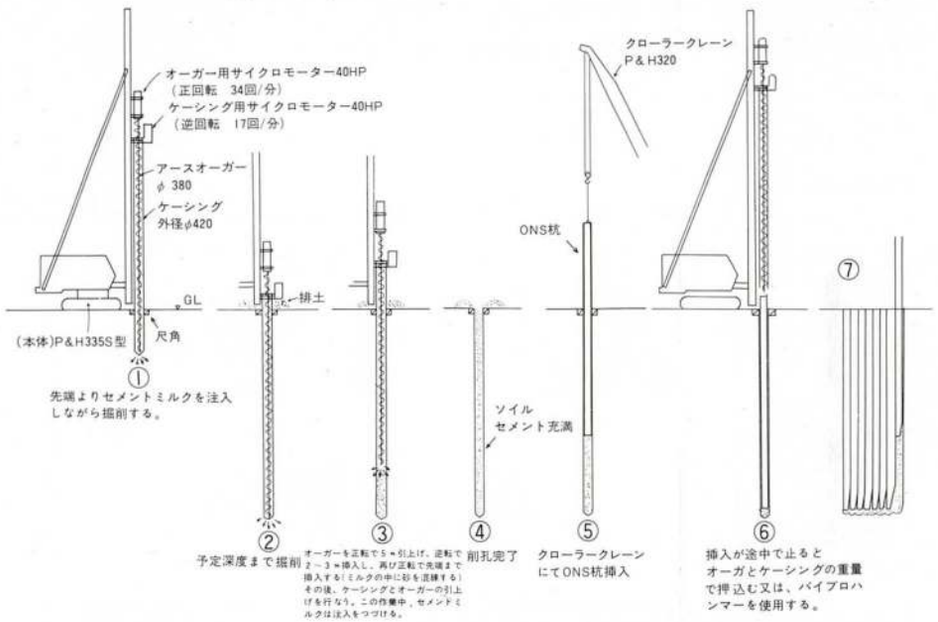
ONS工事写真



ONSパイルの型状

ONSパイルの配列

施工順序（1サイクル）



□ 建設災害について

私は現場マンの一人として，この数年は主に工場建築の建設に従事しております。この職業に入って10数年，一般社会の目覚ましい発展と同時に，物心両面に亘っての世相の変貌に今更ながら驚かされますが，建設業の世界もまた大きく変ってきたといえましょう。このような現代，私ども現場マンにとって最大の関心事は何かといえば，それは現場の安全管理の問題であります。もちろん現場の損益は営利会社にあっていうまでもないことでありますが，最近は一般社会が「労働災害は公害と同等視してきている」とき，極論すれば採算は二の次として考えねばならない時代であります。かかる観点から毎日工事の進捗，出来映えとともに，いかにして事故をなくするかに苦労しているわけでありますが，そういう私にとってこの数年来常に脳中から拭えない一つの問題があります。現在も従事している工場建設工事においては，常に営業系列の異なる各種工事が混在していて，平面的にまた立体的にそれらの作業が錯綜して行なわれており，その中の主たる工事者がその現場の安全を統轄管理している。しかも法は業者の実際的施工面での安全管理を規制するのみであります。しかし現場に携さわる者の常に痛切に感ずることは，実際は注文者の適切な判断の必要性でありましょう。即ち設計，施工法，就中工期面の大局的な検討であり，現在ではややもすればその本質的課題が等閑視されております。注文者である企業にとってはその投資が一旦決定したならば，一日も早くその機能を可動し，投資の効果を発揮せんとするのは当然であるとはいえ，それにはやるの余り建設業に過大の重荷を与える傾向があるのではないでしょうか。法に曰く「注文者は請負人が其の仕事に付き第三者に加えたる損害を賠償するの責に任ぜず」との条項で，この労働災害に責を負わなくてもよいものだろうか。災害賠償についての事例では下請関係のトラブルも，占有者又は事実上の仕様関係があるとして，元請業者に負担がかかるのであります。安全衛生諸法令諸規則に基づき，安全設備の完備，安全標準作業の遵守など，建設業の守るべき義務は当然でありますが，建設業は近代化したとはいっても，飽くまでも素材を常に条件の異なる立地条件において付加価値を加える現場加工の多い産業であって，未だに近代工法と原始的工法が混然としている企業であります。従って安全管理に対する抜本的方策が本質的に困難であるといえるのではないでしょうか。ここにおいて労働災害の中でその発生率，強度率が最も多いといわれる建設災害を減少するためには，単に建設業の努力のみならず，法においては注文者に対する何等かの規制がなされるべきであり，また一方注文者も現在の請負制度における安全管理に対する片務性に心すべきでありましょう。また最後に業者はその過当競争の中にあるといえども安全管理上の問題において毅然とした態度を堅持すべきでありましょう。

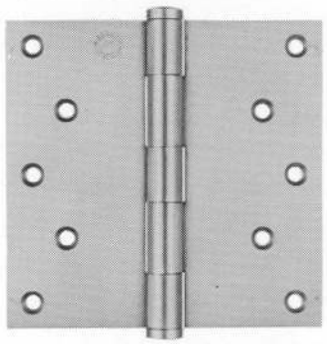
鹿島建設大阪支店　見谷　昭雄

Art の製品には……

●ドアーを大切にしハウスキーパーの役目をはたす

アート ST-84（18－8ステンレス） ドアーヒンジ

RAシステム



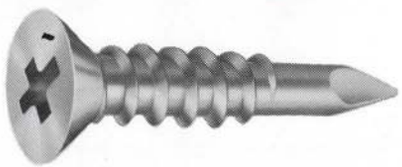
●仕上はサテン仕上です
●ＲＡシステム（90°抜け芯装置付）です
●高精度を誇り、耐蝕性・耐熱性にすぐれ錆びたり変色したりする事はありません
●18－8ステンレス、木ネジ付きです

寸法(㎜) 全長	横巾	板厚(㎜)	木ネジ穴の数	木ネジの太さ及び長さ φ ㎜	梱包数量(枚)
89	89	2.5	6	4.1×25	100
102	102	2.8	8	4.1×25	100
127	102	3.0	10	4.5×32	60
127	127	3.0	10	4.5×32	60

包装・２枚木ネジ付紙函入

●丁番の取付けが簡単、作業能率の向上！

木ネジの革命 スパイラー



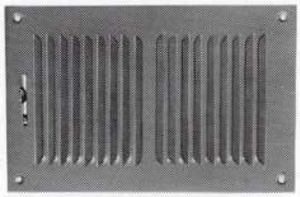
●錐でガイド（下穴）を設ける必要がない。
●全ネジ式ですから密着が良く振動のために抜けてくるようなことはない。
●釘状の部分で本部へ安定した嵌合が出来るのでドライバーの**横滑り**がなく製品を傷めずに固定出来る。
●**表面硬化**をしてあるためにネジ山の破損が少なく**反復作用**によく耐えます。
※〝アート〟のヒンジの中級品以上（ＤＲ-844. ＮＲ-64. ＳＴ-84. ＳＴ-ＳＬ-84-1）には**スパイラー**が附属されています。

●最新型ウォール レジスターセット

EWレジスター ●米国ＦＨＡ規格品

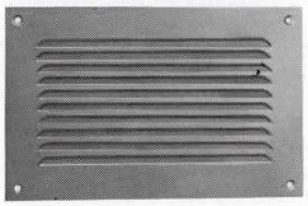
●自然換気により室内の空気はいつも爽やか。
●室内冷暖房の保温調節が容易。
●シャッター120°迄自在調節止め付。
●錆の発生、変色がなく湿度の高い所、バスルーム等にも安心して使用出来る。
●スッキリとしたデザイン中間色の落ちついた色調。
●風雨の晒す場所でも雨の吹込む心配がない。
●ソフトシートにて取付けの際のガタつきがなく、完全密着取付け施工が出来る。

レジスター No.55－R



取付部分切込み寸法 ㎜（吋） 縦	横	表面板寸法(㎜) 縦	横
150（6″）	260（10″）	195	295
150（6″）	310（12″）	195	345
150（6″）	360（14″）	195	395

グリル No.55－G 防虫網付



取付部分切込み寸法 ㎜（吋） 縦	横	表面板寸法(㎜) 縦	横
150（6″）	260（10″）	195	295
150（6″）	310（12″）	195	345
150（6″）	360（14″）	195	395

※鉄筋住宅のお部屋の換気、冷暖房装置の通風口には理想的な吸入、排気のレジスター、グリルをセットして使用ください。

Art ●JIS規格表示許可工場 住宅公団・建設省指定メーカー
永和工業株式会社
本社 大阪市生野区巽矢柄町１２８ TEL大阪(751) 1271－5
工場 東大阪市布市町５０ TEL枚岡（81）５５６６
東京出張所 東京都千代田区外神田3-6-12 TEL東京(253) 0317－8

□ 大阪府建築基準法施行条例のただし書について

大阪府建築基準法施行条例（大阪市条例も同じ）の中の２，３のただし書について，かねて疑問をいだいていたので条例第７条を例にあげて小生が感じたことを述べてみたい。

条例第７条の本文では，建築物の主要構造部が耐火構造であるか，または不燃材料で造られている場合とその他の建築物の場合とにわけ，それぞれ床面積に応じて設けなければならない階段の数を細かく規定している。本文では以上のように設けなければならない階段の数を定量的に規定しておきながら，ただし書では避難上および防火上支障がない場合の形態の例示または技術的規定を設けず例外を認めている。例えば，主要構造部が耐火構造の建築物のある階の床面積が1,000㎡の場合，本文では４以上設けなければならない。しかし避難上および防火上支障ないと判断するための明確なボーダーラインがないので都合のよい方に解釈して階段の数を減らすことができる。本文の規定をただし書によって例外的に本文の規定を適用しないという立法上の技術的な表現が，ここでは，全面的にただし書が適用される可能性を含んでいるように思われる。今日の建築行政指導が，建築計画からみて避難上および防火上支障がないと思われるようなもの（建築主事から判断すれば，支障があったのかも知れないが。）でもあまり頑になり過ぎて，ただし書を適用しないで本文の規定どおり指導しているようすは，これを裏づけているようである。また，本文において建築物の床面積に応じて避難上最低限必要な階段の数を定めていながら，ただし書で避難上支障がない場合(防火上も支障なければならないが)その階の階段の数は１以上でもよいとするところにも疑問を感ずる。すなわちこの規定は，避難上最低限必要な規定でなく最高の基準を定めていることを意味している。

以上独りよがりで，詭弁に弄したかも知れないが，ただし書の適用は，建築主事の裁量によるものでなく，避難上いかなる形態を備え，防火上いかなる構造とすれば支障がないかを明確にして，建築士の判断で階段の数を減ずることができるようにしてもらいたいものである。

なお，条例第７条のような単体規定は設けないで，行政庁は，建築士の知識を尊重し良心を信じ，建築士の責任において自由な建築計画を行なわせてもよいと思う。もし，ある建築士が設計した建築物で，火災が発生し，人身事故が起こった場合，建築主側にその建築物の避難施設に対する維持管理上のミスがなければ，人身事故に対する責任は建築士にあるとして，賠償の義務を負わせる方法はどうであろうか。建築士の責任の拡大は，建築士が自らを保障する制度を考えなければならないが，建築法規の施行を容易にし，建築物の質的水準の向上が計られるはずである。

日本万国博覧会協会建設部　**伊藤　四夫**

□ 夕陽丘を歩いてみたら

ある新聞の「みんなで歩こう」というページに大阪の寺町が取り上げられていた。そこには都市化が進み，人間が窒息寸前になっている大阪の町の中にも，奈良や京都のような詩情をたたえた静かな一角が残っていることが書かれていた。この記事を読み，無性に歩きたくなったので，ある日曜の昼下がり，記事の地図を片手にぶらぶらと出かけてみた。読者もご存知と思うが，寺町とはいわゆる夕陽丘と呼称され，上町台地の西端に当るところで，都市計画では夕陽丘風致地区に指定されている一帯をさしている。

地下鉄２号線が下を走る長柄堺線を横道にそれて，白壁が続く寺町にはいる。日曜のこととて人通りもまばらで，お茶会にでも行くのか，和服姿の娘さんが１人２人とすれ違う。コンクリート造りのモダンな寺，かなり古びて歴史の重みを感じさせる寺，今にも崩れ落ちそうな土塀のすき間からは薄暗い雑木林が見える。秋のさわやかさも手伝って，仲々いいムードだなあと悦に入っていた。しかし生魂神社に近くなるあたりから様子が一変した。実は先ほどから遠くでチラチラとして気になっていたホテル街特有のケバケバしさが現実のものとなったからだ。

ある寺では境内の中までホテルが進出しており，本堂と軒をつき合わせてホテルが建っていた。このようなお寺とホテルとの奇妙な組合わせは，京都の南禅寺一帯にもあるのを思い出したが，妙な感じだ。御影石を敷きつめたゆるやかな坂の両側も何かしら色っぽいムードが漂よい，古都を思わせるしっとりした詩情とはちぐはぐな感じをうける。坂を下って松屋町筋に出ると，通りに面して大きな門構えの寺が続いていた。立派な門の片隅に遠慮気味に，モータプールの看板が上がっているお寺もチラホラ目についた。

大阪の寺は，奈良や京都とは違って，豊臣，徳川時代に建立されたものが大部分で，歴史的価値も比較的低く，観光的要素は少ない。しかしお寺とても例外たりえず，現実の波は遠慮なくおしよせ，本来風致地区にふさわしくない種々の用途に土地が分割されている。なにげなしにある寺の境内へ入ってみる。お墓参りにでもきたのか，家族づれが車に乗り込もうとしているところだった。境内をぐるりと見回すと，台地の斜面一面にずらりとお墓が並んでいる。松屋町筋を車で走られた方は，上町台地の斜面に沿って緑が続いているので，見て一種の安堵感を持たれる方も多いと思うが，この緑の下には無数のお墓がかくされていることになる。

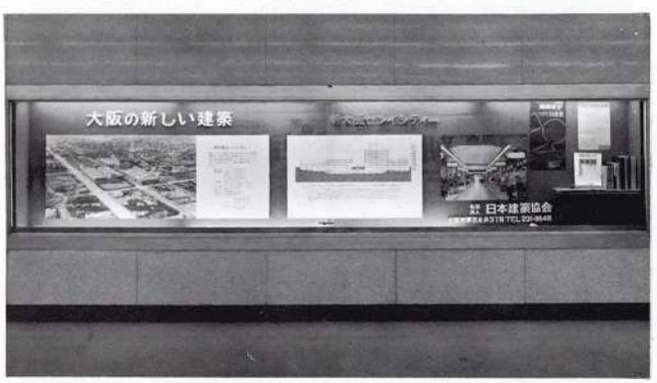
地形の変化に乏しい大阪の町の中で，唯一の台地である上町台地にひろがるこれらの緑が案外一般に開放されないのは，あのちょっとくぐりにくい大きい寺の門と，無数に並ぶお墓のせいだろうと思うのだった。逆にいえば，この緑が今まで残されてきたのは，あの入りにくい寺門と，崖という地形の悪条件のためであったのかも知れない。

しかし自然とは，単に外から眺めているものではなく，その中に自から入ってゆき，そこで人間の本質を自然から学びとるものであるように思う。都市の集積が進み，人口の過密化が限界にまできている現在，このお寺に守られて利用されずにいる緑の存在に疑問を感じずにはいられなかった。やはりこの緑は，都市の再開発の中で新しい公園体系の中にくり込まれるべきではないのか。お寺からおしかりを受けるかも知れないが，もしこのお寺とお墓が取り除かれて緑が市民に開放されるならば，大阪市民の肺はいっぺんにきれいになるだろう。奈良や京都の古寺が古都保存法などによって手厚い保護を受けているのとは違って，単なる都市計画的手法の制限では，この緑が段々と赤い灯，青い灯に食い荒らされて行くのではないかと不安を覚えるのは私ばかりではないだろう。

大阪市公園部　**大村　寿郎**

□ 建築協会の展示窓開設（北浜・淀屋橋間の地下プロムナード）

今般，日本建築協会では，北浜と淀屋橋間の地下通路（事務所所在地近くの地下道路）の南面壁のショーケースを利用して写真のようなＰＲの展示窓を設けることになった。展示目的は，いうまでもなく「建築を一般社会へＰＲして，建築と社会とのつながりを深める」ためで，その内容は，大阪もしくは関西で最近竣工した公共性の高い代表的建築の写真を展示し，その建物の企画から竣工までの説明文，設計者，施工者，協力業者などを明示して一般へのＰＲをはかっている。３カ月毎に展示内容を変更するが，展示はシリーズものとしたい予定である。その他，日本建築協会主催の諸種の各ポスターや出版図書，さらに「建築と社会」誌の最近号を展示している。




東京神田・小学館ビル

ブラインドを内蔵した　住友の回転式アルミ二重窓

エルミン窓

ビルが変れば窓も変ります

ビルが高層化・マンモス化するにつれて、その窓も変ります。大きなビルの窓には、気密性・遮蔽性・清掃の安易さ・熱損失の多少・採光性能など、あらゆる面から検討され、すぐれたものが要求されます。さらにビルの顔ともいえる窓には、ビルの外装を生かす美しさも忘れることはできません。スイスで生まれたエルミン窓が各方面で話題になり、注目を集めているのも、こういうビルのマンモス化時代に窓の性能が再検討された結果にほかなりません。

◆エルミン窓は　ブラインド内蔵・回転式アルミ二重窓です

二重構造と内蔵ブラインド、すぐれた断熱構造及び高い気密性が、抜群の遮蔽性を発揮します。騒音・外気は室内にオフリミット。冷暖房効果もたかめます。外光調整も思いのままです。またエルミン窓は横軸180度回転式ですから、ロックをはずし障子部分を回転させることにより、高層窓の外面も手がるに清掃できます。ブラインドにも埃りがつきません。このように数々の特色を持つエルミン窓は、ホテル病院・学校・寒冷地の住宅など各方面で、時代の要求にこたえた新しい窓としてご好評いただいております。


標準換気位置（約15度回転）

◆エルミン窓には8つの特徴があります

①二重ガラスにより熱損失が少い
②遮音性能がすぐれています
③アルミ形材に挿入された断熱材により熱伝導が少ない
④水密・気密が完全です
⑤ガラスにも枠にも結露を生じません
⑥ブラインドが内蔵されているので冷房負荷をへらします
⑦横軸180度回転し内部から外部ガラスの清掃が可能です
⑧大窓にも適します
エルミン窓は住友軽金属のすぐれたアルミ形材を使用しています

製造・販売・施工

日本エルミンサッシ株式会社

本　社 東京都中央区日本橋江戸橋3－7(第2三木ビル) 電(272)1841代表
営業所 大阪市西区京町堀1－12 5(東洋ビル) 電(441)1979直通

住友軽金属工業株式会社

EXPO '70 NEWS

日本万国博建築ニュース 9

■ポルトガル館

設　　計　Arch. Frederico Georges
協力設計　KK竹中工務店
施　　工　KK竹中工務店

敷地面積　3,222m²　　階　　数　地上２階
建築面積　1,867m²　　最高高さ　20m
延べ面積　2,462m²　　起　　工　昭和43年11月11日
構　　造　鉄骨造

展示館は、テーマ“人類の進歩と調和”に焦点を合わせ、ポルトガル人が過去、人類の進歩と相互理解や文化の向上にいかに寄与してきたかを表現。またスケールの大きな建物で、今日のポルトガルの風景を再現する。



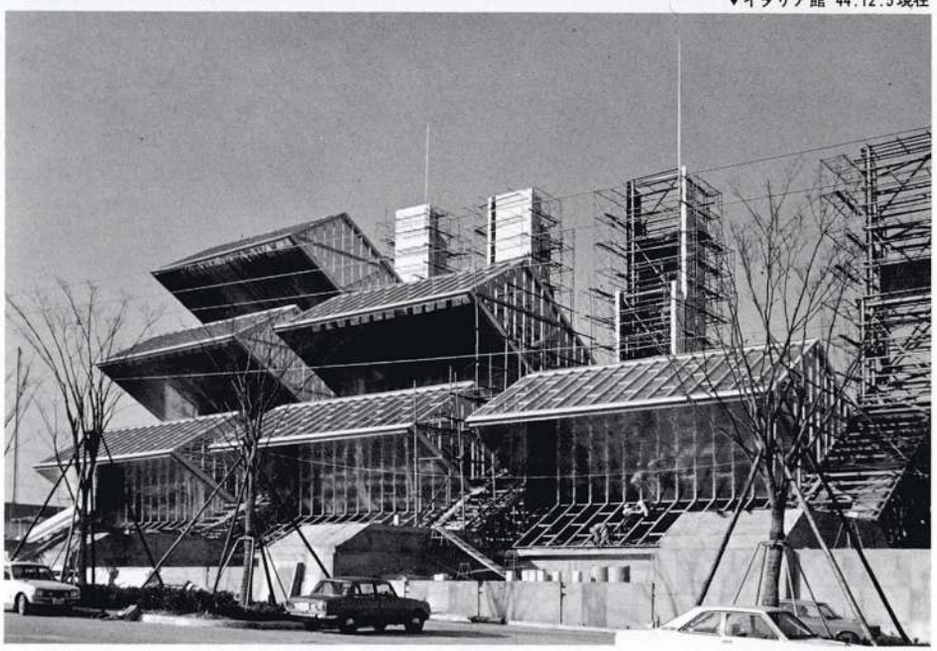
▲ポルトガル館 44.11.24現在

■イタリア館

設　　計　Arch. Tommaso Valle
協力設計　芦原義信
施　　工　大成建設KK

敷地面積　7,535m²　　階　　数　地上３階，地下１階
建築面積　4,869m²　　最高高さ　35.7m
延 面 積　6,493m²　　起　　工　昭年44年３月５日
構　　造　鉄骨造

上に伸びるという建築物の概念を変えて斜めに伸ばし、天井・床は傾斜している。
チューブと呼ばれる動線を主体とした小さくて閉鎖的な機能体と、チャンネルと呼ばれる展示を主とした大きくて開放的な機能体を巧みに30度傾斜させて、左右より組み合わせた三角形の美で構成されている。
外観は斜め材の線的なものと、金属・ガラスを使用してシャープな感じを出している。ホールではカンツォーネを上演し、またイタリヤ料理専門のレストランが設けられる。



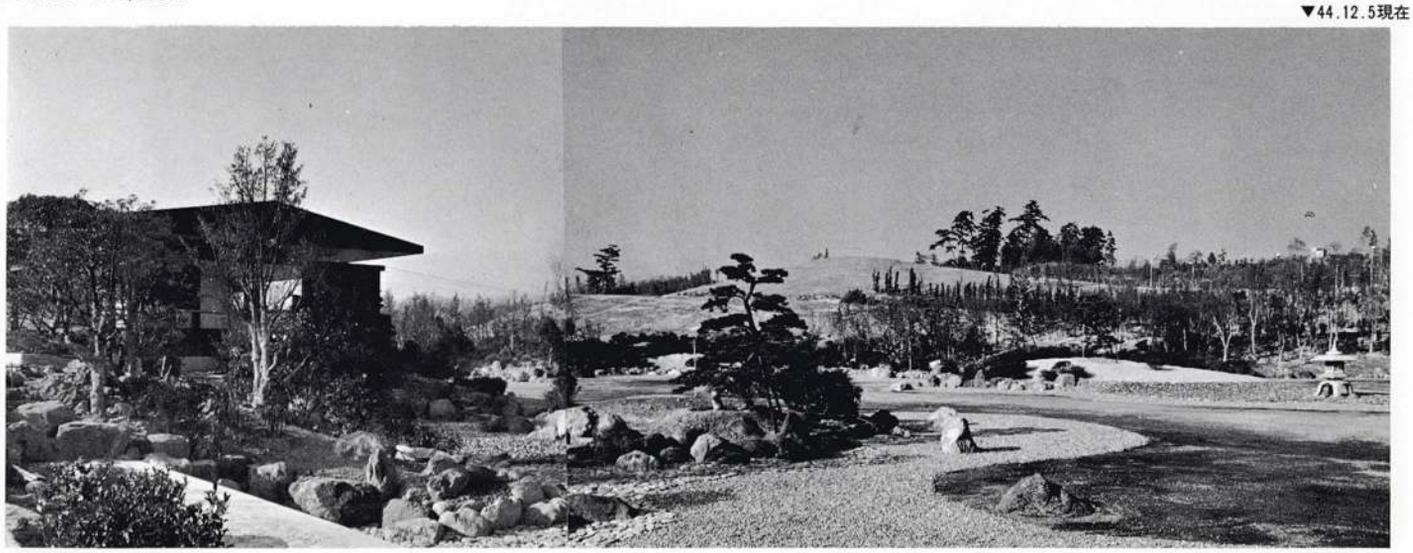
▼イタリア館 44.12.5現在

■日本庭園

設　　計　建築研究協会
敷地面積　260,000m²

会場北側の26万m²を利用し、日本の伝統的ならびに最新の造園技術の粋を集めている。細長い地形上、「流れ」を主題とした庭園にされている。
園内には、休憩棟４棟のほか、茶室棟、管理棟、観魚棟の計７棟の建物がある。

▼44.12.5現在





倉敷レイヨン中央研究所

●特許建築用内装・外装化粧材
砂粒状陶磁器の吹付

セラスキン

●建造物の内外部に!!
粉状陶磁器の吹付

セラコート

●粗粒状陶磁器の吹付

セラカット

セラスキンとは陶磁器の皮（CERAMIC SKIN）と云う意味で砂粒状の有色陶磁器と結合剤とを混合、液状としたもので、これをスプレー（コンプレッサー使用）ガンにて建造物の内・外、壁面、天井etc に吹付け、防水性と装飾を目的とする建材です。

特　徴

●色　彩	高熱焼成（1250℃－1350℃）にて発色した陶磁器を主材料にして顔料、色素を使用しない為雨風、太陽光線による色彩の変化は起りません。
●防水性	通気性、防水皮膜を形成します。
●耐薬品性	弱酸、弱アルカリに対しては変化を起しません。
●耐寒性	－20℃に4時間冷凍しても亀裂その他の異常は認めません。
●下　地	コンクリート打放し、モルタル、ベニヤ板、和壁、ブロック、スレート、テックス類etc. 鉄類の場合は錆止塗料を塗って下さい。

山本窯業化工株式会社

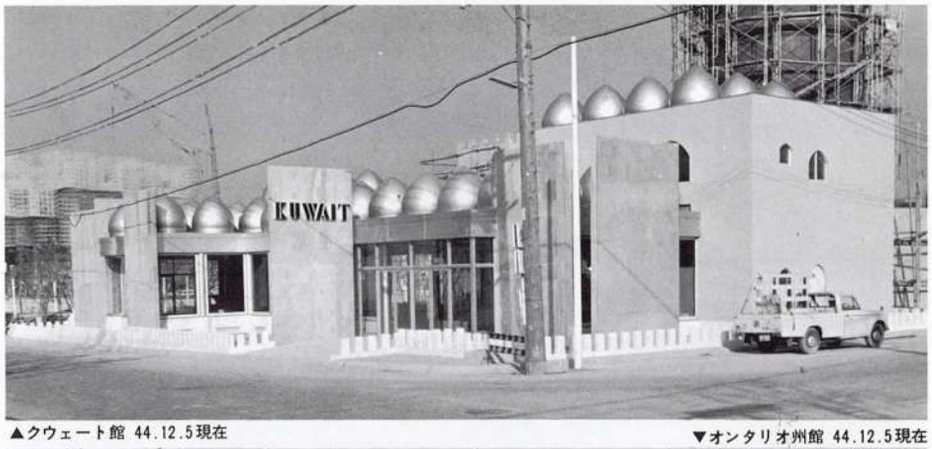
本社・工場　大阪府摂津市別府365　☎(06) 381－9131～5
東京出張所　東京都千代田区麹町3-6(藤井第2ビル)　☎(03) 265－8888～9
名古屋出張所　名古屋市中区栄3－23－14(山市ビル)　☎(052)262－6774～5
仙台出張所　仙台市堤通り30　☎(0222)22－1299
瀬戸工場　愛知県瀬戸市大字山口字南山138

■クウェート館

設　　計　K. Al-Far
協力設計　不動建設KK
施　　工　不動建設KK

敷地面積　800m²　　階　　数　地上２階
建築面積　367m²　　最高高さ　8.85m
延 面 積　437m²　　起　　工　昭和44年４月19日
構　　造　鉄骨造

回教寺院のモスクを表わし、屋根にはアラビアンスタイルを象徴する金色のドームがある。外はガラス貼で、建物周囲は池となり、夜は照明で浮きあがるようになっている。池にはクウェート独特のダウ帆船（むかしの貿易船）を浮かべる。



▲クウェート館 44.12.5現在

■オンタリオ州館

設　　計　Douglas C. Rowland, John B Parkin Associates
協力設計　KK竹中工務店
施　　工　KK竹中工務店

敷地面積　2,958m²　　階　　数　地上２階
建築面積　1,680m²　　最高高さ　13m
延 面 積　2,309m²　　起　　工　昭和43年11月11日
構　　造　鉄骨造

外壁は青色、柱と大ばりは白色。簡潔で印象的な美しさと、洗練された近代的技術とを巧みにミックスした建物。
展示は、2,000人を収容する劇場が中心で、高さ11m、幅27.5mの大スクリーンに多映像カラー映画を上映する。
このほか、自動操作でコントロールされる22台の幻灯機が30mのスクリーンに投写し、観客が歩きながら楽しめるように仕組んだモジュール・コミュニケーション・ビークルという装置などがある。



▼オンタリオ州館 44.12.5現在

■エキスポタワー

設　　計　菊竹清訓建築事務所
施　　工　共同企業体（KK大林組・KK竹中工務店
大成建設KK・鹿島建設KK・清水建設KK）

敷地面積　25,474.18m²　　構　　造　鋼管造
建築面積　176.74m²　　最高高さ139.092m
延 面 積　1,122.79m²　　起　　工　昭和43年８月

▼44.11.24現在



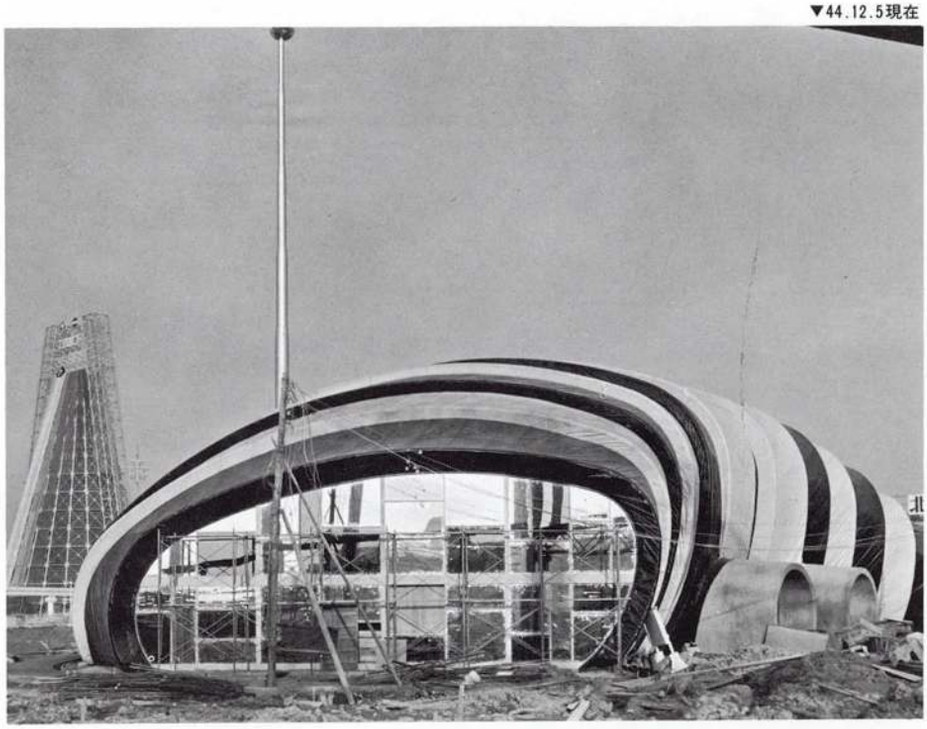
■フジパン・ロボット館

設　　計　三共建築設計事務所
施　　工　KK大末組

敷地面積　1,575m²　　階　　数　地上２階
建築面積　752m²　　最高高さ　11m
延 面 積　819m²　　起　　工　昭和44年５月７日
構　　造　鉄骨造

昆虫を形どった変形ドームで、鉄骨にキャンバス張りの構造。中央にはミラーボールを取りつけたテーマ塔が取りつけられる。テーマは“子どもの夢„で、内部は“ロボットの森„“ロボットの街„“ロボットの広場„の３つに分かれていて、大小あわせて約40体のロボットや種々の機械が登場し、子どもの夢をかなえる仕組となっている。

▼44.12.5現在



すぐれた居住性を創造する

軽量気泡コンクリート

シポレックス



新大阪繊維シティ
設計　株式会社ＲＩＡ建築綜合研究所
施工　共同企業体（竹中工務店・大林組）
使用場所　カベ（外壁）屋根

軽　　量（比重 0.5コンクリート¼の重量）

断　　熱（コンクリートの１０倍の断熱性）

耐　　火（法　定　耐　火　材　料）

◆シポレックスは工場、住宅から超高層ビルまで
あらゆる建物の屋根・床・壁・間仕切・耐火被
覆に使用されますが次の建物には特に最適です

1　工期短縮を要するすべての建物
2　空調を要する工場・倉庫事務所住宅等
3　鉄骨大張間の工場・体育館等
4　軽量化を要する高層建築物・軟弱地盤の建物
5　鉄骨耐火構造の建物

SIPOREX

シポレックス販売株式会社

本　　社　東京都千代田区岩本町２ノ１ノ16(森川ビル)
　　電話　東　京（861）代　表　７　２　４　１
大阪支店　大阪市西区京町堀通１ノ125(東洋ビル)
　　電話　大　阪（443）代　表　７　７　４　１
名古屋支店　名古屋市中村区広小路西通３ノ２(大商ビル)
　　電話　名古屋（581）代　表　７　４　２　１

□ 写真と概要をどしどしお送りください。
凡例：a．所在地　b．建築面積　c．延面積　d．構造規模　e．工　期



496. 大阪港湾合同庁舎

設計：建設省近畿地方建設局
施工：戸　田　建　設ＫＫ
a．大阪市港区築港４－１０－３
b．2,935.68m²
c．17,178m²
d．ＳＲＣ造，Ｂ１，８Ｆ，ＰＨ２
e．昭和42年10月～昭和44年10月



497. 京都グランドホテル

設計：ＫＫ　大　林　組
施工：ＫＫ　大　林　組
a．京都市下京区東堀川通塩小路下ル松明町
b．4,293m²
c．28,033.46m²
d．ＳＲＣ造およびＲＣ造，Ｂ１，１０Ｆ，ＰＨ３
e．昭和43年６月～昭和44年10月



498. クリスボン

設計：現代建築デザイン研究所
施工：ＫＫ　大　林　組
a．西宮市神楽町15
b．375.474m²
c．2,011.318m²
d．ＲＣ造，Ｂ２，４Ｆ，ＰＨ２
e．昭和43年10月～昭和44年７月



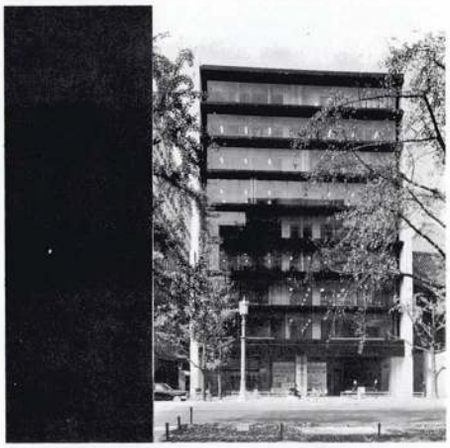
499. 倉敷文化センター

設計：ＫＫ浦辺建築事務所
施工：ＫＫ藤木工務店倉敷支店
a．倉敷市本町２番21号
b．740.33m²
c．2,059.00m²
d．ＲＣ造，Ｂ１，３Ｆ
e．昭和43年12月～昭和44年９月



500. 国民宿舎紀伊見荘

設計：ＫＫ　富松建築設計事務所
施工：ＫＫ　小　池　組
a．橋本市矢倉脇字橋ヶ谷
b．608.299m²
c．1,272.318m²
d．ＲＣ造，Ｂ１，３Ｆ，ＰＨ
e．昭和44年１月～昭和44年８月



501. 第二有楽ビル

設計：大　成　建　設ＫＫ
施工：大　成　建　設ＫＫ
a．大阪市東区本町４丁目２７
b．996.08m²
c．11,271.64m²
d．ＳＲＣ造一部ＲＣ造Ｓ造，Ｂ２，９Ｆ，ＰＨ３
e．昭和43年３月～昭和44年８月



502. 高槻市下水終末処理場

設計：高槻市下水道課
施工：西松建設ＫＫ関西支店
a．高槻市大字登町西大樋町
c．1,587.2m²
d．汚水ポンプ室ＲＣ造，Ｂ２，２Ｆ
e．昭和43年10月～昭和44年８月



503. ハイツ本山

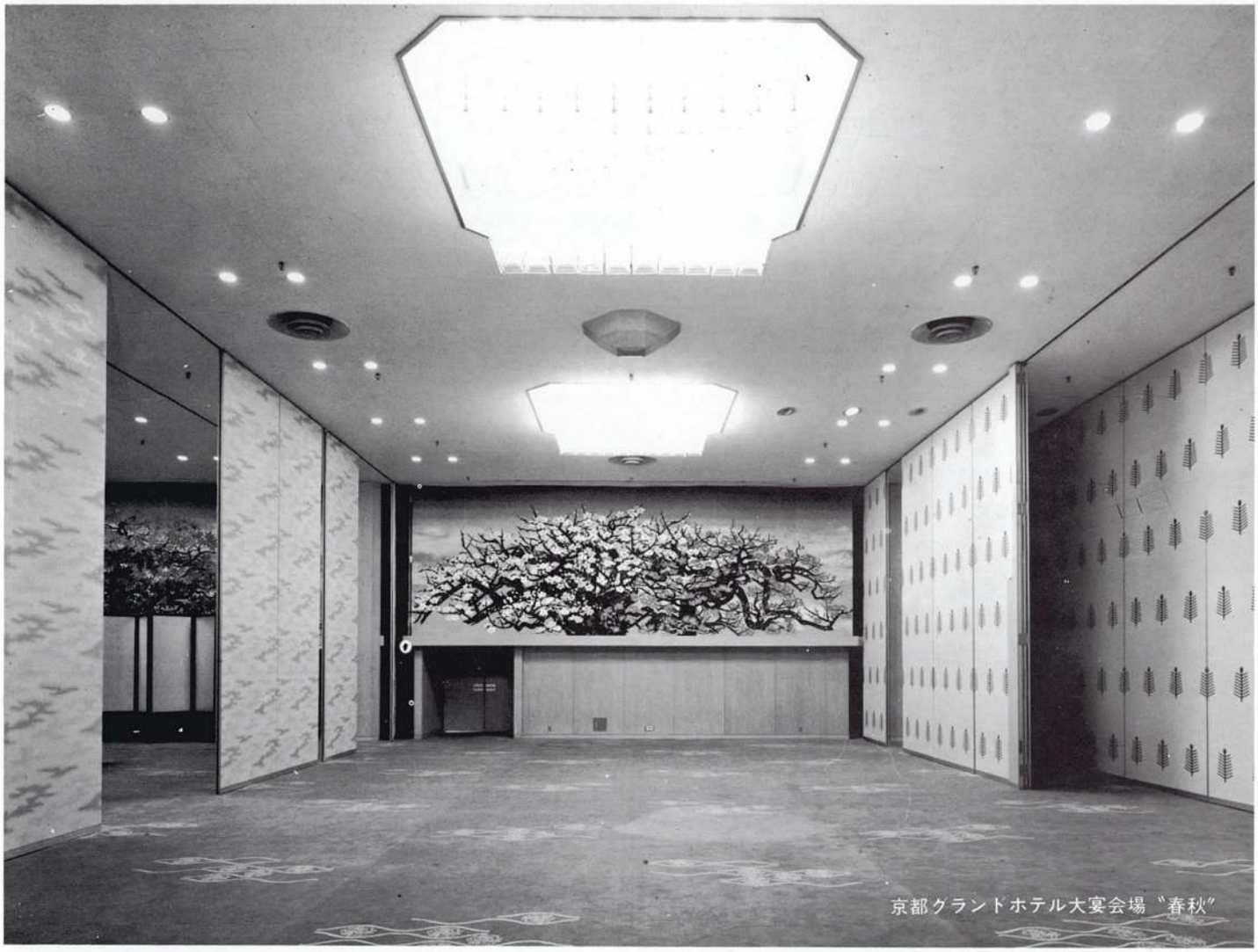
設計：ＫＫ新井組１級建築士事務所
施工：ＫＫ　新　井　組
a．神戸市東灘区本山町田中元清水52番地－１
b．1,052.518m²
c．7,172.799m²
d．ＲＣ造，７Ｆ，ＰＨ
e．昭和43年９月～昭和44年７月



504. 大阪市港湾局

設計：ＫＫ大阪建築事務所
施工：ＫＫ　鴻　池　組
a．大阪市港区三条通４－58～60m²
b．803.99m²
c．5,503.38m²
d．ＲＣ造一部Ｓ造，Ｂ１，６Ｆ，ＰＨ３
e．昭和43年５月～昭和44年10月

世界に伸びる——第3の壁



京都グランドホテル大宴会場〝春秋〟

移動壁

MY-WALL

単なる広間の間仕切りではありません。構造性・機能性・遮音性に優れた、本格的ＯＮＥ　ＦＬＯＯＲ計画を可能にする、NSN®が開発した我国唯一の移動壁〈Mobile Wall〉です。

立体交叉走行壁

RUNNING-WALL

Matrix Planning の出来る画期的新製品！建物の利用効率を100％とし、ユーザー理想の空間区分が可能です。パネルがレールと直角方向に横体走行する〈ＳＧＳ－ＮＩＣ－ＷＡＬＬ〉です。

日本マイウォール工業株式会社

〒550　大阪市西区靱本町1－96（ナルトビル）
ＴＥＬ．大阪（06）532－００２１・４６８６



クラスメート

56 〔京都大学　昭和13年卒〕

（左より・敬称略）

入澤二郎
（鹿島建設ＫＫ四国支店建築部長）

小西　岬
（ＫＫ田中・小西建築事務所取締役社長）

塚本喜八郎
（日本住宅公団名古屋支所長）

堀内三郎
（京都大学工学部建築学教室教授）

村井義次
（日建設計工務ＫＫ取締役技師長）

森田康次
（川鉄建材工業ＫＫ常務取締役）

吉田　孝
（積水ハウスＫＫ技術顧問）

（神戸商工貿易センタービル内部にて、
昭和44年11月22日）

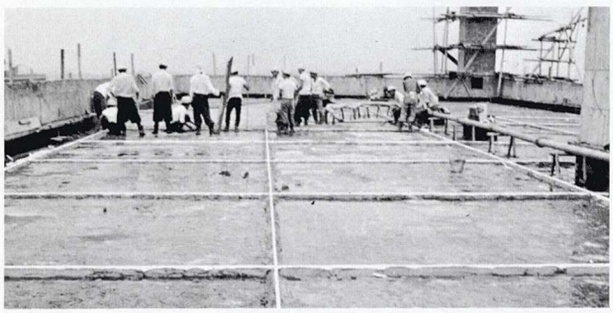
われわれのクラスは卒業時13人であったが、太平洋戦争の南方戦線で、最も長身でいつも仲間の先頭の方を歩いていた好人物の河原啓太郎を失い、現在は12人である。誰云うとなく〝どんぐり会〟と称しているが、どんぐりの背比べに因んだことは間違いない。昔から良い意味での〝不和雷同性〟があり、今回も７人が集った。

名古屋からわざわざ馳せつけた**塚本**は、ずっと大阪の住宅公団にいたが現在は名古屋支所長として活躍中。クラスのうちで最も早く結婚し、すでに孫が２人いる。酸いも甘いも知りつくした、頼りになる苦労人というところ。**入澤**は学生時代から、どういうわけか幹事役を引受けさせられることが多く、その話しぶりには独特の説得力？があるらしい。現在高松の鹿島建設四国支店に勤めているが毎週土・日曜日には必ず長岡天神近くの自宅に戻るという精励ぶりである。**森田**は長く兵庫県庁にいたが現在は川鉄建材工業の重役として、全国の鉄工所のおやじさん連中を相手に八面六臂の活躍ぶりで、そのせいか役人臭が感じられない。本人に云わせると「俺はしゃべり過ぎていつも損をしている」由であるが真偽のほどは不詳。**吉田**も大阪建築事務所の役付であったが、最近脚光を浴びている住宅産業の積水ハウスに移った。戦死した故河原君に次ぐ背高ノッポで、たびたびの病気にも耐え抜いたシンの強さに似合わず、人当りは非常に軟かい。**小西**は学生時代から大阪商人としての資質を備えているという定評があったが期待にたがわず、現在級友中唯１人の〝社長さん〟である。100人近い規模の設計事務所の長としての心労？の為か、最近「成人病」で大分やせていたがすっかり恢復して本日もご覧のようにカクシャクたる風貌を見せ、一同を安心させた。**村井**は日建設計の〝重鎮〟として、本日の会合場所になった神戸商工貿易センタービルの現場事務所長の大任を果したところ。その巨大な体軀に似合わず、学生時代より音楽や美術鑑賞など、繊細な一面も持っている。最近は仕事の関係で韓国にも時々出かけるためか韓国語も相当なものらしい。**堀内**は戦後、東京三鷹の消防研究所という一風変った所で18年間も防火問題の研究をやっていたが、約３年前に母校の教室に戻って間もなく起った大学紛争の渦に巻きこまれ、もみくちゃにされている。当日は急用のため欠席したが、伊藤恵造は滋賀県の建築士会々長に推されていることでもわかるように、温厚そのものの人望家で、最近はゴルフの腕も磨いているとか。

なお、12人の〝どんぐり〟のうち、残りの４人はいずれも東京在住で、小山　武（住友建設東京副支店長）、田上英二（三菱レイヨン施設部次長）、馬場知己（新東京国際空港公団参与）および吉川治男（大成建設建築部技術室）の面々である。（堀内記）

防水層の保護と軽量、断熱に

共栄（ともえ）のパーライトコンクリート（歩行用及び防水下地用）PC－D工法



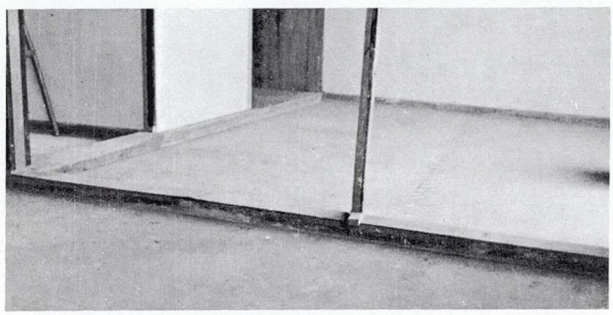
共栄パーライトコンクリートＰＣ－Ｄ工法採用の京都工芸繊維大学
（設計　教育施設研究所、施工　ＫＫ大林組）

作業が一工程省け工期の短縮と
コストが安くなる合理化工法

- 防水層の押えに使用し仕上モルタルの要らない金ゴテ一パツ仕上工法
- デッキプレートの軽量化や露出防水下地、または貼物下地にナラシモルタルの要らない金ゴテ一パツ仕上工法

共栄パーライトの特徴（独立気泡のため、吸水もない）を生かした

共栄（ともえ）のパーライトモルタル PM－C工法



共栄パーライトモルタルＰＭ－Ｃ（普通タタミ下地）採用
の住友電工西島社宅（設計施工　ＫＫ竹中工務店）

- タタミ下地の床組（大工仕事）が全く要らないので**工期短縮とコストが安くなる**
- 床組しないので建物の**ボリュームの節約ができる**
- 無機質 100％絶対耐火
- 塩ビ系タイル下地の**防湿、防音、軽量、断熱**（剥離防止）に
- **川砂を使わず**防水液を使用した完全防水パーライトモルタル

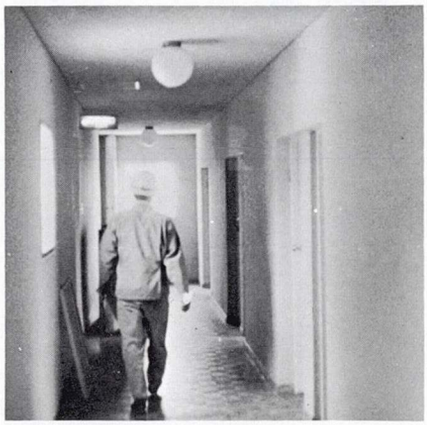
比重・断熱共木材並１：３
（比重0.85kg／ℓ、熱伝導率0.14kcal／mhc）

遂に出た…ベニヤ仮枠コンクリート下地の**かべ**、天井の一パツ吹付化粧仕上

ネオパールスキン®

化粧、吸音、防湿、断熱（結露防止）と多目的用に

- ベニヤ仮枠コンクリート下地（天井及びかべ）に直接吹付して剥離の心配がない
- **かべ面は金ゴテ押え**すれば聚洛壁タイプの表面強度のあるソフトでデラックスなムードである（ネオパールスキンの特徴）
- 一工程で仕上るので**工期の短縮とコストが安くなる**
- 下地はボード類、鉄板類、石綿板、モルタルなど何んでもよい
- 標準色20色と特別色もできる



ネオパールスキンをベニヤ仮枠コンクリート下地の天井（吹放し）壁（金ゴテ押え仕上）採用の西宮トラピスト修道院
（設計　村野森建築事務所、施工　ＫＫ竹中工務店）

共栄（ともえ）パーライト販売株式会社
大阪市東区森之宮西の町５９４　TEL代表(941)9243

建築の眼

早川文夫
名古屋大学教授・工博

越智隆晴
高橋建築事務所会長

泉資一郎
日本万国博協会建築指導課長

松田悦彦
日本マイウォール工業KK取締役社長

この四つの主張のそれぞれに対して、会員読者より、ご感想・ご意見を求めます。読者の頁欄に収録します（薄謝呈上）

（正月号より七月号まで上記の四人の執筆者で担当してもらいます。）

21世紀の価値基準

21世紀におけるわが国の姿や国民の生活はどのようになるであろうか——数年前に大原総一郎氏が発案して、いま全国で10くらいのチームがこの問題に取組んで研究しているはずである。筆者も都市計画を専攻する立場から、名古屋グループに加わっているが、研究が進むに従って、大きな問題にぶつかった。

21世紀においては、物ごとを考える価値の基準が現在とかなり変ってくるのではないかということである。アメリカでは開拓の苦しい生活体験から、豊富な生活（abundant life）に対する激しいあこがれに導かれて、現代の繁栄が築かれて来た。しかし、多くの人がそれに手が届くようになると、今度は人間性の疎外が問題になって、ヒッピーのような原始生活をしても個性を発揮したいと願う人々もあらわれてきた。

人間の幸福が物的な豊かさだけに置かれないことは明らかである。それが充足される21世紀においては、さらに情緒的なあるいは創造的な欲求が激しく起こり、従って価値基準の体系もかなり異なってくるはずである。ただ現在の延長の上に21世紀を位置づけるだけの作業は余り大きな意義がないように思われる。（Ha）

さ・え・ら（1）

カナダのヴァンクーヴァーでは街筋に色々なスタイルの5～6階建のガレージ・ビルの多いのが印象に残っている。このように交通対策・駐車場問題には官民ともに真剣に取組んでいるが、身近かなわれわれの街の姿はどうか。国民の血税で営々として造られた公共施設が、昼は市街地で、夜は住宅地で無神経な青空駐車族の専横に任されている。かくて5m幅の道路が3mの効用もなくなり、もともと低い道路率がさらに引下げられ、人間はだんだんと路端に押しつけられていく。建築基準法の道路幅4m以上という法の意志はここでも踏みにじられている。

兵庫県の例をみると、県下の自動車88万台のうち85万台が自家用車で、事故率は80%が白ナンバーである。そこで、マイカー通勤の安全対策の問題が提起されているのは当然のことであるが、当然でないのは、市民の共有財産であるはずの道路を私用に供することである。いまや青空駐車は野犬の群れよりも有害かつ危険な存在で、公害の右翼にランキングさるべきものである。

終末処理を忘れた自動車の供給体制をこのままにしておいてよいはずはない。マンションよりも先に車のマンションを、子供の広場とともに車の広場を——為政家も企業家も、眼を人間性回復の方向に向けてハンドルを切れ！（O）

名人芸的センス

参加国数からみても建設投資額からいっても、まさに有史以来最大の万国博も建設は最後の追いこみに入っている。外国参加者は口をそろえて日本の建設技術の優秀さと建設業者の誠実さをほめたたえる。万国博を契機として日本の建築技術の優秀さを全世界に公開した功績は何者にもかえがたく大きい。ただ、何となく気になることが一つある。会場内、どこもかしこも、表も裏も満点をとろうとするいわば名人芸にみちみちていて、息を抜く所がない。モントリオール万博の場合、その会場計画は、人目につく表通りは手を入れ金もかけていたが、目につかない裏通りはかなり気を抜いていたように思う。同じことが打放しコンクリートに対する彼我の考え方にもいえる。外国の多くは文字通りアン・フィニッシュな粗面を意味するが、日本の場合、フィニッシュな仕上げを要求し表面を鏡のように作り上げる。一種の名人芸的センスである。これは我々日本人の国民性であり、長所とも短所ともうけとれよう。もはや日本は大国と人はいう。大国ともなればそれぞれの分野でそれ相応の責任を世界の国々にもつこととなる。今迄のような張りつめた名人芸的センスで、今後、世界の各国を相手に大きな仕事がやりこなせるかどうか。最後まで身がもつまいと案じられる。（I）

建築Planningへの夢 1.

一口にいって、建築設計とはclientsからの設計要望を満たし、必要かつ技術的可能な特性とその寸法を決定して、これを完全な姿で示すものを理想設計ということが出来る。

同一設計条件での甲乙の問題はさることながら、ここにいう夢の設計とは技術革新を加えての画期的Planningのことで、それは機能的技術的設計でありたいものである。

世は正に宇宙時代である。画期的技術開発の時代でもある。我国建築界においても、常に革新技術によって未来設計に挑戦しなければならないと思う。

建物空間とは、壁・床・天井とによって構成されるものである。壁が必要時に現われ、不要の時には消えさるということが出来るならば、ONE FLOOR計画からいっても、それこそ夢の壁とでもいうことが出来るであろう。いささか空論にすぎるかもしれないと思うが、決して不可能な夢でもあるまい。むしろ、今後我々に課せられた、建築界における技術革新への責務であると考えたい。元来、建物が必要に応じて大きくもなり、またより高くもなり、使用の都度自由自在にその形状までも伸縮変形することが出来るならば、それこそ空間利用のための夢の建築Planningが楽しめるわけである。（Ma）


塩化ビニル樹脂系粉体塗料
エバクラッド
關西ペイント株式會社

建築と社会

The Architectural Association of Japan

特集：現代社会の問題点

1970年 Vol. 51 1

年頭のことば ……東畑 謙三… 1
昭和44年度中に竣工した新建築 …… 2
本年の抱負 日本建築協会常設委員会…… 21
会告 神戸製鋼所建設機械工場の見学会・清酒白雪の新旧醸造工場の見学会… 27
法令コーナー 29. ごあいさつ・法令解説—騒音規制法の施行と建設工事騒音の規制について…… 43
読者の頁 工事のPR・ONS工法の紹介・建設災害について・その他… 45,47,49
日本万国博ニュース ポルトガル館・イタリア館・オンタリオ州館・クウェート館・日本庭園・エキスポタワー・フジパンロボット館…… 51,53
スケッチブック 最近竣工の新建築9点（№496～№504）…… 55
クラスメート 56. 京都大学 昭和13年卒（入澤二郎・小西岬・塚本喜八郎・堀内三郎ほか3人）…… 57
建築の眼 担当：早川文夫・越智隆晴・泉資一郎・松田悦彦…… 59
海外写真 憩の空間（ビルの谷間のポケット公園）……写真と文・中村 淳… 63
コンクール 第15回工高生デザインコンクール入選作（設計課題：ユースホステル）…… 64

特集＝現代社会の問題点

座談会出席者 飯沼和正・宮井卓・中岡哲郎・大久保昌一 …… 67
前文 …… 68
テーマ 前近代と近代の二重映しとしての日本的状況・タテ社会とヨコ社会・重厚と軽薄・旧い連帯と新しい連帯・個人的能力とシステムの能力・2頭立の馬・会社主義？・管理社会への抵抗・フロンティアの拡大と問題のすりかえ・青年と否定の対象・閉鎖社会の論理・ヨコの矛盾とタテの矛盾・新しいギルド・場をつかむ・自己申告時代・企業資産としてのソフトウェア・巨大化危機・文化の重み・時代のテンポと予測・技術の客観化・TVにおける本能の局部拡大・社会的不安の変化・生産の規模と情報の規模
関係文献リスト抄 …… 82

生活と空間の原理 —京の町内4 ……U D O… 83
万国博跡地開発計画4 ……TEAM BARK（奥保、小北ほか）… 88
技術の頁 89. 構造部門 厚肉形鋼の溶接の問題点……滝沢 章三… 91
月報 日本建築協会月間の動き（昭和44年11月分）…… 93

編集人 松井昭光
印刷 昭和45年1月20日
発行 昭和45年1月25日
発行人 福中定三郎
発行所 (社)日本建築協会
大阪市東区北浜3—37
電 大阪231—9648
振替口座大阪39975

印刷者 網野栄
印刷所 (株)研文社
大阪市北区堂山町66
電 大阪361—2091
売価 1部 300円・送料共

表紙デザイン：表紙デザイン小委員会 & 山元清重

KENTIKU TO SHAKAI No. 1 Vol. 51, January 1970

(Architecture and Society)

A Journal of "The Architectural Association of Japan"

Cover design: K. Yamamoto

Editor: *Akimitsu Matsui*
Publisher: *Teisaburo Fukunaka*
Published by
The Architectural Association of Japan.
37, 3-chome, Kitahama, Higashi-ku, Osaka, Japan
Price: *single copy price* ¥300

CONTENTS

New Year's Wording ..... 1 — by *Kenzo Tohata*

New building completed in 1969 2

This Year's Aspiration by the Standing Committees of The Architectural Association of Japan 21

Column for Laws & Ordinances about Architecture 43

Column for Readers 45, 47, 49

EXPO '70 Architectural News 51, 53

Column of New Buildings 55

Class-mates 57

Essayes ("Kentiku no Me") ..... 59 — by *Fumio Hayakawa, Takaharu Ochi, Tomoichiro Izumi, & Etsuhiko Matsuda*

Photograph: Restful space (A small park between building) ..... 63 — Photo: *Jun Nakamura*

Accepted Plan of Technical High School Student's Design Competition 64

SPECIAL FEATURES ON PROBLEM OF MODERN SOCIETY

Theme ..... 67 — present: *Kazumasa Iinuma, Taku Miyai, Tetsuro Nakaoka, Shoichi Okubo, & Takashi Adachi*

Japanese style present condition from the point of double image of pre-modern and modern. Lengthwise society and crossway society. Sincerity and frivolous. Old solidary and new solidary. Personal ability and capability of System. Two horse carriage. Enterprising System?. Resistance towards controlled society. Substitution of Frontier magnifcation and problems. An object of youth and negation. Theory of closed corporative. Crossway contradiction and Lengthwise contradiction. A new Guild. Seizing a place. Self declaration period. Software in enterprise assets. Crisis of becoming encormous. Importance of Culture. Temps and forecast of an era. Technical objectivity. Sectional expansion of instinct in Television. Changes of Social uneasiness. Production scale and Information scale.

Bibliography 82

A Design Survey in Kyoto (4) ..... 83 — by *U D O*

Redevelopment of EXPO '70 Site 4 ..... 88 — by *TEAM BARK*

COLUMN OF ENGINEERING

89. Welding of thick shape steel ..... 91 — by *Shozo Takizawa*

BULLETIN 27, 93



海外写真

憩の空間

ビルの谷間のポケット公園

写真と文　中村　淳

ニューヨーク

マンハッタンの空をおおうビルの谷間に42×100ftの小さな公園がある。門を入ると正面に高さ20ftの滝があり、7^{t} minの水が水壁をつくっている。12ft間隔に植えられた17本のニセアカシアの天蓋の中に椅子とテーブルが配され、訪れる人に豊かな自然の憩の場を与えている。CBS前会長Samuel Paleyが記念につくったPaley Parkである。

第15回工高生デザインコンクール入選作品

設計課題：ユースホステル
主　　催：日本建築協会

総評

ユースホステルという現代青年向きの好課題のためか、今回は全国より96点の応募作品があった。万博パビリオンの影響がそのまま出たり、既存のユースホステルの真似をしたり、あるいは土一升金一升の市街地向きのものも散見されたが、大勢は課題を正確に把握し消化した健全な傾向のものが占めており、審査員一同いわゆる時代の断絶を感じるまでにも至らなかったようである。

ユースホステルは独乙のワンダーフォーゲル運動が日本に定着したものであるから、日本の自然との対話が行なわれる立地点を先ず選ぶこと、次にビアレントやホステラーとの人間的交流の場を造ることが課題の真意である。この点、沢清司君の案は抜群のものであった。

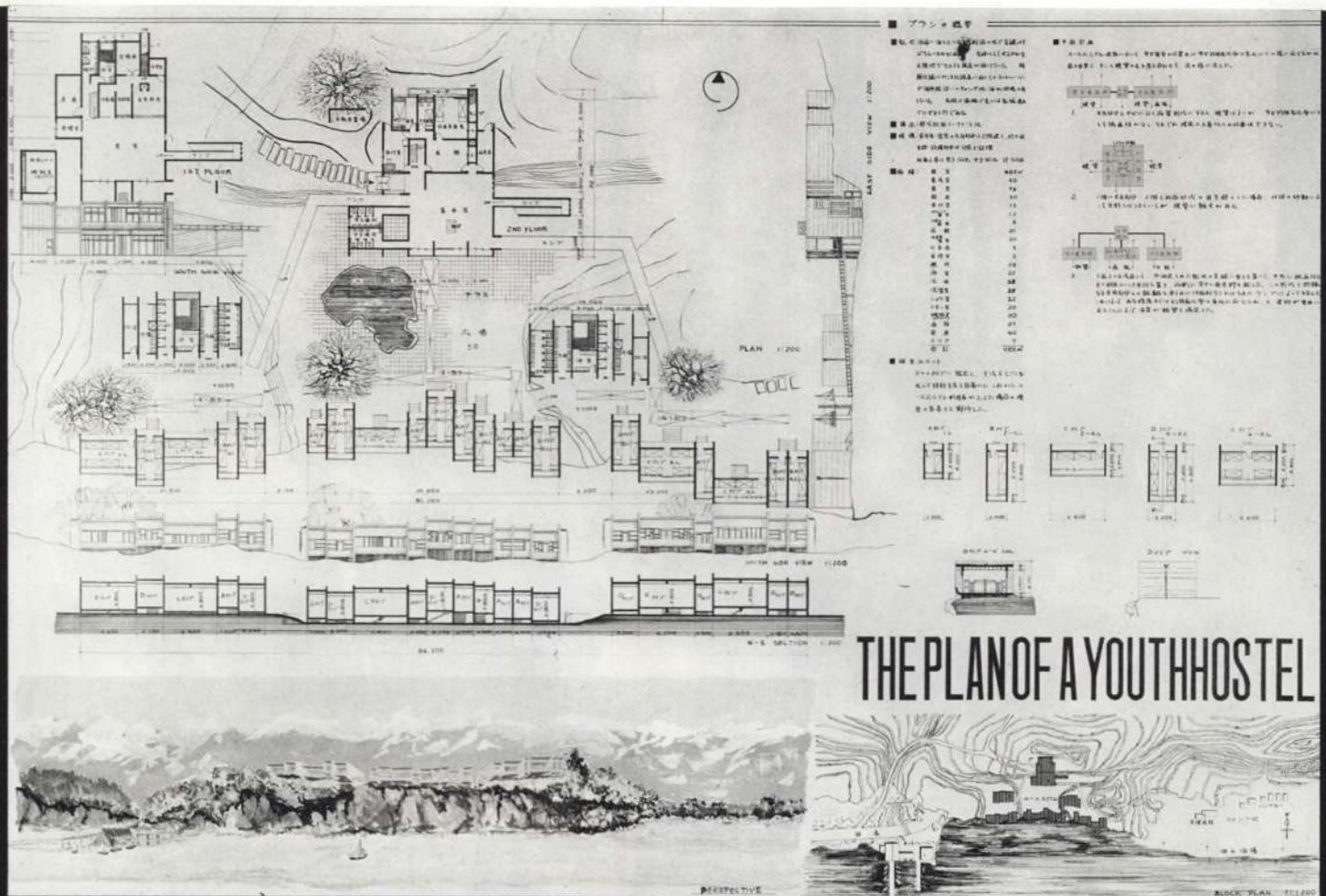
「最大の自由は最大の厳格より生れる」（ポール・バレリー）ということばは如何なる課題にも共通だが、殊に今回もその感を深くした。

（浦辺鎮太郎）

審査経過

審査は第1次より第9次にわたる加点法、減点法、敗者復活を繰り返して厳密公平を期して行なわれた。応募規定に違反したものがあったのは惜しいことで、審査対象とならないから注意を要する。入選作は最終段階で合議により選ばれたが、序列は附されていない。なお最優秀作品は合議により全員一致、沢清司君の作品に決定した。

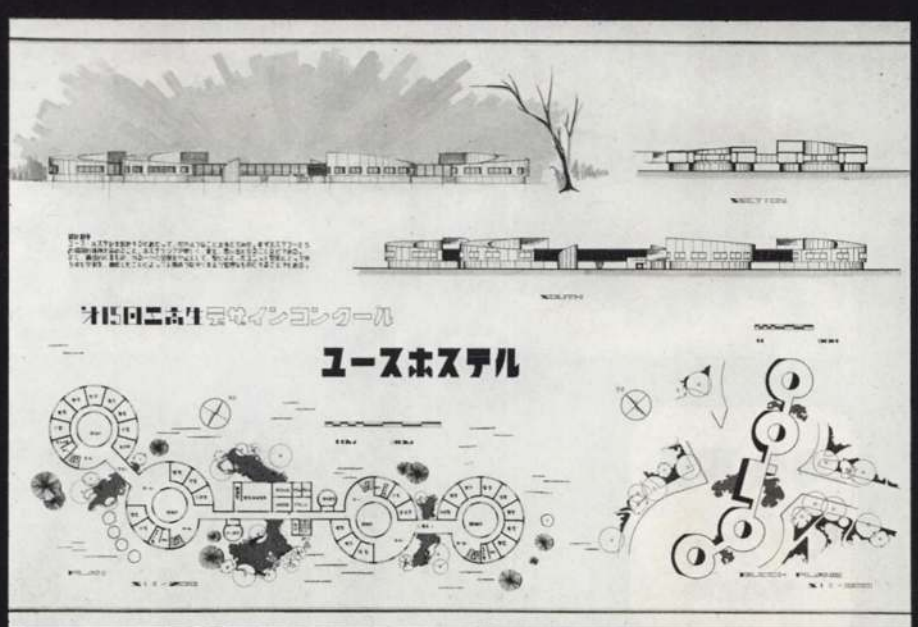
（審査会は、昭和44年10月17日に開催。応募校19校、応募点数96点。）



最優秀作品　沢 清司

大阪市立都島工業高等学校 3年

課題をよく把んだ上で描かれた雄大なイメージ。巌頭から飛立つ若鷲の羽翼をひろげた力強さと共に、自然の暴力から日常的生活を防害されないという細心な配慮があって、作者のバランスの良い建築的才能を感じさせる。発表がカラー写真であれば一層見事であろう



入選作品　野崎由典

名古屋市立工芸高等学校 2年

このクラスタータイプのプランには審査員に賛否両論があった。大きいスケールの空間では意味があるが、この程度のスケールでは効果も経済性も見い出し難いからである。さらに望みたいことは、透視図に環境条件を加えることである。しかし、アイデアとしては取るべきところがあった異色作。

設計要項

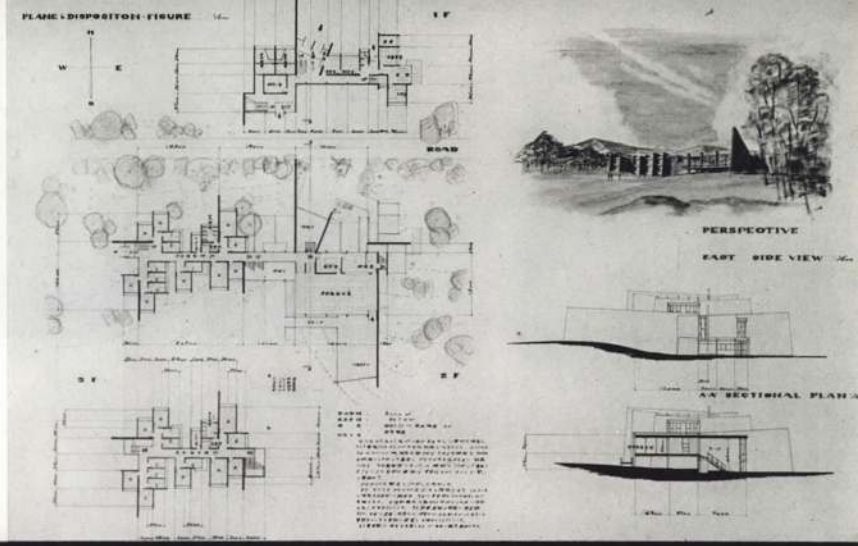
たんに旅行ホステルといった考え方にこだわることなく、温暖の地に企画される休暇・週末ホステルを想定し、自然に囲まれたなかで、交歓会、ゼミナールなどのはつらつとした青少年活動の場を創ることに主題をおきたい。なお、ユース・ホステル建築規準に準拠して下記によること。

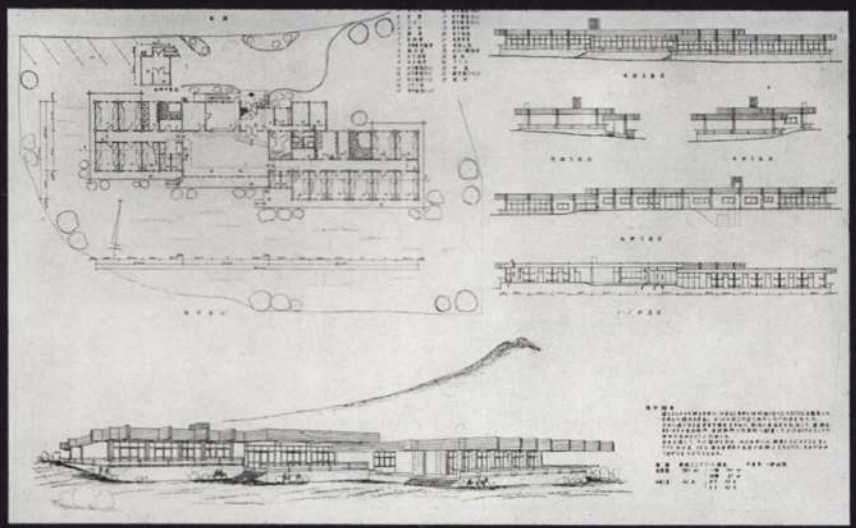
A．敷　地　温暖な地域の南のゆるやかに傾斜した丘陵地、青年の広場の一部施設とする。従って屋外環境はかなり自由に考えてよいが、屋外施設を含めて区画を考慮する場合は 3,000m²程度を対象とする。

B．構　造　耐火構造または不燃構造。

C．規　模　地上3階建以下。但し、ボイラー室・倉庫などは地下室としてもよい。収容人員　男子50～70名、女子50～30名、計 100名。床面積の合計は6.0m²/人前後を一応の見当とする。

D．各　室　省略





入選作品　臺 辰雄

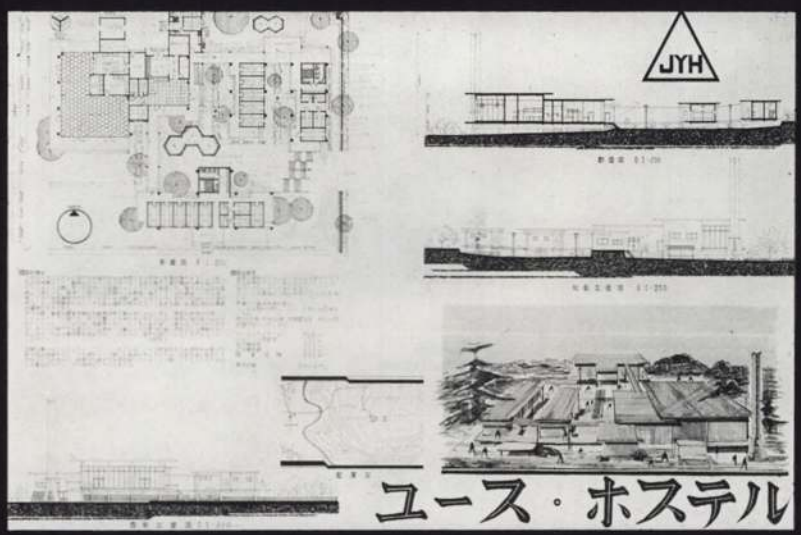
東京都立田無工業高等学校３年

赤城山麓を思わす高原に、現代的造型を対比させ若人のパラタイスを創ろうとする意欲があふれている力作　その反面、意にあまって力足らずというアンバランスも感じさせた。

入選作品　藤岡辰雄

長野県上田千曲高等学校３年

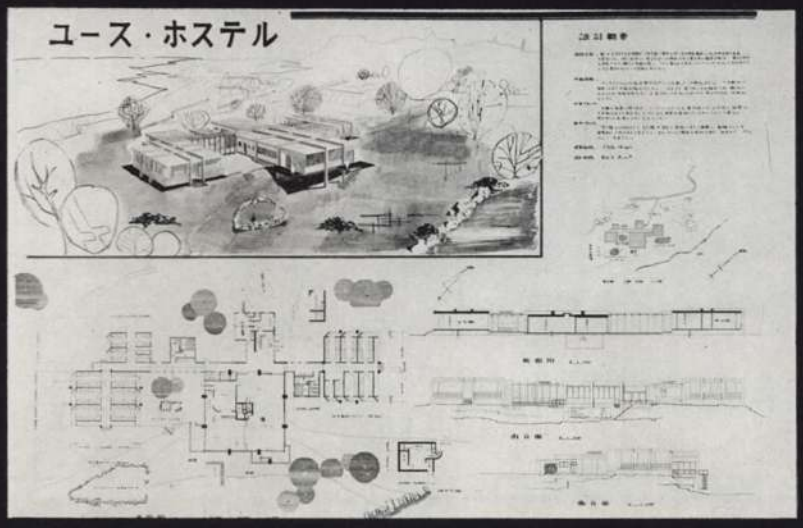
のびのびとして屈託のない好ましい作風　日本の高原のもっとも恵まれた時節を思わせるしかし、自然との悪戦苦闘の時期も凌がなければならないことを忘れないて欲しい。



入選作品　椎原 研

大分県立鶴崎工業高等学校３年

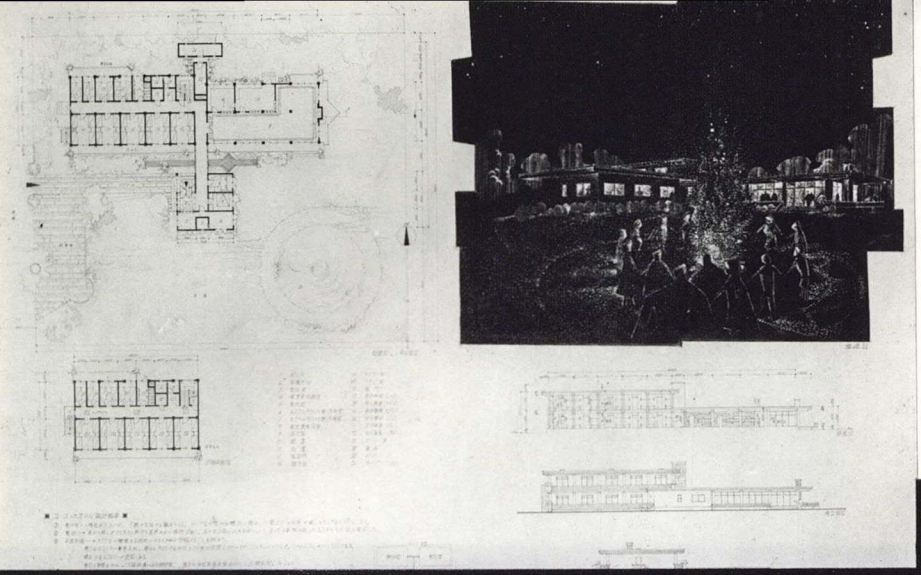
ユースホステルは一般に賄房が要求されるので、煙突の造型か問題になる　この作品ては煙突と思ったものがシンホル・タワーてあった　心理的変化に応した自由自在の空間構成に魅力もあるか、細かい問題もある。



入選作品　加藤一国

大阪市立都島工業高等学校３年

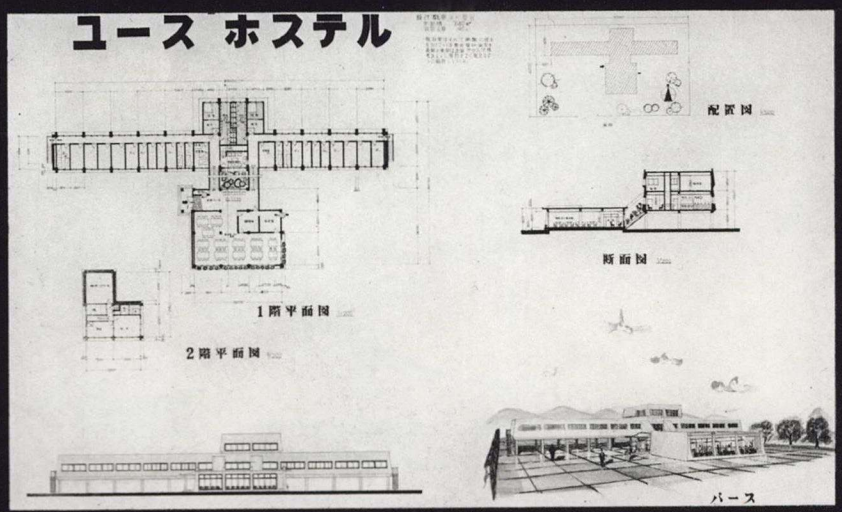
余分のアイテアとか手法を切りすてて、身についた技て勝負をしているところが好ましい。筆数を省略して、統一感ある個性的な作品にまて仕上げた点を取りたい。



入選作品　滝沢紀男

長野県上田千曲高等学校３年

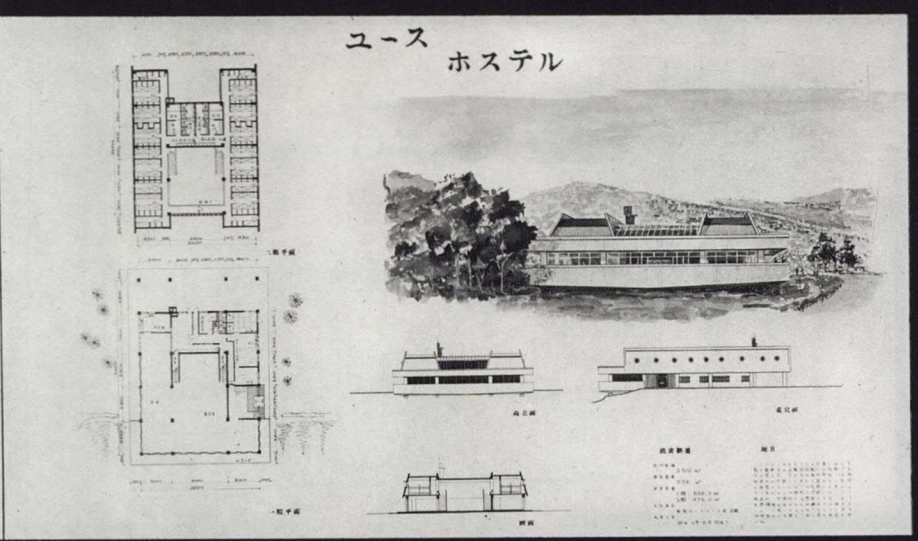
現実的で経済的な配慮のあるデザインであるが、それにとどまらず環境を整備し課題に答えている。キャンプ・ファイヤを取り入れた夜景の透視図は他に例がなく、出色の出来映えである。



入選作品　下農博己

大阪市立都島工業高等学校２年

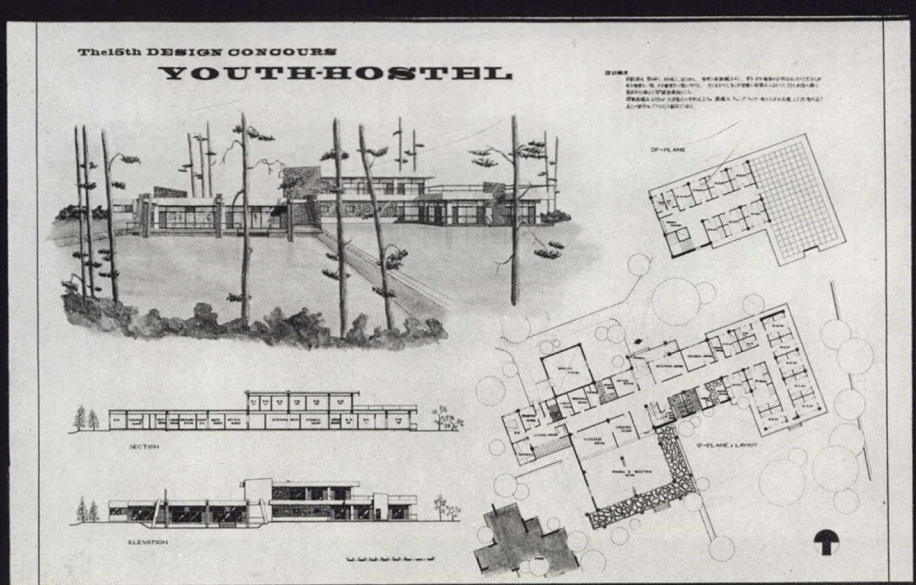
よく整理されたプランとエレベーションを持っている　それだけに大都会の郊外の独身者寮を思わせる。もっと自然の中に飛び込んだ方がよかった。



入選作品　大石昌夫

神奈川県立神奈川工業高等学校３年

堅実て実用的なプランはいただけるが、エレベーションにもう少し工夫を要する。市街地の公衆浴場のような印象を受けるので、この点は折角の自然環境にマッチさせて調和を加えれば、一層面白くなったてあろう。



入選作品　松原裕男

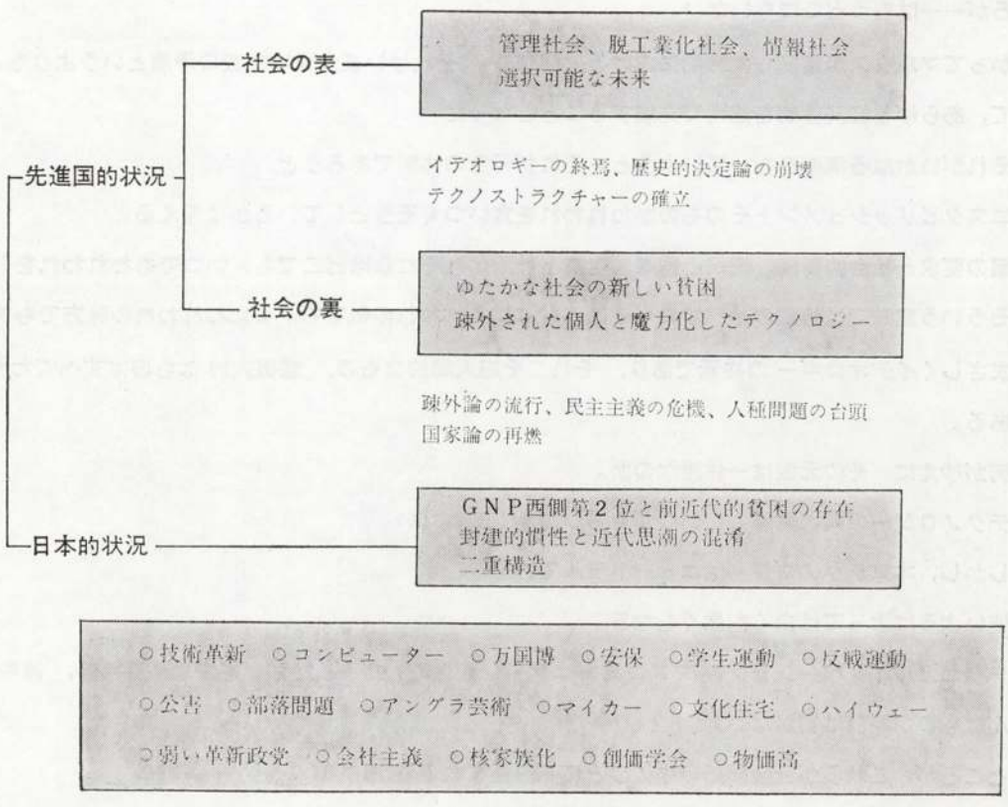
名古屋市立工芸高等学校３年

洗練された感覚の作品て特にどこという難点もなく、いわゆる優等生てある　この作者ならばどんな課題ても入選できるてあろう

座談会：現代社会の問題点

科学ジャーナリスト・朝日新聞　飯沼和正
久保田鉄工ＫＫ企画開発部長　宮井卓
神戸市外国語大学　中岡哲郎
司会・阪大環境工学　大久保昌一

（昭和44年11月8日・北浜清友会館）



前　　文

70年代はあらゆる意味において問題をはらんでいる。

まず手近かなところでは，万博と安保がある。

これは，産業社会の自信と国民的不安の対極的表象ともみられよう。

巨大な産業社会は，単に知覚される形での現実的な諸力を，われわれにつきつけてくると同時に，

一方見えない力でわれわれを強引に——勿論強引という意識さえ感じさせずに——管理機構の中へ押込み，組入れてゆく。

工業化社会から脱工業化社会へ，あるいは知識産業社会へと，それは歴史的必然性であるかのごとくわれわれを押しやってゆく。

強制された消費，マーケットコントロールされた欲望，メニュー化された文化，それらは人々をアトマイズし，ステロタイプ化し，平板化し，部分人間化してゆく。

どこをさがしても，かってのわれわれ——豊かでなかったかも知れないが，それは少なくともトータルな人間としてあったはずであるが——はもうどこにもいない。

かってマルクスが指摘した労働における人間疎外，それはいまや資本主義の矛盾というよりも，むしろあらゆるイデオロギーを超えて，あらゆる経済体制を超えて充満することとなった。

それがいかなる構造をもっていようと，それが何色の体制であろうと，

エスタビリッシュメントそのものがわれわれを食いつくそうとしているかに見える。

個の要求と社会的要請，国民と国家，自由と計画化，それらはどこでも，いつでもわれわれを引き裂かずにはおかない。

そういう意味では特定のイデオロギーは，もはやわれわれの敵でも，またわれわれの味方でもあり得ない。

まさしくイデオロギーの終焉であり，それこそ超人間的なもの，超個人的なものはすべてわれわれの敵にまわったと思われる程である。

何がゆえに，その元凶は一体誰なのか。

テクノロジーの異状発達。こいつがくさいのかも知れない。

しかし，本来テクノロジーはニュートラルである。

使いようによっては白くも黒くもなる。

テクニカルイノベーション，マスコミュニケーションのもたらしたさまざまな頭脳機器，雑多なコミュニケーションメディヤ——そんなものが悪いはずがない。

ところが，これらが社会関係の中にひと度組み込まれるや，

構造的な魔力を発揮してわれわれをおしつぶす。

社会のたどるべき方向について，われわれをさしおいて，われわれに命令を下す。

そこではテクノクラートになりさがった（あるいはなり上った）われわれが，

テクノストラクチャーの歯車——小さな，そしてめだたない，しかも歯車たることに空虚な誇りをさえ抱いている歯車——となって，切なく動きまわる。

かってのような，コムミュナルな人間的連帯，情緒的なつながりが，もうどこを探しても発見できない。

このような先進国的構造とラップして，また前近代的な構造が，それが存在すべき歴史的時点をストップさせたかのように，現実にその大きな骨組をむき出しにして，われわれを包み込んでいる。

つまり「ゆたかな社会の新しい貧困」と「貧しい社会の古い貧困」が同時代人として互に自己を主張しているのが，日本的現実である。

われわれは同時に，歴史的には二つの時代を生きていることになる。

一方では，これが強みとなって日本を躍進させ，他方ではわれわれを混乱させている。

マルクス流にいえば近代的と思われる生産諸力，生産関係を下部構造として，ゴミ溜め的な雑種文化の花——上部構造がめまぐるしく展開する。

コンピューターであれ，システムズ工学であれ，はては海洋工学，住宅産業，とにかくそれが何であっても，

新規なものに対しては極めて敏感に反応しながら 自己意志をなし続ける一方の人格と，依然としてアンシャンレジームにつながる社会通念に支配された人格が同居する。

閉鎖社会から開放社会へのベクトルは，「家」を解体し，社会的集団を変革し，大学をゆさぶったことは確かに事実ではあるが，

ゆさぶりの跡には遺制が姿をかえて依然として立ちはだかっているかに見える。

先進国的都市問題のうらにある後進国的住宅問題。先鋭的な都市問題に対置するどろくさい農村問題。

われわれの歴史は，100年の物理的時間を抜き去った形で構成されている。

そこでは近代と前近代は同時進行概念（**concomitant concept**）である。こうした歴史的風土の中で，ますます高まってゆく人間の社会的モビリティーと加速化されてゆくテクノロジーのテンポは，

われわれから適格な先見性をうばい去ってしまう。

70年代は，そういう時代としてスタートする。

……先見性のない時代——喧伝されるようなバラ色の時代でもない，だからといって一概にお先まっ暗というのでもなさそうである，しかしそう思っているだけかもしれない。われわれを奈落の底が待ちうけているかも知れないのだ。

——そういう時代のスタートに当って「現代社会の問題点」を特集し，座談会を開催した。

座談会という形式は，問題を深めるのに適したスタイルでないかも知れないが，ある種の気易さが取りえであろう。

ともあれ正月号のことだ，とやかく小言はゆわぬにこしたことはない。

多忙な皆様に，せめて寝ころんでお読みいただこう。

前近代と近代の二重映しとしての日本的状況

司会　さっそくですが現代社会の問題点について前近代と近代の二重映しとしての日本的状況からお話しを始めて下さい。それから，現代社会を解析するに当って，できればなるべく技術との関連の中でお話しを進めていただきます。

飯沼　世界の一番先端へ出てきた先進国の状況ということと，歴史的に見てヨーロッパの**ドイツ農民戦争と宗教改革のあと**くらいの状況と，そういうのが非常にダブリあってきているように私は受け取っているわけです。したがってここに**先進国的状況と日本的状況**と並べて置いてありますけれども（扉の図表参照），これは私の考えていることに近いような気がしたのです。

先進国的状況というのはたとえば過密社会とか高密度社会とか情報社会とかが大体先進国的な状況でしょうけれども，それと並んで日本的状況というのは前近代から近代への脱皮というようなものが，それが日本人の思想の中でも，技術とか科学とかいうものの中でも，あるいは労働構造の中でもいま一度に出てきているのじゃないか。したがって私は前近代からの脱皮という意味では日本の現在の状況に対して比較的楽観的なんです。

宮井　むしろ二重構造であるがゆえに楽観なんだ。それがホモジナイズしたときの方がむしろ問題が多い。それだけエネルギーがあり得るというわけですね。

飯沼　つまり前近代あるいは半封建という状態で曲りなりにも西側世界の第2位というところまで来たわけですから，これでほんとうに近代化すればハーマン・カーンが言ってるような21世紀は日本の世紀だというようなことはあるいは可能なんじゃないか。しかしそのためには現在の日本の社会の持っている前近代的なものはたたきつぶしていかなければいかん。そしてそういうものがいま至るところに出てきていて，大学のいまの紛争を見ていても私はいわゆるドイツ農民戦争と同じじゃないかという感覚があるんです。

タテ社会とヨコ社会

宮井　まあ一つの**ギルド**みたいなところがあるものな，大学というのは。だからむしろ前近代に見えるというのは，その**タテ的社会**がまだ残っているという，そこに問題が多いと思いますがね。しかしモビリティは日本全体としてはふえてきてますけれどね。

中岡　僕は前近代というのはよくわからんのですけれども，その議論はきょうはあまり……（笑声）

まあ日本の技術的な体質というか，その問題に関連して言えば，僕が技術屋やっていた時期に感じたことなんですが，非常に短期間に大きな変化をずっと，それこそ高度成長を遂げてきたということで，いわば**技術の構造の中に歴史がからみ合ってるというか，異った段階のものが同時に存在しているところからくる強み**といった印象が非常に強くしたですね。

たとえば僕が最初に技術屋になったとき，一番上のほうのクラスというのは結局技術屋としての一番精力的な活動を戦争中にやったそういう人々です。たとえば満洲へ行って，わけもわからずに大きなでかい高炉をつくって，それだけが唯一の経験だとかね。あるいは戦争中にとにかくクロームがない，で何とかしてクロームをつくれということで採算を無視してクロームをつくりかけて爆撃で全部つぶされた。しかしその人としてはそれが一番だというふうな人。そうするとそういう人の体質というのはものすごく一種の**冒険主義的な体質**があるわけですよ。その下に技術導入一本ヤリの時に，新卒で入ってきていきなりしごかれた，コストだとか品質管理だとかいわれると苦手だが，新しい設備をとにかく何とかこなすということは絶対自信があるというような中堅がいる。その下に比較的オーソドックスな技術的教育をうけて，新らしい数学的手法などよくこなす若手がいる。新らしい仕事に手をつけるというような時，若いほど消極的です。コスト計算や技術的検討をしきりにやって反対している。それを古い冒険主義者がわけもわからずに手をつけてしまう。仕方なく若い連中がせっせと尻ぬぐいをする。中堅がとにかく何とかこなすところまでもってゆくと，若手が細かい仕上げをやるというふうにね。そうするとできるはずがないと思っていたようなものができ上ってしまうというような結果になるんです。

飯沼　それは尻ぬぐいをした結果でき上ってくる……。

中岡　そうそう。で何か，日本のこれまでのところ，これからそうであるかどうかということはわからないけれども，これまでのところの日本のそういう**技術の持っている活力**というのは一種の雑種みたいなもの，非常に短い発展の中でつくり上げられてきたいろんなタイプの人間の混在がかえって外側から眺めている人間には目につかないような，特に日本の武谷氏なんかから始まるオーソドックスな技術論ではどうもとらえられんような，一種のエネルギーみたいなものをつくりだしている。そういうことを僕はかなり痛切に感じたのです。そうするとそういうものを脱皮して，等質化するということは，飯沼さんのいっている近代化というのは必ずしも等質化ということではないかもしれないけれど，エネルギーの喪失につながって，かえって弱くなるというようなことも場合によったらあり得るのと違うでしょうか。

重厚と軽薄

宮井　むしろ私なんかは企業にいると，同じことなんですけれども，私どもが昔から聞かされていた，あるいは私らも経験していたような企業の技術のオーソリティというのは経験に比較的比例したような状態であったわけですね。ところがいまの技術のオーソリティというのはどこにもないとも言えるし，どこにもあるとも言えるわけですね。たとえば新しい技術ですと若い人のほうがよけいオーソリティになっている。で結局いまの技術というのは——これは技術に限らず，すべてのものがそうだと思いますが——昔のようにオーソリティというのがなくなった。今日の企業ということになるとですね。大学というのは長老の先生がオーソリティを持っておったかもしれないが，企業には位の上とか月給が高いというのは別として，**企業のオーソリティというのは非常に流動化**してきた。ことに新しい技術に関しては若い人のほうがオーソリティになっている。私，これは混乱と思わない。エネルギーになっているくらいじゃないか。いままでのしきたり上からいくと混乱が起ってきている。

もう一つ，したがってそれと裏返しのことだが，昔の技術というのは積み重ねていかねばならない，かなり**重厚なもの**が尊重されたわけです。しかし最近はいろんな機具が発達したし，前のものを再現するよう

なシミュレーションするとかいろんなことも非常に容易になったが，企業の立場では**マーケッティング**というやつがどうしても先に走らざるを得ない。そうしますとマーケットそのものが非常に変貌するわけです。技術がそれについていこうと思えば，あまり**重厚**であってはスピードが合わないわけです。昔で言えば**軽薄**なようなものの**価値観**がふえてきたわけです。トットコトットコものを変えていくという。それが二つ目ですね。オーソリティがどこにもなくなった，あるいはどこにあるやらわからんようになったことと，価値観が変ってきたということ。企業というのは大体戦斗部隊ですからね。

今までは過去の経験を背負って言えたんですが，過去の経験そのものが否定される事件がたくさんあるものですからね。だから図にも書いてあるように，**選択の時代**だと思いますよ。オールターナティヴな時代だ。あらゆるものが，いま人間の生き方だっていろんな生き方が……昔だと農民は土にかじりつくよりしょうがなかった，その農民が50%以上おったというのがどんどん減ってきているわけですから，モビリティというのが非常に大きくなってきたと思いますね。

飯沼　いままでの明治100年の日本の進歩というのはこれは**スカラー**の進歩だと思います。大体西欧のパターンをめざす方向はもうきまっていたわけです。スピードさえ上げればよかったというような。いま日本が到達しているこれからの進歩というのは，どっちに走ったらいいかという方向をまずきめて，スピードはそんなになくてもよい。まず**ベクトル**として進歩を考えんといかん時代にきている。そうなると人間に必要な能力というものは，いままではともかくガムシャラに馬力を持ってるやつが一番強かったが，これからは**お巫子さんと実験屋の時代**だと思う。お巫子さんというのは「あっちだあ」と，ただそれだけ言えばいいわけだすね（笑声），易者みたいなものですよ，「こっちだあ」と言ってね。いままでは日本の社会はそんなことを言っても，「アホ言え，先生はあっちを走ってるヨ」といって，予言の必要はなかったんですがね。しかしこれからは怠け者でもけっこう，「あっちだあー」と言って寝ころんで言えるやつのウエートが高まってくるだろう。

しかしながらその次の問題として，これは科学のほうで言えば**仮説**と言ってもいいかもしれないが，しかしそれで社会がフワーッと動いてしまったんではまずいだろう。したがってその次にこれかもしれない，あれかもしれないということに基いてシミュレーションしていって実験していく必要が出てくるだろう。日本ではそういう実験という，試行錯誤ですが，そんなものはほとんどされてこなかった。そういう意味で**お巫子さんと実験の時代**に入ってるのじゃないかと思います。

宮井　70年はそれこそいろんな**八百万（やおよろず）の神**，教祖のよけい出る時代であって……

飯沼　そういう意味で，プロテスタントとカソリックと，おれが一番だといってせめぎあったドイツ農民戦争あたりの状態が現在の日本じゃないか。あの当時は全部自分が一番正しいんだといって暴力もふるいましたが，いまの学生運動も私はそういうふうに見ているわけです。セクトが一ぱいあって，全部自分たちが正しいんだと。

旧い連帯と新しい連帯

宮井　結局は全部自信がないんだな。これだということが言えない。とにかく，あらゆる面で昔連帯と言われていたものがものすごくくずれてきているときでしょう。しかし，人間は連帯を求めるということからマネージメントを習う。農村の地方コミュニティの連帯から都会へ出てきてその連帯がこわれた人たちが，やはりもう一ぺん連帯を求めようとするのが**創価学会**だ。だから都市周辺の文化住宅街に多いですよ。そういうものがあるが，どちらかというとまじめ集団かな，あれは。（笑声）

地域連帯がものすごくこわれてますね。私たち，隣は何してるか知らんという……。そうすると何かその中の，図にも書いてあるんですが，やはり孤独の恐怖といいますかね。全部が，技術においても，昔は技師長がえらくて，技師長がこう言ったらパッとやったもんですよ。いまごろはどこにも技師長がおるわけですね。（笑声）

個人的能力とシステムの能力

中岡　さっきから農民戦争がしきりに出てくるので，（笑声）そこで一言。

農民戦争ということで持ち出されるとやや疑問があるんですが，僕はやっぱり現在精神労働の面で起っている変化というのが，結局普通の手労働の分野で起っていたつまりあの当時の変化ですね，マニュファクチュアができて，それから機械制大工場へ変っていくという，そういう変化に似ているという点では時代的な対応をつけることが出来ると思うのですよ。たとえば技術屋の仕事なら仕事の変化ということですね。で，さっき，要するにいまは**モビリティの時代**だというふうに言われた。僕なんかあまり数年間でラインが全部変ってしまうというふうな仕事をしたことがないものですから，想像がつかないわけですよ。想像はつかないけれども，家庭電器にしても何にしても大体一つの商品の勝負は数年くらいできまってしまうわけでしょう，一番よく売れる時期というのは数年ぐらいであって，ほんとに一つのラインがつくられてそうして要らんようになってしまうまでの間は実に短かい。

そういう仕事をどんどんやっている人間にとっては，たとえばこれまでだったらさっき言われたように自分で蓄積してきた能力というか，つまり能力というのは蓄積されるものであって，主としてそれがものをつくる上で役に立ったわけでしょう。ところがそういう数年間でラインが変ってしまうということになると，そこではむしろある商品を企画して，それを数カ月なら数カ月でテストをして，いろいろ試作をつくったり何かして，そしてラインの設計をやって出来るだけ短期に新らしいラインをつくったり，同時に古いラインをうまく縮少したりという，むしろ仕事の手順というか，**システムの方が基本的な能力**であって，蓄積してきたものというのはあまり重きをなさない。重きをなさないというのは，そのシステムに関する能力はやっぱり蓄積されるものなのだがそれは個人的能力ではなくて，大ていの場合，企業の財産であるわけですよね。つまりそれを離れては個人は仕事はできないわけですね，技術屋たりとも。その辺が人間の手労働から熟練が落ちていって，ギルドが解体して，職人的な労働が意味を失なっていって，工場労働に移り変っていく，で人間の能力よりも客観的な生産手段の方がものをつくる上で非常に大きな意味をなす，というふうに変っていった時期と非常によく似ている。

そういう点ではたとえば大学斗争でも，大学のギルド的な性格というのはこれは絶対変らざるを得ない。そういう必然から，このままほっといたっていずれはくずれざるを得ないというそういう時期に来ている。それからそういう時期に人間が持つ不安，特に精神労働をやるインテリ，あるいは技術者になる人間が持つ不安，そういうものはその時期の職人や土地をはなれた農民やが持った不安になかり近いだろうと思いますね。

宮井　技術屋が持ってる不安というのは，さっき言ったように，昔は蓄

積しておれば蓄積がものをいったわけですが，蓄積がものをいわないんですね。結局蓄積したためにポンコツになる人間がたくさん出てきたわけですね。昔はそういうのはあまり出なかったんですがね。蓄積したために，あいつはあれしか使えんけれども，あいつの考えているやり方のやつはもう売れんのだからといって，昔からのイナーシアがついてるために転向がきかんで，そういうやつがたくさんできとるわけです。私，大学なんかもそうだと思いますよ，もうあれ，やりかえようといったってやりかえられん……（笑声）イナーシアがかなりついてる人がたくさんいると思いますよ。

飯沼　それは私は昭和26年に大阪大学工学部に入りましたが，造船だったんです。私どもが入ったときは工学部一本で入りました。ところが32年でしたか，33年からですか，大阪大学の場合で言いましたら各学科別に分けたわけですね，工学部の中でも。それから私どもが入ったときは，学生部長が入学したときに，もしどこかへ移りたかったらどこの大学でも移ってくれとはっきり言ったわけですよ。ところがそのあとは隣の学科へ移ることすらかなりむずかしくなった。まして学部を移ることもできなければ，よその大学へ移るときにはやめなければいかん。そういうふうに非常に縦に細分されてきたわけですが，縦に細分される際にわれわれ学生が何と受け取っていたかというと，たとえばそのころ京大で鉱山学科があったわけですが，あるいは理学部なんかでも植物なんか，そういうところへは学生はほとんどこないんですね。教授は学生がこなくなると自分のほうとしては後継者がおらんということになって，そういうことも非常に大きなファクターで縦に割られたと思いますよ，少くとも学生はそう受け取ったのです。

宮井　企業では，しようがないわけだ。売れんところ，そこへ人を置いとくわけにいかんから，転向してもらうか棚上げするかしか，しようがないわけだ。アメリカだったらレーオフだ，完全に。契約制度でやるからね。

飯沼　ところが日本の場合と外国の場合はちょっと違うんじゃないか。というのは，日本で"生き字引き"ということばと英語で"スペシャリスト"ということばとちょっと違うと思いますよ。生き字引きというのは日本の場合，あいつはスペシャリストだ，あいつは生き字引きみたいな人間だというのは，あることについてはものすごくよく知ってるわけですよ，しかしながらそいつに聞きにいったら答えるけれども，何かその問題から発展させていくという能力はほとんどない。むしろ自分の持ってるものを隠そうとする。ところがスペシャリストというのは一つのスペシャルなタレントを武器にして，その分野から螺旋階段のように上昇発展していけるような人を言うんじゃないだろうか。

宮井　われわれいま企業でもスペシャリストというのは何かということが問題になるわけですが，大体技術屋というのはスペシャリストだと言われてきたわけです。スペシャルであるためにポンコツになってるわけですよ。企業におけるスペシャリストというのは，問題解決能力のある人のことなんだ。問題を発見し解決すると言ったほうがいいと思いますけれどね，そうするとどうしてもさっきみたいに重厚派ではやっていけなくなる。どんどん形勢が変っていくでしょう，そこに非常に問題があるんですね。ただ企業というのはそれが完全に競争社会だものだから，アメリカじゃアメリカ全体が競争社会でしょう，日本ではまだ一部非競争社会がたくさんあったと思いますよ。そこに混乱が，そこに非常に矛盾が出てきた。競争社会の中ではまあ割に簡単に受け取められたのがたくさん出てくると思う。

中岡　そういう転換能力，要するに軽薄であって問題を解決する……ことばとしてはあれですが，軽薄と重厚というのをそのまま使わしていただきますとね，軽薄派がいまの技術の体制の中では価値を占めるということ，それが大体日本の社会でも圧倒的な傾向になりそうだということは私も現状認識としては同感なんですけれども，それでは重厚派に属するようなもの，蓄積がものをいうようなもの，それも案外，残るんじゃないか，残さねばならんという問題はないでしょうか。

宮井　残るとは思いますけれども，しかしかなり代替されていくと思いますよ。私どもどちらかというとドイツ的教育を受けたわけですが，そういうところは私ども技術系ですから，まず一番大事な学問というのは数学ないしは物理，化学であったと思います。それに語学をかなり。それをエンジニアとして応用することは最近では全部コンピューターに置きかえられるわけですよ，代替するものができたというわけですね。それじや重厚に勉強するということは何かということですよ，今度は。昔はそういうものを積み重ねていって，これはもう非常にエンジニアリングの立場になって，学問としては私は別だと思いますが，それを応用する面において全部物理とか数学と言われたものがほとんどコンピューターに置きかえられて，ポンと入れればさっと答えが出るようになった。そこをまた同じことを足してやらす必要はない。何も十進法でやる必要はない。二進法の便利なものがあれば。だからむしろポンと飛び石で飛べるとこは飛んだほうがね。つまり，どうジャンピングするかという能力のほうが大事になって，積み重ねていくという……これは傾向として，積み重ねていくのが要らないという意味じゃないんですが，傾向としてはジャンピング能力のほうが大きくなっていく。

飯沼　私はこんなふうに考えるんですよ，かって「勉強は敵だ」と書いたことがあるんですがね。（笑声）というのは，さっき私，仮説と実験ということをちょっと言いましたが，日本でいままでの勉強には仮説というものが全然ないわけですよ。まずこうじゃないかと思ってそれから勉強を始めるんではなくて，いままで物理学なら物理学はこうであったからそれを全部勉強してしまって，もう年とって腰が抜けるほどになって，さあ何かオリジナルなものを言おう，というような，そういう態度があるわけですね。この式の蓄積というのをやっていったときにはシミュレーションというのはもうできない。ところが勉強というのは，まずこうじゃあるまいかという直観でもいい，仮説ですが，まずこれがあって，それを実証する形で勉強していってそれが蓄積になったときはじめてそれは生きた蓄積になると思います。いままでの日本の蓄積なり重厚は，そういう直観なしの重厚だから，直観を鍛えるというような訓練をしながらの勉強ならいつでも転換もきくんじゃないかと。だからそういういま言ったこれまでのやり方の重厚というのは転換のきかない重厚である。同時に死んだ蓄積ではないかという気がするのです。

宮井　少しきょうの主催者のほうにおもねって家の話をするけれど，（爆笑）最近ヨーロッパの没落が言われるわけですが，僕はアメリカというのはやはり文化的にはヨーロッパの遺産を引き継いでいると思うのですよ，家だってそうだと思います。やはりあれはフロンティア……そういう伝統を持ちながら移民の子として丸木小屋から出たということ，そして広大なフロンティアで与えられたエネルギーを爆発させていって非常にモビリティの高い社会をつくった。住まいというのはテンポラリーなものだと見てるわけですね。だからジョッブもテンポラリーなもので，横へ横へ動くわけですよ。契約的社会ですから，ことに。アメリカでは大体木造が多いですよ，あるいはそこらで取れるもので簡単につくるというのが多いですよ。ヨーロッパの石づみの家というのは，僕は人間そのものをさっき言う軽薄派・重厚派ということで言うと，モビリティーとスタビリティーと言ったほうがいいのかもしらんけれども，メーソンリの家というのは大体ヨーロッパに多いわけですよ。というのはやはりアメリカがヨーロッパ的伝統を継ぎながら移民の子として丸木小屋から出たという，テンポラリーなものだと。えらい軽薄派の擁護をするようで悪いけれどね。（笑声）だからアメリカというのは人の知恵はかりてきたらいいんだと，だからブラウンをドイツから連れてきて月に行けばいい，と。これをシステムとして組めばいい。

僕も実は2週間前にアメリカから帰ってきたんですが，……いまアメリカじゃ，都市問題は黒人問題とひっついて，白人を都市に置いとかにゃいかんし，また黒人のために家を与えにゃならんという悩みが出ておるわけです。その場合にいまアメリカでやろうとしているのは，白人をおらすためにシカゴあたりではハンコックビルですか，割にいい家を建てて上へ住まわして，下を事務所にするとか，マリーナですか，トウモロコシみたいな格好のやつを建てたりしてるわけですが，ああいう住

宅はいま全部ヨーロッパから導入しているわけですよ。しかし現実にどっちが勝負があったかというと，フランスの何とかいう記者が『アメリカの挑戦』という本を書いたように，ヨーロッパは負けているわけです。

2頭立の馬

やはりヨーロッパというのは2頭の馬を走らさなかった。アメリカは**マーケッティングと技術開発という2頭の馬**で馬車を引っぱったが，ヨーロッパは技術開発だけでしか引っぱらなかった。そこに差があるというわけだ。マーケッティングを見ればこれは変化の社会がどうしても出てくるわけです。技術というのは本質的に積み重ね的な要素がある。だからポンと飛び石がなければ社会というのは発達しない。企業サイドで言うので，学問の世界の話とちょっと別なんだけれどね。ここ（扉の図表）に**テクノストラクチャー**と書いてあるが，やはりガルブレイスが言ったように，新しい産業国家というのにはテクノストラクチャーというのが出てくると思う。企業集団というかテクノストラクチャーの力というのはそれがまさに**飛び石時代**になってきた，ジャンピング時代になってきたというんだ。社会の大きい例だ。僕はそういう見方をしたら，これからジャンピング時代になるに対してのいろんな積み重ねがある。それがいろんなものに出てきていると思うんですよ。

日本の産業は日本の軽薄さが支えたというんです。（笑声）ヨーロッパでは水洗便所もないのにピアノや自動車を買ったりしやしませんよ。（笑声）そうするとピアノがある生産台数になると国際競争力を持つ。国内だけの生産台数でアメリカへ行く。それから自動車もそうなんです。私もそうですが，月給足らんくせに自動車を買ってね。（笑声）そういう軽薄……これは貧しさの裏返しだ，一点豪華主義かと言えるんですが，つまり軽薄さというのがむしろ利点だった。だから日本の家庭電器が強い，テレビが輸出製品になってるというのは，みんなそうなんですよ。

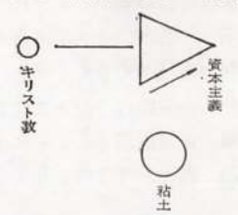
会社主義？

これからの世の中は，家の問題でもそうなんですけれども，家というのは個人の城であるということと，それで安く人々に家を与えねばならんということと，これが相矛盾して，効率を追求するということと個性をとうとぶということのハーモニーというのは非常にむずかしいわけですよ。これは家だけじゃなしにいろんな面に出てくると思うのです。で大体会社へ入りますとこれ全部管理社会なんですよ，会社の中での競争，会社と会社との競争社会。日本はいま社会主義じゃなしに**会社主義**だという説があるんですが，（笑声）一橋の坂本先生の説ですが。これがまた一つの管理社会でしてね。管理社会というのはオールターナティヴではあるけれども，ある方向へ持っていって最も効率を上げようとするわけです。そういう管理社会とそれに対してどう主張するかと。これは僕はせんない努力になるんじゃないかと思うんです。結局**テクノストラクチャー**というのができて，そいつがほんとの管理者として社会を継ぐのだ，というのがガルブレイスの新しい産業国家という理論の説明なんですが，それに対してやはり管理されるのはいやだ，個性を発揮したいと。僕はそういうことで飯を食ってる人はたくさんあると思いますよ，**逆に。タレントと称する**やつがそうなんだ。あれはほんとを言うと西遊記の孫悟空みたいなもので，大きい手ではほんとは管理されとるのだけれども，その中でも割にモビリティが強い社会。それとやはりしょせん小さく管理されるのはかなわんから，何とかその体制に抵抗しようというのがたくさん出てきていると思うな。だからそういうのが風俗に出てきてると思いますよ。たとえばアメリカの**ヒッピー**とか**イッピー**というのはみんなそうだ。個の主張というのが非常に強いわけですね。

管理社会への抵抗

飯沼　そこで大学紛争の中でも「管理社会への抵抗」ということばが出てますが，ここでも日本の場合とアメリカとかフランスなんかの場合と非常に似通ってるけれども違う点があるんじゃないか。これは中岡さんあたりもっと詳しいと思いますが，僕の仮説が妥当かどうかをチェックしてもらいたいんですがね。（笑声）

それは，私アメリカの社会というのを見てましてこんな印象を持ったんですよ，アメリカの社会の発展を見てますと，アメリカは独立宣言とかああいうもので理想的なもの，それからキリスト教的な思想がありましたね。片方に資本主義によるコマーシャリズムというか，そういう資本主義の力でこっちが牽引力になって引っぱった。（図参照）ある段階までは「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」みたいなもので一致して発展してるだろうと思うのですが，ある段階を過ぎると資本主義のほうの要するに金をもうけるために金をもうけるというような非常に強い力が働いてきて，社会全体が非常に矢印の方へずうっと引っぱっていかれて，きれいな結晶，市民が味の素の結晶みたいにきれいになって引っぱられていく。引っぱられて引っぱられて結晶が全体としてコチコチにかたまっていって，コチコチというと変かもしれませんが，相当かたまってきている。これに比べますと日本の社会は粘土みたいなもので，鉱物みたいなもので，まだいまからばらばらに結晶化されて，それからかたまった状態にいくんじゃないか。アメリカの社会なんかのかたさと日本のかたさとは，似てるとしても中味はだいぶ違うのじゃないか。アメリカの場合はこういうものが資本主義的な近代的な管理社会であって，で，それに対して日本の場合はコンピューターなんか入ってきたこういう近代的な管理社会に加えて自我の解放というようなものがまだ十分に行なわれていない。**日本の家意識**といいますか，これは，川島武宜なんかの言ってる「日本社会の家族的構成」ですか，そういうものが管理社会の自我を押えつけてる機能として大きなしがらみになっている。こういうものと，それからこういうコンピューターなんかによる近代的な管理というものとが日本では両方重なってるんじゃないか。日本の場合の方がもっと激発しやすいだろうと思うのですよ，アメリカなんかの場合よりも。アメリカとフランスのほうは日本ほど激発はしないかもしれない。だけど逆に言えば日本は家をこわせばこの次の段階で硬化するまでは相当すっと伸びるだろう。アメリカの場合はこの次にくる解放というのはどういう形なのか，それがわからんだけにより深刻であって，日本のほうがよりバラ色に見られるんじゃないかというそんな感じを持つのです。



フロンティアの拡大と問題のすりかえ

宮井　アメリカの場合は**フロンティア**をたくさん持っていたわけですよ，従来は。領土的にもいろんな意味で。でフロンティアがあるときには，やはりきしみというのは非常にあっても目立たない。しかしフロンティアがなくなってきて，人工的フロンティアをつくったのがベトナム戦争であるかは別として，とにかくお月さんに行ったというのは人工的フロンティアだ。このような。政治的といったほうがいいかもしれない政治的フロンティアをつくらざるを得なくなった。自然にフロンティアないしは社会的にフロンティアであったのが，政治的フロンティアをつくらなきゃならなくなってきた。

いまこれまた僕も，やはり建築というのに置いた場合，結局アメリカが月から今度フロンティアを何に求めようかと。フロンティアがなくなったから，非常に矛盾がたくさん出てきた。矛盾が一番先に出てきているのが貧困と黒人問題。当然出るときには一番先に貧困とか……ああいうヘテロジニアスな民族だから，人種問題が出るのはあたりまえの話で，出たから，今度はそこへフロンティアを政府としては設けよう，いまアーバン・リニューアルということで，，オペレーション・ブレークスルーというのですけれどね，文字どおり突破作戦，今度は家をつくると。ただアメリカというのは，見てきたけど，住宅産業というのは非常にニクソンの政権の政治的意識が強いんですよ，貧しい人たちに家を与えようとかね。

ところが日本の場合，はだかのこっちのほうの家，しがらみとしての家，ほんとのハウスのほうは貧弱だと思うんですが，これはもうほとんどすばらしい勢いでくずれているんじゃないですか。

飯沼　それがいま大学紛争の……。

それが会社へくるんですよ，企業へ。

宮井　企業のほうが先にくずれてると思うのですよ。

中岡　僕は飯沼さんのそれは前から知っているんで……（笑声）

飯沼　あたっておりませんか。

青年と否定の対象

中岡　いや……。まあ幾つかの問題が結びついてると思うのですがね。日本とヨーロッパということで言えば，たとえば，僕は青年というのはいつでも何か**否定の対象**がなければ存在できないんだと思うのですよね。それでたとえばまあヨーロッパの場合であったら，やはりある一つの時期にはクリスチャニティーという絶対的なものが，特に戦前のインテリゲンチャあたりには彼等の青年期の，なんというか否定の対象というか，それを否定しようと努力することによって人間的にも成長するという対象としてがあったと思うのですよ。それがたとえば日本の場合だったら，僕は少なくともある一時期まではマルキシズムというのは日本の青年にとってはそうだった。つまりそれは否定の対象とはちょっと違うけれども，要するに彼らが全存在をかけて格斗する対象として，日本の青年にとってマルキシズムがあったと思うのですよ。

ところが，いまの青年にとっては必ずしもそういうものとしてマルキシズムは存在しない。そのことが，何か学生運動が非常に絶望的などろ沼斗争みたいなことに必ずなるわけですわね。それと僕はかなりつながっているという感じがしている。いまの学生が学生運動は格斗する対象となる思想や宗教をもたないままに，管理社会だとか，情報化社会だとか，それからその中に組み込まれている大学自体とかを自分たちの否定の対象だということで選んでいる。ところがこれは，さっきから話題になってるように，日本の場合それほど重厚な相手でないわけですよ，つまり軽薄の象徴のような構造である。ほんとうにそれを否定することによって，人間的に成長できるような重みをもった相手ではないんですよ。

飯沼　まあ敵としての論理体系がないということですね，くるくる変わってしまうから，戦かおうにもそらされてしまう。

中岡　ええ。だからそういう意味では私はいまの日本の学生運動というのは非常に不幸だと思うのですよ。

さっきからの文脈でいいますと，軽薄のエネルギーというのは大いに評価するほうなんですが，きようの座談会，本日のところとしては重厚派でひとつ発言しようと思ってるんですけどね。（笑声）

それで，僕は日本のこういう軽薄スタイルというのは，経済成長のためにはとてもいいと。経済成長のためにはとてもいいけれども，やっぱり**文化**というのは重厚派でなければいかん。で，日本の国というのは，特に戦後にはそういう軽薄にあまり徹底し過ぎて，文化という面ではほんとうに日本的なものを積み上げてきていない。あるいは，青年なら青年の格斗の相手になるに足る，つまりそれだけの重みを持ったものをつくり上げていない。そのことがほうりっぱなしにされているならば，いつまでたってもこういうことは繰り返されるだろう，と。そういう意味ではいまの学生というのは不幸だと思いますね。

宮井　なんというんですかね。さっきもマルキシズムがたよれなくなったといいますかね，まあここにも"イデオロギーの終焉"と書いてありますが，それは世界共通の何じゃないですか。で単にエスタブリシュメントに対する若者の反逆というのはこれは……

飯沼　私は世界共通とは言えないと思うんですよ。たとえばインドネシアとかタイとかにとっては僕は価値観の……

宮井　それはあります，つまり南北問題としては出てきている，と。

飯沼　だからつまりそれは日本がそういうステージに入ったということです。あるいはヨーロッパやアメリカはもうちょっと前から入ったかもしれんけれども，日本はそこの段階に入っていったと。日本の家意識がどういう形で——いままでのところですよ，——消えていつたかという，家意識ということを別のことばで言えばタテ社会の論理かもしれませんがね。まあ戦前は天皇制があって，それから地主と小作という形があって，それから家族の中に家族制度として厳然としてあった。そういう形でずっとあったと思うのですが，戦後になって天皇制は一応だめになった，で農地解放で農村における地主，小作という関係はつぶれたと。で家族はこれ民法の改正によって，外からの力ではあるけれどもつぶれて，一応核家族化してきている。結局最後に残っているのは，僕は職場だと思いますね。

宮井　だからこれは社会主義じゃなしに会社主義だと。（笑声）いまの連帯というのは会社しかないんだよ，僕ら。でね，よく言うように，おれそこでチョンと自動車にはねられるだろう，そしたらおれは，枚方市何々のおれだと言わない，おれはK鉄工の宮井だ，あそこへ電話してくれ，と言うよ。（爆笑）つまり連帯，こちらのほうが強いんだ，そう言やなんとかしてくれるんだよ。枚方市なんとか言ったってなんにもしてくれない。（笑声）だから連帯を求めるのは，何かというそのよりどころにはなるわけだ。

閉鎖社会の論理

飯沼　その最後の家意識の砦である職場。なぜわれわれの職場がそういう家意識の砦であり得たかというと，ここでやっぱり**終身雇用**とか**年功序列**という，これ一組のものでしょうけれども，そういうものが続く限り家意識というものはかなり有効にその中で働くだろう，と。家意識というのは一種の**閉鎖社会の論理**だと思いますけどね。ところが，そういう閉鎖社会がはたして閉鎖社会でこの後あり続けるかどうかと。僕はそれは非常に疑問に思ってるわけですよ。それはなにか人間の精神が変わるとかそういうことでなしに，むしろ労働力とか人口とかいうような，非常に社会の下部構造によってこういうものはもうもたなくなってきつつある。したがって，そうするとこの閉鎖社会は，もし私の考え方が正しいとすれば，閉鎖社会というものは早晩にくずれるであろう，そうするとその家意識的なものはくずれざるを得ないんじゃないか。

ヨコの矛盾とタテの矛盾

宮井　閉鎖社会でも，**タテの閉鎖とヨコの閉鎖社会**が僕は出ているんですよ。というのは，(笑声) アメリカでいま新しい……つまり家というのはどうしても僕はプレハブ化せざるを得ないと思う。これはまあさっきも言ったように効率と個性の問題というにはいろいろ矛盾はあるけど，みんな安くしてたくさんの人に家を与えるという，これはプレハブ化せざるを得ない。そのプレハブ化に対するガンは何かというと，建築の**コードとユニオン**なんですよ。ユニオンがヨコ社会なるがゆえにヨコの閉鎖社会になって，これは煉瓦工の仕事だといって煉瓦工の仕事を取り上げるわけにはいかない。大工の仕事，ドアの金具をつけるユニオンがあったりしてね。そういうので，これがまたエステブリッシュメントになっている。だから，たとえば日本はタテがエステブリッシュメントであったけれども，アメリカじゃヨコがエステブリッシュメントになっとる。イギリスの造船業はヨコのエステブリッシュメントになって倒れたというわけだ。船ができてもペンキ屋がこないんだ，ペンキユニオンがこないからそれでだめなんだよね。何日も遊んでおるわけだ，ストライキをペンキ屋がやったらね。それで職場変われないんだ，これだめだと思ったって変われないんだ，ユニオンでね。またこのユニオンがその中のタテができる，熟練工ユニオンみたいなもの。ヨコだけれどもね，アメリカではむしろヨコだけれども，少なくとも熟練工の非熟練工を入れない。排他的なもの。いまの黒人問題なんてそうなんですよ，白人が熟練工と称しておるが，で黒人はアンスキルだと入れない。僕が行ったシカゴで，白人のユニオンが黒人を入れるなとやっとるわけだ。

飯沼　昔からそれあったんですね。だから私はそういう意味で……。

タテの組織とヨコの組織とやっぱり両方が要るんじゃないかと思うのですよ。ヨコばっかりでも結局そこはヨコ型の閉鎖社会になる。だからそういう意味では資本の，いまの企業のタテの社会というのは，日本の場合ならヨコがもっと入っていくということによって，なにか僕は日本の社会が欧米諸国を追い抜ける原動力になりはせんかと。

宮井　いまはヨコがものすごく入ってますよ，おそらくあらゆる企業が……まず新聞をポッとごらんになったらいいと思うんですが，なるほど現場の工員さん募集，これは常時出るのがいいかもしれませんが，技術社員募集がいつでも出ておるんですよ。これは昔はしなかったんです。しかも「秘密厳守なんとか」と書いてね。あれだけヨコ社会になってるんですよ。私とこの企業常時その採用試験をしとるんです。

飯沼　有日新聞でもやりました。いままででもあんな新聞募集などやったことがないんですが，私は契約論というのを数年前からぶってたわけですがね，社内でも。ジャーナリストも遠からず流動化するぞと最初それをぶったときは，お前気違いか，あほなことを言うな，と言われたわけですよ。いまはなんのことはない，そうやって募集して，よその社から来てもらっているんです。

宮井　なぜかというと，これまた逆に言うとユニオンが，むずかしいですけれども，ユニオンだけじゃなしに，いろいろむずかしいんですが，企業というのは前いたやつが要らなくなって，新しくとる現象がたくさん出てるわけだ。ところがこれをとらなかったら企業が成長をポッとすぐにとめるわけだ。生きるためには新しい血を常に入れなくちゃならん，ぽんと飛ばないといかんと。つまり昔のオーソリティーが要らんのや，新しいオーソリティーを求めんことには企業が生きていけないと。

飯沼　要らないといっても，それは日本の社会全体から見たらそれなりにやっぱり効用があるわけなんですよ，しかし一つの企業の中に閉ざされている以上，要らない。それだけ僕は早くそういうものを開いていって，何かのヨコの組織をつくって一般に使わせていかないといかんと思う。それが宮井さんの言ってるやとなシステムか。(笑声) やとなシステムを，ちょっと説明してくれませんか。(笑声)

宮井　つまり**やとなクラブ**があって，お客さんに応じていくようになっとらんことにはあかんというわけや。(笑声) 大体しかし建築屋さんというのは一番やとなクラブ的存在ですね，あらゆる事業の中で。もともとがあれはやとなシステムでできとるんですわ。結局知識産業ですわ。やとなクラブというのは，遊芸やとな言うけれど，芸が知識なんですよ。三味線のかわりに図面書いたり写真を写したり……。(笑声)

飯沼　入社してまあ22歳か3歳かで入ってくるでしょう。4，5年の間はものすごく書きますね，みんな馬力をかけてね。それで，大体量的に紙面を埋めるという仕事をしてくれるという意味で言えば，30前後までの人が一番役に立つわけですね。そこから先の人間は，同じように働かしたら，体力がないから負けますよ。結局われわれになったら方向感覚みたいなこととか，あるいはトレーニングの要員にしか意味がない……

宮井　研究関係で，何も明確なデータはないんだけれど，大体38までやというデータがあるぐらいなんや。研究プロパーですよ。やはり人間もライフサイクルで，商品のライフサイクルと同じように，社会もそうなんだからね。

まあ日本はいまライフサイクルで言えば軽薄時代であった。これから重厚にせいという人もあるわけだ。(笑声) 軽薄から重厚を主張する人と軽薄とが，混乱している時代やと思うんだ。その次に重厚がくるかどうか，ちよっと疑問に思うとるけどな。(笑声) しかし人間のライフサイクルと社会のライフはほんとにそうですよ，だから私は38でやめた，研究員であることを。それから何をしようかと思ったら，やとなクラブの大将になろうかと……。(笑声)

飯沼　38ですか。僕は37だから，大体ええとこですな，いまの企業の中の管理職というのはそういうやとなクラブとは違うんですよ。だから僕は日本科学記者協会の仕事を非常に力を入れてやっとるわけですが，そういうとこでジヤーナリストの研究会みたいなことをこの間やったわけですよ。そういうことをすることのほうがね。新聞社の中にいくら特ダネ書くといったって，そんなに特ダネないしね。そういうことだったら私より若いやつのほうがよっぽどうまいですしね。どうもそうすると現在のような年功序列によって給料もらうのが困るんですよ，年功ほど働いとらんわけですからね。(笑声)

宮井　ほんとそうなんだよ。で僕が考えたのは，それでしようがない，遊芸やとなを使うことにしようと思うたわけや。やとなをやめてね，三

味線ようひかんから。（笑声）

新しいギルト

飯沼　それでそういうところでは，僕はそれを新しいギルド組織じゃないかと思うんですよ。さっき言った封建的なギルドと違ったものでそういうものができてこんかと。まあ宮井さんのよく言うやとなと僕の言う**近代ギルド**とは似とるんじゃないかと思いますがね。

宮井　そのやとなクラブの親方のことをガルブレイスはテクノストラクチャーと言ったんだ。

飯沼　だから絶えず教育的なことをやってないといかんだろうと。私は50％ぐらいは次の世代を育てあげたり，レベルアップのための教育をしていかんといかん。はたしてそういうギルドが可能かどうか。アメリカなんかのユニオンとか，イギリスのユニオンなんというのはそういう労働者の学校ということはほとんど考えられてないんじゃないかと……

宮井　だからジャンピング世界であればジャンプ能力をつけないかん。それからもう一つライフサイクルがあるわけですよ，すべてにね。そのライフサイクルに乗っていかなくちゃ。これ生活の知恵として。そうすると自分も変えていかないといかんですね。テクノストラクチャーと**やとなクラブ**の差は，やとなクラブはともかくどっかからお客さんから電話がかかってきて，どこへ何ちゃんと何ちゃんと，それをきめるのがやとなクラブの親方にしても，大体範囲の狭いこういうことになっとるわけだな，ますらお派出夫なら料理するか掃除するかだ，しかしテクノストラクチャーというものはお客を創造しなくちゃいけない。つまり大きい意味で，まあガルブレイスの言っている新しい産業国家というのは，むしろ社会を創造しなくちゃいかん，創造するのはテクノストラクチャーだと。

つまり，僕はこれもあなたに一ぺん言ったように，わしは婦人解放はなにも市川房枝さんがやったんと違うのや，松下幸之助さんがやったんやと。市川さんが言うてる間，何ぼ言うても解放できなんだ，松下さんが家庭電器つくったとたんに，おっさんさっぱりあかんようになった，嫁はんの自由になってしもうたというわけや。（笑声）だから僕はテクノストラクチャーというのは強いと思うんですよ。たとえば大学は，もめればもめるほどお客がくるわけや，フアクシミリ屋なんてのは，もめればもめるほどはようテレビ大学ができるというのでしょう，そうしたらテキストをつくらなければいかん。これから朝日新聞やるかしらんが，教育産業とかね，それから松下フアクシミリつくってるとこなんか，チヤンスですよ。これで大学問題解決する。

だから僕はテクノストラクチャーのこわさも知ってる。逆に言うと学生が管理社会だというのもわかるわけですよ。産業界というのは，ことにアメリカのを見てるとそういうふうになってますね。もちろんいろいろなきしみは出ますよ，きびしく。

中岡　その辺の議論は比較的僕も賛成の部分もあるから……なんというかなあ，やっぱりそういうことだけではかたがつかん部分というのはどうしても出てきますね。

私，さっきからちょっと言いたいなと思ったのは，たとえば，一つは飯沼さんのユニオン構想，新しい，ギルド構想ですがね。つまり，やっぱり個人的な技能ですよ，科学記者なんていうのは。そうであれば，要するに人間を集めれば問題が一応解決つくわけですね。解決つくというより，自分たちのある程度の権利も守れるし，ある程度の自由も守れるということになってくる。ところがテクノストラクチャーの中の一番大事な部分というのは，さっき僕が言ってたように，**客観化された技術**なんですよ，個人的な技能ではない，システムだと。それでたとえば技術者なら技術者がＯＲが非常によくできる，と。で，ある種のＬ・Ｐならば，Ｌ・Ｐに関するような種類の問題だったら得意中の得意だという人間がかりにいたとしても，彼は計算機のあるところに雇われて，そしてそこなりのデータの集め方，帳票の作り方，計算入力としての整理のシステムのあるところではじめて彼は働けるわけでしょう。そこから離れると彼の熟練というのはほとんど，意味がなくなるわけですよ。そうなるとそういう社会というのは，これまでだと人間は会社に，工場で，手だけを売っておるという，おれは労働だけを売っておるんであって心までは売っておらんという，そういう考え方を持つことはできたけれども，最も人間のよりどころであるそういう心，頭脳的な能力に至るまで，何らかのシステムにかかえられることによってはじめて生きていく。そしてそういう社会では，おそらく飯沼さんの考えているようなユニオンでも，つまり新聞記者というのはそういうことになるかどうか，それは僕もよくわからんですけれども，普通の労働組合的なものとして僕は考えていかない限り，もうひとつ将来の社会ではなかなかうまくいかないようになるんじゃないかという気がするんですがね。

そういう意味ではテクノストラクチャーの支配する社会というのは僕はやっぱり人間にとっては非常に不自由な要素が強いと。それだけでなくて，そういうテクノストラクチャーというのは非常にあいまいなもの，工場みたいに，それが客観的なものであるということがだれの目にもはっきり見えるというようなものではないですわね。システムというのは。だから知らず知らずのうちにそれをだれか個人が独占する。と，これは宮井さんは多分非常にいい管理職であろうと思いますけれども（笑声）さっきの会社主義でいきますと，いまの会社のシステムの中でいやな上役についたときのたまらなさなんていうのは，昔よりはるかに強いのと違うでしょうかね。

宮井　それはそうでしょうね。ただしいまの場合，いまのは意識として，感じ方としては非常に強いと思うんです。昔はここへ勤めたというときに初めからあきらめの世界から来ているから強いので，いまは選択があるから強いんであって，また逆にいうと逃げられることもできるんですよ。だから私は強いだろうと思うんです。強いからはっきり表現もしよる。昔は会社へ入ったときに，ご奉公の精神をもって我を殺してみんな入ったんです。が，いまはないわけです。

中岡　その選択の機会ということに関連してお聞きしておきたいのですが，さっきの，たとえば久保田なんかの場合ですね，新しくどんどん必要になってくる分野の技術者は公募でとる，で会社の中で要らなくなった人というのは，それと同じようにどっかへ出ていきますか？

宮井　いまは出ていきませんね。というのは，これはさっきアメリカの話でいったように，まだ日本拡大……私の企業も拡大，つまりフロンティアがある。私はこのフロンティアがなくなったときに，この社会が生きるためには何か新しい政治的フロンティアをつくるのか，戦争を始めるのか何かは別として，ただ，いまは日本の軽薄主義のおかげかなにか知りませんが，非常に拡大中なんです。日本企業は大体拡大中なんです。社会全体が拡大中だから，その矛盾があらわれないんです。ただしこれが拡大がとまったとき，ゾッとしますわ。そのときにはまず中年以上の年の人はまず要らない社会がたくさんある。まだ肉体的エネルギーが使える，ないしはリフォームのできる人はまだしもです。これはだからいつまで拡大が続くだろうかというのが問題なんですがね。

中岡　私もさっきからのお話を聞いていて，それがはたして技術屋が流動化するようになった証拠かどうかというのは非常に疑問だというふうに思いながら聞いていたのです。いずれは久保田のような大企業の集中してくる過程であって，職業選択が流動化したことにはならないのではないか。

宮井　実際流動化してるというのは，前よりは非常に流動化したということですね。

飯沼　いま何歳ぐらいまで流動化した……たとえば宮井さんのレベルでは？

宮井　もうだめ。僕らもうあきらめとるんですよ。（笑声）だから冗談じゃないけど，京都の仏壇屋の広告やないけど，僕は"朝に礼拝，夕べに感謝"の気持ちですわ。（笑声）これは力がないものはそういうわけや。

飯沼　エンジニアの場合，どこまで流動化，してきますか……新聞記者の場合，30歳まででですよ。

宮井　エンジニアの場合，これは冗談も含めてたけど，僕はふけて見えるけど，まだ50になっとらんのだよ。これ戦争で一番いたんだゼネレーションなもんだから，まあおれはいまの会社でもいい，会社主義かなにか知らんけど，まあ存在価値があるわけなんだけど，この次の世代のほうが悩みが多いと思うな。いま動いてるのは35までですね，少なくとも35までです。動いてるという意味ではですよ。

飯沼　ジャーナリストの場合，やっと30。これあと5年たったら35ぐらい。5年はかからんのじゃないかと思う。

場をつかむ

宮井　僕のいうのは**"場"の問題**というのが非常に大きいと思うんですよ。やはりジャーナリストが動けるというのはやはり**評論社会**というか，あるいは**情報社会**というか，いろんな場があって――あるいは出版業という場でもいいわけですが――場があるという問題があります。場を自分でだんだんだんだん見つけていく人もいいんですけれども，結局場というそのものにこれまた非常にライフサイクルがあるんですね。僕ら企業におると**"マーケットフィールド"**というわけだけれども，フィールドという考え方をどうつくるかということが非常に問題になってくると思う。最近**住宅産業**なんていうのは大きいフィールドだといわれとるんですが，これからはフィールドというものの価値，これは非常に大きいと思うんですよ。

たとえば，知識産業，情報産業，あるいは出版業というか，あれなんか，大体これから豊かな社会になるんだと，それからいろいろのものが発達していると，とにかく**時間**というのが出るんだと。これは**時間の取り合い**になると思うのですよ。スポーツと本読む時間とどちらが多いかと。しかし絶対量としてはいまよりは本を読む時間がふえる傾向――本を読もうと思えば。スポーツするやつもあるし，セックスに走るやつもいるかもしれんけれども，しかし，そういうのはそれをどうとるかというのが問題になるかもしれないですね。そういうのが広がる場にあるということがいえるでしょう。その場というのが非常にこれから大事なものになってくると思いますね。場の考え方。場とそれから場の中の選択というやつですわ。

自己申告時代

宮井　それからもう一つは，これも全部それのうらはらの話なんですけれども，人間が全部**自己申告**を始めたということですわ。自己主張といってもいいですけれども。結局「青島だあー」というて選挙に出たら当選するわけですね。それを全部始めた。企業が全部自己申告させるわけですよ，わしはこれが得意だと，昔ではなかった現象ですよ。**現在は自己申告時代**ですよ，会社員はもうみな自己申告。わしはもうこんな上の人のところにおるのはいややということかて書けるですよ。自己申告時代になったというのは，これはまあうらはらの話で，すでに運命観から，謙譲は美徳でなく悪徳になってきているわけです。つまりヨコ社会だ。なぜ自己申告するかというと，自分自身も変化するし，社会も変化するんだ，しかも自分もこっちへ変化する，変われるんだということが認められる社会。まあただしいまのところは企業の中であったりするだけで，実際これがアメリカでは，学会へいってはったり論文を出す，と，そうすると済んだらすぐドアのところに待っとったと，（笑声）こういう社会だ。

飯沼　さっき中岡さんが，企業の一つの中でコンピューターならコンピューターがなかったら，エンジニアの技術では何の能力もないということは，別のことばでいえば，資本なり設備なりそういうものがない場合は意味がないということと近いと思うのですよ。ジャーナリストの場合はそんなことはないというけれども，それは考えようひとつであって，大新聞に働いてるものは一番最も有効なんだという考え方もできれば，いや，おれはガリ版でやったってええわいなという考え方もできる。それともう一つは，今後の社会がもし情報化するとしたら，この仮説そのものはどこが正しいかわかりませんけれども，そうするとそういう物の価値ですわな，コンピューターにしろあるいは実験設備にしろ，研究所，そういうものはどこにでもあると，どこのやつでも借りて使えるという時代がくるんじゃないか。レンタルに。

で，どう考えるかということをディスカッションするギルドみたいなところで，こっちへいけという方向を出す。と，そっちへいけるかいけないかというそこのところが一番きめてになるだけで，あとコンピューターを回すのは，なにも最新鋭のコンピューターなくたって，古いやつだってまあ3日でやるやつを1週間かかったというだけのことになって，あんまり僕は物のほうの要素はきかんようになるんじゃないか。とにかく情報そのものはね。

企業資産としてのソフトウェア

中岡　僕はそうは思わんのですけどね。つまり，情報化するという過程を受け入れてそういう時代になるとすればの話ですが，さっきからいってるようにシステム的なもの，つまり**精神的な活動，情報生産の活動をやるためのシステムのようなもの**。これはたとえばいまだってそうでしょう，コンピューターの**ソフトウエアというのは全部財産**でしょう。つまり公共化したものではないですわね。それはもちろん簡単な，たとえば行列計算をやるプログラムとか，そんなものはそれは公共化したものだけれども，やっぱりいわゆる**ソフトウエア**といわれている部分，複雑なシステム，それから現場適用的なものというのは全部私有であるわけですよね。その際，情報化時代というのは，僕はそういうものが今度は企業なり何なりによって私有される。そうするとやっぱり……

飯沼　ギルドはそれを所有していくであろうと思うんですよ。ソフトウエアをギルドは企業に売っていく。その場合にギルドは労働組合的なものか，あるいは現在の企業的なものか，はっきりわからなくなると思うんですが。

中岡　それは，絶対ギルドにはならなくて企業になってしまう。

飯沼　ちょうどコンピューターセンターが電算機の会社になって……。

宮井　そうなると思いますよ。僕も企業というのは大企業―いま八幡，富士合併して大企業になるが，あれは最後の大企業やないかと思うとる

ぐらいだ。というのは，なるほどなんかＩＴＴみたいにコングラメイトということで大きくなっていくのはあるんだけれども，ほんとはいろんなことをやっとるわけだ。つまり，単一の製鉄業というようなことの大企業という意味のはなにかモノライズしたというようなね。そういうのはこれからだんだんくずれてきて，やっぱり知恵もレンタルになると思うのですよ。そうするとなにもみんなが自分のところへ持っとらんならんことというのはだんだん減っていく傾向にあるということ。また逆に軽薄論の擁護で悪いんだけど，こわくて巨大化できなくなると思うんですよ。

巨大化の危機

飯沼　だから資本を持って巨大に投資する人は，あまりクリエイティブな人たちではなくなる。要するに**生産屋と創造屋**とは別にくるんじゃないか。

宮井　それはなってきますね。だからインダストリーとインフォメーションといいますか，これが別になってくる。インダストリーはなくなるわけやないけれども，インダストリーとインフォメーション屋というか，あるいは僕はテクノストラクチャーということばになると思うが，別個になってくる，だんだん分離していくんじゃないか。

飯沼　テクノストラクチャーというと一種のエリートばっかりのように考えられますけれども，大工さんとか，あるいはいまメインテナンス産業というのがふえてきてますね，だから工作機械なら工作機械のメインテナンスだけを自分たちは専業にするんだという，これからのそういう技能集団も出てくる。それからエンジニアのほうは，とにかく電算機のコンピューターなんか。そのときにそれが全く資本の側に組み込まれてしまうのか，あるいはそういうものがもう少し労働者意識を持ってやれるのか，そこが僕わからんのですが……。そこでラフな感じとしていえることは，あんまり大きくなり過ぎたときにはクリエイティブな力を失なってしまうだろうと。いまのアメリカのユニオンがそうですよ。だからある程度僕は中規模か，小規模に近いほうがよろしいというそういう気がするんですけどね。

宮井　規模の拡大が必ずしも有利にならない例はたくさんあると思います。製鉄みたいに古い技術で，しかもあれだけ巨大な投資をして，明らかに量産効果というのははっきり出ている……まあ運送業みたいなものですわ，ああいうのは別としてね。だから逆にいうと，合併したくなくても合併せざるを得なくなったような感じで合併していると思うんですよ。

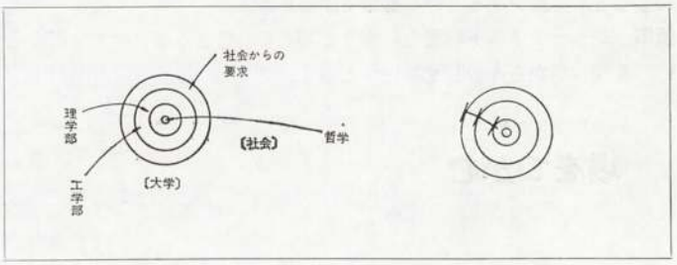
中岡　まあ大きくする以外に方法はないんですがね，製鉄の場合。

宮井　かりに転身がきかないから大きくするよりしようがない。悩みだと思いますよ，ほかに何か新しいことをやりようがない。

中岡　そうすると，規模はあまり大きくしないで，むしろ場合に応じてパッと転換できるような柔軟性をたくさん持たすというそういうお考えですか。

宮井　そうですね。結局新しい場というものをつくれる，ないしは早く見つけていくと。たとえば日本の産業であっても，家庭電機の松下さんなんていうのは小さい会社だったでしょう。それが家庭電機という場をうまくつかんだ。場の中でまた展開が非常にうまかったから伸びた。まあソニーなんかもその一つの例ですけれども。トヨタ自動車なんて田舎の会社の織物機械をやってた会社でしょう。自動車産業という場をつかんだわけです。だから大きいからといって場のつかみ方がうまいとは限らないんですよ。大きいということは重いということでね。重いということは場をつかむときにすぐに動きにくいということです。その人たちにきょうからやめてくれというわけにはいかんのですよ。

飯沼　さっきのギルド論なんですけど，いま大学こんなふうにもめてますけども，僕はやっぱり**職能ギルト**と大学とはうまく組み合っていかんといかんだろうと思ってます。いまは大学は大学でタテに閉ざされてしまっている。そういう形で，われわれでいえば大学の新聞学科というようなところで——そんな新聞学科というのは，正直にいうと，わけのわからん，全く役に立たんことをやってくれてますわね——あんなのでなしに，実際の新聞批判もすればジャーナリストのレベルアップもやるというふうにね。そしてジャーナリストも７年なら７年，５年なら５年現場にいたら一ぺん大学へ帰って勉強して，また帰ってくると。



飯沼　そういう意味でいま図を書きますと，大学でも全部の大学でなくてもよろしいと思うのですよ。幾つも私立の大学もありますし，専門学校みたいなものもある。こう外側に社会があれば，社会からの要求が一番最初は，エンジニアのほうだったら工学部へいきますわね。工学部から今度はその問題が理学部へきて，理学部の問題が最後に哲学のほうへ回って，こういうものの有機的な連関というのはやっぱりどうしてもなかったらいかん。その芯にはいまいったような，ほんとに役に立たんような勉強しとる人がいるだろうと。日本のやつはこれが全部断ち切られているんです。それで理学部は工学部をばかにしている，そういうのはおかしいと思うのですよ。

宮井　そうするとこれはやっぱりシステムを組んでみて，あんたのいわれる役に立たんというやつを，じゃあ役に立たんやつも，無用の用をちゃんとシステムの中で置いとかないかんわけだ。

飯沼　そうなんですよ。たとえば**詩人の一言**というのは，直観という意味で重要です。直観ということからいえば，詩人がこちらですよと一言いえるかいえんかということがものすごく大事だと思うのですよ。

宮井　日本も豊かな社会に入りつつあるわけや。そうなると，いろんな意味でそういうものを持てる余裕もあると思うのですよ。

飯沼　僕は仮説なり直観というのは非常に大事だと。で，いままでの教育の中では，技術屋になるやつはもう詩だとか音楽だとか，絵なんかやらんほうがええと。サイン・コサインばっかりやってるのが理科系へいくんだと。こういうんでエンジニアになったりサイエンティストになった人はしょせん僕は底がしれとるだろうと。やっぱり第一級の科学者というのは昔から非常に直観で仕事をしてますね。そういうことをいまもう一ぺん考え直さないかん時期じゃないかと思うのです。

文化の重み

中岡　そこでまた重厚派がちょっと……。(笑声) まあさっきから軽薄，重厚ということで，結局建築なんかでいけば，都市なんていうものはこれは軽薄システムでは絶対でき上がらないものでしょう。年月でいけばまず，一つの都市ができ上がっていくというのは少なくとも百年ぐらい

のオーダーがかかるわけでしょう。で，そういう全体的なものの中に生きてくるもの，これは当然都市計画というような一つの技術的な設計の要素も当然あるけれども，僕はそれ以上に，なにか都市なんていうのはそう簡単に計画だけではいかん，自然成長的なもの，ものすごくたくさんの人間がより集まって生物の成長のように都市を生長させてゆく要素というのはあると思うですよね。そういう過程の中では，詩人の直観とはちがった意味での文化的なもの，一つの時代の質とか一つの国の文化といったものが強く出てくるという気がする。

これは別に中世の都市を持ち上げるわけではないけれども，たとえば中世の都市なんていうんでも，あれは都市のまん中に建てるカテドラルは，100年とか200年ぐらいのオーダーで，まああの時期だからやむを得ないとは思いますけれども，こつこつとつくってる。そうして出来上がったものの中には誰がみても明らかなほど，強く中世という時代，クリスチャニティと世界の調和というようなものの支配していた一つの時代が感じられる。それを否定するか肯定するかは別として，とにかくそれは中世そのものであるわけです。とにかく，そういう持続性，それを作りあげるエネルギー，それをささえる文化の中で一つの**統一的な都市**というか，なんとなくしっくりして，そこへ人が住んでも，そこに人の生活があるというふうな都市というのは出来上がらないのと違うかしら。そういうことからいえば，われわれのまわりでのいまの日本の都市のガサガサした混乱した感じと，さっきから問題になっている時代の軽薄さとはかなり僕は関連があるような気がするんです。

宮井　それはそのとおりですわ。

もう一つ，さっき環境，場のほうで言いましたけれども，いま都市と環境の問題の場合，いまはもう万博，万博と大阪は言うとるわけです。しかし10年ぐらい前までは堺の港の埋め立てが，大阪府としても非常に大きいモメントみたいなものだったんですよ。あのときにご承知のように三井さんや住友さんが取りあいっこをした。ところがそれが原っぱのままですよ。すでにたった10年しかたってないのに，あそこに企業がこない。これは**公害の問題が先にきちゃった**。あれだけ取りあいっこして，高いお金を払って取りあいっこしたとこに，公害の問題がきて，もうこれなくなった。千葉へいったり，それから今度は鹿島へいって，また断わられて，もう沖縄へいくよりしょうがない。（笑声）それほどテンポが早い。

時代のテンポと予測

だから，たとえば人間の知恵がどこまで見通せるものかというのが非常に問題なんですよ。ここで一番必要なのは**予測の問題**ですわ。結局だんだん膨大化してくる中でシステムをどう組み込んでいくか。予測をしやすい道具，まあコンピューターなんか発達してきて，何年後には自動車が何台になって，道はどのぐらいせにゃならんか，ということは予測できるわけですよ。

しかし現在必要なのは何かと，予測することが一つと，あるいはその予測するだけじゃなしに，予測をしたらそれにシステムを組み込んでいかなきゃいかん。そこが非常におくれていると思うのですよ。あるいは公害の問題なんか予測できなかったかというと，僕はそんなことはないと思うんですよ。予測しようと思えば，そのときちょっとしたことで予測できたんじゃないかと。だから結局は**予測のプロセス**と，いろんなプールがそろってきたから，予測のプロセスというのは非常にやさしくなってきているんじゃないかと思います。半面，予測の中に入れねばならないインプットというのは非常にたくさんふえてきた。公害の問題とか物理的なものは予測しやすいわけですよ。廃棄物がどのくらい出るかと。そういう予測というのが大事なんです。予測をすれば，予測によらないでそれがシステムとして次々手を打っていかれる社会機構をだれがやるかというと，僕はやはりこれまたテクノストラクチャーということになる。

しかし僕はテクノストラクチャーを肯定しているんじゃなしに，だれかがやるとすれば，それをよぶならばテクノストラクチャーとよばれる人たちかな，というわけでね。テクノストラクチャーを擁護しとるんでもなんでもないんですよ。（笑声）

技術の客観化

中岡　テクノストラクチャーといいますか，まあ僕もガルブレイスのテクノストラクチャー論というのはわりあい親近感を持ってるわけですけど，留保する点がひとつあります。というのは実は**技術の客観化**というか，システムが客観的なもの，しかもそれがあまり目に見えないようなものとして成立していく，そしてそれが企業なりあるいはその**システムを考え出した人なりの所有物**である，ということにささえられているということは，僕はガルブレイスが全く見落としている点だという気がしているわけです。そういう意味で，マルクスはわりあい正確にそのことを言っているという感じですね。要するにマルクスは，技術が非常に発達した段階――技術が非常に発達した段階つまり，マルクスは機械の自動化ということをものすごく重視しているわけですね，彼は。それはあんまりマルクス主義者は議論しないところなんですよ，そこは。ところがマルクスは機械化ということを自動化として，つまり自動機械化として考察しているわけです。で自動化の極限では要するにそういう機械体系が自分でかってに動くようになるというそういう社会を考えてるわけですよね。で，その社会では彼は要するに科学技術，**組織された科学技術**のほうが人間の労働力より重要になる，といっている。でその段階がくれば，要するに労働力は価値の指標であることをやめるというふうに彼は言っている。つまりそういう点ではマルクスの中にはかなりテクノストラクチャー的な社会というのが予見されていたと考えられます。

ただマルクスが，もう一つ言ってるのは，**生産力というものが完全に客観的な過程になってしまっている**ということ，つまり，個人にとっては，一人一人の個人の労働が生産の原動力である，と。ところが生産力，つまり社会的な生産過程そのものは，実はそういう個々の個人からつくられているものであるにもかかわらず，つまり個人は決してそういう生産過程はおれのものであるとか，あるいは，その中でおれが一定の役割りを，この部分だけはおれの部分であるというふうなそういう意識は持てない。それは完全に，一種の自然と同じように**社会的生産過程**というのは独立して自分の力で動くものになっている。つまり今よくつかわれる「疎外」という言葉，個々の人間が分業をとおして生産を実現しているというような意識はなくて，ひとりひとりはきりはなされて，ただ自分達から独立した巨大な生産過程が，そのひとりひとりとは疎遠な対立するものとして，独自の法則で展開している，自分はただかりそめにその機構の中で賃金のために我慢して一定の時間働くだけだ，という，こういう関係が成立していく過程と，さっきのテクノストラクチャー的な構造の成立していく過程が，マルクスの場合には完全に同一の過程の中の矛盾としてつかまれている。そこがガルブレイスの場合だと矛盾として考えられていない。だから非常に楽観的に，テクノストラクチャーの中に肉体労働者あたりまでが決定の末端をになって組織的頭脳にくみこまれて描かれてしまうことになる。その点，マルクスの方がむし

ろ現代を正確につかまえているといえます。

マルクス的な考えに立った場合，そうした疎外された個人個人がどのようにして生産の主体，社会的生産過程の主人としての立場をとりもどすかという問題が出てくるので，これは非常に現代的な課題ですね。これをマルクスは要するにすべての個人がそういう生産過程の所有者であるという社会，所有が万人のもとに包摂される社会といっていますが，それが共産主義社会だ，とマルクスは言ってるわけです。しかしマルクスはそういうふうに客観化した社会を，**すべての個人が所有する**というのは一体どういうことであるかということは全然書いていないわけですね。それは僕もおそらく頭では言えても，ことばとしては言えても，具体的には……。

宮井　まあ実験としてはソビエトが成功してないしね。

中岡　具体的にはだれも到達したことのない，そして，明らかにその社会主義国は確かにいままでのところでは失敗していると。そういう社会だと思うんですね。

ただ，僕なんかはやっぱりそういう問題とそのガルブレイスのテクノストラクチャーということとを結びつけて，もう少し小さな領域で考えてるわけです。そういうテクノストラクチャーが，たとえばこれはひとつの社会の規模でみた場合，全体としてだれかが所有するということはおそらくできないと。だけど企業の単位ではやっぱり松下電器なら松下電器が持っている，つまりそういうシステムとして持っている一つのシステム全体は，これは松下電器みたいな会社だと松下幸之助個人とかなり結びついた感じになってるわけでしょう。で，そういう企業で一体どういう問題が起こるか。松下幸之助という人物が現在においてもっている社会的大きさというのは，明らかに松下電器という企業のテクノストラクチャーそのものの人格化，それを一つの人物に集約して所有させるところから生まれたというような感がありますね。その他方では，さっきから強調しているような技術者とシステムの関係によって，このテクノストラクチャーにしばりつけられたような感じの技術者が，いい年をして，朝早くから，これは今でもやっているかどうかは知らないけれど，社訓みたいなのを軍隊まがいに朗読していたりするのをみていると，やはり疑問を感じますね。

TVにおける本能の局部拡大

それからもう一つ僕が感じていることというのは，これはテクノストラクチャーとちょっと離れるかもしれませんけどね。社会の技術化そのものから発生する問題というのがあるような気がするのです。

たとえば，テレビならテレビというのは，——僕が社会の問題に対して持ってる関心の説明なんですけども——**テレビというメディア**というのは，なにか人間の中の非常に原始的な本能みたいなもの，を逆に拡大する，そういう特性を僕は持っているんじゃないかという，これはだいぶ前から考えて，いろいろそういう構造を自分なりにモデルを組んだりなんかしている……別に人にしゃべる自信がないから，ここで初めてしゃべるようなこと ですけれどもね。 まあたとえば 視聴率 というのがある，そうすると視聴率の高いものをスポンサーは好むと。これは現実に存在している。ところが人間の好みというのは分布にはなるけれども，つまり一つの数値ではあらわせないわけでしょう。視聴率の高いものを好むということは，要するにすそ野のほうをいつでも切っているということになるわけでしょう。ところが，テレビというメディアは，要するに視聴者に影響を与えるわけでしょう。これは明らかに子供は非常に強い影響を受ける。そうするとそういうメディアを通して人間に返ってくるもの，これは一種のフィードバック回路ですわね，だから，少しずつそれによって人間が変わるということが出てくる。つまり視聴率の高いものばっかりを——視聴率の高いものというのは，実は人間の嗜好の中のある一つの山をあらわしているにすぎなくて。ところがそこばっかりをスポンサーが好むとそればっかりが与えられる。そうするとそれにアレルギーを起こすか，あるいはそれが好きになるかというのはこれはまた別の問題としてありますが，たとえば一番典型的なものだったら，プロ野球の中継が巨人ばっかりでしょう。で，プロ野球の番組が巨人ばっかりであるということと子供の中で巨人ファンが圧倒的に多いということとはやっぱりつながりを持ってるわけでしょう。そうするとやっぱりテレビという回路，社会的な一つの回路というのは，人間にある種の変化を与えている。それはあらかじめあるものを，人間の中に潜在している傾向にあわせて，視聴率がきめられるわけだから，そうすると人間の中の特殊な，一番ピークにあるようなものばっかりを異常に拡大するそういうメディアであるというようなことは言えないかどうか。それで，そういう種類のものがわれわれの社会をささえるものとして入り込んでくることによって，人間が無意識のうちに影響を与えられている，あるいは一つの社会が非常に不安定な構造になるようになる。つまりそういう種類の要素についてもわれわれがかなり深く知っていき明らかにしていくこと，そういうこともテクノストラクチャーにわれわれが支配されないための非常に重要な方向である，と。まあそういう種類のことを最近考えているんですがね。みなばく然としていて，あんまり自信がないんですが。

飯沼　それは別のことばで言えば，ハーマン・カーンなんか言ってますね，「プロというのは小さなあやまちはせんけれども大きなあやまちをするのはプロだ」というわけですわね。いま言ったテクノストラクチャーというのはそういう意味ではプロですわね。

中岡　だからこれは例のダニエル・ベルもしきりにそういう予想を述べてるわけですね。つまりポスト・インダストリアル・ソサエティーというのについて自分が持ってるイメージというのは，要するに非常に**不安定な社会**になるという，そういうイメージを持っているということを彼は書いてますね。

社会的不安の変化

宮井　非常に不安定になっていくと思うのですよ。農村社会であれば，大地にひっついていたものが，工業社会になって，機械とかなんとかいう，かなりの間長く使うもの——工場とかね。だんだん知識なんていうのは瞬間に消えていくといいますかね。不安定な社会になってるのは間違いないと思うのですよ。そうすると，その不安定な社会になりつつあるときに，不安を感じるけれども，なってしまったときにはたして不安を感じるかどうか。

飯沼　この前，雑誌「展望」の座談会で，中岡さんと僕とそれから星野さんと山田慶児と4人で話をしたときに，僕は宗教というのはもっと大事になるんじゃないかと言ったら，星野さんにえらいおこられたんですよ。（笑声）

宮井　宗教というのは僕はならないと思うのですよ。ならないと思うけれども，昔不安と思っていたことが不安でなくなってくるんじゃないかと思うのですよ，むしろ。いまはこんな時代になって，管理社会になって，おれはおもしろくなくてしょうがないと思っても，思わなくなるんじゃないかということが一つと，それから半面もう一つ，昔からちょいちょい聞くところによると，こうなるはずだと思ったことに対して案外

いろんな面で，ばかな戦争はしてきたけれども，**抑止力**というのが案外働く世界というのが出てきていると思いますよ。

たとえば公害がひどくなれば公害に対する抑止力が働く。案外人間の知恵というのは抑止力が働き出したと思うのですよ。まあ前みたいな大不景気はなくなったしね。僕はそこが楽観論の，（笑声）楽観論があぶないんじゃといわれればしまいだけど，抑止力というのが働いてきた，働かしてきたと思うのですよ，前よりは。これは半面インフォメーション・メディアの貢献かもしれんけれども。

飯沼　さっきの，不安定ということを感じなくなるというんでも，確か福沢諭吉の自伝かなにかに，こんなことを書いてました。幕末の志士たちは，一体外国へ行くと禄などというものはないそうだけれども，そんなことでどうやって安定して暮せるのか，（笑声）と言ってね。一ぺんおれはやっぱり見てこんといかん，ということばがでている。そのころの人にとってみれば，末代までの禄というものの安定感ね。

宮井　命をかけて家守ったのは，その禄を守ったわけだね。

飯沼　だから逆にいえば，いまわれわれは終身雇用というものがなくなったら不安定でしょうがないと思ってるわけですよね。

宮井　僕なんか戦争負けたときに，どうなるのかと思ったよ，日本は。しかしこうなっとるわ。（笑声）

中岡　その感じなくなるというのは，ちょっと若干……。

宮井　いや，新しい不安定ができたり，新しい不安は出ると思うが，現在考えてる不安がそのときと同じ性格の不安かどうか。疑問だと思うんですよ，私は。

中岡　それはまあともかくとして，やっぱりいま言われた抑止力というか，大体人間の生体の構造なんかはたいてい必ずプラスの要素とマイナスの要素があって，そのバランスでもってレベルをきめるという構造になってるわけでしょう，そういう構造というのを，つまり技術の原理なんかでもこれからかなり考えないといけなくなるんじゃないでしょうかね。つまり絶えずバランスをとらせる，と。で，一つがバランスを失した場合にはこっち側の力が働いて必ず元へ戻すというような，そういう種類のことをかなり考えなければ，つまりそういう不安定さを減していくということはできないだろうと思いますね。

生産の規模と情報の規模

飯沼　さっきの，規模の問題ですが，プロダクションというのはこれはもう大規模化するであろうと。だけども，そういう何をプロダクトするかというような知識とかインフォーメーションつくるほうは，むしろ大規模化することは創造性を失なっていくことであろうと。中国なんかの場合は，もっと社会の発展段階がおくれている段階であろうから，ああいう社会と日本のような社会とあるいはアメリカの社会と同じようには見られないだろう，と。

宮井　そう思いますね。農民国から工業国への自立ができてない国ですからね。ヨーロッパなんてのは福祉国家やって，かなりそういうことを考えながらやって，そのかわり経済成長が非常にマイナスになっている。

飯沼　中国の問題は，今後あれからまた壮大な中国文明が生まれるかもしれないわけですよね。非常に大きな実験としてあれがよろしいのか。日本などは明治100年，模倣ばかりやってきた。結局こういうものからは何にも生まれないのか。その辺は僕もよくわからんですけど……。

中岡　中国なんかの場合，たとえば中国の工業化ということを考えるんだったら。おそらく僕でもああいう方式で結局やるだろうという気がしますけどね。かなりなんというか，日本が，つまり日本全体を更に分ける必要がないというのは，交通の発達というか，そういう要素が大きいんでね。僕が技術屋やってたときに，中国に工場をつくらんかという話があって，わからんけれども考えてみると……。

飯沼　戦前ですか？

中岡　ごく最近です。電解二酸化マンガンなんですけどね。それで検討だけしてみようということで，検討しかけたんですが，たとえばポンプが故障したらどうなるだろうとか，加熱に使うカーボンのパイプ，一体どこでつくってるんだろう，それからそういうものをどういうふうにして集めたらいいか，それはかなり消耗しやすいもので，それが割れたとき，というようにいろいろ考えていくと，中国全体に工業が分散していたら，そらたまったものじゃないというのが，まず第一に考えたことですね。だからかりに一つのある工場地帯ならある工場地帯ということ，やはりかなり狭い地域にまとめて，つまりそこを成長させると同時に，つまりいろいろな条件を持った場所があるんですから，やっぱり非常にたくさんのセンターをつくって，そしてそこへそれぞれが一つの国であるかのごとくにずうっと成長させていく。そういうことをやらん限り中国全体を工業化するなんていうことはとうていできないだろう，という感じを持ちました。

飯沼　いま中国はああいう形で工業化しようとしているのは，選択の問題としてああやっとるんじゃなしに，まわりから**国際的な条件でシャット・アウト**されて，あれ以外に手がないからやっとるんじゃないですか。つまり日本の明治のころなら外国から買ってこれたわけですわね，そういう国際条件があったわけですね。もし中国だってそういう国際条件があったら，あの段階で，あんなどうしてこねたような高炉をつくるんだったら，買ってきたほうが……だから中国は買いたいんですよ，やっぱり。しかし買えないからああやってしょうことなしに……（笑声）あれはそういう意味では中国の与えられた国際条件の中では最も賢明なやり方なんであって，後進国開発とかなんとかいう意味で最も賢明なやり方かどうかということは僕はちょっと疑問です。

中岡　小っちゃい高炉はちょっと別の問題ですが，（笑声）ああいうやり方を言ってるんではなくて，つまり同じような種類の工業地帯を幾つかかなりな数を中国の内部に総合的に育てていく，中国全体をなにか全部専門化して，そしてそういうもので結合するかっこうで工業化をはかっていくんじゃなくて。

飯沼　それはそうでしょう，それはまああれだけ大きな土地だから。

宮井　それからさっきから会社主議の話が出ておるが，会社員，なんのために働いとるかというと，いろんないい方ありますけど，見てると家のためというか，土地のために働いてるような現実ですね。だから土地，家の問題を解決して，大学なんか東京へいかなくてもいいように，**ファクシミリー**で勉強さして，いかなくてもいいように，それで教育だけしたら企業へ入って……。

中岡　結局関連してるような気がするんすでけど，さっきから会社主議ということで，いまコミュニティーの問題(記録省略)出されて，私ちょっと考えてみて気がついたんですが，結局コミュニティーに対する要求がないわけですよね，われわれの中に。

飯沼　逆にいえば，コミュニティーを育てるために最も有害なものは会社主義ですよ。

中岡　つまり，やっぱり，さっきの会社だけが唯一のコミュニティーであって，そして家は寝に帰るという……。

宮井　これをどうこわすかというのが問題なんですよ。僕は会社主義を是認してるわけじゃないですよ。（笑声）会社主義だという現実をいうとるわけだ。

司会　どうもありがとうございました。

このほかにいろいろと都市やコミュニティー，地域空間についての発言，ミニマルの原則などについての発言があったが，残念ながら省略しました。また全体として紙面の都合上，編集側の発言をすべてカットしたり，記録を半分ぐらいに削ったりしたために舌たらずの点があるのはご了承容赦願います。

関係文献リスト抄

1) 文明論未来論

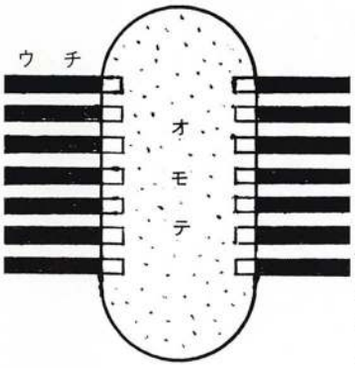
20世紀の意味：K.ボールディング／清水幾太郎訳／岩波
知識文明の構想：D.ベル，E.メッサニー／白根禮吉訳／ダイヤモンド社
未来のプロフィル：A.C.クラーク／福島正美・川村哲郎訳／早川書房
20年後の世界Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ：N.コールダー編／赤木昭夫・須之部淑男訳／紀伊国屋
西歴2000年の世界と人類ⅠⅡ，：アメリカ科学文芸アカデミー編／日本生産性本部訳／日本生産性本部
新しい産業国家：ガルブレイス／都留重人監訳／河出
産業社会の構造：S.M.リップセット，R.ベンディクス／鈴木広訳／サイマル
コミュニタス：ポールパーシバル・グッドマン／槇文彦訳／彰国社
幸福への挑戦（サイコサイバネテックス）：マックスウェル・マルツ／小野浩三訳／産業行動研究所
断絶の時代（来たるべき知識社会の構想）：P.F.ドラッカー／林雄二郎訳／ダイヤモンド
現代革命の考察：ハロルドラスキ／笠原美子訳／みすず
大衆国家と独裁：シグマンド・ノイマン／岩永・岡・高木共訳／みすず
大衆の国家：E.レーデラー／青井・岩城共訳／創元新社
ゆたかな社会：ガルブレイス／鈴木哲太郎訳／岩波
大衆社会の政治：W.コーンハウザー／辻村明訳／創元新社
ホワイトカラー：C.W.ミルズ／杉政孝訳／創元新社
自由からの逃走：E.フロム／日高六郎訳／創元新社
政治の中の人間：S.M.リプセット／内山秀夫／創元新社
人間における自由：E.フロム／谷口・早坂共訳／創元新社
組織の中の人間Ⅰ，Ⅱ：W.H.ホワイト／岡部・辻村他訳／創元新社
第5の壁テレビ：W.リングス／山本透訳／創元新社
幻影の時代（マスコミが製造する事実）：D.J.ブーアスティン／星野・後藤共訳／創元新社
孤独なる群衆：D.リースマン／佐々木・鈴木・谷園共訳／みすず
未来を発明する：デニス・ゲーバ／香山健一訳／竹内書店
産業文明における人間問題：E.メイヨー／日本能率協会
目的としての人間：A.モラヴィア／講談社

2) システム論

サイバネテックス：N.ウィナー／池原・弥永・室賀・戸田共訳／岩波
人間機械論：N.ウィナー／池原訳／みすず
サイバネテックス：G.ギルボー／岡山隆訳／白水社
サイバネテックスへの認識：J.R.ピアーズ／鎮目恭夫訳／白揚社
機械は未来を予言する：L.テプロフ／宮川浹訳／ラテイス
情報の世界：サイエンティフィックアメリカン編／南雲仁一監訳／共立出版
情報産業は変わる：E.B.ワイス／八巻俊雄訳／誠文堂
システム―研究と設計：ドナルド・P.エックマン編／システム研究グループ訳／日本能率協会
システム分析：マクミラン・ゴンザレス／野々口・守谷共訳／鹿島研究所
システム・マネジメント：D.I.クリーランド・W.R.キング／上田惇生訳／ダイヤモンド社
システム工学方法論：A.D.ホール／熊谷三郎監訳／共立出版
人工頭脳：E.C.バークレー／高橋秀俊訳／みすず
電子計算機―その過去，現在，未来：J.バーンスタイン／山本稲夫訳／実業之日本社
システム分析入門：S.L.オプトナー／植木繁訳／日本能率協会
システム工学：H.H.グッド，R.E.メイコール／森口繁一監訳／日科技連
社会工学の方法：オラフヘルマー／香山健一訳／日本経済新聞社
コンピューターと思考：ファイゲンバウム，フェルドマン／阿部・横山監訳／好学社
システムズアプローチによる長期計画の実際：H.W.ヘンリー／大関・井上共訳／ダイヤモンド社
システム工学の方法：H.チェスナット著＼糸川英夫監訳／日本経営出版会

生活と空間の原理・京の町内・4・A DESIGN SURVEY IN KYOTO by UDO

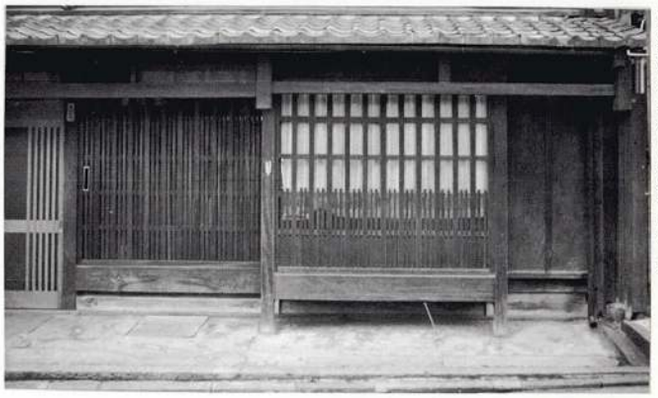
■オモテ・カド



「トオリ」（通り）が例えば都市レベルからみた流通系や位置・方向把握などの機能的概念を表わしているのに対して，「オモテ」（表）あるいは「カド」（門）は居住者の日常的生活行為を充足する器としての近隣居住空間の総体的な概念を表わしている。位置概念についていえば，町内への来訪者は「○○通り」と「××通り」の交点を目当に進み，この交点を基準に「上ル」「下ル」「東入ル」「西入ル」によって次の行動を起こし目的地点にたどりつく，というようにトオリが来訪者にとって有効な概念であるとすれば，オモテ・カドはまさに町内居住者にとって有効な概念であるということができる。町内の子供たちは「カドへ遊びに行ってくる」といい，母親たちは「そないオモテへばっかり行ってたらあきまへん」といって子供たちをたしなめる。オモテは子供たちにとっては遊びの場であり，概してオモテは日常的生活行為のための共同広場としての意味をもち，向い相い隣り合う家々（隣人たち）との共同的専用空間の役割を果し，「町内」の空間的表現でもある。オモテやカドの表象は，したがって馴みぶかい家並にはさまれたリニアーでオープンな空間，隣人たちのオモテでの行為や表情などの具体性，日常性によって裏づけられており，各住戸がこのようなオモテ共同スペースにぶら下っているということもできる。コンパクトにエンクローズされた屋内からみると，オモテは町内居住者にとって唯一の大きなオープンスペースであり，「ウチ」という言葉によって表現される屋内スペースと対比的である。ウチの私的な，あるいは家族的な単位での生活行為に対してオモテは近隣的な単位での生活行為のおこなわれる場であり，町家独特のうす暗い静的な「ウチ」に対して「オモテ」は明るく活動的な空間である。そしてウチとオモテの間に庇・軒下の小さな空間があり，「私」と「共同」の交り合う空間領域を形成している。連続的な庇，軒下の小空間も生活行為に大きな意味をもっている。


昼とはうってかわった静かな夜のオモテ

オモテが共同広場である以上，そこでは種々の生活行為が展開される。しかしその生活行為も時代とともに変化し，とくに戦後の激しい生活様式の変容はオモテの行為形態をも変えていよう。**子供たちの遊び**もまた例外ではない。かって(20年以前には)コマ廻し，石けり，メンコ，


駒寄せをとって広くした軒下スペース

玉あて，かくれんぼなどが子供たちに人気があった。やがて輪廻しが流行し，ついでフラフープが登場するといった具合に，遊びの形態も意匠の流行と同様にはやりすたりをもっている。しかし一方では，マリ拠りや三輪車，自転車乗りのように比較的時流に関係なくおこなわれる遊びもある。いずれにしても，これらの遊びがオモテを舞台に演じられることに相違はないし，また世代的にみても幼少児の三輪車から青年のバトミントンまでの遊びやかんたんな場所をとらないスポーツまでを含んでいる。オモテの道路が土であったころ（昭和30年以前）には土いじりや，石ころ遊びがあったが，舗装された現在の道路では，このような遊びにローラースケートがとって代っている。しかしモータリゼーションの激しい現状では，これらの遊びやスポーツをオモテから追い出しつつある。昼の通過交通の多い時間には，これらの行為はなしようがなく，せめて日曜日や夜の数時間にオモテはこれらの機能を回復し，活況をとり戻すことができる。そして戦中の疎開跡を別用して作られた近くの公園や空地は町家にかこまれた子供たちの安心して遊べる唯一の場所になっている。しかし多くの町内の子供たちの遊びを満足させるには狭少すぎる。


空地にまで遊んでいる子供たち


近くの公園で遊んでいる子供たち

ぽかぽかと暖い春の日など格子や板塀にもたれるようにして子供たちが**陽なたぼっこ**をしたり，女の子はそこへゴザを敷いてオジャミをするといった軒下の行為は以前よくみうけられた。そして初春や晩秋のトオリに陽のあたる時刻には，ネンネコ姿のおばあさんが**子守り**をするのも

みられた。今では室内暖房の普及のせいか，このような情景は以前ほどみられなくなったが，それでもときには，おばあさんのみならず若い母親が軒下からトオリ際へ赤ん坊を連れ出している光景はみられる。そして子守りはまた隣人たちとの会話をうむきっかけともなるのである。隣人は赤ん坊の顔をのぞき込み，「お父さん似」であるか「お母さん似」であるかについて，また赤ん坊の出来映えについて寸評する。

日中の活動的なオモテも夕暮がせまるころから，しずかな家並のたたずまいがひとしおオモテの静かで親密感のある雰囲気をつくりだす。**人や車の往来**も日中に較べるとずっと稀になり，そぞろ歩きに適しい状況をかもしだし家々に挟まれたトオリは散歩道にはや変りする。夕食後のちょっとした散歩は日常生活の中でもよくおこなわれる行為であり，特別の目的がなくてもオモテをぶらつき，夜の外気に接することはなんとなく1日の疲れをいやしてくれる。ときには親子づれで，またときには若い男女が**夜のランブル**を楽しんでいる姿はよくみうけられる。そしてこのようなランブルはときには京都の繁華街・四条河原町あたりまで足をのばすことにもなる。対象町内から繁華街まではゆっくり歩いて20分ほどの距離であり，とくに夏の夜のランブルは夕涼みをかねてよくおこなわれる。静かな夜のトオリを歩いてみると街灯や屋内のあかりに照らされだオモテはほの明るく，犬を遊ばせている光景も目につく。おそらく日課のひとつなのだろう。そして季節によってロジや前栽のチンチョウゲやキンモクセイの香がトオリまで匂ってくる。

一般に町家の内部は陽の当る場所が少なく草花づくりなどの家庭園芸には一工夫必要である。しかし日常生活にとって，草花や緑の木々の必要性は町家のようにコンパクトな居住空間の中ではいっそう増大するように思える。町家の住人たちの**草花づくり**はオモテにはみ出し，かれらの手入れのよく行届いた鉢植や木箱の草花が軒下に行儀よくならび，通行人の眼をも楽しませてくれる。町家風景の1つともいえる，格子のまえのアサガオやヘチマのつるは夏の暑い西陽をさえぎる役割をはたすと同時に草花に対する人々の愛着をも語っている。アサガオやヘチマや盆栽などに加えて，最近では観葉植物や洋花がならべられ，小さな花をつけているのが見られる。このような植物に関連して，軒先に吊り下げられている小鳥の篭や虫篭は**小動物**に対する愛着のあらわれだろう。軒下の小さな空間は草花や小動物の陽なたぼっこの場でもあるわけだ。ときにはネコやイヌが軒下でまどろむのもみかけられる。







オモテに出された手づくりの草花たち

冬のドンドンと夏の夕涼みはオモテの風物詩である。寒い冬の日，炭俵がオモテにもちだされると数人の隣人たちが集まる。俵は寒風に煽られて勢いよく燃えあがり，これをとりまく人々の顔は赤くほてってくる。そしてだれかが木片や紙屑をもってきて投げこむと焔はまた勢をえる。ついでにイモをほうり込む子供がある。火がおさまって棒ぎれでとり出したイモは表面黒く炭化しているが，割った中はまさに食欲をそそる色合と湯気を出している。**ドンドン**は廃物の焼却と共同暖ろと人々の会話の場をつくる。冬は火によって人々が集まり，夏は風を求めて人々が集まる。夏の夕には床几をもちだし，ウチワをつかいながら家族や向う三軒両隣りの数人が世間話などをし，子供たちは線香花火に興じる。そしてときにはスイカがこの夕涼みグループのメンバーに配られる。このような**夕涼み**模様も今では新しいタイプのものが登場した。以前の床几にかわりアルミ製のアームチェーアー，碁や将棋のかわりにトランジスターラジオがといった具合である。しかしいずれにしても夏の夜のオモテには夕涼みの風景がみられる。夕涼みは単に涼をとる目的だけの行為ではなくオモテの雰囲気を感じながら，家事や仕事から解放された夜のひとときをくつろぐ行為なのである。だからクーラーがすえられても，オモテの夕涼みはなくならない。

オモテはまた町内居住者の社交の場でもある。井戸端会議ならぬ**軒下会議**は，主婦たちのおしゃべり欲を満足させてくれる。世間話，うわさ話などは近隣の情報伝達に一役かっているし，またこの軒下会議が近隣の情報センターをも司っている。家庭のいざこざを主婦たちはここでもち出し，精神衛生をはかることにもなっているのだろう。炊事姿の数人の主婦連の立姿は，近隣関係の縮図といえよう。このような軒下での会話風景は主婦連だけのものではない。簡単な商用はここで話し合われるし，**青年たちの集い**は夜の軒下で活発におこなわれる。次の日曜日のピクニックや女友達（あるいは男友達）などの話に花が咲く。集いは夜更けにまでおよび，ようやく解散のときがくると，あたりの情寂を破る爆音とともに友人たちは姿を消す。このような賑やかな集いとは別に，戸口にたたずんでただなんとなくオモテ眺めている人がある。空模様を見ているのか，来客を待っているのか，特別目当がなくてもただまん然とオモテを眺めているという行為がある。いわばオモテの空気を呼吸して一意気入れているといったありさまである。夜空の星，月あかり，町内の家のあかり，ときたまの人の往来，このような何気ない風景を眺めて休息しているのである。



オモテがトオリである以上，いろいろの**往来風景**がみられるのは当然である。主婦たちの買物に出かける姿，通行者の姿，そして登校，下校の学童たちや通園の園児たち。下校のさいの児童たちは登校のときのように直進しない。同じ方向に帰る友人数人といたずらをし，イヌをからかい，ボールを拠り上げたりしながらオモテを活気づけていく。夏の夕立やにわか雨がやってくると，軒下はかっこうの**雨やどり**の場になる。学童や通行者は軒下に雨をさけ，先を急ぐものは軒づたいに走っていく。通行者だけでなく町内の住人たちも，隣りの家，向いの家を訪ずれるにはこのオモテが唯一の場所であるわけだ。隣人たちはオモテの往来によって，つき合いの度合を知る。八百屋，豆腐屋，魚屋などの車がやってきて，オモテの**トオリ際に店**を出し，4，5人の主婦たちがこれをとりまく光景がとき





どきみられる。そしてこれらの商人は主婦たちとはごく懇意であるから，冗談の１つもいって主婦達を笑わせる。

日常生活のサービス的な行為の多くもオモテが利用される。新聞，郵便，牛乳などの配達，受け取り，ゴミの搬出，ゴミの焼却などもオモテが利用される。以前はリンゴ箱がゴミ箱の役割を果していたが，そして１日中オモテに置かれていたが，いまではポリバケツが集塵の時間にもち出される。週２回（水・土曜の朝）の市の集塵車による回収時以外はポリ袋やポリバケツによる衛生的な貯塵が屋内で行なわれているが，毎日**ゴミを処理**する必要のある家庭では，1000円/月 の費用で民間のゴミ集塵車が毎夜まわってくる。このような家庭では夜になると軒下に大きなポリバケツ が姿をあらわす。 軒下の 利用は暫定的な **物置き場**にもな



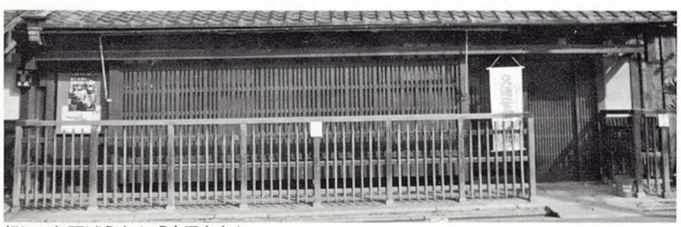
▲オモテにおき放されている自転車，三輪車



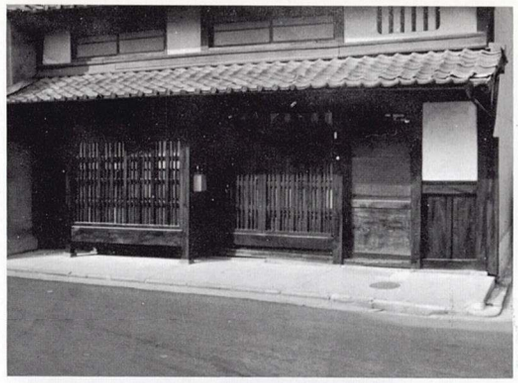
テントをはり出した自転車置場▶

る。自転車，三輪車，うば車などの置場になり，ときには軒に折たたみ式のテントをつけて，この物置場スペースを拡大して利用している。そして引越しや大きな荷物の**荷解・梱包**にはオモテが大きなスペースを提供してくれる。

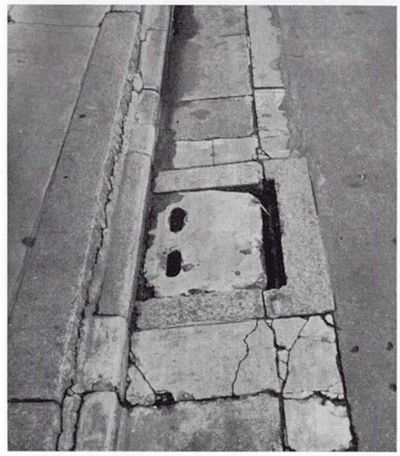
毎年定期的に行なわれる**衛生掃除**は各町家の，したがって各家庭の掃除であり，この大掃除の１つの大きな作業はタタミをはたいてほこりを打ち出すことである。その日各家は何10枚かのタタミをオモテに持ち出し，竹や棒でタタミをたたく音で町内はいっぱいになった。最近では板床が多くなり，タタミ数が減ったことや，電気掃除器の普及によって以



軒につり下げられた「交通安全」

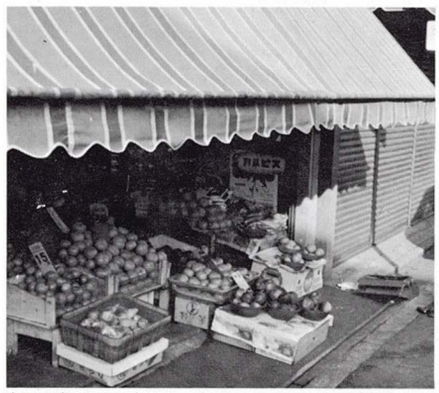


きれいに清掃された軒下、道路



洗い出された側溝

前のような大掃除風景は見られないが，それでもタタミを陽に当て風を通す必要からやはり大掃除はつづけられている。よく拭きこんだ格子やオモテの打水は，町家風景の名物となっているが，このような住人のオモテへの配慮は，近隣に対する配慮であり義務であるといって過言ではない。自分の家の前がキレイに**掃除**されていないことは近隣に対する恥であり，この配慮はオモテしたがってトオリをいつも清潔に維持する原動力となっている。事実トオリには紙屑やゴミはほとんど見当らず，とくに入口に近いＬ型側溝は永年の 掃除の結果コンクリート洗い出しになっている。そして自分の家の間口の幅だけでなく，両隣りの家のオモテまでも 掃除することが近隣づきあいの 不文律である。このようなオモテのメインテナンスの精神はいまもまだ続行されている**火の用心**によっても知られる。毎夜各家は順番に町内を拍子木を打って往復する。「ヒノヨージン，＜チョン，チョン＞」。冬の夜などはとくにこの音は冷い空気によく響きわたるのである。



商品の陳列された軒下

自家営業の多いこの町内では（そして京都の町内は概して商売をする家が多いが）**オモテ**が仕事のための補助的な場所を提供している。営業車の駐車，洗車はもとより，商品の荷積，荷おろし，荷解き，梱包にとってオモテはなくてはならない**仕事場**である。そして軒下は商品の一時的な倉庫の役割も果してくれる。低い軒下に積まれた炭俵や薪の山は，町家に風情をそえるものであった。いまではビールや石油カンなどが積み上げられて，やはり倉庫の役割を果している。このような軒下は八百屋や，魚屋や，菓子屋の賑やかな店頭の陳列にとってこの上なく重要なスペースである。トオリにはみ出して並べられた橙色のミカンは子供の食欲をそそるのである。店頭のならぶオモテはリニアーで賑



商品の荷置場にされている軒下



◀商店、商品、広告の賑やかな買物広場

▼軒下から道路にはみ出した商品

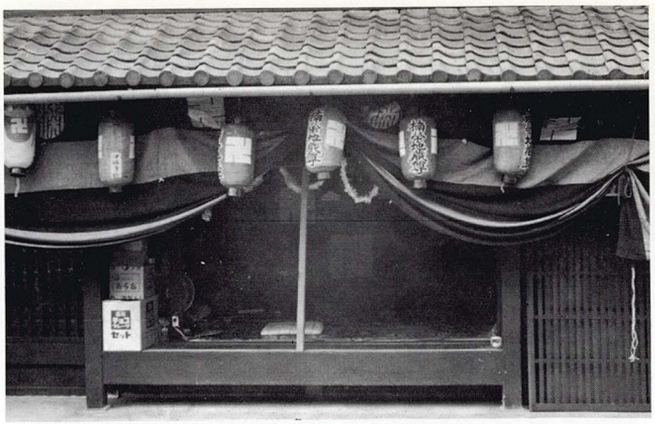


わいのある**買物空間**であり，トオリに張り出したテントは誘いこむように客を招いているようだ。

オモテは祝祭日や行事のたびに装いをかえる。正月のオモテは門松や国旗によって1年のはじまりを祝う雰囲気に満たされる。オモテの飾りつけはふだんのオモテ空間をがらりと変え，晴着姿でハネをつく女児の姿はオモテを彩る。氏神の祭に吊りさげられる軒先の紋入提灯や引幕や七夕の笹はオモテを**祭の空間**に変質する。有名な祇園祭は鉾と囃しによって町内のもっとも意気高い祭空間を演出する。今年(昭和44年)は70万人の人出をみた。このような祝祭日のオモテは町内こぞっての共演の舞台となる。地蔵盆は町内の年中行事の1つであり，オモテ空間が共同の催場となって，金魚すくい，映写会，福引などが催される。あかあかと



町内の両端をシンボルで区切る地蔵盆の町内



町内の一軒を開放した地蔵盆の飾りつけ

電灯をぶら下げて，タコ焼，パチンコ，輪投げ，水中花をならべる赤い幕の舞台がトオリの両側にならび，挟まれた空間には色彩がハンランし，人々の行き交う夜店は楽しい夜の**装置空間**である。オモテはまた冠婚葬祭にはなくてはならない空間である。葬儀の日にはシキミが並べられて人々が参列し隣人が手伝い仏を送る。婚礼にもオモテは一役をかう。花嫁が嫁入衣裳で親の家を出るとき，隣人たちは集まって見物する。これは当人はもちろん当の家族にとってはれがましいと同時に，そのよろこばしさをいく倍かにする。七五三の子供の晴着も近隣への挨拶によってはれるのである。このような慣習は隣人たちの人間関係になごやかさを加える。

われわれの生活行為はワーク，サービス，リビングからなりたっている。**ワーク**は仕事としての行為で生活の基盤となるものである。サラリーマンの場合は，仕事場を離れているが自家営業の場合はオモテが営業スペースの延長として使われる。**サービス**は日常生活上必要欠くべからざる行為で，家事労働，修理修繕，防犯防災，配達などがある。**リビング**はサービスにささえられて行なわれるより快適で豊かな生活行為をいい，談らん，憩い，子供の遊び，趣味，行事などがあげられる。そこでオモテで行なわれるいろいろな行為をその主目的に視点をおいてワーク，サービス，リビングに分けた。

さらに時間的，空間的座標の上で行為をとらえると，オモテの空間領域（幅員6.5m，1階軒高2.3mのface to faceのリニアーな構成）と対応した運動のパターンとして類型化することができる。ここでは動作の大小，領域（軒下と道路），スピード，連繋といった視点で，入出・停留・円動・周回・移行・鎖行・対行・循環・蛇行・直進の10種とした。入出はたとえばオモテをちょっとうかがうことで，配達された新聞，牛乳を受け口に取りに出ることとかいった行為に見られるような，ウチの出入口での瞬時的動作のパターンである。停留は，門口，とくに軒下の空間領域で立話をするとか，夕涼みをするとかいうふうに動きを伴なわない行為をさし，円動は道路にはみ出さない程度に作業を行なうとか水をまくとかの行為をさしている。同じような意味で，道路面での行為や人の集合，たとえば子供が三輪車をのりまわしたり，石けりをしたりする行為は周回とした。また，各戸との関係で隣家へものを頼みに行ったりするように不連続で単発的な行為をたんに移行とし，新聞配達，サービスなどのように各戸を順に訪れる連鎖的な移行は鎖行とし，対面的な往来は対行とした。次にサーキュレーションをともなうような町内での行為を循環とし，夜なきソバなどのようにゆっくり進行するものを蛇行，通勤のように目的に向って直進する行為は直進とした。鎖行，循環，蛇行，直進などは町(ちょう)の外との関係をより強くもつ。

これらはそれぞれオモテの空間領域に対応して，軒下でより強くパターン化するもの，道路でよりパターン化するものとして，分布またはプロットされよう。このような生活行為の時空的運動パターンの把え方，すなわち行動様式の追跡は，オモテ空間の意味をより明快な形で顕在化させるものである（生活行為は対象町内およびその周辺でみられるものをサンプリングした）。

（つづく）

行動のパターン / 生活行為	入出	停留	円動	周回	移行	鎖行	対行	循環	蛇行	直進
										
ワーク WORK	材料・製品の出し入れ 道路の混み具合をみる 客をみに出る	商品を置いておく 商品を陳列する 呼び込みをする 客を待たせる 客の応対をする 商品を売る 店の開け閉めをする テントを張る 看板・広告灯をかける 宣伝のビラを吊る	材料・製品の積卸し 材料・製品の荷解・梱包 車を停める 自転車・単車をおく 店頭の掃除をする 店頭の準備・あとかたづけ 車を洗う 木材加工をする 木材・材料などを干す 作業着をはたく		隣のオモテをかりる	注文をきいてまわる					原料の搬入 製品の搬出 得意先へ出かける 注文品をとどける 往診にいく 勤めに出かける
サービス SERVICE	ゴミをもち出す 外灯の点滅 新聞をとりに出る 牛乳をとりに出る 郵便物をとりに出る	自転車・乳母車・三輪車をおく ポスターがはられる 火の用心、防犯の表示板を出す 荷解きをする ものを持ち出してホコリを払う じゅうたんを干す 靴を干す 傘を干す 洗い張りを干す 漬物の野菜を干す オモテを掃き水をまく 格子、戸を掃除する 道を教える 雨やどりをする 立小便をする	引越の梱包・積卸・荷解き ものを修理、修繕する ゴミを焼却する 庭木の剪定をする 剪定のあとかたづけをする 車をとめる 車を洗う 車の点検・修理をする 改修工事の仕事場 タタミを修繕してもらう 障子洗いをする 衛生掃除でタタミを干す タタミをたたいてホコリを払う オモテを掃き、水をまく	八百屋がやってくる 魚屋がやってくる 傘の修繕屋がくる 刃物研ぎがくる 鋳かけ屋がくる マンホールの点検・修理 電線・電話線の点検・修理 埋設物の掘削・埋管復旧	回覧板をもっていく 留守をたのむ ものを借りにいく 荷物をあずかる 用件のとりつぎ	町会費寄付を集めてまわる 急用を連絡してまわる 新聞を配達する 牛乳を配達する 郵便物を配達する ガス・水道・電気のメーター点検 ガス・水道・電気の料金徴収 集塵車がくる 御用聞きがくる きな粉、はったいの粉を売りにくる お茶を売りにくる セールスの人がくる 勧誘員がくる 軒づたいに雨をさけて歩く	電話のとりつぎ 相談をもちかけにいく 手をかしかりにいく 着付けを手伝いにいく ものを借りにいく 留守をたのむ 用件のとりつぎ	火の用心の拍子木を打って歩く	買い物をする 銭湯にいく 登下校 広報車が通る 宣伝車が通る バキューム車がくる 豆腐屋が通る 焼いも、ラーメン屋がくる 竿竹、カゴ、床几を売りにくる 屑屋がくる お茶、スダレ、花売りが通る パンを売りにくる きな粉、はったいの粉売りが通る 出前がくる お巡りさんの巡回	買物に出かける 出前がくる クリーニング屋がくる 米屋がくる 荷物が配達される
リビング LIVING	オモテをみてくる 空模様をみる 植木鉢の出し入れ 鳥カゴの出し入れ	ママゴトをする プールで水遊びをする オモチャで遊ぶ 絵本をみる おやつをたべる 子供を看まもる 抱いて子供にオモテを見せる 客の出迎え、見送り 主人・子供の出迎え見送り 雨・雪をみる 新聞をよむ たたずんでタバコをふかす オモテを眺める 夜空をみ上げる 日向ぼっこをする 夕涼みをする 世間話、うわさ話をする トランジスタラジオをきく 碁・将棋をする 草花に水をやる 草花を飾る 犬を飼う 鳥カゴ、虫カゴを吊り下げる 催しもの告示 国旗を軒に出す 門松を飾りつける 地蔵盆、祭の提灯トウロウを吊る 七夕の笹をだす	コマをまわす 石ケリをする メンコをする ビー玉あてをする ママゴトをする 水あそびをする 土いじりをする おしくらまんじゅうをする ラクガキをする オモチャで遊ぶ カタカタを押して歩く シャボン玉を吹く 風船をつく オジャミをする 子供がケンカする オモテの折カン ドンドンをする 世間話をする 若者があつまる 体操をする 地蔵さんに供物をする 日の出を拝む	走りまわる 三輪車をのりまわす 相撲をする 缶ケリをする ボール蹴りをする 陣とりをする 紙飛行機を飛ばす 花火遊びをする 羽根つきをする 雪合戦をする ゴム飛びをする なわ飛びをする バットを振る ドッジボールをする バレーボールをする キャッチボールをする バトミントンをする テニポンをする お遊戯をする 紙芝居をみる ポン菓子屋がやってくる 地蔵盆で福引きをする 地蔵盆で金魚すくいをする 地蔵盆で映画、演劇をみる 花嫁を見物する	挨拶をする 送りとどけをする 話しこみにいく 見舞いにいく お祝いにいく 買物にさそう 芝居にさそう	ものを配って歩く	送りとどけをする 話しこみにいく 見舞いにいく お祝いにいく 友達をさそう 買物にさそう 芝居にさそう 手芸を教えてもらいにいく 料理を教えてもらいにいく	自転車のけいこをする 三輪車、豆自動車をのりまわす スケートをする ローラースケートをする 竹馬にのる チャンバラゴッコをする 鉄砲あそびをする かけっこをする かくれんぼをする おにごっこをする なわ飛びをして走る ゴム風船をもって走る タコをあげる 紙芝居がくる 子供が晴着を見せ歩く	店をみながら歩く 夜店をぶらつく 散歩する 子供を連れてぶらつく 犬を散歩さす 犬をからかう トンボ、チョウをおいかける 金魚売りがくる チンドンヤをみる 僧がくる 虚無僧、僧の念仏	自転車にのって出かける 犬の運動をさせる

凡例



オモテ

オモテ・カドにおける生活行為と行動パターンのマトリックス

日本万国博跡地開発計画

TEAM BARK

4

TEAM BARK

プランナー　奥保多聞
　　小北博一
　　佐久間照弥
デザイナー　植田昌吾
　　清水正俊
　　長崎哲士
リサーチャー　佐野武仁
　　芝野孜
　　中東達男
　　中村守保

第3章　都市空間構成

3—1　土地利用・機能配分計画

(A)　現状分析とゾーニング

○展示館と土地利用

現在残存されると一般に予想されているパビリオンおよび協会施設は**表—1**で表わされる。この建物は会場のゾーニングの中で四つの場所に大別される。第一のゾーンにあるものは，人工湖周辺，シンボルゾーンの北側に位置する万国博美術館・万国博ホール・民芸館である。この3つの建物は湖の修景とあいまって基本計画の段階より，コーオデネートされて設計が進められてきた。第二のゾーンにあるものはシンボルゾーンの南端に位置する万国博タワーと本部ビルである。この2つの建物は，会場のランドマークとしての位置付けと電話局等と関連して，情報系，エネルギー系の会場地区の都市サービス施設として有効に働くのではないだろうか。第三のゾーンには日本庭園迎賓館のゾーンがある。建設省および，大阪府の手になる日本庭園は「時の流れ」と「自然の流れ」によって，日本情緒豊かな庭園となり，広く近畿圏の住民に親しまれるだろう。また迎賓館は古代庭園の中にあって，レセプションホールとしての機能を保存されるものであろう。**図—1**に見られるように日本政府館，鉄鋼館そして可能性があるとするならば，お祭り広場の大屋根と広場は，跡地地区の中央にそれぞれ位置を占め，近畿圏住民の文化的娯楽的なセンターとして使用されうるだろう。この第四のゾーンは水と緑の系のランドフォーメーションの静かな美術館などのゾーンと，中央環状線沿いに発生するであろう交通施設を基盤とする動きの激しい業務・商業などの高層建築群の中間にあって，やや傾斜のあるオープンスペースと混在する研究・文化地区を形成するのではなかろうか。それは大学地区にも開かれている。政府館・お祭り広場などは，労働時間の短縮された未来の情報化社会にあって，あるいはレジャー時代の空間として，フェースツーフェースの情報交換の活動領域として，市民に提供されるだろう。戸外でのあるいは戸内での，実験的な催し物あるいは記念さるべきホールとして，巨大な空間は多様な可能性を保持しているように考えられる。

○高密度地区

大阪における広域的多核都市として，中央環状線沿いのジャンクションを核として結晶化し，もし北大阪急行が残存され，あるいは中央環状沿いに鉄道などの大量交通機関が生まれるとするならば，全国の交通ネットワークの結節点は高密度な活動地域を発生さすだろう。それは隣接する千里ニュータウンの中央地区センターすなわち住宅都市の核が業務・商業・アミューズメント・文化の機能を有する高密度な領域を形成しつつあることにおいても明らかだろう。

業務地域を中核とする商業・住宅を含む，現代社会における生活領域の多様性と複合性に対応する複合的機能高密度空間を考える。それは単なる中央業務地区ではなく，都市は本来的に住む空間として，大量の市民の消費生活を支える都市を考えたい。電車・バス・高速道路・駐車場・駅舎に動くダイナミックな人間と車のサーキュレーションのパターンは大都市に密度の濃い複雑な大空間を出現させている。モントリオールのプラスボナヴェンチュラ，東京のパレスサイドビルディング，大阪のマーチャンダイズマートビルなどの建築から，新宿の西口広場，フィラデルフィアのマーケットイースト，また大阪での阿倍野再開発計画あるいは大阪城北地区の再開発計画案などの建築群を生みだしつつある。多様な情報の発生源，ターミナルか

表—1　予定される残存建築物

	展示館種別	内容					予想残存価値
		出展者及展示テーマ	敷地面積	延床面積	階数	建設費（百万円）	機能性・オリエンテーション
展示館	日本政府館	参加者「日本鉄鋼連盟」 展示テーマ「日本と日本人」	37,791 m²	22,791m²	4F／地下1F 地上	3,700	万博メモリアルホール、多目的な催し物に使用。
	鉄鋼館	参加者「日本鉄鋼連盟」 展示テーマ「鉄の歌」	6,400 m²	8,210m²	5F／地下1F 地上	650	市民実験ホール
	日本民芸館	参加者「万国博日本民芸館出展協機会」展示テーマ「暮しの美」	3,070 m²	2,206m²	2F／0	200	民芸館として残す、美術館、多目的ホールと共に、人工湖周辺に文化センターを形成する
	日本庭園	出展者「政府(建設省)」 施工「大阪府」	260,000 m²			2,100	会場規模の7.4%をしめる記念公園として保存。
協会施設	万国博美術館	美術館、屋外美術 広場(5,000m²)		10,400m²	4F／0	1,390	理想的施設をもつ美術館として、使用する。
	万国博ホール			7,800m²	4F／3F	780	収容人員1,500人。劇場として使用する。
	迎賓館			1,900m²	1F／0	220	日本庭園の中にある，府民のレセプションホール。
	お祭り広場	大屋根　(291.6m××108.0m)		29,202m²		3,000	お祭り広場 3,000人(固定席) 1,000(移動席) 収容人員18,000人
	本部ビル	協会本館		11,909m²	4F／0	820	情報センター
	万国博塔	ランドマーク（35人エレベーター2基を含む）		780m²	(高サ) 124.0m	750	記念塔
	大噴水	噴水4ヵ所、環境造形物4コ				440	
その他	電々公社						



図―1　土地利用計画

ら周辺に伝播され流れ込んでくる消費活動の流通点，は群集流をパッケージする巨大な空間を予想するだろう。**表―3**は複合建築の一例を表わす。

ライフサイクルに対応して都市住空間を考えるとき，子供から遊離したこの対応する2世代青年と老人は都市空間の中枢に住むべきであろう。幼い子供達を育成する自然的環境よりも，情報の密度の濃い都市的環境に生活すべきであろう。一体京都の市民達の住まい方を見るとき，中京の街角は日常生活の仕事の場であると同時に，四季の祭りごとに変化する空間である。地蔵盆の夕，家の廂から向かいの廂までかけ渡されたちょうちんのもとで，街路上に敷かれたゴザでの老幼男女とのさざめきは町内ごとに中京の街並を活性化する。新しい都市の住空間は核家族にしかうまく機能できない一種排他的なカプセルをプラグインし，集積した現在の団地のアパートの住生活よりも，それは開かれた可能性を持つ住空間ではなかろうか。

土地利用計画面積配分

	区　分	面　積	百分率
1	高密度＋業務・商業・住宅ゾーン	482,000m²	13.7%
2	中密度＋文化・研究ゾーン	980,000m²	27.9%
3	中密度＋サービスゾーン	387,000m²	11.0%
4	低密度＋大学ゾーン	690,000m²	19.7%
5	低密度ゾーン	439,000m²	12.6%
6	日本庭園	260,000m²	7.4%
7	中央環状線	133,000m²	3.8%
8	場周道路	110,000m²	3.1%
9	その他	28,000m²	0.8%
	合　計	3,509,000	100%

表—3　複合建築の例

		敷地面積	延面地積	商業面積	業務面積	住居面積	公共面積	駐車面積	台　数	備　考
地区	大阪城北地区再開発計画（計画案）	274,000	760,000	30,000	200,000	70,000 (80,000)	5,000 (5,000)	120,000	4,000	( )内数字は民間投資
	阿倍野地区再開発構想	166,000	777,200	266,900	221,500	126,000	37,600	130,200	3,200	
	大阪駅前ビル 全計画	36,877	416,540		267,120		93,670	(45,750)	1,525	( )内は、1台30m²として、算出
建物	大阪駅前ビル第一棟	9,214	98,130		64,720		16,130	(7,180)	246	同　上
	築港深江線ビル		164,200	55,600	16,200		79,900	12,500	429	
	パレスサイドビル	13,862	119,700	1,750	56,000				300	
	大阪マーチャンダイズマートビル	20,412	131,416					8,700	290	

表—4　都市環境装置

		種　別	機　能	能　力	内　容	
			幅　長さ		面　積	投資額
1	交通諸施設	1.中央環状道路	85m　2,200m	4車線　高速4車線	132,600m²	
		2.外周道路	22m　7,000m	one-way　5車線	110,400m²	1,500
		3.南北線	5.99km　(建設距離)	吹田市江坂－豊中市上新田都市計画街路御堂筋線上		7,700
		4.東西線	4.00km　(　〃　)	豊中市上新田－万博会場中央ゲート		3,800
2	都市設備	1.冷房プラント	36,000RT　冷水管長さ	25,000m	8,500m²	3,200
		2.供給処理施設				
		上水道	31,000m (配管長さ)	96,000m³/day		670
		下水道	26,000m (　〃　)			1,330
		3.電力ガス				
		電力供給施設	27,700m (配管長さ)			2,560
		ガス〃〃	22,400m (　〃　)	100,000m³/dey		500
		受電設備	190,000KUA			698
		4.焼却場			60万人/dayの場合240t	
3	外部空間(外構)	1.人工湖	貯水量 116,000ton		64,500m²	1,350
		2.娯楽施設				
		施設				2,000
		特殊照明				280

(B)　都市環境装置

万博跡地に計画する土地利用計画上の問題であるが，それは次の3つの項目に分けられる，第一に万博跡地利用に関するもの，第二に10万人都市の機能について，第三に都市軸と交通ということになるであろう。第一の問題点であるが，跡地というものの都市的公共性，どこまでポテンシャリティーのある土地であり利用性公共性があるか，またはそれをどこまで認め得るかということにかかっていると考える。私達はこれらの問題を整理するために**表—4**に見るように都市環境装置というものを設定し，その中を，交通諸施設・都市設備・外部空間（外構）の3つに分けて，今の万博の諸施設の中で，どれほどの公共投資がおこなわれているか，定量的に提示して見た。例えば，北大阪急行の乗り入れは116億を投じて全長約10kmを建設している。この建設一つを取り上げて見ても，業務都市の成立条件の一つであるマストラの導入が必然的に可能な土地であることが判明しょう。また，前章で提案した，この鉄軌道を延長する大阪環状線の位置付けは，この敷地が持っている大きな特長である，と考えられる。次に都市設備としての冷房プラントは**表—4**に見る規模ではあるが，32億の巨費を投じている。これは，一般に地域冷房の個別冷房に比較しての利点が最近主張されてきて，それの多様性の試みとして提案されている。すなわち，冷凍機が大型にできるので経済的である，同時使用率により各需用家必要容量の合計よりも少ない，プラント設備容量ですむ，負荷率が地域冷房の場合高くなるので設備稼働率が高い，等々の利点があげられるが，なんといっても高密度，高能率の都市成長には欠かせられないものである。また，ランドフォーメーションとしての，人工湖・娯楽施設・日本庭園は全体の面積330万㎡に対して20%をしめている。

第二に，10万都市の機能であるが，これは土地利用計画からすると，例えば，供給処理施設における上下水道・電気・ガスは60～70万人のキャパシティーがある。また，この都市設備の投資総額は90億円である。これは330万㎡に対して公共投資率は1㎡当り3,000円である，これは市街地におけるそれとは，かなり上まわっている。すなわち，10万人都市の機能はこのような条件によって裏付けされている。第三の都市軸と交通では周辺を含めたランドフォーメーションにおける土地利用の合理性が，東西にVカットされた中央環状と北大阪急行により，決定的とされた。また，図に見る中央口は，各ゾーンへ有機的につながるデッキをかいして高密度ゾーンへのサービスであり，阪急千里山線を背景とした西口は，中央口のサブゲートと考えるほかに，むしろ積極的に千里ニュータウンと敷地との間のディストリビューションのエリアとして計画した。すなわち，これは通過交通の緩和，モータリゼーションの諸施設などが配置され，中央口に対する集中の回避を計画した。また東側の場周外と名神の間は貨物を中心とした業務都市に対するストックヤードとして設定する。

厚肉形鋼の溶接の問題点

—主として厚肉H形鋼について—

滝沢章三

一般に鋼の溶接について考える場合，単に溶接作業を中心とした，いわゆる溶接工作のみを取り出して論ずるわけにいかず，鋼材の性質，溶接工作，設計の3つを同じウエイトで考えなければならない。なぜなら，溶接は，溶接される母材の性質によって大きく左右されるものであるし，設計自体にも大きく影響されるものだからである。また逆に，溶接は，鋼材を局部的に加熱，冷却させるという過程を経るため，鋼材の性質に影響をおよぼすからである。厚肉形鋼の場合も例外ではなく，むしろ，これら3者の関係はより緊密なのである。従って，鋼材の性質，溶接工作，設計を各々区別せず，「溶接」に関連した点を中心に述べてみたいと思う。

鋼材の化学成分

溶接性という点からは，鋼材に含まれる種々の化学成分は重要な要素となる。現在一般に使用されている形鋼は，板厚のいかんを問わずC・Si・Mu系の鋼が主流である。鋼は，これらの化学成分の配合によってその機械的性質や溶接性の調整を行なっているのである。単純には，Cつまり炭素の量を増せば鋼の強度は高くなるのであるが，後述するように，溶接という点からは，Cの増加は，溶接性を悪くする傾向をもっている。もちろん，鋼の性質はCによってのみ支配されるのでなく，他の化学成分も重要な役割をはたすわけであり，これらの化学成分を示す1つの目安として，炭素当量（Ceq）というものが用いられ，JISにもその求め方が定められている*1。この炭素当量というのは，主として溶接性のよし悪しを推定するのに便利なものであり，定性的には，炭素当量が低い程溶接性はよくなる。炭素当量が高いとどうなるかというと，まず溶接部が部分的に硬化しやすくなると同時に，溶接欠陥のうちで最も有害な欠陥である「割れ」が発生しやすくなるのである。ある部材において，部分的に硬化した材が混入していることは，たしかに好ましくないことではあるが，それ自体が材全体の性質をきわめて悪くするかどうかは議論のあるところである。しかし，その硬化部に応力集中が生ずるような場合，そして何らかの切欠がある場合，疲労や衝撃に対する抵抗力が著しく低下することが知られている。溶接の場合，アンダカットやブローホールといった欠陥はしばしば発生し，その部分に切欠を作ると同時に，特にH形鋼の接合部では，応力集中を起こす状態になりやすいため，溶接部に硬化部を作ることは，つとめて避けるべきである。

また，割れについては，その有害さは論を待たない。割れは溶接性のうち最も重要であるといっても過言ではなく，絶対に避けなければならないものである。この割れについては，多くの進んだ研究がなされており，現在では，炭素当量の高い鋼材は，割れ感受性が高いことが定説になっている。炭素当量と割れ感受性との関係についての実験資料を図1に示す。なおこの図における炭素当量は，特に炭素当量と割れ感受性との関係をより明確にするために改良した式*2を用いており，JIS規定の炭素当量とは異なっている。また，割れ感受性試験として，Y開先拘束割れ試験で行なったものであるが，これより，炭素当量がある値以上になると，急激に割れ感受性が高くなっていることがわかる。さらにやっかいなことに，平鋼・形鋼を問わず，厚肉になる程，炭素当量が増大する傾向にあり，また，割れ感受性も高くなる傾向にある（図2参照）。従って厚肉形鋼の溶接を考える場合，鋼材の炭素当量をどうしても考慮せざるを得ないわけである。しかし，いたずらに炭素当量を少なくしても，鋼材の機械的性質を損うこともあり，設計にあたっては，慎重な検討が必要である。一例として，最近竣工した，神戸商工貿易センタービルでは，SM50,400mmシリーズの厚肉H形鋼（最大肉厚，ウェップ40mm，フランジ60mm）を主構造体として用いたのであるが，JIS Ceqを上限0.43におさえたものを使用し，良好な結果を得ている。（図2，3）

*1 $Ceq=C+\frac{Si}{24}+\frac{Mn}{6}+\frac{Ni}{40}+\frac{Cr}{5}+\frac{Mo}{4}+\frac{V}{14}$ (%)

*2 $Ceq=C+\frac{Si}{30}+\frac{Mu}{20}+\frac{Cu}{20}+\frac{Ni}{60}+\frac{Cr}{20}+\frac{Mo}{15}+\frac{V}{10}+5B+\frac{t}{600}+\frac{H}{60}$ (%)

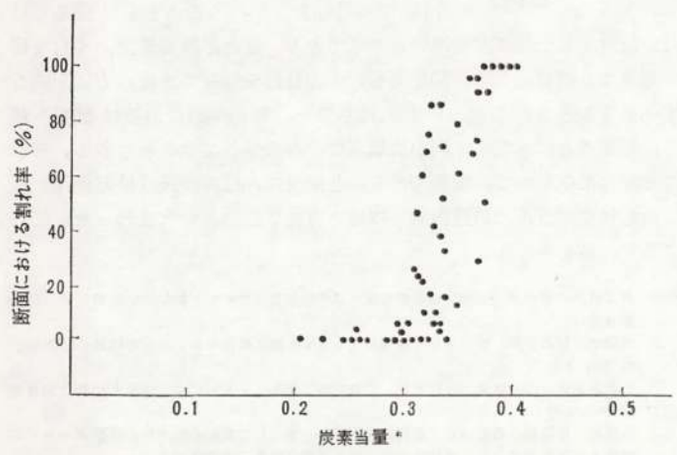


図1　炭素当量*と割れ率との関係（伊藤，別所[1]）

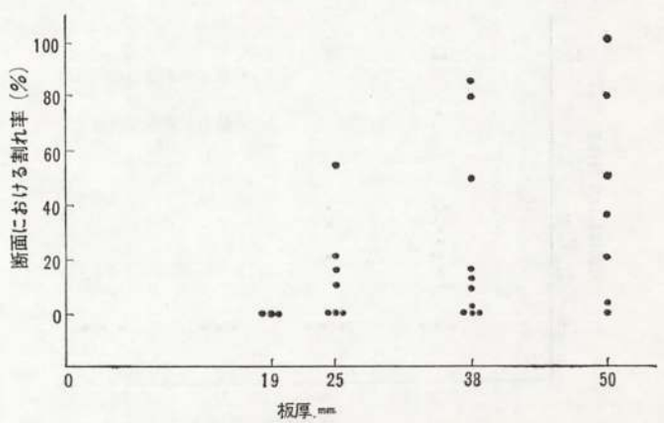


図2　炭素当量0.39～0.42附近での板厚と割れ率との関係（伊藤，別所[1]）

機械的性質

機械的性質とは，引張り強さ，延性，切欠靱性，さらに異方性，異質性などが考えられる。引張り強さや延性については，鋼材の性質として，特に問題はないと思う。但し，厚肉H形鋼を使用した，「溶接接合部」として考えた場合，警戒すべき点がある。というのは，例えば，厚肉H形鋼柱のフランジに梁のフランジを溶接接合させた場合，柱フランジの板厚方向に高応力が作用し，異方性の影響を受けるとともに，厚肉であるため，その部分でいわゆる3軸応力状態になる可能性が大きく，常温でも脆性破壊をおこすおそれがあるとの実験報告があることである。(4) これは次に述べる切欠靱性とも関連するが，鋼材そのものの引張り強度や延性が保障されていても，設計に意を用いないと，継手としての強度や延性が期待できない場合が起こり得るということである。

切欠靱性とは，低温や衝撃荷重や切欠応力集中に対する鋼の抵抗力を示すものである。これは主として，構造物の脆性破壊の要素として溶接構造物にとって，鋼材のもつ機械的性質のうち，引張り強度，延性と並んで重要なものである。鋼材に切欠をつけて載荷すると，応力集中により，切欠をつけた部分が低荷重で破断する。このことは，鋼材にとって切欠が歓迎されざるものであることを意味する。しかし，構造物においては，開口部や急激な断面変化がそのまま切欠になるし，溶接を行なえば，ごく一般的な溶接欠陥ですら，切欠となるのである。また，先に鋼材の化学成分の影響によって，部分的に硬化すると述べたが，それも広義の切欠となるし，溶接によって，金属組織に変化をきたす場合も同様である。つまり，現実問題として，溶接構造物にとって，いわゆる切欠は避けがたく，できるだけ切欠靱性に優れた鋼材であることが望まれのである。また，同じ成分の鋼でも，厚みによって，また，形状の大小によっても切欠靱性が異なるのであり，厚肉のものや形状の大きいもの程，切欠靱性が低下することが実験的にも確かめられている。従って，厚肉H形鋼の場合，異方性（同一点で，方向によって機械的性質の異なること）や，異質性(同一断面内で，場所によって機械的性質の異なること)ともからみ合って問題が複雑になるのである。特に，フランジとウェッブの分岐部であるいわゆるフィレット部では，フランジ端に比べて，切欠靱性の低下があることなどあって，この切欠靱性に対して，相当神経質になるのである。しかし，この切欠靱性の評価，つまり，建築構造物として，どれ程の切欠靱性が必要か，といった点については，荷重状態や，他とのバランスなどがあり，非常にむずかしい問題を含み，その評価には，きわめて高いエンジィニュイティが要求されるものである。

溶接工作

溶接は，局部的に加熱，冷却の過程を経，しかも，鋼材はその加熱，冷却の，いわゆる熱サイクルによってその性質に影響を受ける。従って，無雑作な溶接は，外見的な溶接欠陥のみならず，割れの発生や治金的な切欠の発生，さらに，機械的性質を損うなどの原因となるので，十分な管理が必要である。特に厚肉の鋼材は，薄肉のものに比べ熱サイクルの影響を受けやすいので，注意しなければならない。手溶接や半自動溶接を用いる場合，厚肉なるがゆえに，他の部分に熱が逃げやすく，急速冷却になるおそれがあるため，溶接性は悪くなる。使用鋼材の性質や使用溶接棒などとのかね合いもあるが，冷却速度を調整するために，予熱，後熱を必要とする場合が多い。先に，割れは最も有害な欠陥であると述べかつ，硬化も避けるべきだと述べたが，適切な予熱，後熱処理によって，良好な結果を得ることができる。例えば，50kg/mm² クラスの厚肉H形鋼(フランジ厚28mm～60mmCeq=0.40～0.43)の溶接による割れ感受性試験によれば，低水素系溶接棒を用いた場合25℃(室温)では多数の割れの発生があったが，50℃の予熱で半減し，75℃の予熱で全くなくなったとの報告がある(図3参照)。また，同一鋼材について，最高硬さも，室温では，ビッカース硬さで300℃近いものも，予熱温度の上昇に伴なって直線的に低下し，100℃の予熱では，200℃程度になったと報告している。もっとも，先の割れ感受性試験で，超低水素系溶接棒を使用したところ，室温においても（予熱なしでも）割れの発生がなかったと報告されており（図3参照），予熱などの熱処理とともに，溶接棒種も重要な要素であることがわかる。

しかし，もっとズボラに考えれば，予熱や後熱をやらずに済めば一番よいのである。そのためには，大入熱の溶接方法を採れば，その点に関しては解決がされるわけである。つまり，大入熱ならば，当然冷却速度は遅くなるからである。そのような溶接方法としては，エレクトロスラグ溶接がある。これは，厚肉鋼材用として開発され，実用化されている溶接方法であるが，何事も利点あれば欠点ありで，この溶接方法は，加熱，冷却が緩慢であるがゆえに，金属組織として，結晶粒が粗大化し，靱性の低下と異方性の発生をみるといった新たな問題が生じるのである。また，エレクトロスラグ溶接では鋼材質のよしあしが，溶接性に大きく影響を与えるとともに，高度の溶接管理が必要とされるのである。いずれにしても，厚肉の溶接はやっかいであるということである。また，厚肉H形鋼では，フイレット部に問題があると書いたが，溶接工作にとっても，この部分は最も溶接のやりにくい所である。しかも構造的には応力集中を起こしやすいため，溶接欠陥を生じないよう，特に慎重な溶接が望まれるところである。しかし，何よりも先ず，フイレット部に応力集中を生じるような設計をしないことが肝要であろう。さらに，フイレット部では溶接欠陥が生じやすいので，繰り返し応力や衝撃荷重のかかるところでは，溶接継手としない方が無難である。

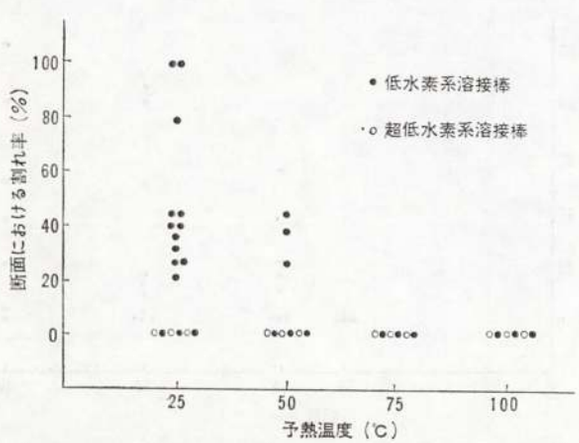


図3　鉄研式割れ試験結果（大庭，村田，繁田(2)）

おわりに

溶接は，鋼材，溶接工作，設計の3者が密接に関連し合っており，厚肉形鋼の溶接を考える場合は特に鋼材の性質や，溶接工作に対する十分な考慮が必要である。それと同時に，厚肉形鋼などは，溶接したために，作らなくてもよい欠陥を作ってしまうということもあり得るわけで，設計でも十分に意を用いるべきである。また形鋼製造上，やむを得ず発生する鋼材としての問題点も，その性質を知って，使い方に工夫をすべきであろう。しかしいずれにしても，厚肉形鋼の溶接は歴史も浅く，問題点といっても，何が問題点なのかわからないことも多く，それこそ非常にむずかしい問題である。と最後に，松井怜氏（松尾橋梁）並びに若林嘉津雄氏（日建設計）には，有益なご助言をたまわった。記して感謝の意を表します。

注(1)　伊藤慶典，別所清「高張力鋼の溶接割れ感受性指数について」溶接学会誌第37巻，1968第9号

(2)　大庭浩，村田安房，繁田治男「超高層ビル鉄骨の施工に関する2，3の問題点」川崎技報1969.4号

(3)　若林嘉津雄，北山勝昭，内田直樹，「神戸商工貿易センタービルの構造と材料」総合建築1969.4号

(4)　仲威雄，加藤勉，森田耕次「溶接継手の耐力一主として鋼板の異方性とV型グループ溶接継手の終局強度」日本建築学会大会学術講演便概集昭和43年10月

（たきざわしょうぞう　大阪大学工学部建築工学科助手）

日本建築協会 月間の動き

□ 昭和44年11月分 □

定時評議員会

28日　4時半～5時　於会館集会室
出席者　谷口，中野正副議長ほか17名
委任状　60名　計79名
理事今元，岩下，岡橋各理事
議事(1)昭和45年度評議員選出数決定に関する件
(2)理事補選延期の件

理事会

20日　4時～5時　於会館集会室
出席者　東畑会長ほか3理事　五十嵐監事
議事(1)建築6団体新年交礼会開催の件
(2)理事補選延期の件
(3)12月定例理事会開催日変更の件
(4)建築基準法の一部を改正する法律案の成立についての陳情書提出の件
(5)事務局職員下期賞与支給の件
(6)入退会者承認の件
(7)報告事項

出版委員会

建築基礎工法と実例幹事会
5日　6時～8時　於会館集会室
出席者　山肩委員長ほか2名
議事(1)原稿調整について
(2)出版工程について
18日　6時～8時　於日本建築学会近畿支部
出席者　山肩委員長ほか2名
議事(1)出版工程について
(2)原稿調整について

事業委員会

忘年懇親会小委員会
7日　正午～2時　於会館集会室
出席者　山本副委員長，打浪，平田，原田
佐藤各幹事，久保委員
議事(1)忘年懇親会実施プランについて
(2)収支予算案について
(3)小委員会の構成について
(4)そのほか
展示会小委員会
11日　5時半～7時　於会館3階会議室
出席者　窪田副委員長ほか3委員
議事(1)第1回展示写真についての報告
(2)第2回以降の展示写真について
(3)そのほか
委員会
13日　5時半～7時半　於会館集会室
出席者　岡本，窪田各副委員長，木原，
大橋各幹事ほか4委員
議事(1)政岡委員長逝去に伴う新委員長選任について
(2)各小委員会の事業企画について
(3)1月～3月の事業企画について
(4)そのほか
忘年懇親会小委員会
28日　5時～8時半　於太閤園
出席者　平田幹事ほか7名
議事(1)賛助会費・寄贈品の確保について
(2)実施計画の検討について
(3)そのほか

編集委員会

正月号座談会
8日　2時～6時　於清友会館
出席者　中岡哲郎ほか4名
テーマ　現代社会の問題点
表紙デザイン小委員会
11日　正午～1時半　於会館集会室
出席者　村尾主査ほか2委員
議事　1月号表紙について
委員会
12日　4時～6時半　於会館集会室
出席者　足立委員長ほか4委員
議事(1)12月号特集「九州からの報告」経過報告
作品特集「九州の新建築」経過報告
(2)1月号特集「現代社会の問題点」
(座談会中心)について
(3)2月号特集「建築と安全」について
(4)3月号特集「日本万国博と技術開発」について
(5)シリーズもの報告
建築の眼，海外写真，表紙デザイン
(6)4月号特集「設計システム」ほかの企画
作品作風小委員会
25日　5時半～7時　於会館集会室
出席者　寺嶋主査ほか2委員
議事(1)2月号の作品の決定について
(2)3月号「日本万国博と技術開発」の作品について

住宅委員会

委員会
11日　5時半～9時　於会館集会室
出席者　岡橋，黒谷正副委員長ほか14名
防犯についての実演
ゲスト　大阪府警　三木章弘氏
議事(1)委員会委員，小委員会委員の委嘱について
(2)12月の委員会について

建築データシート編集委員会

編集Aグループ打合会
18日　正午～2時　於会館集会室
出席者　長浜幹事ほか3名
議事(1)編集グループの運営について
(2)そのほか
委員会
20日　5時半～8時半　於会館集会室
出席者　中原，松村正副委員長，樫原幹事
ほか6名
議事(1)掲載会社の確保と今後の見込みシート数について
(2)各編集グループの運営について
(3)委員会の運営について
(4)600シート完成後の計画試案について
(5)次回委員会の開催について

建材委員会

26日　3時～5時半　於会館集会室
出席者　堀内委員長ほか7名
小西儀助商店2名
議事　第2回接着剤の検討

法規委員会

27日　2時～5時　於会館集会室
出席者　福田委員長ほか10委員
講師　羽生氏
議事(1)建築基準法一部改正案の成立についての陳情書
(2)都市計画法の今後の問題点

第15回工高生デザインコンクール表彰式

8日　2時～3時半　於会館集会室
出席者　浦辺審査委員長，橋本教育委員長
ほか3名，福永一の会代表
入選者　8名
入選者に対し賞状，賞牌をまた最優秀作に対し関西建築家懇談会一の会より「一の会賞」を授与した後茶話会を開催した。

見学会

第1回修学院離宮拝観
7日　3時～4時半
参加者　14名
第2回修学院離宮拝観
14日　3時～4時半
参加者　15名
永大の本社工場と南方プレハブモデル住宅見学会
19日　12時半～5時
参加者　40名
(永大産業株式会社ご提供のバスにより見学)
神戸商工貿易センタービル見学会
(大阪府建築士会，日本建築学会近畿支部と共催)
設計　日建設計工務株式会社
施工　鹿島建設株式会社
27日　2時～4時半
参加者　218名

説　明　会

実務に直結した建築工事別説明会

「建築の防火材料について」

6日　1時半～5時
於大阪科学技術センター

聴講者　120名

建築の防火材料について
京都大学教授工学博士　堀内三郎氏

岩綿吸音板—ダイロートンその他について
（新しい天井のメカニズム工法）
大建工業株式会社工事部大阪工事課長
藤岡喜典氏

鉄骨耐火被覆材—トムボードその他について
日本アスベスト株式会社主任技師　坂本吉弘氏

鉄骨耐火被覆板—浅野ダイアスライトその他について
浅野スレート株式会社企画センター課長
赤塚睦雄氏

講　演　会

日本万博建築講演会（第3回）

「展示館の特殊工法について」
（大阪府建築士会，日本建築学会近畿支部，日本建築家協会関西支部と共催）

15日　1時半～5時
於大阪科学技術センター

聴講者　87名

住友童話館の施工について
万博住友館建設工事共同企業体工事事務所
工務主任　藤田孝吉氏（鹿島建設）

電力館の施工について
竹中工務店万国博工事本部技術担当
木村住雄氏

富士グループパビリオンの施工について
大成建設万博富士グループパビリオン
建築工事事務所所長　藤井達夫氏

古河パビリオン施工について
清水建設万国博古河パビリオン建設担当
工事課長　村田富士雄氏

3会事業委員長打合会

20日　正午～2時　於大阪府建築士会

出席者　事務局員6名

議事　12月以降の共催事業について打合せ

建築業務基準委員会

5日　1時半～5時　於番町共済会館

本会より福田，山根両委員ほか事務局長出席

27日　1時半～5時　於農林年金会館

本会より山根委員出席

第2回日本建築祭

実行委員会

6日　3時～5時　於会館集会室

出席者　東畑委員会委員長，神谷，矢野，実行委員会正副委員長ほか12委員幹事等10名

議事(1)実行委員会正副委員長選出について
(2)部会設置並に部会主査選出について
(3)経理内規，収支予算案その他

幹　事　会

10日　2時～4時半　於会館集会室

出席者　6名

議事(1)実行委員会各部会担当委員並に主査選出について
(2)実行委員の追加委嘱について
(3)写真集の予算案について　そのほか

委員会，組織委員会合同会議

19日　正午～2時　於大阪ガスビル

出席者　東畑委員長ほか8委員
幹事等　11名

議事(1)第2回日本建築祭要綱について
(2)委員会規約について
(3)収支予算について
(4)経理内規について
(5)運営資金について
(6)建築写真集刊行資金関係について
(7)そのほか

11月の入会者〔敬称略〕

〔個人会員　27名〕

青沼秀夫	清野　彰	福間昭夫
石岡喜代彦	黒谷　功	本多久義
石田和義	須藤武一郎	三浦忠夫
上西甫美	鈴木末次	三田泰正
小沢和弘	長島勝五	三宅宣哉
大西義武	野村博庸	向井義行
兼安宏典	馬場一郎	森重文登
河田剛	人見ヤスヒコ	森田淳一
菊池利治	広原盛明	八木久哉

〔準会員　21名〕（氏名省略）

建設工事現場における事故発生の防止について（通知）　大阪府知事

建設工事現場における事故発生の防止については，貴団体などを通じて建設業者各位に対して機会あるごとに安全管理体制の樹立を要望してきたが，今回，大阪市尻無川に建設中の防潮水門工事現場において，工事用潜函に事故が発生し，作業員に多数の死傷者を出したことはきわめて遺憾にたえないところである。

これが事故の原因については，現在それぞれ関係機関において徹底的に究明が行なわれているところであるが，最近建設工事が大型化し，また，特殊な施工方法が次々に開発されるに伴って，平素からの安全管理，施工管理体制の整備，強化が更に要求されるとともに従来からの経験と理論により安全性が認識されているものについてもこの際再点検の必要があり，複雑化，拡大化する安全対策とその実施に積極的に取り組む必要があると考えられる。

本府としても，現在，施工中の府発注の全工事について，安全管理，施工管理ならびに前述した諸点の総点検を実施し，今後かかる事故の再発の防止に全力を傾注するとともに事故の絶滅を期するため，さらに厳しい態度でのぞむ所存である。

ついては，工事現場における安全防災対策ならびに建設機械器具などの再点検の実施を，周知徹底され，今後，事故の防止に万全を期せられるよう強く要望する。

求人広告

構造技術者・見習

構造デザインセンター
（構造図面・構造計算）
大阪市天王寺区上本町4丁目1の2
TEL（768）4475

伊藤さんの死を悼む


故伊藤幸一氏

略歴
明治45年3月19日生。昭和4年3月関西工業学校建築科卒業，昭和15年清水建設株式会社大阪支店に入社。昭和18年9月応召。昭和21年7月復職，設計部に勤務，昭和29年11月日本建築学会募集設計競技「中学校」2等入選。この間，設計部において幾多の作品を設計。永年にわたり日本建築協会諸委員会を担当。現在データシート委員。
昭和44年10月30日ファーター氏膨大部癌兼閉塞性黄疸にて上六日赤病院にて逝去。享年57才。

今年の三月，どうも風邪気味で調子がよくないのだといっておられた伊藤さんが，一度退院されて自宅へお見舞したのが9月の初旬であり，もう1カ月もすれば出勤するよといっておられただけに，突然の死去の報には感無量のものがありました。

伊藤さんはきわめて几帳面な反面，よく若い人達の面倒も見ておられました。そして人から頼まれたことは嫌ということのできない性格で，所謂頼まれた仕事にも精根を傾けて努力された方でした。職員組合の執行委員を数年にわたって勤められたのも，また協会関係の仕事も引受けられたのもこのような性格から出たものと思われます。

同じ設計部で仕事をしていたときの伊藤さんを懐古いたしますと，常に現寸図を書いてはじっくりと収まりを考えていた姿が思い出され，几帳面な性格そのもののような図面が目の前に浮んできて，まことに名残りはつきないものがあります。

清水建設大阪支店設計部長　木村精一

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事 専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地　電話　大阪364代表 0206～9

室谷

内装資材専門店

室谷商事株式会社

本社　神戸市生田区北長狭通4－1　(英和ビル)
直通電話　神戸(33) 0881～3
支店　大阪市北区絹笠町50(堂ビル5階 502号室)
直通電話　大阪(364) 2031～4
倉庫　神戸市葺合区八幡通1－5　(電話㉒2923)

OKUYAMA-KAKOGYO
OAM
WATER・PROOF

陸屋根防水には 奥山式 特許 絶縁工法 を

カッパー防水帯

コーパータイト

パーフェクトな 冷工法 デラタイト

奥山化工業株式會社

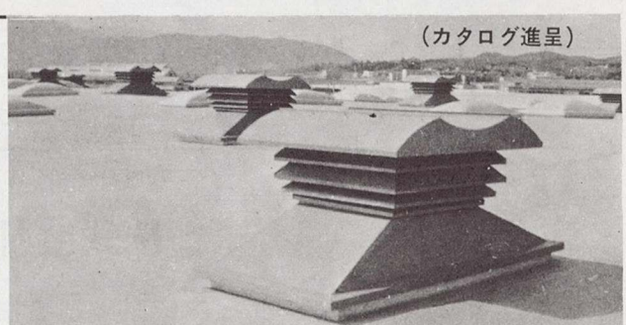
東京都中央区銀座8－4－11　電話(571)2703～4・2370・4064・0264
大阪出張所　大阪市都島区都島中通り5－4　電話(921)2497・(922)7280
名古屋出張所　名古屋市南区若草町33　電話(811)3660・3104

特許　岩元式ベンチレーター
(電動式並固定型各種)

岩元式ベンチレーター　A型・B型・固定型
岩元式連塔換気装置（コンチニヤス・ベンチレーター）
新型　換気塔 NSライン　（強制換気扇付）
新型　換気塔 SFスーパー　(特殊装置による風量増幅 換気扇の能力を倍増する)
最新型　採光排気塔(風光)スーパーライン特殊増幅装置付

スカイライト工事・通風ルーパー
スチール及アルミサッシュドアー・各種シャッター製作施工
其の他　曲加工一式

(カタログ進呈)



岩元工業株式会社

大阪市東成区東今里四丁目40番地
電　話（981）0616～0618

賀　正

1970

設計事務所有志

RIA建築綜合研究所大阪支店

所　長　山　口　文　象
支店長　山　家　啓　助

大阪・大阪市北区太融寺町33　大阪合同ビル 406　電話 312－9154
東京・270－5861　名古屋・231－5511・262－3941

株式会社 赤松菅野建築設計事務所

代表取締役
大阪事務所長　赤　松　　修

大阪市北区梅ヶ枝町123（瑞穂ビル）　電話（364）5651
東　京・横　浜・大　宮・富士ノ宮

株式会社 池田宮彦設計事務所

代表取締役 池田宮彦　　取締役会長 荒川直治

本　社　大阪市南区瓦屋町3番丁68（オートセンタービル）
電話　大阪（761）0360　（762）0396　（762）5551　内線 351～7
東京事務所　東京都新宿区坂町28（三広ビル）　電話　東京（351）8962
山陰出張所　松江市西川津町2570　電話　松江（21）2547

株式会社 泉沢建築設計事務所

代表取締役　泉沢哲史

大阪市東区瓦町5丁目42番地　新瓦町ビル　電話（231）2064～5

株式会社伊東建築設計事務所

代表取締役　伊東正也

大阪市浪速区幸町通り2－6　清光ビル　電話(562) 4343～4

石川建築事務所

石川寛三
石川宏

大阪市天王寺区茶臼山町111　電話 06 (779)9491～2
東京都豊島区駒込 1－11－9　電話 03 (946)5431～2

株式会社 浦辺建築事務所

代表取締役　浦辺鎮太郎

大阪市北区梅田八番地・新阪急ビル　電話 大阪(341)1727・1680
東京都中央区日本橋室町2の4　電話 東京(279) 4939 (代)

株式会社 大阪建築事務所

取締役社長　高橋慶夫

本社並びに支所　大阪市西区京町堀2丁目75　電話　大阪(441)9351(代)
東京支所　東京都港区赤坂1丁目1番14号(溜池東急ビル)　電話　東京(583) 8169
名古屋支所　名古屋市中区丸の内2丁目2番15号(東照ビル)　電話名古屋(221) 8566
九州支所　北九州市小倉区紺屋町1丁目20-1(丸源ビル)　電話　小倉(52)4285
分室　福岡・水島・室蘭

株式会社小河建築設計事務所

代表取締役　小河吉之助

本社　大阪市南区瓦屋町4番丁8番地　電話大阪(761) 6957代表
東京事務所　東京都中央区日本橋両国50番地　(ニッセンビル内)
電話東京(866)9606・2349
分室　大阪船場・和歌山

株式会社 海上静一建築事務所

代表取締役　海上静一

本社　大阪市南区鰻谷仲之町62(市川ビル)　電話　大阪 (271)1149
(261)4428
三重分室　三重県津市船頭町2044　電話　津(8)9627

株式会社小林得志建築事務所

代表取締役　小林得志

大阪市北区堂島北町20　藤田ビル内　電話(362) 5658～9

株式会社 三座建築事務所

代表取締役　徳永正三
専務取締役　富田三樹夫

大阪市北区中之島4－33 〈443〉0051〈代〉受電略号オ、サカ三ザケンチク
東京都中央区日本橋兜町2－38 〈668〉3056〈代〉受電略号ニホンバシ三ザケンチク

株式会社 シグマ建築設計事務所

代表取締役　川島春秋
日本建築家協会々員

大阪市南区久左衛門町8（松竹関西支社ビル2階）
TEL 直通213－0875代

株式会社 清水和彌設計事務所

代表取締役　清水和彌

大阪市北区万才町43（浪速ビル）　電話 大阪（312）4616・7278（代）

株式会社 昭和設計事務所

設計・監理

代表取締役社長　岡本行善
代表取締役専務　林　唯夫

大阪事務所　大阪市西区西長堀北通1－8 四ツ橋ビル TEL代表 532－0415
姫路事務所　姫路市竪町54番地 滝川ビル TEL姫路 24－2926
姫路事務所長　河野豊蔵

株式会社 竹内建築事務所

代表取締役　内藤一真
専務取締役　林　茂

大阪市浪速区元町1－742（藤本ビル）　電話（649）1166（代表）

株式会社 田中小西建築事務所

取締役社長　小西　岬

本　社	大阪市西区阿波座南通2－60	電話（532）4051大代表
東京事務所	東京都千代田区神田鍛冶町3ノ3（大木ビル内）	電話（256）　9301代表
名古屋事務所	名古屋市中区丸の内1の8番39号（三信ビル内）	電話（211）　4035
大津事務所	大津市梅林1丁目4番15号（滋賀県教育会館内）	電話（22）5373～4番

株式会社　田渕建築設計事務所

取締役社長　田　渕　誠　也

本　社　和歌山市下町19番地　電話　0734 (31) 0261代表

株式会社　東畑建築事務所

代表取締役　東　畑　謙　三

本　社　大阪市東区伏見町5丁目19　電話　大阪(06)202-0391
東京事務所　東京都千代田区永田町2(永田町ビル)　電話　東京(03)581-1251
名古屋事務所　名古屋市中村区堀内町2(堀内ビル)　電話名古屋(052)571-8471
九州支所・広畑支所

株式会社　内藤建築事務所

代表取締役社長　内　藤　資　忠

本　社　京都市左京区田中大堰町189番地　電話 075 (781) 6196代
事務所・出張所　青森・仙台・東京・神奈川・松本・静岡・名古屋・京都
滋賀・奈良・大阪・広島・山口・四国・福岡・大分・鹿児島

日建設計工務株式会社

取締役社長　塚　本　猛　次

大阪市東区横堀2丁目38番地　電話203－2361（大代表）

株式会社　根津建築事務所

代表取締役　根津耕一郎

本　社　大阪市東区平野町2－10(平和ビル)　電話(06) 231－1632
東京事務所　東京都港区北青山3－11－5(モアビル)　電話(03) 409－3221

村野・森建築事務所

村野藤吾
森　忠一

大阪市阿倍野区阿倍野筋2－3－8　電話 (622) 0926代表
研究所　大阪市南区心斎橋筋1－43　電話 (253) 0875代表
東京事務所　東京都中央区日本橋茅場町2－3　電話 (661) 7158

株式会社 安井建築設計事務所

代表取締役社長　佐野正一

本　社　大阪市東区淡路町2－34　電話 (202) 3836(代) 8091(代)
東京事務所　東京都千代田区平河町1－1　電話 (261) 5101(代)
名古屋事務所　名古屋市中区錦3－24(日本生命ビル)　電話 (961) 1861(代)

株式会社 吉田建築事務所

取締役会長　吉田信武
取締役社長　佐治誠次

大阪市西区北堀江上通3－22(久竹ビル)　電話 (538) 2991 代表

渡辺建築事務所

渡辺道輝

〒541　大阪市東区今橋2丁目21番地(藤浪ビル)　電話 (231) 1696番代

賀正

1970

造園設計事務所有志

株式会社 荒木造園設計事務所

代表取締役　荒木芳邦

大阪府池田市鉢塚2丁目8番12号　電話 0727 (61) 8874 (代表)

井上造園設計事務所

井上卓之

京都市右京区宇多野福王子町54　電話 075 (463) 3377

EDA

ENVIRONMENT
DEVELOPMENT
ASSOCIATION

EDA 造園・地域計画研究所

●代表　吉村元男

●研究所　大阪市東区内淡路町２の１６　恵口ビル　電話(942)4577
東京事務所　東京都渋谷区渋谷4丁目3-17常盤松葵マンション309　電話(409)2921

造園設計・施工

関西造園土木株式会社

取締役社長　杭本　正

神戸市兵庫区下沢通２丁目１０　神戸 078 (55) ０４５１代表

近鉄興業株式会社 造園部

取締役造園部長　今村宣彦

大阪市天王寺区上本町６－１－１　電話 (771) ３３３１

造園・緑化・遊園運動場器具

株式会社 三芳園

取締役社長　森俊一

本社　箕面市新稲７０５番　電話 0727 (21) ３０５８番
支店　大阪市北区太融寺町48番地　電話 大阪(313)2451・(361)4785番

株式会社西川環境設計研究所

代表取締役　西川晴之助
所長　三宅宣哉

枚方市北中振１丁目１８－１８　電話 0720 (31) １２７１～２

阪神造園建設業協同組合

理事長　木原五市

組合員一同

事務所　大阪市北区高垣町86　福田ビル内　電話大阪(313)0975・4010

賀　正

1970

建設業者有志

株式会社 **青　木　建　設**

（旧ブルドーザー工事株式会社）

取締役社長　青　木　益　次

本　社　大阪市大淀区大淀町南1の5　TEL 06(458)5851
東京本社　東京都中央区八丁堀2の7（東八重洲ビル）　TEL 03(551)9601
大阪支店　大阪市大淀区大淀町南1の5　TEL 06(458)5851

株式会社 **淺　沼　組**

取締役社長　淺沼猪之吉

本　社
本　店・大阪市天王寺区東高津町8番地の1　電話 代表（762）0251
支　店・東京・名古屋・札幌・仙台・福岡・広島
営業所・秋田・岩手・水戸・千葉・立川・横浜・新潟・北陸・静岡・岐阜・長野
三重・奈良・京都・郡山・和歌山・神戸・岡山・高松・徳島・高知・熊本

株式会社 **新（アタラシ）工　務　所**

取締役社長　新　昭　一

本　店・大阪市北区曽根崎中一丁目四三　電話 代表大阪(313)1331番
支　店・東京都千代田区猿楽町二丁目一番十四号 電話 代表東京(291)3741番
営業所・神戸市葺合区八幡通五丁目六松井ビル内　電話神戸（22）3316番
・名古屋市中区錦三丁目十七番十一号　電話　名古屋（971）5588番
・尼崎市三反田字生田四十　電話　大阪（429）4009番

株式会社 **あめりか屋**

取締役社長　前野慶太郎

本　社　大阪市北区常安町17番地　電話 代表（444）1501番

安藤建設株式会社大阪支店

取締役大阪支店長　村　田　隆　次

大阪市西区江戸堀北通一丁目七番地　電話　代表　443－5561
本　社・東京都中央区八重州四丁目七番地　電話 大代表（272）7411
支　店・名古屋・仙台・静岡・九州・広島
営業所・千葉・横浜・水戸・盛岡・新潟・神戸・沼津・札幌・宇都宮・北九州・熊本

株式会社 井上組

取締役社長　井上福蔵

本社　大阪市都島区網島町6番25号　大阪(351)0530　(352)4031～4
出張所　神戸市生田区加納町三丁目一番地　電話　神戸(33)1780

株式会社 今西組

取締役社長　今西壽雄

本社　大阪市天王寺区上本町七丁目二番地ノ一　電話(772)1251
支店　東京都新宿区内藤町一番地　電話(354)0581～5
営業所　神戸市生田区下山手通四丁目四番地ノ一　電話(33)6060
営業所　埼玉県所沢市大字中富字北見元秋津分990番地　電話所沢(22)6263

株式会社 大林組

取締役社長　大林芳郎

本　店・大阪市東区京橋三丁目七五番地　電話　大代表(941)0861番
支　店・東京・札幌・仙台・横浜・名古屋・神戸・岡山・広島・福岡・高松

株式会社 奥村組

社長　奥村太四郎

大阪市阿倍野区松崎町1の2の3　電話　大阪(621)1101(大代表)
支　店　札幌・仙台・東京・名古屋・広島・四国・北九州

鹿島建設株式会社

会長　鹿島守之助

取締役社長　渥美健夫　　取締役大阪支店長　橋本正二

本　社　東京都港区元赤坂1－2－7　電話東京(404)3311(大代)
大阪支店　大阪市東区瓦町五の七一(瓦町ビル)　電話大阪(202)代7461・8166

株式会社 金山工務店

代表取締役　金山伊三次郎

本　社　大阪市東区内淡路町1丁目2　電話　大阪　代表(942)5461番
東京支店　東京都中央区日本橋堀留町1丁目2　電話　東京　代表(663)7844番
堺支店　堺市中瓦町2丁87(博愛ビル4階)　電話　堺②局2751番

株式会社 神崎組大阪支店

取締役支店長　佐伯武男

大阪市北区曽根崎新地1丁目21　電話 (341) 7371～4番
本店・姫路市北条口86－3　電話代表姫路 (23) 2021－3

共立建設株式会社大阪支店

常務取締役
支店長　高橋勝郎

大阪市東区谷町五丁目30番地　新野村ビル内 電話 (761) 0112代表

株式会社 近畿建設

代表取締役　川崎敬三

本社　大阪市西区靱本町4の103　電話大阪(代)(532)0081～5
滋賀支社　滋賀県栗太郡栗東町字上鈎171　電話 (07755) (2) 1361～2

株式会社 熊谷組大阪支店

常務取締役支店長　泉治郎一

大阪市西区西道頓堀通二丁目一番地　電話 (538) 1841番 (大代表)
本社　東京都新宿区筑土八幡町二二番地　電話 (260) 2111番 (大代表)
支店　東京建築・東京土木・北関東・横浜・名古屋・広島・四国・福岡・札幌・仙台

株式会社 鴻池組

取締役社長　鴻池藤一

本店　大阪市東区北久宝寺町4－27　電話 代表 (252) 3100
支店　東京・名古屋・福岡・広島・松江・仙台

株式会社 小坂井組

代表取締役　小坂井正夫

本店　大阪市北区太融寺町五六番地　電話 代表 (341) 9331
営業所　京都市
出張所　東大阪市・和歌山市・堺市

株式会社 金剛組

代表取締役 金剛利隆

大阪市天王寺区椎寺町66番地 電話 (779) 7731～5・夜間5930

佐藤工業株式会社

取締役社長 佐藤欣治・取締役大阪支店長 山本良勝

本　社・東京都中央区日本橋本町4－8　電話 東京 (662) 2331 (大代)
大阪支店・大阪市東区北浜1－25　電話 大阪 (203) 7221 (代表)
支　店・東京・名古屋・富山・札幌・福岡・仙台・広島

三和金属工業株式会社建設部

総合建設請負業
建設大臣登録
(ワ)第5222号

本　社	大阪市西区立売堀南通3丁目71	電話大阪(531)大代表6331
東京支店	東京都港区西新橋3丁目10番6号(西谷ビル)	電話 東京(432)2961～2
名古屋支店	名古屋市中区錦3丁目23番31号(栄町ビル)	電話名古屋(962)代表4521
福岡営業所	福岡市渡辺通2丁目10街区51(平島ビル)	電話 福岡(74)代表0661
広島営業所	広島市鉄砲町6番7号	電話 広島(21)1283
堺工場	堺市大仙西町5丁132	電話 堺(41)代表3722
初芝工場	堺市土塔町5　8	電話 (0723) (7) 5181
千葉駐在所	千葉県市原市五井6483－1	電話 (0477) (2)5601

三和建設株式会社

代表取締役 森本多三郎

本　社	大阪市東淀川区加島町431	TEL (301) 6636代
東京支店	東京都港区西新橋2丁目19番1号	TEL東京 (436)1271代
京都営業所	京都市右京区西大路五条上ル	TEL京都 (311)8897
東京工場	川口市仁志町1～241	TEL川口 (52) 4100
高槻工作所	高槻市芝生町5の2	TEL高槻 (74) 0381

島藤建設工業株式会社大阪支店

常務取締役
支店長 斉藤健一

本　社 東京都港区赤坂8丁目5番34号 電話 東京 (403) 1511
支　店 大阪市北区茶屋町31番地の2 電話 大阪 (372) 6001代表

清水建設株式会社

会　長 清水正雄
社　長 吉川清一

本　社・東京都中央区宝町二ノ一
専務取締役支店長 白井周二
大阪支店・大阪市西区土佐堀通り二ノ二 電話 (443) 5431 (大代表)

住友建設株式會社

常務取締役大阪支店長　野　村　太　郎

大阪支店　大阪市東区北浜5丁目22番地(新住友ビル2号館)電話　(202) 代表7421番
本　店　東京都新宿区荒木町13番地　電話　(353) 代表5111番

株式会社 錢高組

取締役社長　錢　高　輝　之

本　店　大阪市西区阿波座上通3丁目2番地　電話 大阪 (531) 6431番(大代表)
支　店　札幌・仙台・東京・名古屋・広島・福岡
営業所　青森・秋田・盛岡・前橋・新潟・千葉・横浜・静岡・津・京都
神戸・岡山・高松・松山・松江・北九州・熊本・長崎・大分

株式会社 大末組

取締役社長　山　本　末　男

本　　社　大阪市南区大和町1番地　電話(213) 大代0555
大阪工場　大阪府松原市丹南町635の1　電話松原㉜大代8600
東京支店　東京都千代田区神田駿河台2の9　電話(293) 代5301
名古屋支店　名古屋市中区錦1丁目2番11号(岩田ビル)　電話(211) 代5421
営業所　札幌・千葉・埼玉・横浜・立川・京都・神戸
奈良・和歌山・岸和田・堺・岡山・広島・九州

大成建設株式会社

常務取締役
支店長　菅　澤　英　夫

大阪支店　大阪市東区本町4丁目27番地　TEL大阪 (262)1131大代表

大日本土木株式会社大阪支店

大阪駐在
常務取締役　山　田　　豊

取締役支店長　高　木　政　夫

530 大阪市北区堂島北町9　電話 06 (341) 代表5931
東京本社　101 東京都千代田区神田松永町19　電話 03 (255) 代表0371
本　店　500 岐阜市長住町2丁目3　電話 0582 (62) 代表6141
支　店　東京・名古屋
営業所　神戸・京都・奈良・和歌山・上六・岡山・広島・宮崎
九州・静岡・長野・中津川・四日市・横浜・千葉・仙台

株式会社 竹中工務店

取締役社長　竹　中　錬　一

本　店　大阪市東区本町4丁目27　電話 大阪 (252) 1201番(大代表)
営業所　札幌・仙台・東京・横浜・静岡・名古屋・富山
京都・神戸・岡山・広島・高松・北九州・福岡

鉄建建設株式会社大阪支店

常務取締役支店長　勝　田　頼　春

大阪市大淀区天神橋筋六丁目五番地(天六阪急ビル)　電話 (358) 0321 (代表)
本社・東京都千代田区三崎町二丁目五番三号　電話東京 (262) 3411 (代表)

東洋興業株式會社大阪支店

取締役社長　中西小一　　専務取締役 大阪支店長　小松英二

本　　社　東京都千代田区丸の内3の4 日石ビル　電話 東京 (212) 3 2 6 1
大阪支店　大阪市北区梅田町２７ サンケイビル　電話 大阪 (313) 0 4 5 1
支　　店　名古屋・仙　台・札　幌

東急建設株式会社

取締役社長　五島　昇　　常務取締役支店長　佐藤信一

本　　店・東京都渋谷区大和田町16渋谷三菱ビル　電話 東京(462)5111大代
大阪支店・大阪市北区太融寺町 33 大阪合同ビル　電話 大阪 (313) 2491代

戸田建設株式会社大阪支店

取締役支店長　加　納　秀　雄

大阪市東区本町３丁目27の１（センバ・セントラルビル）
電話(252) 6311(大代表)
本社・東京都中央区京橋１丁目３番地
大阪支店営業所・京　都・神　戸・金　沢・福　井・富　山・和　歌　山

飛島建設株式会社大阪支店

常務取締役支店長　篠　原　忠　治

大阪市東区島町２丁目２８番地　電話 (942) ２４８１(代表)
本　　社　東京都千代田区九段南２丁目３番２８号

西松建設株式会社大阪建築支店

支店長　島　田　勢　喜

本　　社　東京都港区芝西久保桜川町１３番地　電話東京大代表 (502) 0211番
支　　店　大阪市東区釣鐘町２丁目４１番地　電話大阪大代表 (942) 1131番

株式会社 西田工務店

取締役社長　西田義郎

大阪本店　大阪市浪速区元町4丁目227の1　電話（632）4001代表
本　　社　岸和田市上野町西26番33号　電話岸和田貝塚㉓2881代表
営業所　東京・神戸　出張所・和歌山・堺・名古屋・姫路

日東建設株式会社

取締役社長　長久保俊夫
取締役支店長　榎宝一

本社　102 東京都千代田区平河町1丁目2番地12　電話東京　03（265）（大代表）4281番
支店　530 大阪市北区末広町12番地（新末広ビル）　電話大阪　06（351）代0623番

日本建設株式会社

社長　生田重政

本　社　大阪市東区安土町4－5　TEL（261）7591－6
支　店　東京・名古屋・福岡・広島・仙台・札幌・四国

野村建設工業株式会社

取締役社長　岩本義心

本　社　大阪市東区高麗橋二丁目九番地　電話（202）代表4791
東京支店　東京都千代田区大手町二丁目一番一号　電話（241）代表4171

株式会社 間組大阪支店

支店長　尾崎申一

大阪市東区横堀町二丁目七〇番地　電話（203）代表2821
本店・東京都港区赤坂青山南町一丁目一番地　電話 東京（402）代表8171
支店・仙台・名古屋・大阪・福岡

長谷川組株式会社

取締役社長　長谷川為一

本　社　大阪市天王寺区大道町四丁目一三〇
電　話（771）（代表）4148・4149・4140
工作場　大阪市生野区巽四条町103の2
電　話（791）2744番

総合建設

株式会社 長谷川工務店 ビル経営

取締役社長　水上芳美

本　　社　大阪市東区平野町5の40　TEL (203) 5661(代表)
東京支店　東京都渋谷区栄通1の5　TEL (463) 5451(代表)
神戸出張所　神戸市葺合区坂口通7の1　TEL (23) 7238

阪神土木工業株式会社

取締役会長　泉谷平次郎
取締役社長　藤原正一

本　　社　大阪市北区梅田町93番地　電話 (312) 5691～5
西宮営業所　西宮市池田町4の31　電話 西宮(22)3433
神戸営業所　神戸市東灘区御影本町2－18　電話 神戸(85)5362
岡山営業所　岡山市内田43番地　電話 岡山(24)6689
出張所　芦屋・尼崎・京都・川西・寝屋川

Z 不二建設株式会社

取締役社長　山口吾郎

本社　大阪市西区阿波座上通4丁目8　〒550 電話 大阪 (06) 541－5534代表・9301代表
支店　東京都新宿区淀橋4411－4　〒160 電話 東京 (03) 377－5171代表
　　名古屋市中区千代田4丁目11番17号　〒460 電話名古屋 (052) 321－8481代表
出張所　大垣・京都・神戸・広畑・大分

不動建設株式会社

取締役社長　庄野勝

本　　社　大阪市南区鰻谷仲之町57番地　電話 大阪 (271)4771
東京支社　東京都中央区銀座4丁目2番16号　電話 東京 (567)1751
名古屋支店　名古屋市中区錦1丁目3番4号　電話 名古屋 (211)5141
北海道支店　札幌市北四条西4丁目1番地　電話 札幌 (26) 6526
仙台支店　仙台市国分町78番地　電話 仙台 (25) 4257
君津支店　千葉県君津郡君津町人見1054　電話 木更津 (2) 0751
千葉支店　千葉市富士見2丁目3番1号　電話 千葉 (22) 0446
九州支店　北九州市小倉区紺屋町79番地　電話 小倉 (52) 3781
営業所　横浜・茨木・神戸・岡山・広島・大分・長崎

株式会社 藤木工務店

本　店・大阪市東区両替町一丁目一三・電話 大阪 06(942) 1461(代)
支　店・東京都新宿区三栄町二三番地・電話 東京 03(357) 1611(代)
　　岡山県倉敷市旭町六六〇・電話 倉敷0864(22) 3330(代)
　　高松市丸ノ内十一番地ノ十三　電話 高松0878(51) 7272(代)
出張所・京都・名古屋・津・岡山・新居浜・徳島・福岡・熊本

未来をひらく 藤田組

取締役大阪支店長　古賀文之介

大阪市北区堂島中2丁目38番地　電話 (362) 代表7671
本社・東京都渋谷区千駄ヶ谷4－6－15
支　店・東京・札幌・横浜・名古屋・大阪・広島・九州
リマ・カラカス

真柄建設株式会社大阪支店

常務取締役
支店長　漆村重一

大阪支店　大阪市西区京町堀3丁目12番地　電話 大阪（06）443－0641(代表)
本　　社　金沢市彦三町1丁目13番43号　電話 金沢（0762)31－1266(代表)
支店・営業所　東京・名古屋・金沢・富山・福井・京都・大津・神戸・新潟

前田建設工業株式会社 大阪支店

常務取締役支店長　島田光富

支店　大阪市東区石町2丁目7番地　電話大阪(942) 1301 (代表)
本社　東京都千代田区富士見2丁目10番地の26号　電話東京(265)5551番(代表)

株式会社 松村組

取締役社長　松村雄吉

本　社・大阪市北区空心町一丁目七〇番地　電話 代表大阪 (352) 1131
支　店・東　京・札　幌・名　古　屋・広　島・福　岡

三井建設株式会社 大阪支店

常務取締役
支店長　竹内慶久

大阪支店　大阪市北区常安町21番地 三井ビル別館　電話大阪 (443) 代表1321
本　　社　東京都中央区日本橋室町二ノ一(三井ビル)　電話東京(270)大代表8651
支　　店　札　幌・仙　台・横　浜・名　古　屋・広　島・福　岡

株式会社 村上工務店

取締役社長　村上秀二

本　社　大阪市大淀区豊崎東通り3丁目16番地の16　TEL (372)2924
営業所　東京・神戸

村本建設株式会社

取締役社長　村本豊嗣

本　社　奈良県北葛城郡広陵町安部547　電話　大和高田　(2) 6021(代表)
大阪支店　大阪市天王寺区上本町9丁目49　電話　大　阪　(779)1571(代表)
東京支店　電話 東京 (265)5851㈹
名古屋支店　電話 名古屋 (241)1511㈹
福岡支店　電話 福岡 (74)0119

望月建設株式会社

取締役社長　望月小太郎

本　社　大阪市北区堂島上一ノ一八　電話大阪(344) 8651代表
工作所　豊中市島江一丁目一　電話(392) 4831～2番

株式会社　森組

取締役社長　森　幸治

本　社　大阪市東区横堀2丁目14番地　電話(231) 8283～7番
(支店) 東京・名古屋　　(営業所) 和歌山・尼崎・神戸・岡山

株式会社　森本組

代表取締役社長　森本積善

本　社　大阪市天王寺区夕陽ケ丘町三番地　電話　大阪(779) 1451
支　店　東京・名古屋・広島
営業所　松江・神戸
出張所　奈良・米子・下北山・西明石・和歌山・河内・相生・木曽福島

株式会社　盛工務店

代表取締役　盛道雄

本　社・大阪市旭区赤川町二丁目八番地　電話大阪(921) 3471(代表)
営業所・神　戸・福　岡・西　宮

矢島建設株式会社

取締役社長　矢島浩三

本　社　東京都中央区銀座七丁目11－3　電話東京(572) 代1436
大阪支店　大阪市南区北炭屋町八番地　電話大阪(271) 代5837
取締役副社長　仁平信也
支店長
支店・営業所　仙台・福岡・蒲郡・和歌山

株式會社　米田工務店

取締役会長　米田治郎兵衛
代表取締役　米田良男

本　社　大阪市天王寺区逢坂上ノ町7　TEL　大阪(06) 771－7775代表

賀　正

1970

建材・設備業者有志



浅野スレート株式会社

取締役支店長　谷　幸一

本　社　東京都港区芝浜松町4の2　電話（434）1211
支　店　大阪市大淀区中津浜通り3の11の1　電話（372）5351



旭化工板製造株式会社

取締役社長　黒崎義明

本社工場	尼崎市下阪部久々知前235	電話大阪06（491）6781代
東京営業所	東京都中央区日本橋本町3の8（本三ビル）	電話東京03（662）2588～9
福山出張所	福山市松浜町1の1の4（福山不動産ビル）	電話福山0849（23）1491代
名古屋出張所	名古屋市中区丸ノ内3の18の12（大興ビル）	電話名古屋052（961）5940
鈴鹿工場	鈴鹿市三日市町1859の1	電話鈴鹿05938(8)1165～6



NEG硝子ブロック販売代理店　営業品目　サンストップ
NEG鉛板硝子全国総代理店　各務クリスタル

株式会社 伊勢谷特殊硝子製作所

代表取締役　伊勢谷圭作

本　社　大阪市西区靱本町4丁目83　電話　大阪（541）9161代
支　店　名古屋市北区駒止町1丁目64　電話　名古屋（981）5650
（912）3962



株式会社 梅彦

代表取締役　松永彦太郎

本　社　大阪市北区舟場町20番地　電話06（371）4036代
営業所　大阪市北区道本町40番地　電話06（312）6171代
茨木工場　茨木市字清水246番地　電話0726（43）6149代
寝屋川工場　寝屋川市河北一番地　電話0720（21）4338代



大阪装飾株式会社

取締役社長　蜷川智造

本　社　大阪市西区京町堀2丁目64番地　電話代表06（441）0931
営業所　東京都豊島区東池袋1丁目45番地　電話代表03（984）7725

陶磁タイル・オリエンタルモザイコ
（陶磁・ガラスを主材とする壁画構成・立体構成）

関西タイル商会

大阪市西区江戸堀北通1ノ19（オカダビル） 電話 （443） 9131（代表）

各種冷暖房・空気調整機器専門製作

木村工機株式会社

代表取締役 木村悦造

本社	大阪市東区上町13番地	電話(06) 761－6921(代)
東京営業所	東京都中央区八重洲4丁目5番地（新光ビル）	電話(03) 273－8821(代)
名古屋営業所	名古屋市中区錦1丁目4番27号（高野ビル）	電話(052)211－5048(代)
福岡営業所	福岡市大名1丁目12番52号（内藤ビル）	電話(092) 77－0628(代)
八尾製作所	大阪府八尾市北久宝寺2丁目2番7号	電話(0729)23－0621(代)

株式会社 シエル石油大阪発売所

アスファルト製品販売部

部長 栗山和三

本社	大阪市北区堂島浜通り1－25	電話 大阪(363) 0441大代表
分室	大阪市東淀川区西中島町2－76	電話 大阪(303) 7131 代表
事務所	東京・福岡	

冷暖房・各種流体配管・設計施工

株式会社 清水工業所

代表取締役 清水愛明

本社	531	大阪市大淀区南浜町3丁目14番地	電話 06 (372)2851㈹～7
東京出張所	136	東京都江東区北砂町6丁目1番23号	電話 03 (646)6511～4番
群馬出張所	370-05	群馬県邑楽郡大泉町大字吉田2066番地	電話 0276(6) 3394～6番
山陰出張所	693	島根県出雲市今市本町3番1号	電話 0853(21)1285番
鳥取出張所	680	鳥取市立川町5丁目3番1号	電話 0857(23)5051～2番
宇都宮出張所	320	栃木県宇都宮市御幸本町4736－12	電話 0286(61)0930番

建築用接着剤・各種コーキング剤製造・販売責任施工

セメダイン株式会社

大阪支店長 武井伴治

大阪市南区大宝寺東之丁41 電話（251）3555（大代表）

精研冷機株式会社

取締役社長 木内清三

専務取締役 和田正八郎

本社	大阪市南区瓦屋町3番丁68番地（オートセンタービル）	電話761-1141㈹
東京営業所	東京都千代田区九段南2丁目2番5号（九段ビル）	電話262-3241㈹

大阪ガス風呂ショップ

タナカ風呂

代表者　田中照雄

大阪市浪速区元町1丁目747　（但し国鉄湊町駅南へ50メーター西側）

電話　(641) 5313・6221・8128

工場　守口市大宮通り4丁目25　電話 (992) 3822

DK ダントウタイル

淡陶株式会社

取締役社長　欅田　均

本　店　兵庫県三原郡南淡町伊賀野　☎ 阿万(079955半自動)250
東京支店　東京都中央区日本橋浜町3の3　☎ (03) (669)－1261 (代)
大阪支店　大阪市西区阿波座中通1の9　☎ (06) (532)－5301 (代)

室内装飾
床貼材料

合名会社 利倉幸商店

代表社員　利倉清

本　社・大阪市南区長堀橋筋2の20　電話　大阪 (211)0571
京都営業所・京都市中京区河原町夷川下ル指物町　電話　京都 (231)3277

NABCO

自動ドアーはこのマーク

ナブコドアーエンジン株式会社

取締役社長　中畔登鬼男

本社　〒550 大阪市西区阿波堀通2－7　TEL (代) 532－5841
営業所　名古屋・広島・高松・金沢・京都・神戸／浜松・岐阜・津・富山・松山

ASBESTOS NAIGAI STANDARDS

内外アスベスト株式会社大阪支店

取締役支店長　松尾久雄

大阪市都島区善源寺町2丁目3番14号　電話　大阪 (922) 1371(代表)
本　社・東京都千代田区岩本町2－4の11　電話　東京 (862) 3251(代表)
支　店・札幌・名古屋・広島　　出張所・福岡・仙台

ダイヤラス・鉄筋ラス・親子ラス・ラスシート・リブラス・溶接金網

中川ラス製作所

代表者　中川安蔵

大阪市南区鰻谷仲之町31　但し十合百貨店北ノ辻東へ入ル南側
電話　(271) 5228～9・(252) 8861～3

日本アスファルト年限保証防水（日本アス協組員）
ニトルーフシート防水 } 冷工法
NPシート2号防水 }
N.S塗膜防水工法（冷工法）

日新工材株式会社

代表取締役　井場績

大阪市西区新町北通1－17　電話（541）3785～6・2721
倉庫・西区新町北通1－18　（538）3830・3989

エレベータ・リフト・カーリフト
設計・製作・据付・修理

日本エレベータ工業K. K.

代表取締役　長尾正大

本社　大阪市大淀区天神橋筋六丁目　天六阪急ビル　電話 06（351）4927㈹
東京営業所　東京都北区田端町311　東京建築興業ビル　電話 03（822）0995㈹
工場　大阪市東淀川区小松中通5丁目6番地　電話 06（328）0363㈹

日本建鉄株式会社

取締役社長　石川辰雄

本社・東京支店　東京都千代田区大手町2－8（日本ビル）　電話 東京270－6511（大代表）
大阪支店　大阪市北区梅田町47番地（新阪神ビル）　電話 大阪341－4331（代表）

明研化学工業株式会社

取締役社長　村田鞆二

外内装材
特許　エマルリシン
エマレックスリシン
エマルスキン
プレハタイル
明研リシン

内装材
エマジュラク
エマミックス
エマーロール
エマソフト
防火レックス

本社　明石市中谷町888番地　電話 明石代表(913)3456
大阪営業所　大阪市東区北久宝寺町2丁目6(三京ビル)　電話 06（271）3967代
東京営業所　東京都墨田区両国4丁目37 13坂井ビル　電話 （634）1756～8
名古屋営業所　名古屋市西区枇杷島通4丁目47　電話 052(521)6373代
福岡営業所　福岡市小林町124　電話 092(41)4426

井上窯業株式会社

代表取締役　井上秋次

大阪市天王寺区生玉町40番地　電話 771－2825（代）

建築写真・カラー撮影

合名会社つねなりすたじお

大阪市東区北浜3－40　電話（231）0141・7781

宇部セメント

宇部興産株式会社

大阪支店　大阪市北区曽根崎新地３－51(桜橋東洋ビル) 電話 (361) 1361(大代)
本　　社　宇部市西本町１－１２－３２
東京支社　東京都千代田区霞ヶ関３－７－２
その他支店　名古屋・広島・福岡
営業所　高松・新潟・岡山・静岡・小倉・千葉・姫路・横浜・山陰・札幌・大分・堺

大阪セメント

大阪セメント株式会社

本　　社　大阪市北区堂島浜通１丁目５７番地　電話 (361) 1231(大代)
支　　店　大阪・名古屋・東京
工　　場　伊吹・高知・大阪・横浜・芝浦・市川・堺・下津・千葉

住友セメント

住友セメント株式会社

大阪営業所　大阪市東区北浜５丁目２２番地
新住友ビル第２号館２階　電話　北浜 (203) 2321(大代表)
本　　社　東京都台東区東上野5丁目2番2号　電話　東京 (843) 1111 (大代表)
営業所／名古屋　　出張所／仙台・富山・小倉・広島・高松

日刊建設産業新聞・日刊建産速報

PRESS

株式会社 日刊建設産業新聞社

代表取締役 山邊哲泉　　取締役支社長 山邊敏郎
取締役次長 砂川哲男

大阪支社　大阪市東区淡路町１丁目14(八千代ビル)　電話 (231) 8171(代)
本　　社　東京都板橋区板橋町１丁目４８－８　電話03(961)1691(代)
神戸支局　神戸市葺合区八幡通５丁目６－１　電話078(29)0541－2
京都支局　京都市右京区鳴滝本町１１－４　電話075(463)０６８３

大阪で唯一つの

PRESS

株会式社 日刊建設新聞社

取締役社長　中山豊雄

大阪本社　大阪市東区高麗橋１丁目３（東洋ビル）　電話202－6861(代表)

株式会社 日刊建設通信関西支社

代表取締役会長　田中一
取締役支社長　成田辰美

大阪市西区京町堀１－６８　電話 (444) ４４５１代表
本社・東京都港区西新橋２－１１－４　電話 (502) ８５８１代表

賀　正

1970

大木建設株式会社大阪支店

取締役支店長　工　藤　清　志

大阪支店　大阪市西区南堀江通３丁目３番地　電話(538) 3075(代表)
本　　社　東京都港区元赤坂１丁目２番１号　電話(403) 4131(代表)

ウレタン・エポキシ樹脂の合成ゴム塗膜防水剤
〝ラバシール〟販売施工

ラバレヂン工業株式会社

取締役社長　原　　淳

本　社　大阪市浪速区桜川５丁目２番地の８田坂ビル　電話 大阪 (561) ３１０３
出張所　名古屋市北区清水町６の４　電話名古屋(911)６８０１

セントラルヒーティングは世界最大の規模を誇る

アメリカン・スタンダード社製 **A-3ボイラ**



＊予算が許せるなら、多少のむりを押してもA－3ボイラを組み込んで下さい。必らず施主から感謝される高級品です。

AMERICAN STANDARD　IDEAL STANDARD　提携　汽車製造株式會社

■米国市場の80%を独占■鋳鉄製本体は耐久性抜群(米国で70年、日本で40年の実績あり)
■暖房と給湯が一台で可能■全自動で操作は簡単■静かな運転者 ■A重油・灯油・軽油いずれでも可
■家庭用から営業用まで72機種■部品の在庫豊富

KSK 汽車製造株式會社　大阪市此花区島屋町406 〒554　電話(06)461-8001　札幌・東京・名古屋・草津・広島・福岡・台北

生きたデザイン　すぐれたクラフト

家具・造作・室内装飾・船舶・航空機内部艤装工事　設計施工
及び
建築設計監理

大丸 室内装工部

大　阪　大阪市南区鰻谷仲之町３８　TEL (252)0641
東　京　東京都中央区八重洲４の３　TEL (271)0935
名古屋　名古屋市中区錦２丁目２の13号　TEL (231)0256

空気調和・冷暖房設備
給排水・衛生設備　設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　店　大阪市東淀川区加島町357　電話 (302)2271～9(代)
大阪支社　同　上
東京本社　東京都港区芝浜松町2－7　電話 (434) 6171 (大代)
支　店　北海道・仙台・名古屋・広島・福岡
営業所　釧路・盛岡・横浜・神戸

冷暖房　給排水、衛生水道　電気　厨房
各種サッシ　環境衛生施設　荷役運搬機械　化学鉱山機械

三機工業 株式会社 大阪支店

取締役社長　大前玉男
取締役支店長　樋口勝栄
大阪市東区北浜2丁目22番地　電話 大阪 (202) 代表3071
本　店　東京・日比谷・三信ビル
支　店　名古屋、福岡、札幌、広島、仙台、富山
出張所　横浜、金沢、静岡、高松

電気・空調・給排水・衛生設備・設計施工

大阪電気暖房株式会社

取締役社長　菅谷知巳
本店　大阪市西区江戸堀1－60　電話 (441) 8231大代
支店　東京・名古屋・福岡
営業所　札幌・仙台・金沢・神戸・広島
出張所　京都・岡山・高松・熊本・横浜
新潟・富山・福井・豊田

空気調和設備
衛生設備　設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市都島区都島本通4－10－30　電話 (922)6251(代)
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2－22　電話 (667)3431(大代)
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平
大阪市北区高垣町一・電話 大阪372局7151(代)
京都市東山区大和大路正面上ル 電話 京都561局4945(代)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸34局 5892

空気調和・衛生設備
設計施工

株式会社 三晃商会

本　社　大阪市北区富田町16番地 電話(363)大代表1371
支　店　東京都千代田区神田小川町2丁目1番地　電話(292) 代表7751
広島市紙屋町1丁目2番22号　電話(47) 代表4535
福岡市大名1丁目8番12号　電話(76) 代表3795
出張所　名古屋・富山・金沢・福井・京都・松江

営業種目 ●空気調和設備 ●給排水衛生設備 ●塗装設備
●蒸気噴射式冷凍機／設計・製作・施工

空気調和のケンザイ 株式会社 建材社

本社・東京支店＝東京都中央区銀座6－6－7　㊫(572)7411 代
大阪支店＝大阪市北区中之島2－2－22　㊫(203)3721 代
名古屋支店＝名古屋市中区錦2－2－13　㊫(211)1535 代
出張所＝札幌・仙台・豊田・金沢・神戸
広島・松山・福岡・バンコック

須賀工業株式会社

空気調和 衛生設備

大阪市西区土佐堀通1丁目14　電話 441－5171
支店－東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡
営業所－広島　出張所－北九州

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
(旧斎藤久孝事務所)

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市北区常安町11番地
電話 大阪 (443) 5041～5番
東京本社　東京都千代田区大手町2の8番地(日本ビル)
電話 東京 (270) 7411番 (代表)
札幌営業所　札幌市南大通西4丁目1札幌道銀ビル　電話 札幌 22 5756
金沢営業所　金沢市高岡町2番16号　電話 金沢 21 2074
福井出張所　福井市御幸2の1　電話 福井 24 2436
高松出張所　高松市2番丁9　電話 高松 25 5195
岡山出張所　岡山市大供380の1　電話 岡山 24 5486

空気調和　地盤凍結　冷凍冷蔵

精研冷機株式会社

本　社　大阪市南区瓦屋町3番丁68番地
(オートセンタービル2階)　郵便番号542
電話 大阪 (06) 761(代)1141～8番(直通)
東京営業所　東京都千代田区九段南2丁目2番5号
(九段ビル8階)　郵便番号102
電話 東京(03) 262－3241～4番

創業 大正二年
暖冷房・換気・温湿度空気調和 設計
病院諸設備・給排水衛生・水族館設備 施工

株式会社 斎藤省三商店

東京店　東京都千代田区丸の内2の2　丸ビル676号
電話 212(代)3751
大阪店　大阪市西区土佐堀通1の1　大同ビル616号
電話 443代 3361
札幌店　札幌市北十条西18丁目36番地　電話 61(代)4371
名古屋店　名古屋市中区栄3の5番29号　千代田ビル514号
電話 261(代)0641
京都店　京都市南区西九条春日町48番地　電話 681(代)1781

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設計施工

第一企業株式会社大阪支店

大阪市北区北同心町1丁目57
電話 (351) (代表) 2808
本社　東京都文京区本郷1丁目12－5
電話 (814) (代表) 5151
支店出張所　名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

温湿度調整装置、暖　房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町30　電話 (361) 5177(代)
(364) 0977(代)
本　社　東京都千代田区丸ノ内3－2(新東京ビル)
電話 (211) 8511・8561 (代)
仙台支店　仙台市新伝馬町60
電話 (21) 4491
名古屋支店　名古屋市東区東門前町3－6
電話 (971) 3621

㊀ 平山工業株式会社

衛生・空気調和設備　・　設計・施工

TEL (441)㈹ 1994.(443) ㈹0331　大阪市西区江戸堀通2の2

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工

髙砂熱学

大阪支店　大阪市北区梅田8番地(新阪急ビル8階)
電話 大阪 (312) 4521 (代表)
本　社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和・恒温恒湿・冷凍・冷蔵
給排水衛生 設備　設計施工

Ⓕ 不二熱學工業株式會社

本　店　大阪市南区順慶町2－50　電話 261－2436㈹
東京支店　東京都大田区西馬込1－2－1　電話 773－1231㈹
営業所　銀座・浜松・京都・神戸・福岡

Carrier
空気調和装置、各種冷凍機
設計・製作・施工

東洋キヤリア工業株式会社 大阪支店

大阪市北区堂島浜通1－25 (新大ビル)
電話 大阪 (344) 1512 (大代)
本社 東京都中央区日本橋本石町4－2 (三井第二別館)
支店東京・名古屋 出張所 九州
工場 埼玉県北足立郡・東京都足立区

冷暖房・温湿度調整・水道
衛生・環境衛生施設
設計施工

山田工業株式会社

本社　大阪市西区京町堀1丁目62　電話(443) 代表8161～9
支店　名古屋市中村区水主町1の12　電話(541)0966(551)1655
出張所　東京都港区赤坂2丁目3～12
赤坂ピークビル5階　電話 (583) 1467
神戸市生田区北長狭通7丁目1の1　電話 (34) 1778・4386

MODAIR
空気調和設備設計施工
換気・除塵設備

東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区京町堀4丁目　TEL(443) 8071
本社　東京都中央区京橋2丁目9　TEL(562) 1351
支店　名古屋・福岡

空気調和装置・冷暖房・換気装置
ファン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設計・製作・施工

理研鋼機株式会社

大阪支店　大阪市東区高麗橋5－45 (興銀ビル別館)
電話 (06) 202－7745番(代表)
本社・工場　東京都北区神谷3の10の8
電話 (03) 902－3111番(代表)
支店　東京・名古屋・仙台

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

㊀ 日本管工業株式会社

代表取締役 市川繁雄

本社　京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681) 5101～5・夜間専用(691) 1045
大阪営業所　大阪市北区天満橋筋1－37(天満橋北詰)
電話 (352) 3501～3
四日市営業所　四日市市浜田西末広町　電話㊽7431～3
大津出張所　大津市打出浜13－15　電話 0775 ㉒9738
津営業所　津市栄町2－111　電話⑧3610

Carrier
冷暖房はCARRIER キャリア
東洋キヤリア工業(株)製品販売店・特約工事店

㊉ 日本冷熱工産株式会社

本社及大阪営業所　大阪市西区土佐堀通1－16(石川ビル)
電話大阪 (443) 3661～5

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

㊎ 株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通4丁目11　電話大阪(458)3531番
出張所＝京都・福岡

㊀
暖冷房・空気調和・環境衛生工事一切
設計施工

日本熱学工業株式会社

社長　牛田正郎

本社　大阪市北区万才町50
大阪事業本附　電話 大代表 (312) 8671
東京事業本部　東京都新宿区三栄町18
電話 大代表 (353) 9151
名古屋　名古屋市中村区下広井町3－15(中京電気ビル)
事業本部　電話 (581) 9376～8
各事業部　京滋、下関、新潟、金沢

各種電気工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長　浅海正雄

本　社　大阪市北区老松町ノ丁目22
電話大阪(362)8701
東京支社　東京都港区赤坂1丁目5番7号
電話(481)8621代表
支　店　名古屋・札幌・福岡
営業所　旭川・横浜・浜松・姫路・高松

電気設備 ⓔ 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役　山本博三

本　社　大阪市北区中之島3の3　朝日ビルディング
TEL　代表　(448)1361
営業所　大阪市西区土佐堀通り4の8
TEL　代表　(448)1361
営業所　京都市西京極郡三反田町11の5
TEL　代表　(311)1185

電気工事設計施工

太陽工藤工事株式会社

取締役会長　西村庄市
取締役社長　小林四郎

本　社　大阪市此花区恩貴南之町73
電力工事本部　TEL(06)462−1301(代)
施設工事本部　大阪市北区野崎町69
TEL(06)313−3451(代)

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社
大阪支社

支社長　姉川正男

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地　電話大阪(202)0325〜9番
本　社　東京都千代田区西神田1丁目4番地5号
支　社　札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
出張所　旭川・白河・横浜・静岡・富山

電気工事・計装工事
設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長　栗原信英

大阪市北区高垣町16番地(東阪急ビル)
電話　大阪(313)1101(大代)
支店　東京・名古屋・舞鶴・大阪南・神戸・広島・九州

電気工事 中 設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長　中本正明

本　社　大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話大阪(931)代表7341〜5
0388・2193
資材倉庫　大阪市城東区野江東之町三丁目一一　電話大阪(931)7004
奈良営業所　奈良県御所市御国通り360　電話御所(2)2607・4259

電気工事設計施工

株式会社 三興社

代表取締役　林　敏夫

本　社　大阪市北区絹笠町50(堂ビル7階)
電話㊫3671(代)
支　店　東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話㊫1478(代)
出張所　川崎・相模原・堺・福山

各種電気工事設計施工・制御盤製作

野里電気工業株式会社

取締役社長　池内文夫

本　社　大阪市西淀川区柏里町1丁目110番地
電話大阪(472)代表1101〜7
支　店　東京都品川区西五反田6丁目25番11号(福島ビル)
電話東京(491)1746(492)0182・0350
営業所　北九州市小倉区鋳物師町23番地
電話小倉(56)5665・5818
出張所　群馬・千葉・和歌山・名古屋

電気・暖冷房・空調工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長　嘉納伝三

本　社　大阪市北区絹笠町五〇(堂ビル三階)
電話(364)1471(代)
支　社　東京都中央区明石町6−23(辻孝ビル)
電話(542)5641
営業所　名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話(991)5131〜3
出張所　神戸市・堺市・高槻市・姫路市

電気工事設計施工

富士電業株式会社

取締役社長　田中実

本　社　大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話大阪(541)0564〜7・7148〜9
営業所　東京・名古屋・広島・福岡

電気工事・計装工事・設計施工

中央電気工業株式会社

取締役会長　今村騰
取締役社長　立石行男

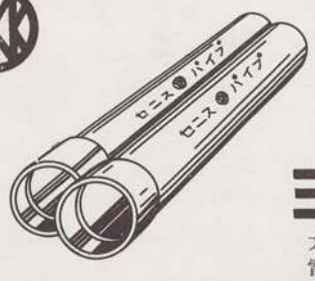
本　社　大阪市北区梅ヶ枝町56番地
電話　大阪　大代表(312)8881
支　店　東京・名古屋・四日市・神戸・和歌山
営業所　松山・京都・草津・静岡・水島・福岡

各種電気工事設計施工

株式会社 ヤマト電気商会

取締役社長　山本永造

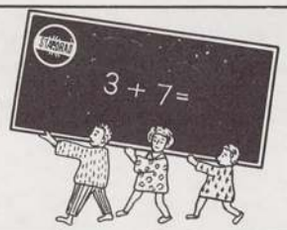
本　社　大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪(364)代3056
東京支店　東京都港区新橋5−34−6　相馬ビル5階
電話東京(434)3848・(431)8435
出張所　大阪南・札幌・名古屋・四日市・松山・徳山



トラフ・ヒューム管
ベンチレーター・マンホール

株式会社
三幸商會
大阪市北区与力町一ノ一〇
電話　大阪(358)　4031

奉仕感謝の店
タイル工事施工
特許申請中・完全滑止タイル
サンエス
SSS　タイル新発売
(カタログ進呈)
株式会社 川岸窯業商店
大阪市西区靱本町2丁目98　靱本町電停前
電話　大阪　(532)　0461～4番



Standard　Board&Slate
フタバ黒板
大阪市東住吉区桑津町三丁目101番地　電話大阪(717)4561～2

営業品目
●ダルボウゴーレックス防水
●化粧壁材ソリジットスタイン吹付
●樹脂砂壁エバーサンド吹付
●樹脂蛭石エバテックス吹付
合同特許建材工業株式会社
本社営業所・大阪市東住吉区駒川町3－54　電話(702)代7814～6
特約代理店・東京・名古屋・金沢・広島・今治・福岡

耐酸ツボ各種
陶器、ガラス製品卸問屋
セトモノのデパート
源八橋セトモノ百貨店をご利用下さい。

株式会社 吉田芳雄商店
本　店 大阪市北区旅篭町18 電話(361)3450・(364)2345
源八橋店 大阪市北区天満橋筋4－78 電話(358)1790・1838

株式会社 矢橋大理石商店
大阪支店
大阪市東区高麗橋二丁目九　野村ビル五階
電話　大阪　(202)　4905

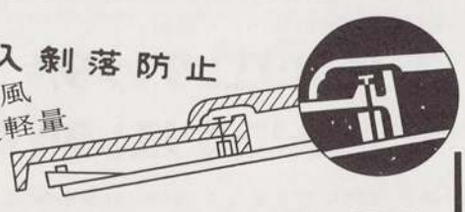
FUTABAYA DECORATORS, LTD.
建築物・船舶等の造作工事及び
室内装飾工事の設計施工
建具、パネル、家具、各種木工品の製作
内外装飾織物、窓掛、敷物、壁紙類一式
(創業大正7年)
二葉屋装備工業株式会社
取締役社長　若林繁吉
大阪府知事建設登録
(ぬ)第16216号
大阪市大淀区本庄川崎町2の6
電話・大阪(371) 3321～3・3630

社寺数奇屋用瓦……大仏瓦
内外装用窯変美術タイル……大仏タイル
(株) 大仏

本社	京都市東区山今熊野大仏池田町9の9	075 (561) 3555 3725
大阪営業所	守口市佐多東町1丁目23アマダビル	06 (901) 0156
名古屋営業所	名古屋市守山区大字小幡山脇27	052 (792) 1321
東京営業所	東京都渋谷区上原1丁目29の4	03 (467) 1641
工場	京都清水・山城・瀬戸	



本　社 大阪市北区堂島北町16　TEL(361)9055(代表)
本町営業所 大阪市東区本町4-27御堂ビル　TEL (252) 3906
横堀営業所 大阪市東区横堀2－36

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量

ナニワ緩勾配瓦
3寸緩勾最適軽量水止付(空葺)瓦
ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区元町二丁目四番地(電話641番)

発明賞に輝く各種特許235件所有

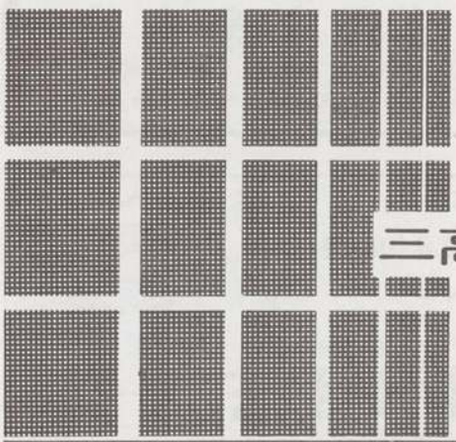
特許　鈴木シヤタア

65年の歴史最高の技術最大の生産

防煙火・防災・防盗

鈴木式防煙火シヤタア・リンググリル®シヤタア・
ステンレスシヤタア・アルミニュームシヤタア・
40・ピーアップ®シヤタア・汎用シヤタア
その他特殊シヤタアの製造
アフターサービスの完璧

株式会社 鈴木シヤタア商会
大阪市北区茶屋町33番地　電話大阪(06市外局番)371代表4151～6
北陸営業所　金沢市長田町119番地　電話金沢(0762市外局番)21—2287



スチール
アルミ
ステンレス
サッシ・ドアー
カーテンウオール
シヤッター
三高式オペレーター・ドアーハンガー

TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社 三高製作所
本社・工場　尼崎市神崎五反田280番地
電話大阪(499)8151代表

近代建築の要求する

＊特許 小俣式 ステンレス・アルミニウム 防火シャッター

設計
製作
施工

小俣シャッター工業株式会社大阪支店
大阪支店　大阪市北区若松町30　電話大阪(364)9004・9016・4825
本社工場　東京都北区田端町1138　電話東京(893)5211～5

●法定不燃材の屋根長尺現地成型

ガスにも／熱にも
酸・薬品にも
大丈夫です

●責任施工・型録送呈

特許●耐酸・耐アルカリひふく鉄板
オリエンタルメタル
●永久建材の超ひふく鉄板
スーパーオリエンタルメタル (SPM)
カラースーパーオリエンタルメタル (CSPM)
●新時代にマッチした各種のカラー製品があります

オリエンタルメタル製造株式会社
本社工場　兵庫県尼崎市長州字稲川新田44　電話　大阪(481)8085～9
大阪支店　兵庫県尼崎市長州字稲川新田44　電話　大阪(481)8085～9
東京支店並工場　埼玉県蕨市塚越5－6－32　電話　蕨(42)3115
支店・出張所　郡山・八幡・名古屋・川崎・岩国・宇部・延岡・教賀・三原・徳島・徳山

腐らない そして燃えない
法定不燃材 829号
ケミカラーオーシマメタル
新しい型の
ひふくてっぱん
屋根材、壁材・谷樋棟包水切に
スタンダードメタルの大島応用化学
東大阪市新庄(782)4171代

特許 内外式 意匠登録
電動ベンチレーター
屋上強制換気装置製作のパイオニア
50年の豊富な経験と技術、研究により
1。最高の換気率
2。スマートな外観
3。雨仕舞の完全
4。価格の低廉
5。直傭工による施工の完璧
6。行届いたアフターサービス
近畿コカコーラボトリング美原工場
NK型口径 900m /m(モートル 3HP)40基
内外建材株式会社
本 社 大阪市西区江戸堀北通1－25(相生ビル) TEL(441)3983－4・4396
工 場 大阪市城東区天王田町1の141 TEL(962)1149
内外式コンチニアスベンチレーター
筒型ベンチレーター
内外式ガラス屋根
内外式連続採光換気装置
設計施工

Taniyama
送風機
株式会社 谷山鐵工所
営業品目
●LAF形 リミットロード送風機
●VAF形 可変式軸流送風機
●SAF形 ストリームライン送風機
●CAF形 遠心式静音軸流送風機
(特 許)
本社工場/大阪市城東区野江東之町二丁目一番地
電話 大阪(931)代7803～9
東京出張所/東京都文京区湯島四丁目六番十七号
東京(814)6651～3

シヤッターの総合メーカー
豊かな経験と
最新の技術…
東洋シヤッター
東洋シヤッター株式会社
本 社 大阪市東区谷町5－30 新野村ビル TEL(762)5861代
本 社 東京(543)2281・名古屋(331)6171・大阪(352)4571
営業所 横浜・滋賀・京都・神戸・福岡・他全国主要都市

新製品

特許セメント分散剤
コンクリート減水剤
● リグコン

特許 セメント分散剤 コンクリート減水剤
リグナール

建設大臣認定
● 三段ブロック
其の他コンクリート二次製品

● 宅地造成・分譲
指導　神戸大学土木工学部長
田中　茂教授
設計　日建設計工務株式会社
現在二団地設計中

● 耐火・防水外見板
SPボード代理店
● 日本鋼管
NKプレハブ代理店
● 高弾性目地材　エスシール#31
● 防水材　エスシール#21

リグナール製造発売元
神戸板料株式会社
本　社　神戸市葺合区熊内町2丁目88番地
電話078代表(23)1421・6956
東京営業所　電話03(294)6167・6177
福山出張所　電話0849(23)2　6　7　9

全国で好評の……新興の内装壁材を！

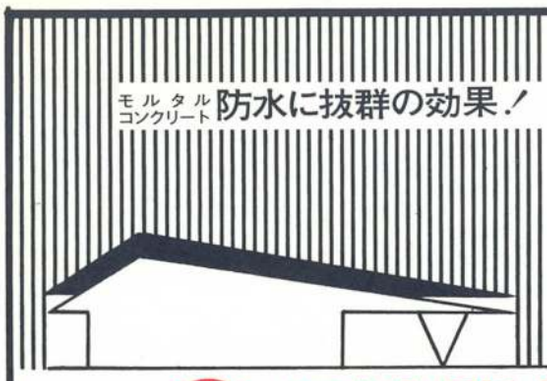
新しい時代の新らしい壁
ヒル石基材の燃えぬ壁材
ダイシンコート
（特長）
耐火・耐水・耐アルカリ・防音・保温・吹付・塗付

革新塗料現る
①ソフトな感覚、優雅な味
②ペイント塗料に優る
③塗りかえ自由
④安価で塗りよい
⑤吹付施工も自由
⑥洗いも下地も自由
繊維塗料の
シンコゾール
全国有名建材店又は当社へ

繊維壁材（通称）わたかべ
耐水、耐アルカリ性時代来る
漆喰差支なし
ドロマイドプラスター
セメントモルタル下地
落ちない
塗り良く
塗面が強く
水に強く
（特長）
すき・すゞか・新いすゞ・四香・七宝・錦紋・王座
●カタログお送りします

発売元
（株）新興建材工業所
大阪市西区南堀江通6丁目39番地　TEL 大阪(538)2951～5・(541)5757～9
営業所　東京・高槻・明石・姫路・四国・中国

新興壁材工業（株）
大阪市住吉区粉浜本町4丁目26番地　TEL 大阪（672）1661～3
（株）九州新興建材工業所
福岡市上牟田八田町26の1　TEL 福岡（41）5225～6



モルタル コンクリート 防水に抜群の効果！

マノール防水剤

マノール防水剤は、屋上、内外壁、地下室などのモルタルやコンクリート、ブロックの防水、防湿に最適です。
その上、亀裂予防はもちろん、作業能率も著るしくあがり、仕上り面が特にきれいな点にも人気があつまっています。

マノール製品
〈モルタル コンクリート用〉
防水剤
急結剤
早強剤
接着剤
剥離剤
防凍剤
エスコート（セメント起泡剤）
エアコール（空気連行剤）
山富貴黄華（着色剤）

株式会社 油脂化工社
東京都品川区大井1-15-1 電東京(774)4111代表

大阪営業所 大阪市東成区西今里町2－48 電 大阪(971)4765-6
名古屋営業所 名古屋市中区門前町5－37 電 名古屋(231)5440
福島営業所 福島県信夫郡吾妻町下野寺遠原 電 福島(34)7428
盛岡営業所 盛岡市南大通3－12－50 電 盛岡(22)2204

日本建築協会優良證明

セメント増強防水剤

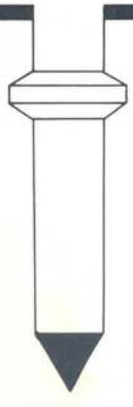
ウォータイトB号

CEMENT WATER-PROOF WOTAITO

仕様書 型録 贈呈

株式会社 日本セメント防水剤製造所

本社 大阪市東区船越町2－31（船越ビル）電話（941）2626・2628
連絡所 宝塚市高台上の池 電話 宝塚（86）2153
出張所 電話 東京(431)8648・名古屋(331)1531・仙台(23)0721・札幌(87)1111
オォータイト式防水工事代行店 電話 大三工業 高松（2）0016 安藤工事 福岡（28）5207 豊永建材 広島（61）6371 東邦防水工業 電話 札幌（82）3133



●基礎施工の悪條件を克服する

武智式 日信三角杭

特許●第233744号
特許●第250108号
実用新案●第25－10942号
実用新案●第37－36106号

株式会社 武智工務所

本社 大阪市東区高麗橋2－20（高麗新ビル）
TEL 大阪（202）3233(代)・7501(代)
名古屋営業所 名古屋市中区錦1－3－2（殖産住宅ビル）
TEL 名古屋（211）3086(代)
大阪工場 大阪市住吉区北加賀屋町5－27
TEL 大阪（672）3223・3224
名古屋工場 愛知県海部郡弥富町佐古木
TEL 弥富（7）1191・1192

日本建鉄の

PS80Aレディメードサッシ



PA60A・PA70Aサッシドア

日本建鉄株式会社

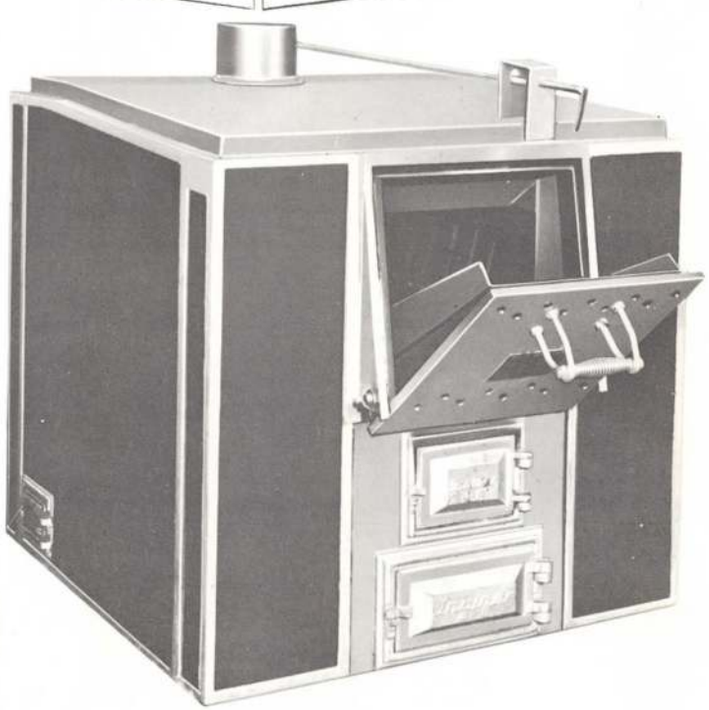
本社 東京都千代田区大手町2～8 TEL東京(270)6511(大代)
大阪支店 大阪市北区梅田町47(新阪神ビル) TEL大阪（341）4331(代)

建築と社会 “ARCHITECTURE AND SOCIETY” 第51輯第1号
■昭和45年1月25日発行(毎月1回25日発行)・昭和24年3月19日第3種郵便物認可

Inciner 機能・スタイル抜群!

インシナーの

塵芥焼却炉



特許番号 248142・497969・486824・486791
517838・583503・781196
特許出願 37－12522・38－82085・40－26767
40－62143・41－92296・41－67906
42－22817・42－47591・42－73966
42－79650・43－22759・43－40953
43－60144・43－77203・43－79687

インシナー は 大規模事業所からご家庭まで
巾広いご愛顧をいただいている専門メーカーです

●カタログご請求下さい —— ご照会の節は 建築と社会 広告の旨お申添え願います

インシナー商事
インシナー工業

本社	東京都品川区東五反田2－8－7	TEL 441－2291(代)
大阪支店	大阪市北区牛丸町55〈東洋ビル〉	TEL 372－0481(代)
名古屋営業所	名古屋市昭和区恵方町2－8	TEL 841－5874(代)
福岡営業所	福岡市春吉3〈春野ビル〉	TEL 76－1880(代)

■ご入会のお申込は・社団法人 日本建築協会 大阪市東区北浜3－37 電話大阪(06)231-9648・9649・9640 振替口座大阪39975番

定価 300円(送料共)